

北海道立農試資料 第34号

Misc. Pub. Hokkaido
Prefect. Agric. Exp. Stn.
No.34, p.1-209 March, 2005

ISSN 0386-6211

北海道立農業試験場資料 第34号

Miscellaneous Publication of Hokkaido
Prefectural Agricultural Experiment Stations
No.34, March 2005

農作物優良品種の解説 (1996-2004)

Varieties of Field Crops in Hokkaido
(1996-2004)

平成 17 年 3 月

北海道立中央農業試験場

Hokkaido Central
Agricultural Experiment Station
(Naganuma, Hokkaido, 069-1395, Japan)

転載・複製について：本刊行物から転載・複製する場合は、北海道立中央農業試験場の許可を得てください。

Reproduction of articles in this publication is not permitted without written consent from Hokkaido Central Agricultural Experiment Station.

■ 水稻

- ななつぼし（良食味で，耐冷性が強く，収量性がやや高い）

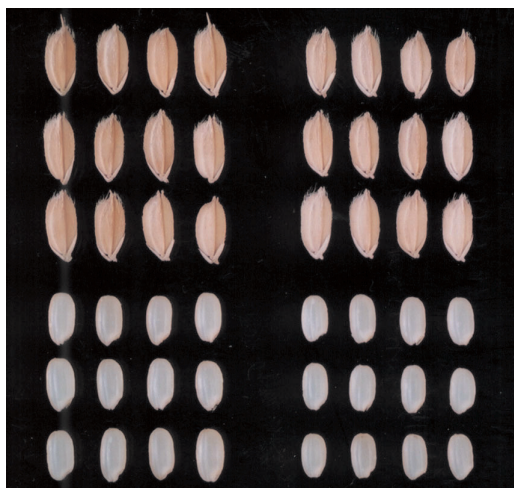


「ななつぼし」 「きらら397」 「ほしのゆめ」

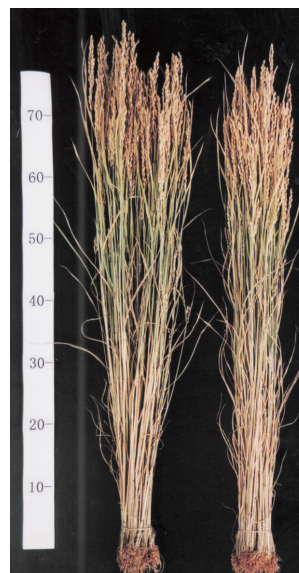


「ななつぼし」 「きらら397」 「ほしのゆめ」

- 大地の星（多収で，耐冷性が強く，加工適性に優れ，冷凍ピラフ等の加工用途に向く）



「大地の星」 「あきほ」

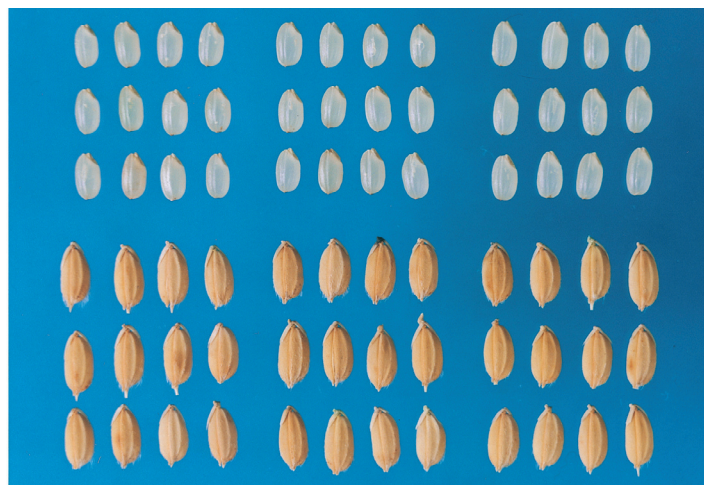


「大地の星」 「あきほ」

- ふっくりんこ（低タンパク，良食味で，障害型耐冷性が強い晩生品種）



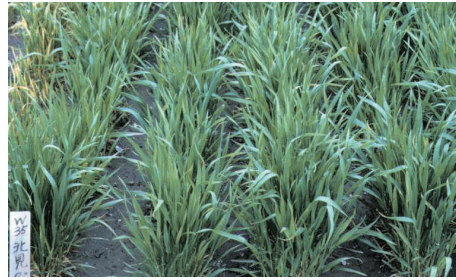
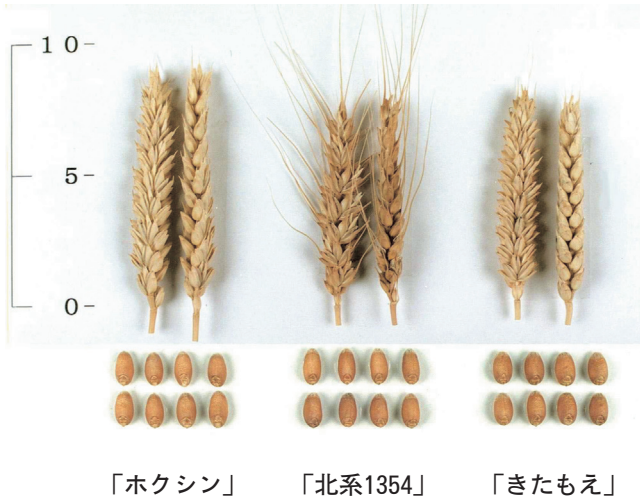
「ふっくりんこ」 「きらら397」 「ほしのゆめ」



「ふっくりんこ」 「きらら397」 「ほしのゆめ」

小麦

- **きたもえ** (コムギ縮萎病抵抗性, 穂発芽耐性に優れ, 粉色とゆでうどんの色に優れる秋まき品種)



「きたもえ」
(抵抗性やや強)



「ホクシン」
(弱)

コムギ縮萎病多発圃場での生育状況

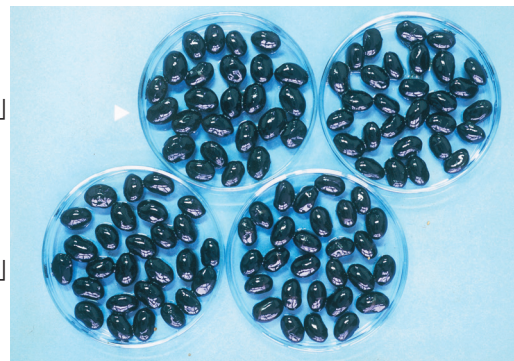
大豆

- **いわいくろ** (粒が豊満であり煮豆加工適性に優れる早熟で極大粒の黒大豆)



「中生光黒」 「いわいくろ」 「トカチクロ」

「中生光黒」に比べ, 短茎で倒伏が少ない。



「中生光黒」

「トカチクロ」

煮豆は, 外観と風味の評価が高く, 煮豆加工適性は「中生光黒」, 「トカチクロ」より勝り, 「晩生光黒」並みに優れる。

- **ユキホマレ** (早熟, 難裂莢性でコンバイン収穫適性が高く, 低温抵抗性, 臍周辺着色抵抗性およびシストセンチュウ抵抗性を有する白目中粒品種)



「ユキホマレ」 「トヨコマチ」

熟期の早晚



「ユキホマレ」(強)

「トヨムスメ」(弱)

臍周辺着色抵抗性

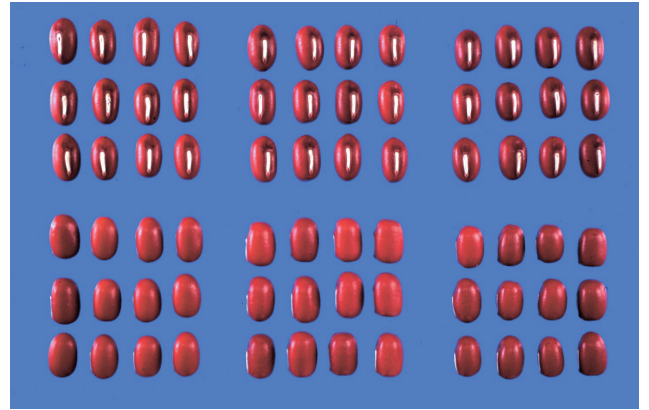
小豆

- しゅまり (落葉病, 茎疫病, 萎凋病に対する複合抵抗性を有し, あん色が良好で風味が強く加工適性に優れた普通小豆)



「しゅまり」 「エリモシヨウズ」 「寿小豆」 「浦佐(島根)」
(かなり強) (弱) (強) (かなり強)

茎疫病激発圃 (レース 1, 3) における生育状況



「エリモシヨウズ」 「しゅまり」 「きたのおとめ」

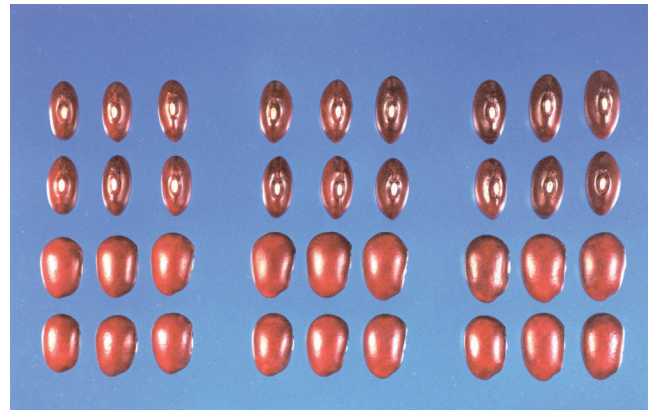
菜豆

- 福良金時 (「大正金時」並の早生で, 葉落ちが良く, 粒大が大きい, 金時類品種)



「大正金時」 「福良金時」
成熟期における草姿の比較

「福良金時」は「大正金時」と比べ, 成熟期, 耐倒伏性は同等で, 成熟期の葉落ちが良い。



「大正金時」 「福良金時」 「福勝」

ばれいしょ

- スノーマーチ (ジャガイモシストセンチュウ抵抗性及びそうか病に強い抵抗性を持ち, 調理特性の優れた生食用品種)



「スノーマーチ」
(そうか病抵抗性「強」)



「男爵いも」
(そうか病抵抗性「弱」)

そうか病汚染圃場での塊茎の罹病状況

■ りんご

- マオイ (果実が大きく、日持ち性に優れた、極早生品種)



■ おうとう台木

- チシマ台1号 (アオバ台に比べて耐寒性が強く、接ぎ木親和性が高い。コルト台に比べてわい化性が強く、樹体が大きくなるらない台木品種)



「南陽」/「チシマ台1号」(二重台)



「南陽」/「コルト」

台木品種の違いによる「南陽」(8年生)の樹体の大きさ

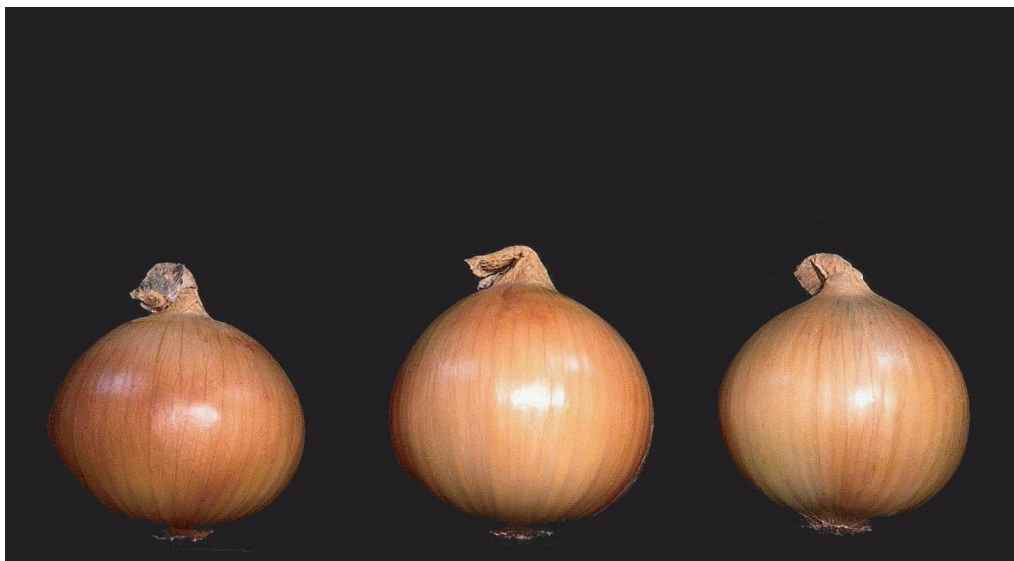
■ 花ゆり

- きたきらり (草姿の形状が良く、切花収量が極めて高く、栽培が容易な小輪性品種)



■ たまねぎ

- さらり (辛みが少なく生サラダやソテーに向き、貯蔵性が高い、良食味品種)



「AOPFA」(種子親)

「さらり」

「81S」(花粉親：北見農試育成)

「さらり」とその両親系統

■ いちご

- けんたろう (果実品質(外観, 食味, 日持ち性)に優れ, 萎凋病や萎黄病などの土壌病害に強い, 無加温半促成栽培向け品種)

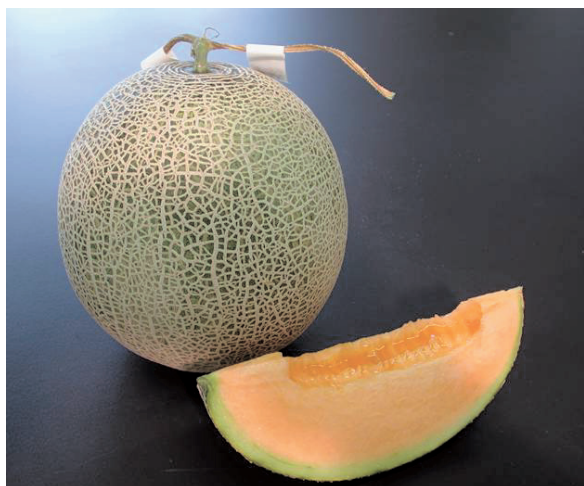


「けんたろう」

「きたえくぼ」

■ メロン

- いちひめ (さわやかな香りを持ち, 高温期においても糖度が高く, 果実肥大性・日持ち性が優れ, うどんこ病に強い赤肉品種)



「いちひめ」

「ルピアレッド」

- どうだい2号 (つる割病菌レース1,2yにやや強で, 全てのレースに抵抗性を持ち, 接ぎ木作業性が良い台木品種)



「金剛1号」接木 「どうだい2号」接木
つる割病菌レース1,2y発生圃場における生育状況

チモシー

- なつさかり (耐倒伏性と斑点病抵抗性が強く, 混播適性がやや優れる晩生品種)



「なつさかり」 「ホクシュウ」

1 番草の倒伏状況の比較

「なつさかり」 「ホクシュウ」

1 番草の草姿

ペレニアルライグラス

- ポコロ (旺盛な秋の生育を保持しつつ, 春の生育が良好で, 早春からの放牧利用に向く)



「フレンド」



「ポコロ」



「ファントム」

早晩性は「フレンド」と「ファントム」の中間で晩生に属します。「フレンド」に比べ, 収量性・永続性に優れ, 越冬性はやや勝ります。

序

北海道に開拓使が設置され、本格的に農業開拓を進めるにあたって、まず適作物と適品種を選定し、それらの耕種法を確立するために、道内各地に置かれた官園をはじめとする農業試験機関で、試作や試験が盛んに行われた。さらに明治33年に創立された農事試験場では、品種改良が主要な課題とされ、明治41年ごろから小麦、小豆、大豆等について人工交配に関する試験を開始、明治42年には早くも小豆優良品種「高橋早生」が育成された。以来、水稻、麦類、豆類、ばれいしょ等の主要作物についての系統的な新品種育成試験により、多くの優良な品種が育成・普及され、本道農作物の増収と安定性の確保に大きな貢献を果たしてきた。

平成8年に北海道立農業試験場資料26号として「農作物優良品種の解説（1987-1995）」を刊行し、それまでの9年間に優良品種として普及に移された水稻、畑作物、園芸作物、飼料作物等145品種について来歴、特性、栽培適地等を解説した。本書は引き続いて1996（平成8）年から2004（平成16）年までの9年間に、優良品種に決定された全品種について取り上げ、解説するものである。

北海道農業は、国内最大の食料供給基地としての位置づけをさらに強めながらも、離農や高齢化に伴う担い手不足、貿易自由化と市場原理の導入による農畜産物の価格低迷に加えて、食品の安全・安心に対する消費者の強い要請など、多くの課題に直面している。

21世紀を展望し、北海道農業・農村の維持、発展に向けて、省力、低コスト、高品質、安全性向上、環境負荷低減などの技術開発とともに、良質、良食味、多収、耐冷、耐病、耐虫などの各種特性を具備した、新たな品種開発に対する期待はいっそう高まっている。本書に掲載された各品種とその情報が活用され、北海道農業の生産性向上と経営の安定に寄与することを願ってやまない。

新品種が世に出るまで、交配に始まって選抜、生産力検定、特性検定、奨励品種決定試験など、試験場内および現地における多くの試験と検討を要する。さらに、品種に特有の栽培法、施肥法、病害虫対策、収穫調整法、加工適性などの付帯情報も不可欠である。言うなれば本書に示した全ての品種が、農業試験場の各部門をあげた総力に加えて、農業改良普及センターや生産者を含む関係機関職員の努力の結晶として送り出されたものである。記して、関係者の各位に深甚なる敬意と謝意を表する。

平成17年3月

北海道立中央農業試験場長 水島俊一

はじめに

1. 掲載した品種は、1996（平成8）年から2004（平成16）年の9年間に、北海道農業試験会議（成績会議）の検討を経て、北海道種苗審議会（北海道優良品種認定委員会）で優良品種に決定された全品種をとりあげた。

その作物別の品種数は次のとおりである。

普通作物	68品種
特用作物	17品種
果樹	5品種
野菜	13品種
花き	3品種
飼料作物	15品種
合計	121品種

2. 付表の北海道登録品種一覧には、1985（昭和60）年に定められた北海道作物優良品種認定要領によって、登録簿に登録済みの全品種をとりあげた。

3. 記載内容は、北海道農業試験会議で検討された資料に基づいているが、その後に変更または追加されたことが明らかにされているものは、それに従って書き改めた。

4. 各作物担当者が執筆し、以下のメンバーによる編集委員会で校閲・編集した。

編集長：中央農業試験場	企画情報室長
委員：中央農業試験場	作物開発部長（水稲，畑作物，果樹）
花・野菜技術センター	研究部長（野菜，花き）
畜産試験場	環境草地部長（飼料作物）
植物遺伝資源センター	研究部長（種苗）
事務局：中央農業試験場	企画情報室

執筆者一覧

水稲：中央農業試験場 生産システム部 水田農業科長 田中一生，上川農業試験場 研究部 主任研究員 沼尾吉則，
同 稲作科長 佐藤 毅，同 稲作科 木内 均，同 吉村徹，同 木下雅文，道南農業試験場 研究部 作物
科 尾崎洋人

小麦：北見農業試験場 作物研究部 小麦科長 柳沢 朗

とうもろこし：北見農業試験場 作物研究部 牧草科 玉置宏之，同 佐藤公一

大豆：中央農業試験場 作物開発部 畑作科長 田中義則，十勝農業試験場 作物研究部 大豆科長 白井滋久，同
大豆科 山崎敬之

小豆：十勝農業試験場 作物研究部 小豆菜豆科 青山 聡

菜豆：十勝農業試験場 作物研究部 小豆菜豆科 奥山昌隆

花豆：中央農業試験場 作物開発部 畑作科 佐藤 仁

ばれいしょ：北見農業試験場 作物研究部 馬鈴しょ科長 入谷正樹

てんさい：十勝農業試験場 作物研究部 主任研究員 飯田修三，同 てん菜畑作園芸科 有田敬俊

りんご，おうとう台木：中央農業試験場 作物開発部 果樹科長 村松裕司

ぶどう：中央農業試験場 作物開発部 果樹科 内田哲嗣

たまねぎ：北見農業試験場 作物研究部 畑作園芸科 柳田大介

いちご：道南農業試験場 研究部 園芸環境科 福川英司

メロン，メロン台木：花・野菜技術センター 研究部 野菜科 八木亮治

デルフィニウム：花・野菜技術センター 研究部 花き科長 生方雅男

花ゆり：花・野菜技術センター 研究部 花き科 大宮 知

アカクローバ，シロクローバ，アルファルファ，ガレガ：根釧農業試験場 研究部 作物科長 佐藤尚親

チモシー：北見農業試験場 作物研究部 牧草科長 吉澤 晃

オーチャードグラス，メドーフェスク：畜産試験場 環境草地部 草地飼料科長 中村克己

ペレニアルライグラス：天北農業試験場 研究部 牧草飼料科長 井内浩幸

北海道立農業試験場資料 第34号

2005 (平成17) 年 3 月

農作物優良品種の解説

天野洋一, 塩澤耕二, 大原益博編

目 次

I 普通作物

1. 水稲

< 粳種 >

(1) あきほ (空育150号).....	1
(2) ほしのゆめ (上育418号).....	2
(3) 初雫 (北海278号).....	4
(4) はなぶさ (北海280号).....	5
(5) 吟風 (空育158号).....	6
(6) ほしたろう (上育427号).....	8
(7) ななつぼし (空育163号).....	9
(8) あやひめ (上育433号).....	10
(9) 大地の星 (上育438号).....	12
(10) ふっくりんこ (渡育240号).....	13

2. 小麦

(1) きたもえ (北見72号)	14
(2) はるひので (北見春59号)	15
(3) 春よ恋 (HW 1号)	16
(4) キタノカオリ (北海257号).....	17

3. とうもろこし

< 飼料用 >

(1) DK 2 1 2 (SH 2 1 1 2)	19
(2) ピヤシリ 8 5 (SH 1 3 0 2)	20
(3) LG 2 2 9 0 (HE 9 1 3 8)	20
(4) DK 4 7 4 (PP 1 4 6 0)	21
(5) DK 4 0 1 (DK 4 0 1)	22
(6) ロイヤルデントオーロラ 8 2 (TH 9 1 2 8)	23
(7) ディアHT (ディアHT)	24
(8) ノルダ (ノルダ)	24
(9) ピリカ 9 0 (SL 9 3 0 5)	25
(10) クラリカ (3 8 9 3)	26
(11) KD 3 5 4 (KD 3 5 4)	26
(12) ロイヤルデント 8 5 H (TH 9 4 3 4)	27
(13) ノベタ (ノベタ)	28
(14) ロイヤルデントアポロ 9 0 (TH 9 5 9 7)	28
(15) DK 4 8 3 (SH 6 5 4 7)	29

(16)	DK 5 6 6 (DK 5 6 6)	30
(17)	モノポル 8 5 (TH 9 6 2 3)	30
(18)	3 5 G 8 6 (X 1 0 4 5 T)	31
(19)	カリメラ (カリメラ)	31
(20)	ジェレミス (JEREMIS)	32
(21)	3 6 A 4 3 (3 6 A 4 3)	33
(22)	おおぞら (北交55号)	33
(23)	ビスカ (X 0 8 2 6 X)	34
(24)	リッチモンド (HE 9 8 1 5)	35
(25)	SL 9 8 5 1 (SL 9 8 5 1)	35
(26)	TH 9 8 6 1 (TH 9 8 6 1)	36
(27)	チベリウス (HK 9 8 5 1)	36
(28)	ネオ 8 5 (TH 9 9 5 2)	37
(29)	3 6 B 0 8 (3 6 B 0 8)	38
4. 大豆		
(1)	いわいくろ (中育39号)	38
(2)	ハヤヒカリ (十育227号).....	40
(3)	ユキホマレ (十育233号).....	41
(4)	ユキシズカ (十育234号).....	42
5. 小豆		
(1)	ほくと大納言 (十育133号).....	44
(2)	しゅまり (十育140号).....	45
(3)	とよみ大納言 (十育143号).....	46
(4)	きたほたる (十育146号).....	47
6. 菜豆		
(1)	福うずら (十育D10号)	48
(2)	福良金時 (十育B67号)	50
(3)	十育A56号	51
7. 花豆		
(1)	白花っ娘 (中育M52号)	52
8. ばれいしょ		
(1)	アーリースターチ (北海72号)	53
(2)	花標津 (根育29号)	55
(3)	スタークイーン (根育31号)	56
(4)	ノースチップ (P 9 6 1)	57
(5)	十勝こがね (北海79号)	58
(6)	ユキラシャ (北海83号)	60
(7)	スノーデン (P 9 7 1)	61
(8)	きたひめ (P 9 8 2)	62
(9)	ナツフブキ (北見5号).....	63
(10)	ひかる (F 0 0 1)	64
(11)	オホーツクチップ (北育 2 号)	66
(12)	スノーマーチ (北育 7 号)	67
(13)	キタムラサキ (北海88号)	68

II 特用作物

1. てんさい

(1) ユーデン (HT 9)	70
(2) リーランド (H 1 2 3)	70
(3) フルーデン (HT 1 2)	71
(4) めぐみ (K a w e - J 5 3 8)	72
(5) シュベルト (北海70号)	73
(6) カプトマル (北海73号)	74
(7) アーベント (H 1 2 5)	74
(8) モリーノ (HT 1 5)	75
(9) スコーネ (HT 1 4)	76
(10) のぞみ (K a w e - J 7 1 2 3)	77
(11) スタウト (H 1 2 6)	78
(12) きたさやか (K a w e - J 8 1 3 1)	78
(13) えとぴりか (KWS 9 2 2 6)	79
(14) ユキヒノデ (北海83号)	80
(15) アセンド (H 1 2 9)	81
(16) あまいぶき (KWS 0 2 1 3)	82
(17) フルーデンR (HT 2 1)	83

III 果樹

1. りんご

(1) さんさ	85
(2) マオイ (HC 1 5号)	85
(3) ひめかみ (盛岡37号)	86

2. ぶどう

(1) 藤稔	87
--------------	----

3. おうとう台木

(1) チシマ台1号 (DS 1)	88
-------------------------	----

IV 花き

1. デルフィニウム (ラークスパー)

(1) シーオーワン (CO-1)	90
-------------------------	----

2. 花ゆり

(1) きたきらり (Li-9)	90
(2) Li-19	91

V 野菜

1. たまねぎ

(1) トヨヒラ (月交18号)	93
(2) ウルフ (T-383)	94
(3) カムイ (T-400)	95
(4) さらり (北見交27号)	95
(5) 北こがね2号 (T-418)	96
(6) イヨマンテ (T-422)	97

2. いちご	
(1) けんたろう (道南26号)	98
(2) エッチェスー138 (HS-138号)	99
3. メロン	
<実とり用>	
(1) めろりん (空知交5号)	100
(2) いちひめ (空知交11号)	101
<台木>	
(1) どうだい1号 (空知台1号)	102
(2) どうだい2号 (空知台2号)	102
(3) どうだい3号 (空知台交3号)	103

VI 飼料作物

1. アカクローバ	
(1) クラノ (KRANO)	105
(2) ナツユウ (北海9号)	105
2. シロクローバ	
(1) ルナメイ (LUNE DE MAI)	106
(2) ラモーナ (WWV-14)	107
(3) リベンデル (RIVENDEL)	108
(4) タホラ (TAHORA)	108
3. アルファルファ	
(1) ハルワカバ (北海3号)	109
4. ガレガ	
(1) こまさと184 (Gale)	110
5. チモシー	
(1) ホライズン (SB-T-9502)	111
(2) シリウス (SB-T-9504)	111
(3) なつさかり (北見22号)	112
6. オーチャードグラス	
(1) ハルジマン (北海26号)	113
(2) バッカス (SB-O-9504)	114
7. メドーフェスク	
(1) ハルサカエ (北海12号)	114
(2) プラデール (PRADEL)	115
8. ペレニアルライグラス	
(1) ポコロ (天北2号)	116

付表

○北海道登録品種一覧	118
○主要作物の作付面積の推移	178
○種苗生産の流れと種苗生産量の推移	190

I 普通作物

1. 水稻

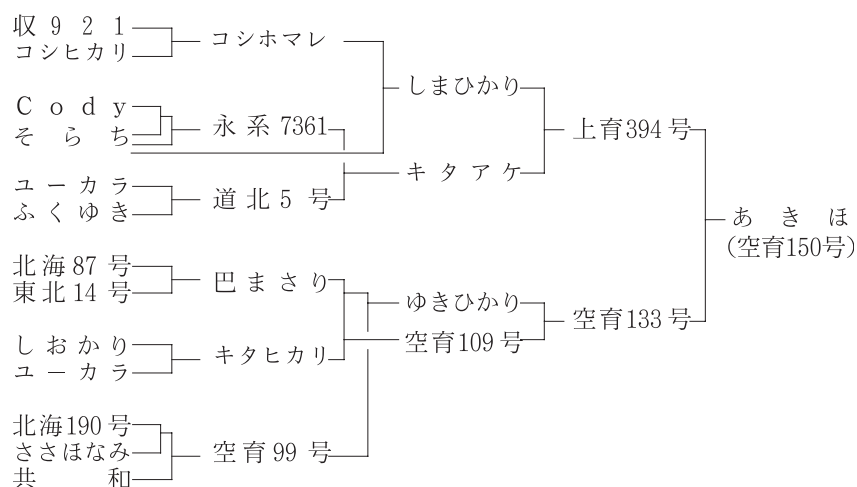
< 梗 種 >

(1) あきほ (系統名 空育150号) 1996年

登録番号：(北海道) 水稻北海道うるち第46号
(種苗法) 第7646号

セールスポイント

耐冷，良質，良食味で，割粃が少ない。



特性概要

1. 稈長はほぼ「ゆきひかり」および「きらら397」並で，穂長は「ゆきひかり」並ないしやや短い。穂数は「ゆきひかり」より多く，草型は穂数型である。ふ先に稀に短芒を有し，穎色及びふ先色は黄白で，粒着密度は両品種並の中である。割粃の発生は「ゆきひかり」並に少ない。
2. 出穂期は，ほぼ「ゆきひかり」並の中生の早である。成熟期は，「ゆきひかり」並の中生の早である。
3. 障害型耐冷性は「ゆきひかり」並の強である。いもち病真性抵抗性は $Pi-a, i$ と推定され，いもち病耐病性は葉いもち，穂いもちとも「きらら397」並のやや強である。耐倒伏性は「ゆきひかり」並の中である。収量は，「ゆきひかり」を若干上回り「きらら397」と同程度である。

来歴 本品種は，1988年に北海道立中央農業試験場において，良質，良食味，耐冷，耐病性品種の育成を目標として，「上育394号」を母，「空育133号」を父として人工交配を行い，その雑種後代から育成された。1991年に「空系91380」，1993年より「空育150号」の系統名で各種試験を行い，1996年に優良品種となった。なお，本品種の系譜は次のとおりである。

4. 玄米の粒形は「きらら397」並のやや長，粒大は中である。粒厚は「きらら397」より薄く，玄米品質は「きらら397」並の上下上である。白米のアミロース含有率，蛋白含有率は両品種並で，食味は総合的にみて「きらら397」並である。

栽培適地と奨励態度

上川（士別以南），留萌中南部，空知，石狩，後志，日高，胆振，渡島，檜山及びこれに準ずる地帯で「ゆきひかり」の大半及び「きらら397」の一部に置き換えて栽培する。

栽培上の注意事項は，耐倒伏性が「ゆきひかり」並で不十分なため「北海道施肥標準」を守る。また，「ゆきひかり」，「きらら397」に比べ，乾物重/草丈が小さくなる場合があるので，徒長苗にならないように，育苗基準を遵守し育苗管理に留意する。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
中 央 農 試	あ き ほ	8. 7	9.22	59	16.7	473	474	106	22.3	1下	1993~1995
	ゆきひかり	8. 5	9.22	55	16.8	441	448	100	21.1	2上	
	きらら397	8. 9	9.25	59	16.2	528	454	101	23.0	2中上	

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
上 川 農 試	あ き ほ	7.31	9.18	66	16.7	685	521	103	20.6	1 下	1993～1995
	ゆきひかり	8. 4	9.22	69	17.4	619	508	100	19.6	1中下	
	きらら397	8. 1	9.20	62	15.8	684	517	102	21.6	1中下	
道 南 農 試	あ き ほ	7.31	9.14	69	17.1	587	464	92	21.3	1	1994～1995
	ゆきひかり	8. 2	9.20	73	17.2	529	507	100	20.5	1下	
	きらら397	7.31	9.17	68	16.2	615	502	99	22.1	1	
遺伝資源センター	あ き ほ	8. 4	9.20	59	16.9	576	392	103	21.9	3上	1993～1995
	ゆきひかり	8. 2	9.21	56	16.1	558	382	100	21.3	3中上	
	きらら397	8. 6	9.24	58	16.5	589	376	98	21.4	3中上	
北 海 道 農 試	あ き ほ	8. 8	9.25	71	17.5	547	553	106	21.9	2 上	1993～1995
	ゆきひかり	8. 9	9.26	73	18.1	532	521	100	20.8	2	
	きらら397	8. 8	9.26	67	16.4	605	473	87	22.2	1下	

注) 中苗標準施肥栽培の成績。ただし、北海道農試は成苗標準施肥栽培の成績。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-5 (1996).
2) 佐々木忠雄 等, 北海道立農試集報, 72, 69-83 (1997).

(2) ほしのゆめ (系統名 上育418号) 1996年

登録番号: (北海道) 水稲北海道うるち第47号
(農水省) 水稲農林340号
(種苗法) 第7645号

セールスポイント

食味が良く、障害型耐冷性が強い。

来歴 本品種は、1998年に北海道立上川農業試験場において、良食味・耐冷性品種の育成を目標に、「あきたこまち」と「道北48号」のF₁を母とし、「きらら397」を父として人工交配を行った雑種後代から育成されたもので、1991年より「上系 91340」、1993年より「上育 418号」の系統名で各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

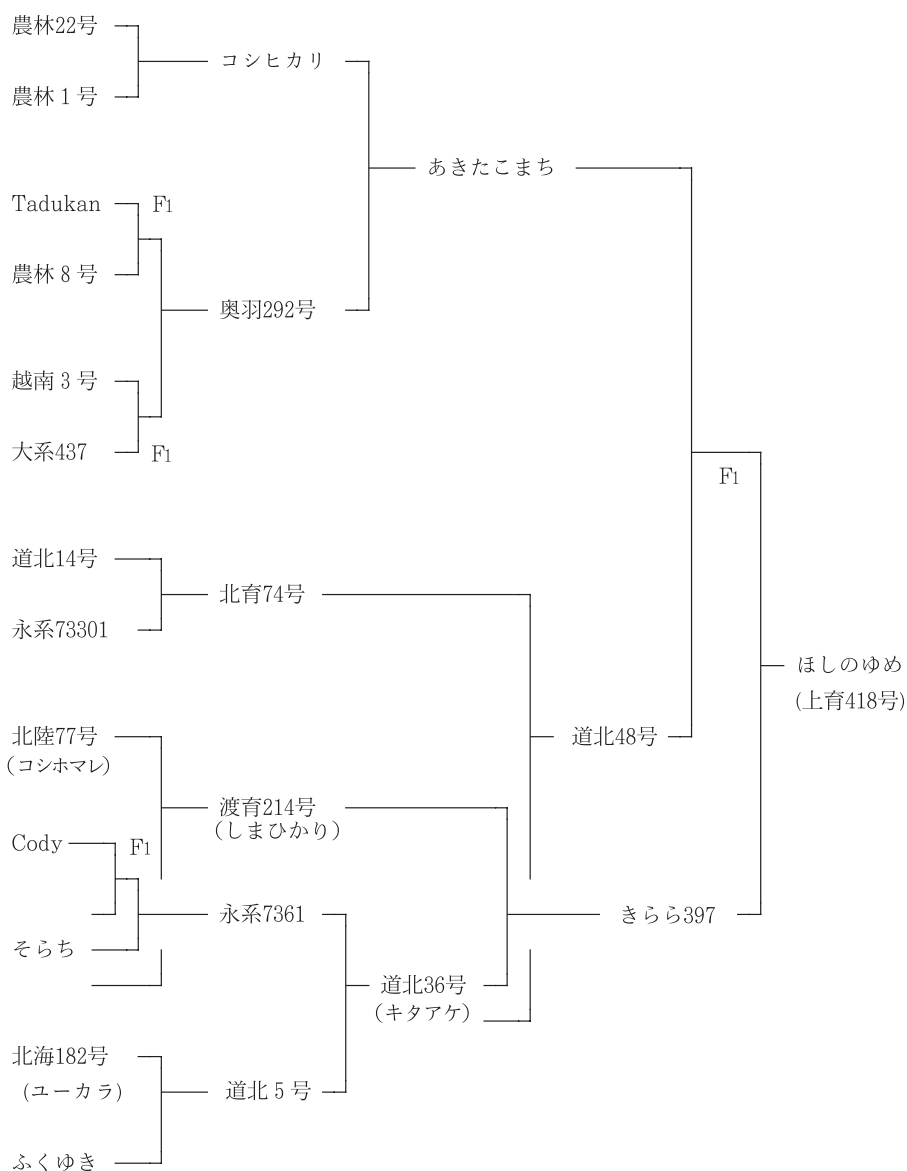
1. 稈長は「ゆきひかり」より短く、「きらら 397」より長い。穂長は「ゆきひかり」より短く、「きらら 397」よりやや短い。穂数は「ゆきひかり」、「きらら 397」より多く、草型は穂数型である。
2. ふ先に少短芒を生じ、穎色、ふ先色は黄白である。粒着密度は中、脱粒性は難で、割粃は「ゆきひかり」、「きらら 397」より多い。
3. 出穂期は「ゆきひかり」より早く、「きらら 397」

並の中生の早、成熟期は「ゆきひかり」、「きらら397」よりやや早い中生の早である。

4. 障害型耐冷性は「ゆきひかり」よりやや強い強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は*Pia, i, k*と推定され、葉、穂いもち圃場抵抗性ともに「きらら 397」、「ゆきひかり」に劣り、それぞれ弱、やや弱である。
5. 玄米収量は「きらら397」にやや劣る。
6. 梗種で、玄米の粒長はやや長、玄米千粒重は「ゆきひかり」より重く、「きらら 397」より軽い。玄米品質は上下で、食味は「ゆきひかり」、「きらら 397」より安定して良好である。

栽培適地と奨励態度

上川(土別以南)、留萌(中南部)、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内に「きらら397」の一部および「ゆきひかり」の一部に換えて栽培する。栽培上の注意は、耐倒伏性が不十分なので、「北海道施肥標準」を守り、多窒素栽培は厳に慎む。中生種としては、いもち病抵抗性が不十分なので、発生予察に留意し適正防除を徹底する。割粃の発生が多いので、斑点米や紅変米などの被害粒発生による品質低下を招かぬよう病害虫の適正な防除に努めるとともに、綿密な圃場管理や適期の刈取りを励行する。種子生産にあたっては、脱ぶ粒が発生しやすいので、種子の取扱い注意事項に十分留意する。



試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
上 川 農 試	ほしのゆめ	8. 1	9.17	65	15.1	762	506	98	20.6	1下	1993~1995
	きらら397	8. 1	9.20	62	15.8	684	517	100	21.6	1中下	
	ゆきひかり	8. 4	9.22	69	17.4	619	508	98	19.6	1中下	
遺伝資源センター	ほしのゆめ	8. 6	9.20	61	16.1	618	392	104	21.5	3上	1993~1995
	きらら397	8. 6	9.24	58	16.5	589	376	100	22.2	3中上	
	ゆきひかり	8. 2	9.21	56	16.1	558	382	102	20.5	3中上	
中 央 農 試	ほしのゆめ	8. 8	9.23	59	15.8	504	464	102	22.5	1下	1993~1995
	きらら397	8. 9	9.25	59	16.2	528	454	100	23.0	2中上	
	ゆきひかり	8. 5	9.22	55	16.8	441	448	99	21.1	2上	
道 南 農 試	ほしのゆめ	8. 6	9.14	66	15.8	598	481	96	21.3	1	1993~1995
	きらら397	8. 6	9.17	63	15.8	610	502	100	22.1	1	
	ゆきひかり	8. 8	9.20	68	17.1	524	507	101	20.5	1下	

注1) 中苗標準施肥栽培の成績。

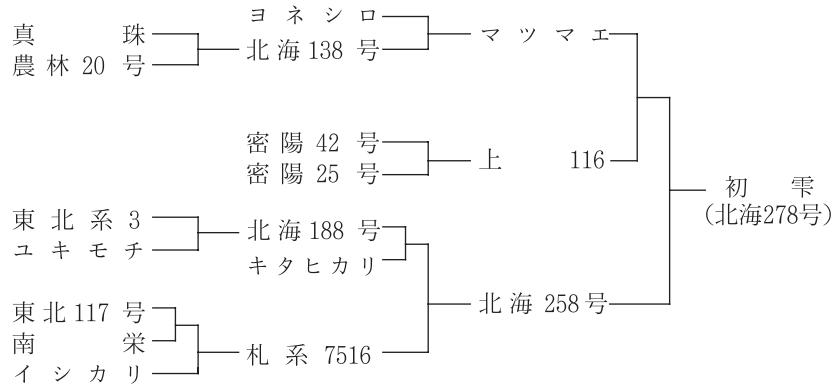
注2) 道南農試の成熟期, 玄米重, 左比, 千粒重, 等級は1994, 1995年の平均値。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 5-10 (1996).
2) 新橋 登 等, 北海道立農試集報. 84, 1-12 (2003).

- (3) 初雫（系統名 北海278号）1998年
 登録番号：（北海道）水稲北海道うち第48号
 （農水省）水稲農林354号
 （種苗法）第7815号

セールスポイント

耐冷性が極強で、多収、大粒の酒造好適米である。



特性概要

1. 稈長は「きらら397」より長く、穂数は「きらら397」より少なく、草型は中間型に属する。穂長は「きらら397」と同程度で、粒着密度はやや密である。籾は、稀に短芒を生じ、ふ先色、穎色とも黄白である。
2. 出穂期は「きらら397」と同程度、成熟期は3日程度早い、中生の早である。成熟期における止葉の葉身は立ち、草姿は良好である。
3. 障害型耐冷性は極強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は*Pi-k*と推定され、葉いもち圃場抵抗性はやや強、穂いもち圃場抵抗性は中である。耐倒伏性は中～やや強である。収量性は「きらら397」より高い。
4. 玄米の外観品質は、腹白、乳白および心白の発現は少、色沢はやや濃く中上程度である。玄米の粒厚は「きらら397」より厚く、千粒重は同品種より重く、やや大粒である。
5. カリ含有率は「きらら397」、「ゆきひかり」よりやや高く、鉄含有率は同程度である。精米時の碎米率は

来歴 本品種は、1987年に農林水産省北海道農業試験場において、耐冷性・多収品種の育成を目標として、「マツマエ」と「上116」の雑種第1代を母、「北海258号」を父として、人工交配した雑種後代から育成された。1992年より「札幌系92104」、1994年より「北海278号」の系統名で各種試験を行い、1998年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

「きらら397」と同程度である。白米の吸水速度はやや遅く、消化性はやや劣るが、フォルモール窒素は「きらら397」より低い。製麴性はさばけが良く、はぜ込みも良好であり、「きらら397」に優る。製成酒の酸度、アミノ酸度は低く、製成酒の官能評価は淡麗で辛口の傾向を示し良好である。

栽培適地と奨励態度

上川（土別以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島及び松山支庁管内の低蛋白米生産が可能な良地帯において、酒造原料米として「きらら397」の一部および「ゆきひかり」の一部に替えて栽培する。

栽培上の注意は、苗が徒長しやすいので育苗管理に留意し、酒造品質の低下を防ぐために多窒素栽培を避ける。割籾の発生が多いので、斑点米や紅変米などの被害粒発生による品質低下を招かないよう病虫害の適正な防除に努める。胴割米が発生しやすいので、適期の刈取りを励行するとともに収穫物の乾燥調整には十分留意する。

試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a当たり		玄米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
北海道農試	初雫	8.5	9.23	73	17.0	451	586	108	24.1	2中上	1994~1997
	きらら397	8.6	9.26	69	16.2	540	545	100	22.6	1中下	
	ゆきひかり	8.5	9.22	73	17.8	482	564	103	21.2	1下	
中央農試	初雫	8.4	9.24	62	15.8	389	493	98	25.4	2中	1994~1997
	きらら397	8.7	9.26	62	16.4	497	501	100	23.6	1中下	
	ゆきひかり	8.3	9.22	57	16.8	415	471	94	21.7	1中下	
上川農試	初雫	7.30	9.17	71	16.4	570	604	109	23.0	2中上	1994~1997
	きらら397	7.29	9.20	64	16.3	700	553	100	21.6	1下	
	ゆきひかり	8.2	9.22	73	17.4	620	542	98	19.6	1下	

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
道 南 農 試	初 雫	8. 3	9.17	73	16.3	510	547	104	23.5	2中	1994～1997
	きらら397	8. 2	9.23	68	16.2	609	526	100	22.2	1中下	
	ゆきひかり	8. 4	9.26	61	17.2	554	539	102	20.7	2上	
遺伝資源センター	初 雫	7.31	9.17	64	16.1	499	507	95	23.8	2下	1994～1997
	きらら397	8. 1	9.20	63	16.7	633	533	100	21.8	2中上	
	ゆきひかり	8. 1	9.17	61	16.7	560	499	94	21.6	2上	

注) 中苗標準施肥栽培の成績。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-4 (1998).
2) 荒木 均 等, 北海道農研研報, 174,83-97(2002).

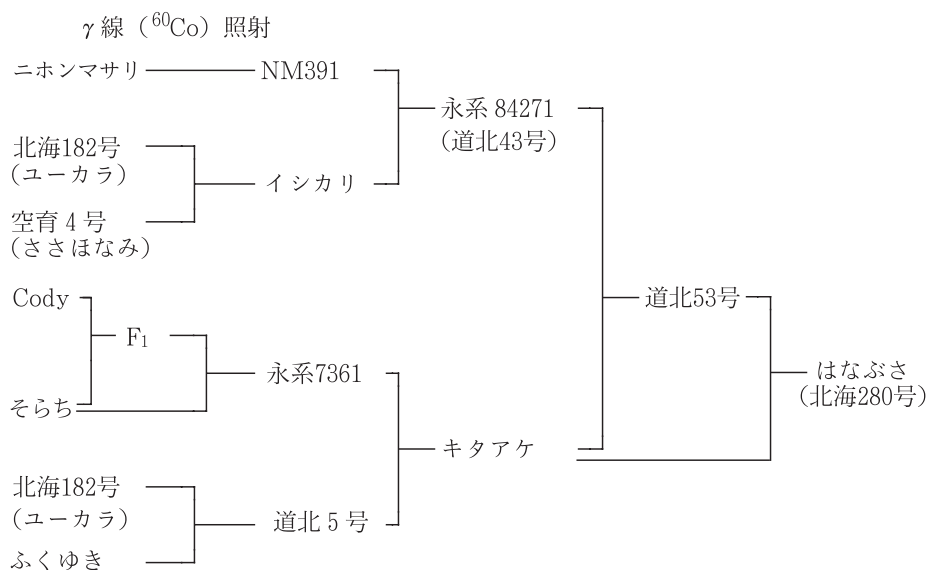
(4) はなぶさ (系統名 北海280号) 1998年

登録番号: (北海道) 水稻北海道うち第49号
(農水省) 水稻農林355号
(種苗法) 第9785号

来歴 本品種は, 1989年に農林水産省北海道農業試験場において, 「道北53号」を母, 「キタアケ」を父として人工交配を行い育成したもので, 1993年より「札系93148」, 1995年から「北海280号」の系統名で各種の試験を行い, 1998年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

低アミロース米で炊飯米の粘りが強く, 良食味である。
また, 米菓等での加工適性が優れる。



特性概要

1. 稈長, 穂長とも「彩」, 「きらら397」と同程度で, 穂数は両品種より少なく, 草型は偏穂数型である。
2. 粒着密度は中であり, 籾は稀に短芒を生じ, 穎色およびふ先色は黄白, 割籾の発生は「きらら397」と同程度か少なく, 「彩」よりやや多い。
3. 出穂期および成熟期はともに中生の早に属する。
4. 障害型耐冷性はやや強～強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は *Pia.k* と推定され, いもち病の圃場抵抗性は葉いもちはやや強, 穂いもちは中, 耐倒伏性は中～やや強である。

5. 玄米収量は「きらら397」よりやや劣るが, 「彩」に比べるとやや優る。
6. 粳種で粒形, 粒大, 粒重はともに中。腹白, 心白, 乳白等の発生は少ないが, 色沢が濃く, 光沢が中程度で, 玄米品質は中上。食味は「彩」に比べ白度, つやが劣るが, 総合評価は同程度である。

栽培適地と奨励態度

上川 (士別以南), 留萌 (中南部), 空知, 石狩, 後志, 日高, 胆振, 渡島, 檜山支庁管内およびこれに準ずる良地帯に適応する。これらの地帯の「彩」のすべて, 「き

らら397」の一部に替えて栽培する。栽培上の注意は、初期生育が劣るので、健苗育成、適正植え付け本数の確保などにより生育の促進を図る。適期移植により出穂を

早め、登熟温度を確保する。紅変米の発生がやや多いので適正防除に努めるとともに適期刈取りを励行する。

試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a当たり		玄米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
北海道農試	はなぶさ	8.9	9.28	70	16.7	465	535	110	22.4	2上	1995~1997
	彩	8.14	10.7	69	16.5	469	488	100	23.1	2中	
	きらら397	8.8	10.1	69	16.3	488	524	107	22.7	1下	
上川農試	はなぶさ	7.30	9.20	69	16.2	695	543	116	20.1	2上	1995~1997
	彩	8.5	9.27	71	15.7	643	469	100	21.1	2下	
	きらら397	7.30	9.24	67	16.7	714	593	126	21.4	2上	
中央農試	はなぶさ	8.9	9.30	61	16.1	460	463	120	23.0	2中	1995~1997
	彩	8.14	10.5	61	16.9	490	387	100	23.3	3中	
	きらら397	8.10	10.2	63	16.5	516	499	129	23.6	1下	
遺伝資源センター	はなぶさ	8.3	9.20	65	16.1	629	488	108	21.6	2下	1995~1997
	彩	8.9	9.26	65	16.7	626	451	100	22.2	3中	
	きらら397	8.4	9.23	64	16.7	639	511	113	22.2	2中	
道南農試	はなぶさ	8.5	9.27	71	15.9	545	512	104	21.6	2上	1995~1997
	彩	8.9	10.3	70	16.5	553	494	100	22.9	2下	
	きらら397	8.4	9.29	68	16.0	601	521	105	22.4	1下	

注) 中苗標準施肥栽培の成績。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 5-8 (1998).
2) 荒木 均 等, 北海道農業研究センター研究報告, 174, 69-81 (2002).

(5) 吟風 (系統名 空育158号) 2000年

登録番号: (北海道) 水稲北海道うるち第50号
(種苗法) 第9789号

セールスポイント

いもち病に強く、大粒で心白発現良好な酒造好適米である。

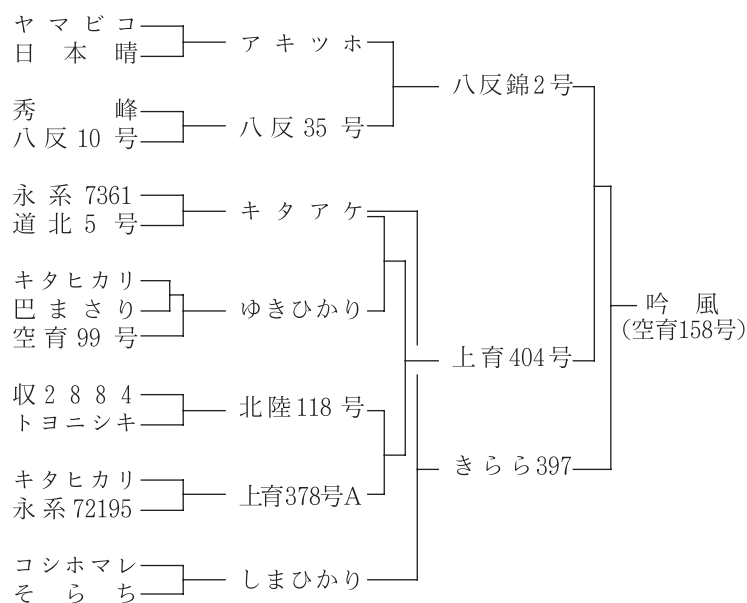
来歴 本品種は、1990年に北海道立中央農業試験場において、道内栽培向酒造好適品種の育成を目標に、「八反錦2号」と「上育404号」の雑種第1代を母、「きらら397」を父として、人工交配した雑種後代から育成された。1994年に「空系94362」、1996年より「空育158号」の系統名で各種試験を行い、2000年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 稈長は「きらら397」, 「初雫」並, 穂長は「初雫」より長く「きらら397」並, 穂数は「きらら397」より少なく「初雫」並で, 草型は中間型である。ふ色およびふ先色は黄白で, 稀に短芒を有する。割粃の発生は

両品種より少ない。

- 出穂期は「きらら397」より早い中生の早, 成熟期は「初雫」より遅い中生の早である。
- 障害型耐冷性は「初雫」に劣り, 「きらら397」に比べやや劣るやや強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は*Pi-ik*と推定され, いもち病の圃場抵抗性は, 両品種に優り, 葉いもちが強で, 穂いもちはやや強である。耐倒伏性は両品種に優るやや強~強である。収量は「初雫」「きらら397」並である。
- 玄米の粒形は中, 大きさは「初雫」より大きいやや大である。千粒重は「きらら397」より重く, 「初雫」並で, 心白を多く発現し, 腹白の発生がやや多く, 玄米品質は「きらら397」に劣り「初雫」と同じ上下である。
- 白米の蛋白質含有率は「きらら397」「初雫」よりやや高い。カリ含有率は「初雫」より低く, 「きらら397」並である。酒造適性は, 高度精米時の碎米率がやや低く, 白米の吸水速度が速く, 消化性が良い。酒母やもろみにおける溶解性が良く, 原料処理, 蒸米および製麴作業性が良好である。



栽培適地と奨励態度

留萌南部，上川中央部，空知中北部の低タンパク米安定生産が可能な良地帯およびそれに準ずる良地帯において，「きらら397」の一部およびその他の品種の一部に替えて栽培する。

栽培上の注意は，耐冷性が劣るので，幼穂形成期から

冷害危険期までの深水灌漑を励行する。多窒素栽培は，冷温による不稔発生を助長し，酒造用原料としての品質を低下させるので，施肥標準を守る。初期分けつが発生が劣るので，疎植を避け栽培基準の栽植密度を守り，側条施肥などの初期生育を促進する栽培法を心がける。

試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a当たり		玄米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
中央農試	吟風	8.5	9.28	61	16.6	435	543	107	25.1	2上	1996~1999
	きらら397	8.7	9.29	62	16.6	540	507	100	23.4	1中下	
	初雫	8.5	9.26	64	15.9	446	519	102	25.0	2上	
上川農試	吟風	7.27	9.15	65	16.7	583	602	99	24.1	3上	1996~1999
	きらら397	7.29	9.19	64	16.6	727	608	100	22.1	2上	
	初雫	7.28	9.16	69	16.3	564	643	106	23.7	2中	
道南農試	吟風	8.1	9.20	67	16.5	431	520	98	24.1	2上	1996~1999
	きらら397	8.2	9.24	66	16.2	596	530	100	22.3	1中下	
	初雫	8.3	9.18	70	16.3	485	541	102	24.0	2中下	
遺伝資源センター	吟風	8.1	9.20	64	16.7	543	589	102	24.5	1	1996~1998
	きらら397	8.2	9.22	64	16.6	709	574	100	22.4	1	
	初雫	8.1	9.18	65	16.1	537	574	100	24.4	2上	
北海道農試	吟風	8.3	9.22	67	16.8	413	573	108	25.1	—	1996~1999
	きらら397	8.4	9.24	66	16.3	498	528	100	22.9	1中下	
	初雫	8.4	9.21	70	17.0	421	559	106	24.7	—	

注1) 中苗標準施肥栽培の成績。

注2) 北海道農試の千粒重は1996年~1998年の3カ年の平均値。

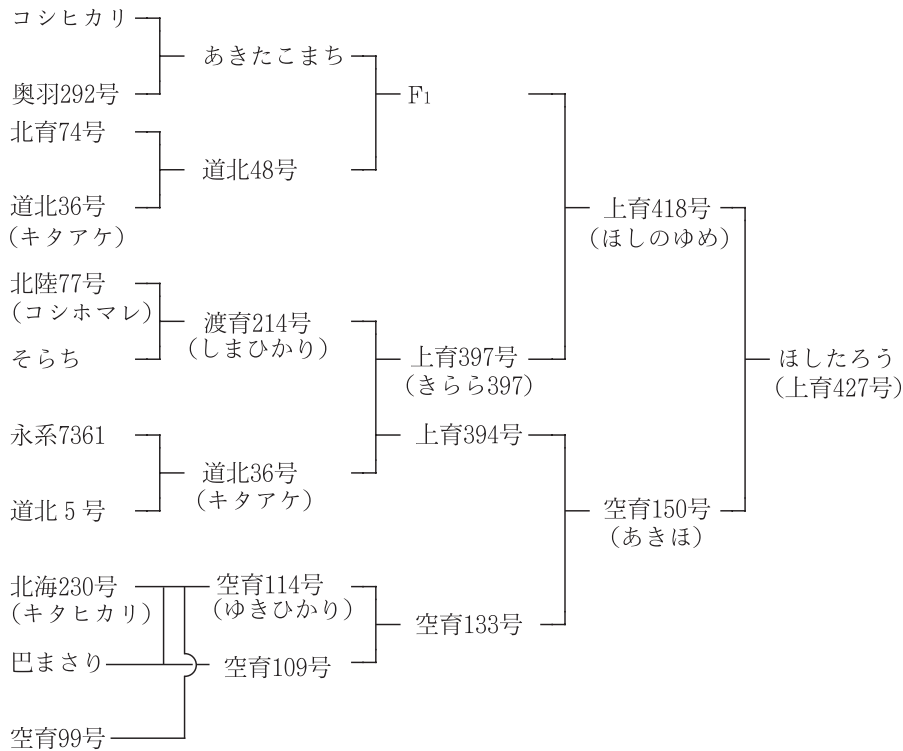
注3) 等級は上川農試が1998年を除く3カ年平均，遺伝資源センターは1998年の値。

- 参照 1) 北海道農政部編，平成12年普及奨励ならびに指導参考事項，6-9 (2000).
2) 丹野久等，北海道立農試集報，82, 1-10(2002).

- (6) ほしたろう (系統名 上育427号) 2000年
 登録番号：(北海道) 水稲北海道うるち第51号
 (農水省) 水稲農林368号
 (種苗法) 第11231号

セールスポイント

早生，やや多収で，「ほしのゆめ」に近い良食味米である。



来歴 本品種は，1993年に北海道立上川農業試験場において，「上育418号」(ほしのゆめ)を母，「空育150号」(あきほ)を父として人工交配を行い育成したもので，1997年から「上育427号」の系統名で各種の試験を行い，2000年に優良品種となった。なお，本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 稈長は「あきほ」，「きらら397」並で，「ほしのゆめ」よりやや短い。穂長は「あきほ」，「きらら397」よりやや短く，「ほしのゆめ」並である。穂数は「あきほ」，「きらら397」および「ほしのゆめ」より多く，草型は穂数型である。
2. ふ先に稀に短芒を生じ，穎色，ふ先色は黄白，粒着密度は中，割粃の発生は「きらら397」，「あきほ」より多いが，「ほしのゆめ」よりは少ない。
3. 出穂期は，ほぼ「あきほ」，「きらら397」，「ほしのゆめ」並の中生の早で，成熟期は「きらら397」よりも早く「あきほ」並の早生の晩である。
4. 障害型冷害に対する抵抗性はやや強～強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は *Pia, i, k* と推定され，いもち病圃場抵抗性は葉いもちはやや弱，穂いもちはやや弱～中，耐倒伏性はやや弱～中である。
5. 玄米収量は「あきほ」，「ほしのゆめ」に優り，「きらら397」にはやや劣る。

6. 食味は，「あきほ」に明らかに優り，「きらら397」に比べてもやや優り，ほぼ「ほしのゆめ」に近い良食味である。

栽培適地と奨励態度

上川 (風連以南)，留萌 (中南部)，空知，石狩，後志，日高，胆振，渡島および檜山各支庁管内の「きらら397」と「あきほ」の一部に置き換えて栽培する。栽培上の注意は，割粃の発生が多いので，斑点米や紅変米などの被害粒発生による品質低下を招かぬよう病害虫防除を適正に行うとともに，適期刈取りを励行する。種子生産に際しても，割粃が多い場合は脱ぶ粒が発生しやすいので，種子の取扱い注意事項に十分留意する。いもち病抵抗性が不十分なので，発生予察に留意し，適正防除を徹底する。耐倒伏性が不十分なので，「北海道施肥基準」を守り，多窒素栽培は厳に慎む。「あきほ」に比べて障害型耐冷性がやや劣るので，深水灌漑を励行する。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
上 川 農 試	ほしたろう	7.28	9.13	65	16.2	801	59.0	103	21.9	2上	1997~1999
	あ き ほ	7.27	9.14	66	17.4	710	57.3	100	21.4	1中下	
	きらら397	7.28	9.18	64	16.5	742	61.4	107	22.1	2上	
	ほしのゆめ	7.28	9.15	66	16.1	778	57.9	101	21.5	2上	
中 央 農 試	ほしたろう	8. 3	9.22	63	16.1	622	50.8	102	23.3	1中下	1997~1999
	あ き ほ	8. 1	9.21	63	17.0	540	49.7	100	22.5	2上	
	きらら397	8. 3	9.27	62	16.9	565	52.4	105	23.4	1下	
	ほしのゆめ	8. 2	9.23	65	15.9	579	48.7	98	22.6	2上	
遺伝資源センター	ほしたろう	8. 2	9.18	64	15.7	738	50.2	98	23.0	1中下	1997~1998
	あ き ほ	8. 1	9.18	65	16.4	665	51.0	100	22.5	1下	
	きらら397	8. 2	9.21	63	16.5	707	56.3	110	22.8	1中下	
	ほしのゆめ	8. 1	9.18	66	15.9	686	49.4	97	22.1	1中下	
道 南 農 試	ほしたろう	7.31	9.19	67	16.3	555	52.0	107	22.2	1中下	1997~1999
	あ き ほ	7.30	9.18	68	17.0	539	48.6	100	21.8	1中下	
	きらら397	8. 1	9.22	65	16.2	596	52.5	108	22.4	1中下	
	ほしのゆめ	7.31	9.18	70	15.8	625	49.6	102	21.5	1下	
北 海 道 農 試	ほしたろう	8. 2	9.17	67	16.2	537	54.9	100	23.1	1中	1997~1999
	あ き ほ	8. 1	9.17	68	17.1	497	54.7	100	22.8	1中	
	きらら397	8. 2	9.20	65	16.4	503	53.0	97	23.4	1中下	
	ほしのゆめ	8. 2	9.20	69	15.7	502	53.6	98	22.9	1中下	

注) 中苗標準施肥栽培の成績。中央農試は1997、1998年が成苗ポット、1999年は紙筒中苗。

参照 1) 北海道農政部編，平成12年普及奨励ならびに指導参考事項，1-5 (2000)。

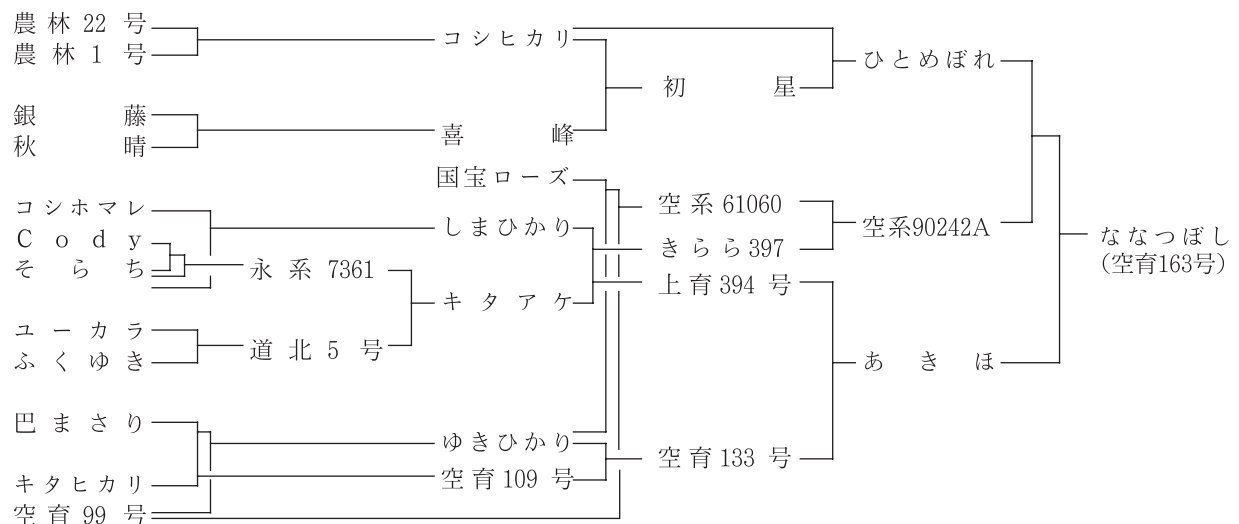
(7) ななつぼし (系統名 空育163号) 2001年

登録番号：(北海道) 水稲北海道うるち第52号
(種苗法) 第12272号

セールスポイント

良食味で，耐冷性が強く，収量性がやや高い。

来歴 本品種は，1993年に北海道立中央農業試験場において，良質良食味品種の育成を目標に，「ひとめぼれ」と「空系90242A」の雑種第1代を母，「空育150号」（あきほ）を父として行われた人工交配の組合せから，薬培養法により育成された。1995年に「空系95263」，1998年より「空育163号」の系統名で各種試験を行い，2001年に優良品種となった。なお，本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 稈長は「きらら397」「ほしのゆめ」よりやや長く、穂長は「ほしのゆめ」より長く「きらら397」並、穂数は両品種より少なく、草型は偏穂数型で、穂揃いが両品種よりやや劣る。ふ色及びふ先色は黄白で、ふ先に短芒を少程度有する。割刈の発生は「きらら397」より多く「ほしのゆめ」より少ない。
2. 出穂期、成熟期は「ほしのゆめ」よりやや遅く「きらら397」並の中生の早である。
3. 障害型耐冷性は「きらら397」に優る強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は*Pi-a, i*と推定され、いもち病の圃場抵抗性は、葉いもちが「ほしのゆめ」に優り「きらら397」と同じやや弱で、穂いもちは「きらら397」より劣り「ほしのゆめ」と同じやや弱である。耐倒伏性は、両品種に劣るやや弱である。収量は「ほしのゆめ」に優り、「きらら397」並からやや優る。
4. 玄米の粒形は「きらら397」並のやや長、大きさは「きらら397」より小さく「ほしのゆめ」よりやや小さい中である。粒厚は「ほしのゆめ」より厚く、「きらら397」に近い。千粒重は「きらら397」より軽く、「ほしのゆめ」よりやや軽い。腹白、心白の発生は両

品種並である。玄米白度は両品種にやや劣るものの、白米白度は「きらら397」にやや優り「ほしのゆめ」にやや劣る。玄米品質は「きらら397」「ほしのゆめ」並の上下である。

5. 白米のアミロース含有率、蛋白含有率は両品種よりやや低い。食味は「きらら397」に優り、「ほしのゆめ」並からわずかに優る。

栽培適地と奨励態度

上川（中南部）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、胆振、日高、渡島及び檜山各支庁管内において、「きらら397」の一部に替えて栽培する。

栽培上の注意は、耐倒伏性が劣るので施肥標準を守る。いもち病抵抗性が不十分なので発生予察に十分注意し、適期防除に努める。割刈がやや多いので、斑点米などの被害粒による品質低下を生じさせないように、病害虫防除を適正に行うとともに、適期刈り取りを励行する。初期分けつが発生がやや劣るので、栽培基準の栽植密度を守り、成苗や側条施肥などの初期生育を促進する栽培法を心がける。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
中 央 農 試	ななつぼし	8. 2	9.18	68	16.4	563	540	102	22.4	2上	1998～2000
	きらら397	8. 3	9.20	62	16.6	586	529	100	23.5	1中上	
	ほしのゆめ	8. 2	9.16	66	15.5	628	509	96	22.5	1下	
上 川 農 試	ななつぼし	7.28	9.13	70	16.7	704	652	106	21.6	1中下	1998～2000
	きらら397	7.27	9.13	65	16.3	747	616	100	22.6	1中下	
	ほしのゆめ	7.26	9.10	67	15.7	765	587	95	22.0	1下	
道 南 農 試	ななつぼし	7.31	9.14	72	16.7	579	545	102	21.4	1	1998～2000
	きらら397	7.30	9.16	67	15.8	604	534	100	22.4	1	
	ほしのゆめ	7.29	9.12	72	15.6	659	503	94	21.3	2上	
北 海 道 農 試	ななつぼし	8. 2	9.16	74	16.6	501	621	115	22.4	1中下	1998～2000
	きらら397	8. 2	9.16	66	16.2	510	542	100	23.0	1	
	ほしのゆめ	8. 1	9.14	69	15.7	538	549	101	22.5	1下	

注) 中苗標準施肥栽培の成績。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3 (2001).
2) 吉村 徹 等, 北海道立農試集報, 83, 1-10 (2002).

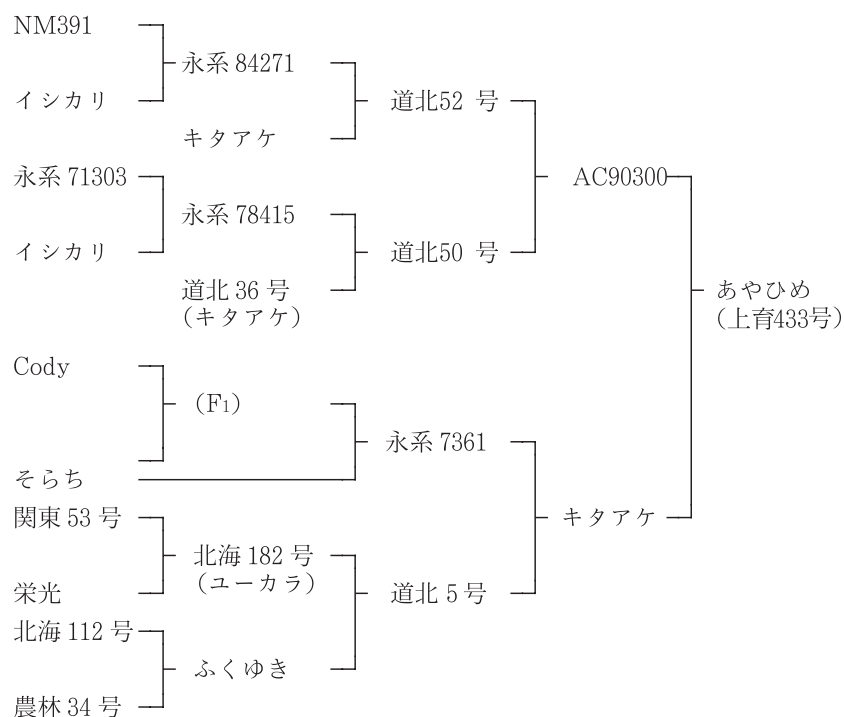
- (8) あやひめ (系統名 上育433号) 2001年
登録番号: (北海道) 水稲北海道うるち第53号
(農水省) 水稲農林376号
(種苗法) 第 号

炊飯することにより、食味が向上する。

来歴 本品種は、1992年に北海道立上川農業試験場において、「AC90300」を母、「キタアケ」を父として人工交配を行い育成したもので、1998年から「上育433号」の系統名で各種の試験を行い、2001年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

低アミロース米で炊飯米の粘りが強く、粳米に混ぜて



特性概要

1. 稈長は「はなぶさ」よりやや長く、穂長は「はなぶさ」よりやや短く、穂数は「はなぶさ」より少なく、草型は偏穂数型である。
2. ふ先に稀に極短芒を生じ、穎色、ふ先色は黄白、粒着密度はやや密、割れ粳の発生は「はなぶさ」より多いが「ほしのゆめ」よりは少ない。
3. 出穂期、成熟期は「はなぶさ」より1日程度早い中生の早である。
4. 障害型冷害に対する抵抗性はやや強～強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は*Pia,k*と推定され、いもち病圃場抵抗性は葉いもちは強、穂いもちは中、耐倒伏性は中～やや強である。
5. 玄米収量は「はなぶさ」よりやや優る。

6. アミロース含有率が「はなぶさ」より1%程度低い低アミロース品種で、玄米白度、白米白度が「はなぶさ」より優り、食味が「はなぶさ」より明らかに優る。

栽培適地と奨励態度

上川（風連以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内の「はなぶさ」に替えて栽培する。栽培上の注意は割れ粳の発生が多いので、斑点米や紅変米などの被害粒発生による品質低下を招かぬよう病害虫の適正な防除に努めるとともに、適期刈取りを励行する。稈長がやや長く、耐倒伏性は十分でないので、多肥栽培はさける。粒重が軽いので、登熟期の適正な水管理に努める。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
上 川 農 試	あやひめ	7.26	9.10	69	15.7	687	583	113	20.4	1下	1998～2000
	はなぶさ	7.27	9.12	67	16.3	725	514	100	21.6	2下	
	彩	8. 3	9.15	67	16.3	706	566	110	22.5	2下	
	ほしのゆめ	7.26	9.10	67	15.7	765	587	114	22.0	2上	
中 央 農 試	あやひめ	8. 2	9.16	66	15.0	520	476	99	20.9	1中	1998～2000
	はなぶさ	8. 2	9.17	62	16.0	508	483	100	22.8	2中上	
	彩	8. 8	9.22	65	16.5	574	503	104	22.8	2上	
	ほしのゆめ	8. 2	9.16	66	15.5	628	509	105	22.5	1下	
道 南 農 試	あやひめ	7.29	9.12	70	14.8	520	454	96	20.0	1中下	1998～2000
	はなぶさ	7. 3	9.13	69	16.0	526	473	100	21.4	2中上	
	彩	8. 4	9.17	70	16.1	594	523	111	22.5	1下	
	ほしのゆめ	7.29	9.13	72	15.6	659	503	106	21.3	2上	

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
北 海 道 農 試	あやひめ	8. 1	9.15	73	16.7	512	569	108	20.8	1中下	1998~2000
	はなぶさ	8. 1	9.14	69	16.7	509	525	100	22.1	1下	
	彩	8. 7	9.21	71	16.3	533	573	109	23.3	1中下	
	ほしのゆめ	8. 1	9.14	69	15.7	538	549	105	22.5	1下	

注1) 中苗標準施肥栽培の成績。1998年中央農試は成苗ポット。

参照 1) 北海道農政部編，平成13年普及奨励ならびに指導参考事項，4-6(2001)。

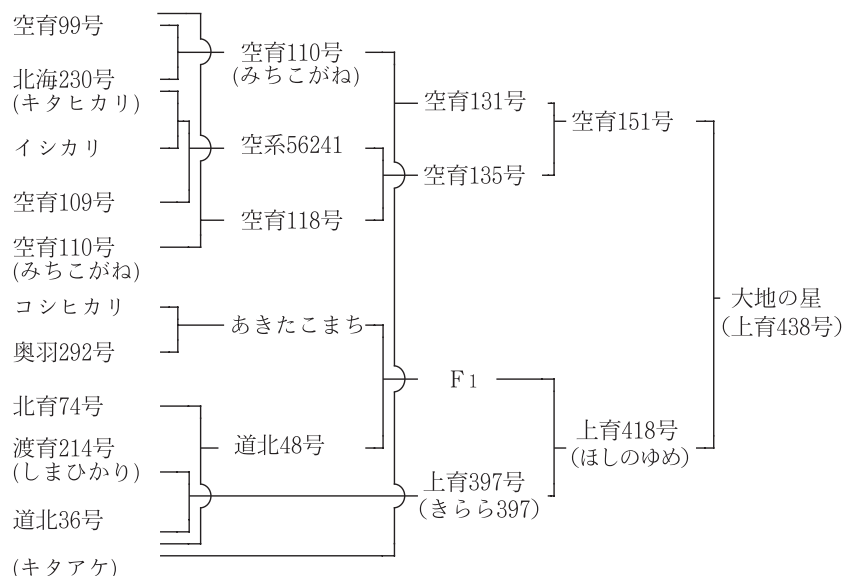
(9) 大地の星 (系統名 上育438号) 2003年

登録番号：(北海道) 水稲北海道うるち第54号
(農水省) 水稲農林391号
(種苗法) 第 号

来歴 本品種は，1994年に北海道立上川農業試験場において，早生・良食味品種の育成を目標に，「空育151号」を母，「上育418号」(ほしのゆめ)を父として人工交配を行った雑種後代から育成したもので，1997年より「上系97243」，1999年より「上育438号」の系統名で各種試験を行い，2003年に優良品種となった。なお，本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

多収で，耐冷性が強く，加工適性に優れ，冷凍ピラフ等の加工用途に向く。



特性概要

1. 稈長は「あきほ」「きらら397」並かわずかに長く，穂数は「あきほ」「きらら397」より少ない偏穂数型である。千粒重が24~25g程度と重く，割刈の発生は「あきほ」並のやや少で「きらら397」より少ない。
2. 出穂期は早生の中である。成熟期は，中生の早に属し，「きらら397」並かやや早い。
3. 耐倒伏性は中~やや強である。障害型耐冷性は「あきほ」に優り，極強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型はPia,Pii,Pikと推定され，葉いもち圃場抵抗性は強，穂いもち圃場抵抗性はやや強である。
4. 玄米収量は，「あきほ」より明らかに優り，「きらら397」と比較しても多収である。品質は「あきほ」「き

らら397」並であるが，検査等級は劣る。

5. 炊飯米の食味は粘りが劣るため「あきほ」「きらら397」に劣る。粘りが少ないことにより加工適性に優れ，冷凍ピラフ等の加工食品に適する。

栽培地域と奨励態度

道東を除く上川，留萌中部以南の全道で，「あきほ」に換えて栽培する。栽培上の留意点として，出穂期が早生で早期異常出穂や苗の徒長の恐れがあるので，成苗移植では適正な管理に努める。初期の分けつ性がやや劣り，穂数確保が難しいので植付け株数は機械移植基準を守る。刈遅れによる品質低下が懸念されるので適期刈り取りを励行する。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
上 川 農 試	大地の星	7.24	9.13	71	16.5	698	651	116	24.5	2中下	1999～2002
	あきほ	7.25	9.10	65	16.8	749	563	100	21.9	1中	
	きらら397	7.27	9.14	65	16.6	765	601	107	22.5	1中下	
中 央 農 試	大地の星	7.28	9.17	66	16.5	579	594	115	24.7	2下	1999～2002
	あきほ	7.31	9.15	66	16.8	661	517	100	22.0	2中	
	きらら397	8. 3	9.19	64	16.6	677	532	103	22.8	2中上	
北 農 研 セ ン タ ー	大地の星	7.26	9.16	71	16.5	519	581	115	24.4	2下	1999～2002
	あきほ	7.29	9.15	67	17.3	507	504	100	22.2	2中	
	きらら397	8. 1	9.22	67	16.2	579	527	105	22.3	2中上	

注) 中苗標準施肥栽培の成績。

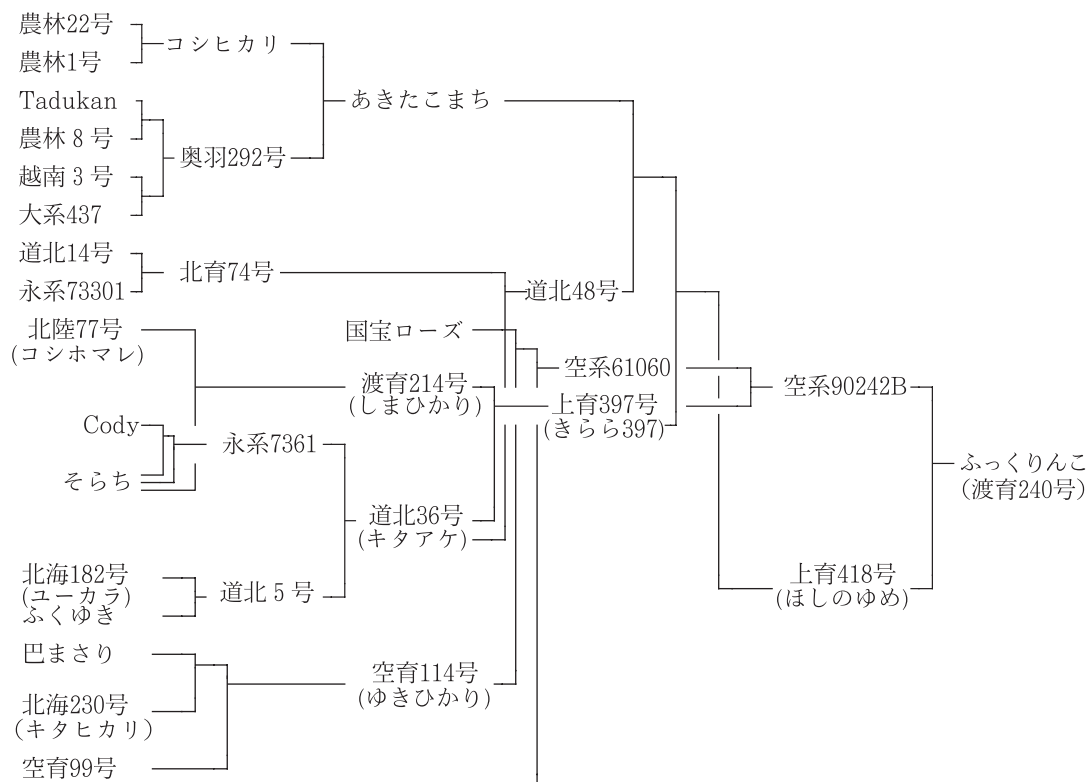
参照 1) 北海道農政部編, 平成15年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3(2003).

(10) ふっくりんこ (系統名 渡育240号) 2003年
登録番号: (北海道) 水稻北海道うるち第55号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

低タンパク, 良食味で, 障害型耐冷性が強い晩生品種である。

来歴 本品種は, 1993年に北海道立中央農業試験場において, 「空系90242B」を母, 「上育418号 (ほしのゆめ)」を父として人工交配を行い, その交雑後代から北海道立道南農業試験場において選抜・育成されたもので, 1997年より「渡系9095」, 1999年より「渡育240号」の系統名で各種の試験を行い, 2003年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 稈長は「きらら397」より長く「ほしのゆめ」並, 穂長は「きらら397」よりやや長く「ほしのゆめ」より長い。穂数は「きらら397」より多く「ほしのゆめ」より少なく, 草型は穂数型に属する。

2. ふ色及びふ先色は黄白で, ふ先に少程度の短芒を有する。

3. 出穂期は「きらら397」より遅い晩生の中, 成熟期は「きらら397」より遅い晩生の早に属し, 登熟は良好である。

4. 穂ばらみ期の障害型耐冷性は「きらら397」より強く「ほしのゆめ」と同じ強である。葉いもち病抵抗性、穂いもち病抵抗性はやや弱である。耐倒伏性は中～やや強である。
5. 玄米収量はほぼ「きらら397」並で「ほしのゆめ」に優る。
6. 玄米の粒形は「きらら397」「ほしのゆめ」並のやや長、粒大は「きらら397」「ほしのゆめ」よりやや大きいやや大である。粒厚は「きらら397」より薄く「ほしのゆめ」並である。千粒重は「きらら397」並で「ほしのゆめ」より重い。腹白の発生は両品種よりやや多いが、心白・乳白の発生、色沢、光沢は両品種並で、

玄米品質はほぼ両品種並の中上である。食味は「きらら397」に明らかに優り「ほしのゆめ」並からやや優る。

栽培適地と奨励態度

檜山南部、渡島中・南部及びこれに準ずる地帯の「きらら397」の一部に置き換えて栽培する。栽培上の注意は、いもち病抵抗性がやや弱いので、その発生に注意し適正防除に努める。倒伏や干ばつにより粒厚が薄くなることがあるので、多肥栽培は避け「施肥標準」を厳守し、登熟期の水管理に留意する。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
道 南 農 試	ふっくりんこ	8. 3	9.23	73	16.1	634	54.4	98	22.3	1下	1999～2002
	きらら397	7.31	9.22	69	15.8	599	55.7	100	22.1	2上	
	ほしのゆめ	7.29	9.18	72	15.2	655	51.8	93	21.3	2中上	
	ななつぼし	7.31	9.20	74	16.2	584	54.8	98	21.5	1下	

注) 中苗標準施肥栽培の成績。

参照 1) 北海道農政部編, 平成15年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-6 (2003).

2. 小麦

- (1) きたもえ (系統名 北見72号) 2000年
登録番号: (北海道) 小麦北海道秋第14号
(農水省) 小麦農林149号
(種苗法) 第11237号

セールスポイント

コムギ縮萎縮病抵抗性、穂発芽耐性に優れ、粉色とゆでうどんの色に優れる秋まき品種である。

来歴 本品種は、1985年に北海道立北見農業試験場において、「59045 (後の「ホクシン」)」を母、「北系1354」を父として人工交配を行い、育成したもので、1992年より「北系1616」、1994年より「北見72号」の系統名で各種試験を行い、2000年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

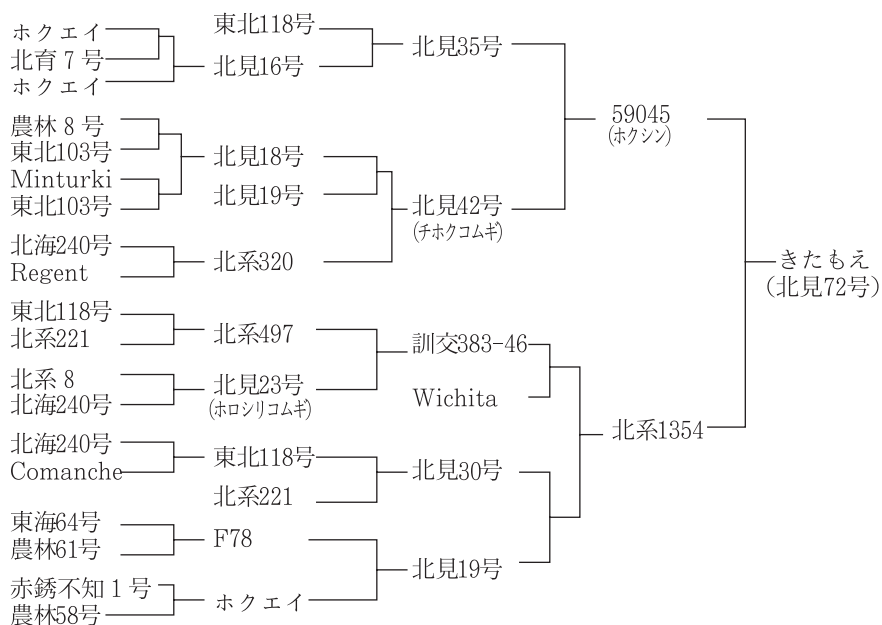
1. 叢性は直立で、稈長はやや短、稈の細太は中で「ホクシン」よりやや細く、「チホクコムギ」並、ワックスの多少は少である。葉身の下垂度は「ホクシン」よりやや小さく、穂型は棒状、ふ色は淡黄である。
2. 粒形は中、粒の大小はやや大、粒色は黄褐で、千粒

重はやや大、容積重、原麦粒の見かけの品質は「ホクシン」と同等である。

3. やや早生に属するが「ホクシン」と比較して出穂期で2日、成熟期で2日遅い。
4. 耐倒伏性は「ホクシン」並、耐寒性、耐雪性は「ホクシン」並、コムギ縮萎縮病抵抗性は「ホクシン」より強いやや強、赤さび病抵抗性はやや弱、うどんこ病抵抗性はやや強である。黒目粒は少なく、穂発芽性は「ホクシン」より強くやや難である。
5. 子実重は「ホクシン」並である。
6. 製粉歩留、ミリングスコアは「ホクシン」と同程度かやや高い。粉色は「ホクシン」より優れ、粉質は粉状質、蛋白含量は「ホクシン」並である。製めん適性は「ホクシン」と比較して色は優れるが、粘弾性はやや劣る。

栽培適地と奨励態度

北海道内のコムギ縮萎縮病発生地帯において「ホクシン」に置き換えて栽培する。栽培に当たっては、縮萎縮病抵抗性は「ホクシン」より強いが、免疫的な抵抗性は有していないため、適正な輪作体系の維持に努める。耐



穂発芽性は「ホクシン」より強いが、刈遅れによる品質低下の懸念があるので、適期収穫を励行する。他の病害・

障害抵抗性、および子実蛋白含量は「ホクシン」並なので、播種・防除・施肥管理は「ホクシン」に準ずる。

試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北見農試	きたもえ	6.14	7.28	89	7.2	789	微	557	103	789	36.8	上下	1995～
	ホクシン	6.12	7.26	89	8.3	758	少	541	100	790	36.3	上下	1999
中央農試	きたもえ	6.10	7.22	85	7.2	599	少	506	96	776	38.9	上下	1995～
	ホクシン	6.6	7.20	88	8.4	622	少	526	100	780	38.9	上下	1999
上川農試	きたもえ	6.12	7.18	85	7.5	672	微	549	96	771	39.3	上下	1995～
	ホクシン	6.9	7.17	87	8.5	640	微	570	100	774	38.9	上下	1999
十勝農試	きたもえ	6.10	7.24	87	7.0	605	無	527	101	783	38.4	上下	1995～
	ホクシン	6.7	7.22	89	8.1	592	無	520	100	778	39.7	上下	1999
遺伝資源 センター	きたもえ	6.11	7.18	76	6.8	539	無	414	98	801	37.0	上中	1995～
	ホクシン	6.9	7.17	77	7.7	519	無	422	100	797	37.2	上中	1999

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 25-27 (2000).
2) 柳沢 朗等, 北海道立農試集報. 82, 11-20 (2002).

(2) はるひので (系統名 北見春59号) 2000年
登録番号: (北海道) 小麦北海道春第15号
(農水省) 春播小麦農林150号
(種苗法) 第11238号

セールスポイント

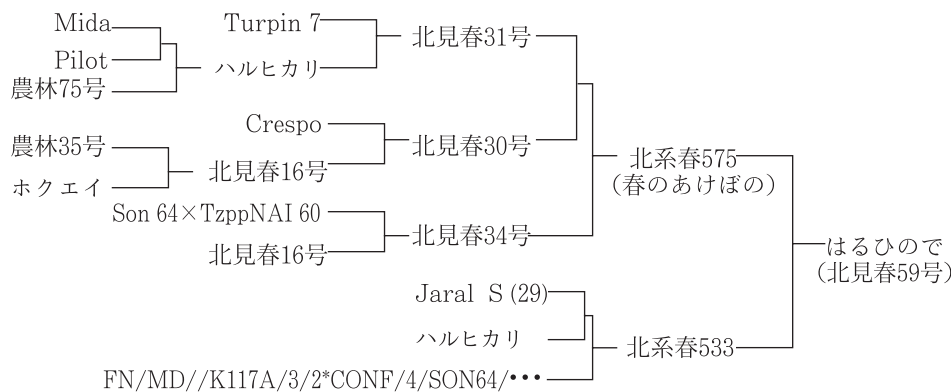
赤かび病抵抗性, 耐倒伏性, 製パン適性に優れる春まき品種である。

来歴 本品種は, 1986年に北海道立北見農業試験場において, 「北系春575」(後の「春のあけぼの」) を母, 「北系春533」を父として人工交配を行い, 育成したものである。1994年より「北系春669」, 1996年より「北見春59

号」の系統名で各種試験を行い, 2000年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 葉色はやや濃く, 葉身の下垂度は小さく, 株は閉じている。鞘葉の色を有し, 葯の色は紫である。葉鞘, 稈のワックスおよび毛は無く, 稈長はやや短, 穂長は中, 稈の細太は中, 稈の剛柔はやや剛である。
2. 穂型は紡錘状, 粒着はやや密, 芒は多く長い。ふ色は黄である。
3. 粒形は中, 粒大はかなり大, 粒色は赤褐である。粒の黒目の発生は「ハルユタカ」より多い。千粒重, 容積重は「ハルユタカ」より大きく, 原麦粒の見かけの品質は「ハルユタカ」より優る。



4. 出穂期、成熟期は「ハルユタカ」と同程度で中生に属する。穂発芽性はやや難、耐倒伏性は強、赤かび病抵抗性は中、うどんこ病抵抗性はやや弱、赤さび病抵抗性は中である。
5. 子実重は「ハルユタカ」より多収である。
6. 粒の硬軟はやや硬、粒質は硝子質で、60%粉粗蛋白含量は「ハルユタカ」と同程度、製粉歩留は「ハルユタカ」よりやや低く、ミリングスコアは同程度のやや高である。
7. フェリノグラムの吸水率は「ハルユタカ」より高く、バロリーメーターバリューは高い。エキステンソグラ

ムの生地力の程度は大で、伸長抵抗は強、伸長度は中、形状係数は大である。製パン適性は「ハルユタカ」より優れる。

栽培適地と奨励態度

北海道内の「ハルユタカ」の一部に置き換えて栽培する。融雪後できるだけ早期に播種し、成熟期を早め、収量・品質の向上を図る。穂発芽性はやや難であるが、刈り遅れによる品質低下や黒目粒発生の増加が懸念されるので、適期収穫を励行する。うどんこ病に対する抵抗性は不十分なので、適期防除に努める。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北見農試	はるひので	7. 2	8.15	86	8.5	509	無	405	108	771	39.5	中上	1996～
	ハルユタカ	7. 3	8.15	87	8.4	554	微	375	100	761	35.3	中中	1999
中央農試	はるひので	6.26	8. 6	79	8.5	438	無	265	112	778	40.6	中上	1996～
	ハルユタカ	6.27	8. 5	80	8.7	423	無	237	100	744	34.0	中中	1999
上川農試	はるひので	6.25	8. 6	83	8.4	526	微	439	101	778	42.4	上下	1996～
	ハルユタカ	6.27	8. 6	86	8.6	546	微	434	100	751	36.9	中上	1999
十勝農試	はるひので	6.28	8. 9	85	8.1	484	無	330	106	762	41.5	中上	1996～
	ハルユタカ	6.29	8.10	87	8.1	438	無	312	100	715	34.5	中上	1999

注) 北見農試はドリル播きの成績。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 28-30 (2000).
2) 田引 正等, 北海道立農試集報. 82, 21-30 (2002).

- (3) 春よ恋 (系統名 HW 1 号) 2000年
登録番号: (北海道) 小麦北海道春第16号
(種苗法) 第8834号

セールスポイント

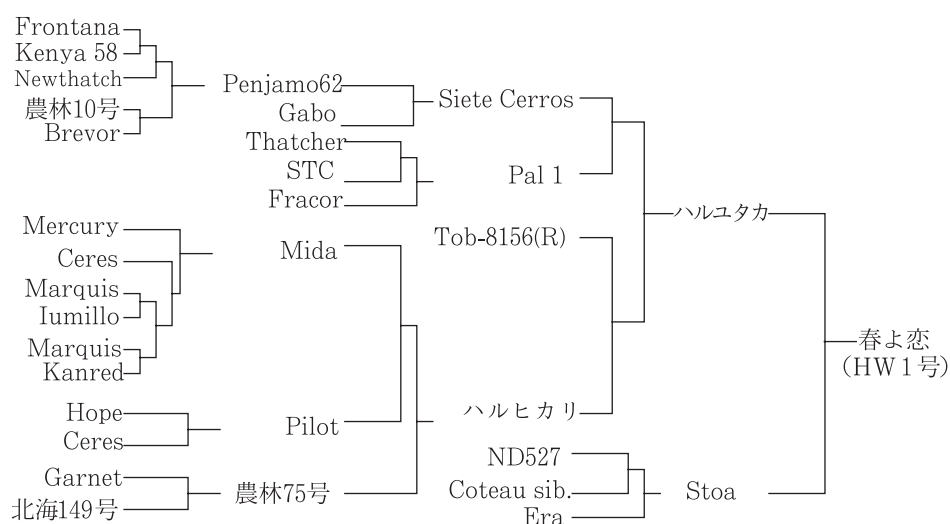
うどんこ病、赤かび病抵抗性に優れ、製パン適性に優れた多収な春まき品種である。

来歴 本品種は、1989年にホクレン農業総合研究所において「ハルユタカ」を母、「Stoa」を父として人工交配

し、1990年にF1植物の葎を培養して作出した半数体倍加系統から選抜、育成されたものである。1995年より「90DH22-22」、1996年より「HW 1 号」の系統名で各種試験を行い、2000年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 葉色はやや薄く、株は閉じている。ワックスはなく、葉にわずかにフレッケンを生じ、生理的に色が抜ける場合がある。稈長は中で「ハルユタカ」よりやや長く、



穂長は中、穂数は「ハルユタカ」並かやや多い。稈の細太及び剛柔は中である。

2. 穂型は紡錘状で、粒着はやや密、芒は多くて長い。ふ色は黄である。
3. 粒形は「ハルユタカ」よりやや長く、千粒重、容積重は「ハルユタカ」より重い。外観品質も「ハルユタカ」より優れる。黒目粒の発生は「ハルユタカ」よりやや多い。
4. 出穂期、成熟期がほぼ「ハルユタカ」並の中生である。耐倒伏性は「ハルユタカ」と比べると劣る。うどんこ病抵抗性は強く、赤さび病抵抗性はやや強、赤かび病抵抗性は「ハルユタカ」より優れている。穂発芽性は「ハルユタカ」よりやや強い。

5. 子実重は「ハルユタカ」より多く、かなり多である。
6. 粒は硬く、粒質は硝子質である。製粉性は「ハルユタカ」より劣る。60%粉の粗蛋白含量は「ハルユタカ」並である。フェリノグラムの吸水率は「ハルユタカ」よりも高く、バロリーメーターバリューもやや高い。生地への力の程度はかなり大、伸長抵抗はかなり強、生地の伸長度は中、形状係数はかなり大である。製パン適性は「ハルユタカ」より優れる。

栽培適地と奨励態度

全道の「ハルユタカ」の一部に置き換えて栽培する。耐倒伏性が劣るので標準播種量（340粒/㎡）および施肥標準を守り、密植や過度の窒素の施用は避ける。

試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北見農試	春よ恋	7. 2	8.14	95	8.5	532	2.5	422	113	768	38.1	中上	1996～
	ハルユタカ	7. 3	8.14	87	8.4	554	1.0	375	100	761	35.3	中中	1999
中央農試	春よ恋	6.27	8. 6	87	8.7	456	0.3	293	124	777	36.5	中上	1996～
	ハルユタカ	6.27	8. 5	80	8.7	423	0.2	237	100	744	34.0	中中	1999
上川農試	春よ恋	6.27	8. 6	93	8.6	550	2.0	470	108	774	37.1	—	1996～
	ハルユタカ	6.27	8. 6	86	8.6	546	0.7	434	100	751	36.9	—	1999
十勝農試	春よ恋	6.29	8. 9	93	8.4	465	0.0	353	113	747	36.4	上下	1996～
	ハルユタカ	6.29	8.10	87	8.1	438	0.0	312	100	715	34.5	中上	1999

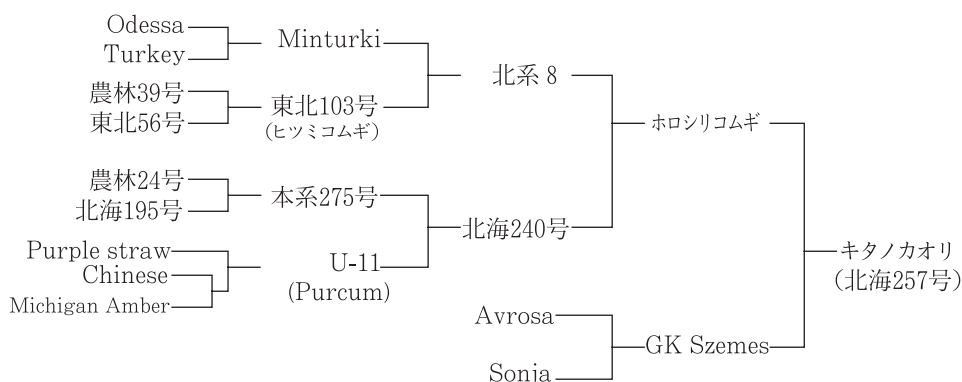
参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 31-33 (2000).

- (4) キタノカオリ (系統名 北海257号) 2003年
登録番号：(北海道) 小麦北海道秋第17号
(農水省) 小麦農林158号
(種苗法) 第11095号

セールスポイント

製パン適性に優れた秋まき品種である。

来歴 本品種は、1988年に農林水産省北海道農業試験場において、「ホロシリコムギ」を母とし、「GK-Szemes」を父として人工交配を行い、育成したものである。1996年より「札系226号」、1998年より「北海257号」の系統名で各種試験を行い、2003年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 叢性は直立，株の開閉はかなり閉である。稈長は短，稈の細太はかなり太，葉色はやや淡，ワックスの多少は少，芒はなく，ふ色は淡黄である。
2. 穂型は棒状，穂長はやや長，粒着は密である。粒の形は中，大小は大，色は褐，千粒重は大，容積重はやや大，原麦粒の見かけの品質は中の上である。
3. 出穂期はやや晩，成熟期は中で「ホクシン」より遅い。
4. 耐倒伏性は強く，耐寒性は中，耐雪性はやや強，コムギ縞萎縮病抵抗性は弱，赤かび病抵抗性は中，うどんこ病抵抗性は強，赤さび病抵抗性はかなり強，穂発芽性は中である。
5. 子実重は中で「ホクシン」よりやや少ない。
6. 粒質は硝子質，製粉歩留及びミリングスコアは中，

60%粉粗蛋白質含量はやや多，粉の明度及び粉の赤色みは中，粉の黄色みはかなり高，吸水率は高，バロリーメーターバリューはやや高，生地の力の程度はやや大，生地の伸長抵抗は強，生地の伸長度は中，生地の形状係数は大である。製パン適性は「ホロシリコムギ」，「ハルユタカ」より優る。

栽培適地と奨励態度

全道の秋まき小麦栽培地帯の「ホクシン」の一部に置き換えて栽培する。耐雪性は「ホクシン」と同じやや強であるが，多雪地帯での冬損程度がやや多い傾向があるので，適切な管理に努める。赤かび病抵抗性，穂発芽性は必ずしも強くないので，防除の徹底と適期収穫を励行する。パン用であるので，蛋白質含量が低くならないように肥培管理に努める。

試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北農研 センター	キタノカオリ	6.12	7.25	75	9.0	604	0.0	586	96	812	41.3	2.5	1998～ 2001
	ホクシン	6.6	7.20	83	8.4	621	0.5	607	100	796	38.1	2.5	
	ホロシリコムギ	6.10	7.23	95	8.5	654	1.3	600	99	792	42.2	2.8	
中央農試	キタノカオリ	6.8	7.22	85	8.8	532	0.0	589	101	793	44.1	3.0	1998～ 2001
	ホクシン	6.2	7.17	88	8.6	608	0.2	583	100	784	39.8	2.5	
遺伝資源 センター	キタノカオリ	6.11	7.21	75	8.8	431	0.0	475	91	802	43.7	3.0	1998～ 2001
	ホクシン	6.5	7.15	79	8.1	570	1.5	525	100	802	39.3	1.9	
上川農試	キタノカオリ	6.11	7.23	74	9.2	407	0.0	567	89	774	43.1	2.3	1998～ 2001
	ホクシン	6.5	7.17	80	8.2	528	0.0	634	100	770	41.0	1.8	
十勝農試	キタノカオリ	6.11	7.25	81	9.2	485	0.0	553	96	805	41.8	2.8	1998～ 2001
	ホクシン	6.5	7.19	86	8.5	530	0.3	577	100	800	38.6	2.4	
北見農試	キタノカオリ	6.13	7.28	79	9.3	502	0.0	493	92	817	41.3	2.3	1998～ 2001
	ホクシン	6.8	7.22	82	8.3	618	0.0	535	100	806	39.4	2.3	

注) 外観品質は1 (上上) ～ 6 (下)。

参照 1) 北海道農政部編，平成15年普及奨励ならびに指導参考事項，7 - 9 (2003)。

3. とうもろこし

<飼料用>

(1) DK212 (系統名 SH2112) 1996年
登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 準輸交第53号

セールスポイント

多収で、耐倒伏性がやや強い早生品種である。

来歴：本品種は、フランスのデカルブジェネティクスコーポレーション社が育成したフリント種×デント種の単交配一代雑種である。1991年に雪印種苗株式会社が導入し、1993年より「SH2112」の系統名で各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ダイヘイゲン」並で、「ワセホマレ」並か1～2日遅い。収穫時熟度は「ダイヘイゲン」及び「ワセホマレ」並である。総体の乾物率は「ダイヘイゲン」及び「ワセホマレ」より高い。熟期は早生の中に属する。
2. 耐倒伏性は「ダイヘイゲン」より強く、「ワセホマ

レ」よりやや強い。

3. 発芽は「ダイヘイゲン」及び「ワセホマレ」並かやや遅い。初期生育は「ダイヘイゲン」及び「ワセホマレ」よりやや劣る。
4. 乾総重及び推定TDN収量は「ダイヘイゲン」及び「ワセホマレ」より多い。推定乾物中TDN割合は「ダイヘイゲン」及び「ワセホマレ」並かやや高い。
5. 稈長は「ダイヘイゲン」よりやや低く、「ワセホマレ」並かやや低い。着雌穂高は「ダイヘイゲン」よりやや低く、「ワセホマレ」よりやや高い。雌穂について、年次によっては、包葉先端から子実が顕著に露出する。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」並かやや強く、「ワセホマレ」並かやや弱い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く、「ワセホマレ」よりやや強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部、十勝、網走及び根釧、道北の気象条件の良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良-5不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	D K 2 1 2	1.7	8.5	0.0	黄 初	1,179	862	104	28.5	73.0	1993～1995
	ダイヘイゲン	1.0	8.4	4.3	黄初～中	1,149	826	100	27.1	71.9	
	ワセホマレ	1.4	8.4	2.9	黄初～中	994	710	86	27.1	71.4	
北 見 農 試	D K 2 1 2	2.4	8.11	0.6	糊 後	1,305	939	110	27.5	71.8	1993～1995
	ダイヘイゲン	1.7	8.10	3.8	糊 後	1,191	852	100	26.0	71.1	
	ワセホマレ	1.5	8.9	1.7	糊 後	1,165	826	97	26.0	70.4	
上 川 農 試 (土 別)	D K 2 1 2	3.3	8.5	0.0	糊 後	1,445	1,020	123	30.1	70.6	1993
	ダイヘイゲン	2.0	8.4	4.3	黄 初	1,177	827	100	27.1	70.3	
上 川 農 試 (比 布)	D K 2 1 2	2.4	7.24	0.9	黄 後	1,599	1,140	115	28.3	71.5	1994～1995
	ダイヘイゲン	2.0	7.24	8.3	黄 後	1,387	992	100	27.3	71.6	
根 釧 農 試	D K 2 1 2	1.6	8.22	3.0	糊 後	1,045	739	100	27.5	70.1	1993～1995
	ダイヘイゲン	1.0	8.21	23.2	糊 後	1,042	737	100	27.5	70.4	
	ワセホマレ	1.1	8.20	17.4	糊 後	981	690	94	27.5	70.0	
天 北 農 試	D K 2 1 2	2.9	8.19	3.0	糊 後	1,084	778	111	25.8	70.6	1993～1995
	ダイヘイゲン	1.9	8.20	6.2	糊 中	985	700	100	24.0	70.2	
	ワセホマレ	2.1	8.21	4.3	糊 中	990	702	100	24.2	69.6	

参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 27-29 (1996).

(2) **ピヤシリ85** (系統名 SH1302) 1996年

登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 準北海道
交第54号

セールスポイント

耐倒伏性がやや強く、すす紋病抵抗性がやや強い早生品種である。

来歴：本品種は、雪印種苗株式会社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。1993年より「SH1302」の系統名で各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ヘイゲンミノリ」並で、「キタアサヒ」並か1～2日早い。収穫時熟度及び総体の乾物率は、「ヘイゲンミノリ」及び「キタアサヒ」並である。熟期は早生の晩に属する。
2. 耐倒伏性は「ヘイゲンミノリ」及び「キタアサヒ」

よりやや強い。

3. 発芽及び初期生育は「ヘイゲンミノリ」及び「キタアサヒ」並である。
4. 乾総重及び推定TDN収量は「ヘイゲンミノリ」並かやや多く、「キタアサヒ」並である。推定乾物中TDN割合は「ヘイゲンミノリ」並で、「キタアサヒ」よりやや高い。
5. 稈長は「ヘイゲンミノリ」並かやや高く、「キタアサヒ」よりやや低い。着雌穂高は「ヘイゲンミノリ」よりやや高く、「キタアサヒ」よりやや低い。雌穂について、年次によっては、包葉先端から子実が顕著に露出する。
6. すず紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「ヘイゲンミノリ」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部、網走内陸及び道央北部である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1良-5不良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
十 勝 農 試	ピ ヤ シ リ 85	1.7	8.9	0.0	糊後～黄初	1,241	890	101	25.7	71.5	1993～1995
	ヘイゲンミノリ	1.6	8.8	0.1	糊後～黄初	1,229	883	100	26.6	71.7	
	キタアサヒ	1.6	8.10	2.0	糊後～黄初	1,293	911	103	26.2	70.1	
北 見 農 試	ピ ヤ シ リ 85	2.2	8.15	0.1	糊 中	1,265	902	104	26.3	71.1	1993～1995
	ヘイゲンミノリ	1.9	8.15	3.3	糊 中	1,219	866	100	26.8	70.9	
	キタアサヒ	2.2	8.16	0.3	糊 中	1,249	874	101	25.1	69.6	
上 川 農 試 (土 別)	ピ ヤ シ リ 85	3.8	8.9	0.0	糊 後	1,352	943	110	26.1	69.7	1993
	ヘイゲンミノリ	2.8	8.8	0.0	糊後～黄初	1,233	855	100	25.7	69.3	
	キタアサヒ	2.8	8.10	0.0	黄 中	1,332	924	108	26.6	69.4	
上 川 農 試 (比 布)	ピ ヤ シ リ 85	2.2	7.26	0.0	黄中～後	1,573	1,112	101	26.3	70.8	1994～1995
	ヘイゲンミノリ	2.4	7.26	1.9	黄 後	1,560	1,106	100	27.1	71.1	
	キタアサヒ	2.4	7.26	3.6	黄 後	1,572	1,116	101	28.9	71.1	

注) 上川農試の「キタアサヒ」は他の2品種と収穫期が異なる。

参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 30-32 (1996).

(3) **LG2290** (系統名 HE9138) 1996年

登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第55号

セールスポイント

多収で耐倒伏性が強い早生品種である。

来歴：本品種は、フランスのリマグレイン社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。1991年

に雪印種苗株式会社が導入し、1993年より「HE9138」の系統名で各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ヘイゲンミノリ」並で、「キタアサヒ」並か1～2日早い。収穫時熟度は「ヘイゲンミノリ」及び「キタアサヒ」並である。総体の乾物率は「ヘイゲンミノリ」並で「キタアサヒ」よりやや高い。

- 熟期は早生の晩に属する。
- 耐倒伏性は「ヘイゲンミノリ」及び「キタアサヒ」よりやや強い。
 - 発芽は「ヘイゲンミノリ」並かやや遅く、「キタアサヒ」並である。初期生育は「ヘイゲンミノリ」及び「キタアサヒ」並である。
 - 乾総重及び推定TDN収量は「ヘイゲンミノリ」及び「キタアサヒ」より多い。推定乾物中TDN割合は「ヘイゲンミノリ」並で、「キタアサヒ」よりやや高い。
 - 稈長は「ヘイゲンミノリ」よりやや高く、「キタア

- サヒ」並である。着雌穂高は「ヘイゲンミノリ」より高く、「キタアサヒ」よりやや低い。
- すす紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」並かやや強く、「ヘイゲンミノリ」よりやや弱い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「ヘイゲンミノリ」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部、網走内陸及び道央北部である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1良-5不良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
十 勝 農 試	L G 2 2 9 0	1.7	8.9	0.3	糊後～黄初	1,348	962	115	26.2	71.1	1993～1995
	ヘイゲンミノリ	1.7	8.8	0.1	糊後～黄初	1,157	839	100	25.5	72.2	
	キタアサヒ	1.7	8.9	2.3	糊後～黄初	1,278	899	107	25.5	70.0	
北 見 農 試	L G 2 2 9 0	2.7	8.16	0.0	糊 中	1,423	1,003	116	26.0	70.1	1993～1995
	ヘイゲンミノリ	1.9	8.15	3.3	糊 中	1,219	866	100	26.8	70.9	
	キタアサヒ	2.2	8.16	0.3	糊 中	1,249	874	101	25.1	69.6	
上 川 農 試 (土 別)	L G 2 2 9 0	2.8	8.9	0.0	黄中～後糊	1,493	1,070	125	29.7	71.7	1993
	ヘイゲンミノリ	2.8	8.8	0.0	後～黄初	1,233	855	100	25.7	69.3	
	キタアサヒ	2.8	8.10	0.0	黄 中	1,332	924	108	26.6	69.4	
上 川 農 試 (比 布)	L G 2 2 9 0	2.2	7.26	0.0	黄 後	1,844	1,326	120	29.8	72.0	1994～1995
	ヘイゲンミノリ	2.4	7.26	1.9	黄 後	1,560	1,106	100	27.1	71.1	
	キタアサヒ	2.4	7.26	3.6	黄 後	1,572	1,116	101	28.9	71.1	

注) 上川農試の「ヘイゲンミノリ」は他の2品種と収穫期が異なる。

参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 33-35 (1996).

- (4) DK474 (系統名 PP1460) 1996年
登録番号: (北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第56号

セールスポイント

やや多収で、耐倒伏性がやや強い晩生品種である。

来歴: 本品種は、アメリカのデカルブ・プラント・ジェネティクス社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。カネコ種苗株式会社が導入し、1993年より「PP1460」の系統名で各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。

特性概要

- 絹糸抽出期は「P3732」よりやや遅く、「3540」より早い。収穫時熟度は「P3732」よりやや遅れ、「3540」と同程度である。総体の乾物率は「P3732」並か高く、「3540」より高い。熟期は晩生の早に属する。

- 耐倒伏性は「P3732」と同程度で「3540」よりやや弱い。
- 発芽及び初期生育は「P3732」及び「3540」と同程度である。
- 乾総重及び推定TDN収量は「P3732」よりやや多く、「3540」より少ない。推定乾物中TDN割合は「P3732」と同程度で、「3540」より高い。
- 稈長は「P3732」並か低く、「3540」より低い。着雌穂高は「P3732」及び「3540」より低い。
- すす紋病抵抗性は「3540」より強く、「P3732」と同程度である。ごま葉枯病抵抗性は「P3732」及び「3540」より弱い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央中部、南部及び道南の気象条件の良い地域である。一般栽培に準ずるが、ごま葉枯病に弱いので多発する圃場での作付を避ける。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良- 5不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北海道農試	D K 4 7 4	2.0	8.12	1.6	黄 中	1,829	1,325	107	29.8	72.4	1993~1995
	P 3 7 3 2	2.5	8.10	0.0	黄 中	1,689	1,233	100	27.9	72.9	
	3 5 4 0	2.2	8.15	0.0	黄中~後	1,924	1,379	112	27.4	71.7	
道南農試	D K 4 7 4	2.8	8.6	3.6	黄初~中	1,866	1,328	100	33.4	71.1	1993~1995
	P 3 7 3 2	1.1	8.5	5.7	黄 中	1,862	1,327	100	31.3	71.2	
	3 5 4 0	1.7	8.9	2.4	黄初~中	2,015	1,403	105	29.3	69.5	
滝川畜試	D K 4 7 4	1.1	8.9	1.3	黄 中	1,723	1,240	105	27.2	71.9	1993~1995
	P 3 7 3 2	1.4	8.10	0.9	黄 中	1,639	1,176	100	26.6	71.7	
	3 5 4 0	1.7	8.14	0.7	黄 中	1,877	1,329	113	24.5	70.8	

注) 道南農試の倒伏は、1993年~1994年の2か年の数値(1995年は全倒伏のため除外)。

参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 35-37 (1996)。

(5) DK401 (系統名 DK401) 1996年

登録番号: (北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第57号

セールスポイント

多収な中生品種である。

来歴: 本品種は、アメリカのデカルブ・プラント・ジェネティクス社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。カネコ種苗株式会社が導入し、1992年より「DK401」の系統名で各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「キタユタカ」より遅く、「3790」よりやや遅い。「P3732」よりやや早い。収穫時熟度は「キタユタカ」「3790」よりやや遅れ、「P3732」並である。総体の乾物率は「キタユタカ」並か高いが、「3790」並かやや低く、「P3732」より高い。熟期は中生の晩に属する。

2. 耐倒伏性は「キタユタカ」より強く「3790」「P3732」よりやや弱い。
3. 発芽は「キタユタカ」及び「P3732」よりやや遅い。初期生育は「キタユタカ」及び「P3732」よりやや劣る。
4. 乾総重及び推定TDN収量は「キタユタカ」より多く、「3790」並かやや多いが、「P3732」並かやや少ない。推定乾物中TDN割合は「キタユタカ」より高く、「3790」及び「P3732」よりやや高い。
5. 稈長は「キタユタカ」「3790」より高く、「P3732」並かやや高い。着雌穂高は「キタユタカ」より高いが、「3790」並かやや低い。「P3732」より低い。
6. すず紋病抵抗性は「キタユタカ」並かやや強く、「3790」より弱い。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」及び「3790」より弱い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央中部、南部及び道南である。一般栽培に準ずるが、ごま葉枯病に弱いので多発する圃場での作付を避ける。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良- 5不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北海道農試	D K 4 0 1	3.0	8.9	4.6	黄初~中	1,573	1,150	108	27.8	73.1	1992~1994
	キ タ ユ タ カ	2.0	8.6	7.1	黄 中	1,473	1,060	100	26.6	72.0	
	3 7 9 0	2.3	8.8	0.9	黄 中	1,572	1,139	107	28.3	72.5	
	P 3 7 3 2	2.9	8.11	0.0	黄 中	1,598	1,165	110	27.3	72.9	
道南農試	D K 4 0 1	2.4	8.7	3.4	黄中~後	1,818	1,301	119	33.8	71.6	1992~1994
	キ タ ユ タ カ	1.2	8.3	32.1	黄 中	1,544	1,090	100	27.6	70.6	
	3 7 9 0	1.5	8.4	0.4	黄 中	1,836	1,230	113	32.0	70.7	
	P 3 7 3 2	1.0	8.6	4.9	黄中~後	1,967	1,363	125	32.0	71.1	

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良- 5不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
滝 川 畜 試	D K 4 0 1	2.3	8.9	4.7	黄 初	1,596	1,156	112	26.2	72.4	1992～1994
	キ タ ユ タ カ	1.2	8.8	6.9	黄 中	1,470	1,033	100	23.3	70.2	
	3 7 9 0	1.7	8.9	1.1	黄 中	1,579	1,137	110	26.3	72.1	
	P 3 7 3 2	1.6	8.11	0.9	黄 中	1,588	1,140	110	25.5	71.8	

注) 北海道農試の倒伏は、1993～1994年の2か年の数値(1992年のP3732のみ強風に遭遇して倒伏したため除外)。

参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 37-40 (1996).

(6) **ロイヤルデントオーロラ82**(系統名 TH9128)1997年
登録番号:(北海道)とうもろこし(飼)準輸交
第58号

セールスポイント

多収で、耐倒伏性及びごま葉枯病抵抗性がやや強い早生品種である。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン育種株式会社が育成したフrint種×デント種の単交配一代雑種である。1991年にタキイ種苗株式会社が導入し、1993年より「TH9128」の系統名で各種の試験を行い、1997年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ダイハイゲン」及び「ワセホマレ」より1～2日遅い。収穫時熟度は「ダイハイゲン」並

かやや進み「ワセホマレ」並である。総体の乾物率は「ダイハイゲン」及び「ワセホマレ」並である。熟期は早生の中に属する。

2. 耐倒伏性は「ダイハイゲン」及び「ワセホマレ」より強い。
3. 発芽及び初期生育は「ダイハイゲン」及び「ワセホマレ」並である。
4. 乾総重及び推定TDN収量は「ダイハイゲン」より多い。推定乾物中TDN割合は「ダイハイゲン」並かやや低い。
5. 稈長及び着雌穂高は「ダイハイゲン」より高い。
6. すず紋病抵抗性は「ダイハイゲン」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイハイゲン」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝、道央北部、網走ならびに道北の気象条件の良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良- 5不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	オーロラ 82	1.1	8.2	0.9	黄初～中	1,303	950	115	29.3	73.0	1994～1996
	ダイハイゲン	1.1	8.1	2.8	黄 初	1,137	823	100	28.6	72.4	
	ワセホマレ	1.2	8.1	2.1	黄初～中	982	705	86	29.2	71.8	
上 川 農 試	オーロラ 82	1.7	7.24	0.2	黄後～完	1,619	1,155	104	28.4	71.5	1994～1996
	ダイハイゲン	1.7	7.25	5.5	黄中～後	1,553	1,108	100	28.1	71.5	
北 見 農 試	オーロラ 82	1.8	8.10	0.6	糊 後	1,553	1,104	119	26.3	71.1	1994～1996
	ダイハイゲン	1.7	8.8	3.3	糊 後	1,289	931	100	26.2	72.2	
	ワセホマレ	1.5	8.8	1.8	糊 後	1,227	880	94	26.1	71.7	
天 北 農 試	オーロラ 82	1.2	8.20	0.0	糊中～後	1,287	909	120	25.0	70.1	1994～1996
	ダイハイゲン	1.5	8.19	4.9	糊中～後	1,061	753	100	24.9	70.7	
	ワセホマレ	1.6	8.18	2.6	糊中～後	1,091	774	103	25.1	70.6	

参照 1) 北海道農政部編, 平成9年普及奨励ならびに指導参考事項, 9-11 (1997).

(7) **ディアHT** (系統名 **ディアHT**) 1997年
 登録番号：(北海道) とうもろこし(飼) 準輸交
 第59号
 (種苗法) 第5853号

セールスポイント

多収で耐倒伏性が強い早生品種である。

来歴：本品種は、アメリカのパイオニア社が育成したデ
 ント種×フリント種の単交配一代雑種である。1992年に
 ホクレン農業協同組合連合会が導入し、1993年より「ディ
 アHT」の系統名で各種の試験を行い、1997年に優良品
 種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ヘイゲンミノリ」より1～2日早く
 「ディア」並である。収穫時熟度は「ヘイゲンミノリ」
 並かやや遅れ「ディア」並である。総体の乾物率は
 「ヘイゲンミノリ」及び「ディア」並かやや高い。熟

期は早生の晩に属する。

2. 耐倒伏性は「ヘイゲンミノリ」及び「ディア」より
 やや強い。
3. 発芽は「ヘイゲンミノリ」及び「ディア」並である。
 初期生育は「ヘイゲンミノリ」並かやや劣り、「ディ
 ア」並かやや優れる。
4. 乾総重及び推定TDN収量は「ヘイゲンミノリ」よ
 り多く「ディア」よりやや多い。推定乾物中TDN割
 合は「ヘイゲンミノリ」及び「ディア」並かやや低い。
5. 稈長及び着雌穂高は「ヘイゲンミノリ」より高く
 「ディア」並である。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「ディア」
 より強く「ヘイゲンミノリ」よりやや強い。ごま葉枯
 病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「ヘイゲンミノリ」
 より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部、道央北部及び網走内陸である。
 一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良- 5不良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
十 勝 農 試	デ ィ ア H T	1.6	8. 3	0.0	黄 初	1,310	947	104	29.4	72.3	1994～1996
	ヘ イ ゲ ン ミ ノ リ	1.3	8. 4	0.3	黄 初	1,257	912	100	29.0	72.6	
	デ ィ ア	1.7	8. 3	0.0	黄 初	1,282	929	102	28.3	72.4	
上 川 農 試	デ ィ ア H T	1.9	7.25	0.6	黄中～後	1,789	1,251	112	28.9	70.2	1994～1996
	ヘ イ ゲ ン ミ ノ リ	1.9	7.27	1.2	黄 後	1,574	1,117	100	26.9	71.2	
	デ ィ ア	2.1	7.25	1.5	黄中～後	1,657	1,173	105	27.6	70.9	
北 見 農 試	デ ィ ア H T	1.8	8.11	0.4	糊 後	1,437	1,027	109	27.1	71.4	1994～1996
	ヘ イ ゲ ン ミ ノ リ	1.6	8.13	3.3	糊 後	1,310	939	100	28.1	71.7	
	デ ィ ア	2.7	8.13	1.9	糊 後	1,354	965	103	26.4	71.1	

参照 1) 北海道農政部編, 平成9年普及奨励ならびに指導参考事項, 12-14 (1997).

(8) **ノルダ** (系統名 **ノルダ**) 1998年
 登録番号：(北海道) とうもろこし(飼) 準輸交
 第60号

セールスポイント

初期生育が良好な早生品種である。

来歴 本品種は、フランスのパイオニア社が育成したデ
 ント種×(フリント種×デント種)の三系交配一代雑種
 である。1993年にホクレン農業協同組合連合会が導入し、
 1995年より「ノルダ」の系統名で各種の試験を行い、
 1998年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ダイヘイゲン」並か1～2日遅い。
 収穫時熟度は「ダイヘイゲン」並である。総体の乾物
 率は「ダイヘイゲン」より高い。熟期は早生の中に属
 する。
2. 耐倒伏性は「ダイヘイゲン」並である。
3. 発芽は「ダイヘイゲン」よりやや遅い。初期生育は
 「ダイヘイゲン」よりやや劣る。
4. 乾総重及び推定TDN収量は「ダイヘイゲン」並か
 やや多い。推定乾物中TDN割合は「ダイヘイゲン」
 よりやや低い。
5. 稈長は「ダイヘイゲン」よりやや高い。着雌穂高は

「ダイヘイゲン」より高い。雌穂先端部の子実は露出する。

6. すず紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝、網走ならびに根釧，道北の気象条件の良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良-5不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	ノ ル ダ	1.7	8.3	4.5	黄 初	1,245	891	106	29.4	71.6	1995～1997
	ダイヘイゲン	1.1	8.3	3.5	黄 初	1,162	840	100	27.6	72.3	
北 見 農 試	ノ ル ダ	2.6	8.10	2.0	糊 中	1,358	960	98	25.5	70.7	1995～1997
	ダイヘイゲン	1.7	8.10	1.5	糊 中	1,368	979	100	23.5	71.5	
根 釧 農 試	ノ ル ダ	1.6	8.26	0.0	糊 中	1,139	770	105	24.9	67.6	1995～1997
	ダイヘイゲン	1.4	8.25	1.8	糊初～中	1,070	734	100	22.0	68.6	
天 北 農 試	ノ ル ダ	1.4	8.27	0.0	乳後～糊初	1,017	691	97	22.9	67.5	1995～1997
	ダイヘイゲン	1.0	8.25	0.0	糊 初	1,023	712	100	21.2	69.2	

参照 1) 北海道農政部編，平成10年普及奨励ならびに指導参考事項，38-39 (1998)。

(9) ピリカ90 (系統名 SL9305) 1998年

登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)準北海道交第61号

セールスポイント

やや多収で耐倒伏性がやや強い早生品種である。

来歴 本品種は，雪印種苗株式会社が育成したテント種×フリント種の単交配一代雑種である。1995年より「SL9305」の系統名で各種の試験を行い，1998年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期及び収穫時熟度は「ヘイゲンミノリ」並である。総体の乾物率は「ヘイゲンミノリ」並かやや

高い。熟期は早生の晩に属する。

2. 耐倒伏性は「ヘイゲンミノリ」よりやや強い。

3. 発芽は「ヘイゲンミノリ」よりやや遅い。初期生育は「ヘイゲンミノリ」並である。

4. 乾総重及び推定TDN収量は「ヘイゲンミノリ」よりやや多い。推定乾物中TDN割合は「ヘイゲンミノリ」よりやや高い。

5. 稈長及び着雌穂高は「ヘイゲンミノリ」より高い。

6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く，「ヘイゲンミノリ」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「ヘイゲンミノリ」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部，道央北部及び網走内陸である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良-5不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	ピ リ カ 90	1.2	8.6	0.3	糊後～黄初	1,358	986	110	27.4	72.6	1995～1997
	ヘイゲンミノリ	1.1	8.6	0.9	糊後～黄初	1,253	893	100	27.0	71.3	
	デ ィ ア	1.7	8.6	0.9	糊後～黄初	1,295	925	104	27.1	71.4	
上 川 農 試	ピ リ カ 90	1.7	7.28	0.0	黄 中	1,739	1,236	105	28.9	71.0	1995～1997
	ヘイゲンミノリ	1.7	7.27	0.5	黄中～後	1,659	1,177	100	27.1	71.1	
	デ ィ ア	2.0	7.25	0.0	黄 中	1,714	1,211	103	27.7	70.7	
北 見 農 試	ピ リ カ 90	1.9	8.14	1.0	糊 後	1,421	1,013	103	23.8	71.3	1995～1997
	ヘイゲンミノリ	1.5	8.14	4.8	糊 中	1,400	986	100	23.5	70.3	
	デ ィ ア	2.8	8.14	16.8	糊 後	1,361	951	96	23.7	69.9	

参照 1) 北海道農政部編，平成10年普及奨励ならびに指導参考事項，40-41 (1998)。

(10) クラリカ (系統名 3893) 1998年
登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第62号

セールスポイント

多収で、ごま葉枯病抵抗性が強い中生品種である。

来歴 本品種は、アメリカのパイオニア社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。1994年にホクレン農業協同組合連合会が導入し、1995年より「3893」の系統名で各種の試験を行い、1998年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「キタユタカ」より1日程度、「3790」より2日程度遅い。収穫時熟度は「キタユタカ」よりやや進み、「3790」並である。総体の乾物率は「キタ

ユタカ」より高く、「3790」並である。熟期は中生の中に属する。

2. 耐倒伏性は「キタユタカ」よりやや強く、「3790」並である。
3. 発芽及び初期生育は「キタユタカ」及び「3790」並である。
4. 乾総重及び推定TDN収量は「キタユタカ」より多く、「3790」よりやや多い。推定乾物中TDN割合は「キタユタカ」より高く、「3790」よりやや高い。
5. 稈長及び着雌穂高は「キタユタカ」より高く、「3790」並かやや高い。
6. すず紋病抵抗性は「キタユタカ」よりやや強く、「3790」より弱い。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」より強く、「3790」並かやや強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良- 5不良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 海 道 農 試	ク ラ リ カ	1.3	8. 5	0.0	黄初～中	1,738	1,278	114	30.2	73.6	1995,1997
	キ タ ユ タ カ	1.1	8. 6	0.3	黄初～中	1,537	1,117	100	26.7	72.7	
	3 7 9 0	1.5	8. 7	0.0	黄 中	1,708	1,241	111	30.4	72.7	
滝 川 畜 試	ク ラ リ カ	1.5	8. 9	1.6	黄初～中	1,781	1,279	109	26.7	71.9	1995～1997
	キ タ ユ タ カ	1.6	8.10	2.4	糊後～黄初	1,664	1,178	100	24.8	70.8	
	3 7 9 0	1.8	8.11	0.2	黄初～中	1,728	1,235	105	27.8	71.5	
上 川 農 試	ク ラ リ カ	2.1	7.30	0.5	黄中～後	1,926	1,391	116	29.3	72.3	1995～1997
	キ タ ユ タ カ	1.9	7.30	4.3	黄 中	1,693	1,202	100	26.3	71.0	
	3 7 9 0	1.9	7.31	0.0	黄 中	1,856	1,331	111	29.6	71.8	

参照 1) 北海道農政部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 36-37 (1998).

(11) KD354 (系統名 KD354) 1999年
登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第63号

セールスポイント

やや多収な早生品種である。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン育種株式会社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。1994年にカネコ種苗株式会社が導入し、1995年より「KD354」の系統名で各種の試験を行い、1999年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ヘイゲンミノリ」より2～3日早く、「ディア」並である。収穫時熟度は「ヘイゲンミノリ」及び「ディア」よりやや進む。総体の乾物率は「ヘイゲンミノリ」並かやや高く、「ディア」並である。熟期は早生の晩に属する。
2. 耐倒伏性は「ヘイゲンミノリ」並である。
3. 発芽は「ヘイゲンミノリ」よりやや遅い。初期生育は「ヘイゲンミノリ」並である。
4. 乾総重及び推定TDN収量は「ヘイゲンミノリ」よりやや多い。推定乾物中TDN割合は「ヘイゲンミノリ」よりやや高い。
5. 稈長及び着雌穂高は「ヘイゲンミノリ」よりやや高い。

6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く、「ヘイゲンミノリ」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや強く、「ヘイゲンミノリ」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部，網走内陸及び道央北部である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良- 5不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	K D 3 5 4	1.4	8.5	33.6	黄 初	1,241	896	108	25.9	72.2	1996～1998
	ヘイゲンミノリ	1.1	8.8	34.1	糊後～黄初	1,170	828	100	24.6	70.8	
	デ ィ ア	1.6	8.6	31.6	糊後～黄初	1,272	908	110	26.0	71.4	
北 見 農 試	K D 3 5 4	1.4	8.14	17.6	糊後～黄初	1,446	1,015	100	23.5	70.2	1996～1998
	ヘイゲンミノリ	1.4	8.14	14.1	糊 中	1,444	1,017	100	23.5	70.4	
上 川 農 試	K D 3 5 4	1.2	7.24	0.0	黄中～後	1,736	1,259	103	30.4	72.1	1996～1998
	ヘイゲンミノリ	1.0	7.27	0.2	黄 中	1,703	1,222	100	29.1	71.8	
	デ ィ ア	1.7	7.24	0.0	黄 中	1,742	1,244	102	30.5	71.4	

参照 1) 北海道農政部編，平成11年普及奨励ならびに指導参考事項，29-30 (1999)。

(12) ロイヤルデント85H (系統名 TH9434) 1999年
登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)準輸交
第64号

セールスポイント

やや多収な早生品種である。

来歴 本品種は，ドイツのクラインワンツレーベン育種株式会社が育成したデント種×フリント種の三系交配一代雑種である。1994年にタキイ種苗株式会社が導入し，1995年より「TH9434」の系統名で各種の試験を行い，1999年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ヘイゲンミノリ」より2日程度早く，「ディア」並である。収穫時熟度は「ヘイゲンミノリ」及び「ディア」よりやや進む。総体の乾物率は「ヘイ

ゲンミノリ」並で，「ディア」よりやや低い。熟期は早生の晩に属する。

2. 耐倒伏性は「ヘイゲンミノリ」並である。

3. 発芽は「ヘイゲンミノリ」よりやや遅く，初期生育は「ヘイゲンミノリ」よりやや劣る。

4. 乾総重及び推定TDN収量は「ヘイゲンミノリ」よりやや多い。推定乾物中TDN割合は「ヘイゲンミノリ」並である。

5. 稈長は「ヘイゲンミノリ」並で，着雌穂高は「ヘイゲンミノリ」より高い。

6. すず紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く，「ヘイゲンミノリ」よりやや強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部，網走内陸及び道央北部である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良- 5不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	ロイヤルデント85H	1.6	8.6	33.8	黄 初	1,192	859	104	24.1	72.1	1996～1998
	ヘイゲンミノリ	1.1	8.8	34.1	糊後～黄初	1,170	828	100	24.6	70.8	
	デ ィ ア	1.6	8.6	31.6	糊後～黄初	1,227	908	110	26.0	71.4	
北 見 農 試	ロイヤルデント85H	2.4	8.14	22.5	糊後～黄初	1,485	1,043	103	23.3	70.3	1996～1998
	ヘイゲンミノリ	1.4	8.14	14.1	糊 中	1,444	1,017	100	23.5	70.4	
上 川 農 試	ロイヤルデント85H	1.6	7.25	0.0	黄中～後	1,726	1,236	101	28.6	71.6	1996～1998
	ヘイゲンミノリ	1.0	7.27	0.2	黄 中	1,703	1,222	100	29.1	71.8	
	デ ィ ア	1.7	7.24	0.0	黄 中	1,742	1,244	102	30.5	71.4	

参照 1) 北海道農政部編，平成11年普及奨励ならびに指導参考事項，30-31 (1999)。

(13) ノベタ (系統名 ノベタ) 2000年
登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第65号

セールスポイント

やや多収な早生品種である。

来歴 本品種は、フランスのパイオニア社が育成したフリントデント種×フリント種の単交配一代雑種である。1994年にホクレン農業協同組合連合会が導入し、1995年より「ノベタ」の系統名で各種の試験を行い、2000年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ヘイゲンミノリ」より2～3日早く、「ディア」より1日早い。収穫時熟度は「ヘイゲンミノリ」及び「ディア」並である。総体の乾物率は「ヘ

イゲンミノリ」より高く、「ディア」並かやや高い。熟期は早生の晩に属する。

2. 耐倒伏性は「ヘイゲンミノリ」並である。
3. 発芽は「ヘイゲンミノリ」より遅く、初期生育は「ヘイゲンミノリ」よりやや劣る。
4. 乾総重及び推定TDN収量は「ヘイゲンミノリ」よりやや多い。推定乾物中TDN割合は「ヘイゲンミノリ」より高い。
5. 稈長及び着雌穂高は「ヘイゲンミノリ」より高く、「ディア」並である。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「ヘイゲンミノリ」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや強く、「ヘイゲンミノリ」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部、道央北部及び網走内陸である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1良- 5不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	ノ ベ タ	1.4	8. 5	36.3	糊後～黄初	1,254	913	110	26.2	72.8	1996～1998
	ヘイゲンミノリ	1.1	8. 8	34.1	糊後～黄初	1,170	828	100	24.6	70.8	
	デ ィ ア	1.6	8. 6	31.6	糊後～黄初	1,227	908	110	26.0	71.4	
北 見 農 試	ノ ベ タ	1.8	8. 6	14.9	黄 初	1,460	1,061	100	28.6	72.7	1997～1999
	ヘイゲンミノリ	1.7	8. 9	14.1	糊 後	1,486	1,058	100	26.4	71.2	
上 川 農 試	ノ ベ タ	1.5	7.24	0.0	黄 中	1,791	1,304	105	32.0	72.8	1997～1999
	ヘイゲンミノリ	1.1	7.25	0.0	黄 中	1,709	1,240	100	31.0	72.1	
	デ ィ ア	1.8	7.24	0.0	黄 中	1,792	1,277	103	31.0	71.2	

参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 49-51 (2000).

(14) ロイヤルデントアポロ90(系統名 TH9597)2000年
登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第66号

セールスポイント

耐倒伏性が強い早生品種である。

来歴：本品種は、フランスのフランス・カナダセメンシス社が育成したフリント種×デント種の単交配一代雑種である。1995年にタキイ種苗株式会社が導入し、1996年より「TH9597」の系統名で各種の試験を行い、2000年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ディア」より1日遅い。収穫時熟度

は「ディア」並である。総体の乾物率は「ディア」よりやや高い。熟期は早生の晩に属する。

2. 耐倒伏性は「ディア」並かやや強い。
3. 発芽は「ディア」並で、初期生育は「ディア」よりやや劣る。
4. 乾総重及び推定TDN収量は「ディア」並である。乾雌穂重割合は「ディア」よりやや高く、推定乾物中TDN割合は「ディア」並かやや高い。
5. 稈長は「ディア」並で、着雌穂高は「ディア」より低い。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く、「ディア」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや強く、「ディア」並である。

栽培適地と奨励態度

一般栽培に準じて栽培できる。

栽培適地は十勝中部，道央北部及び網走内陸である。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	ア ポ ロ 90	6.6	8. 4	28.6	黄 初	1,313	954	99	27.6	72.6	1997～1999
	デ ィ ア	6.8	8. 2	31.6	黄 初	1,341	964	100	27.2	71.9	
北 見 農 試	ア ポ ロ 90	5.2	8. 7	15.4	黄 初	1,557	1,126	103	29.7	72.3	1997～1999
	デ ィ ア	6.0	8. 8	27.1	黄 初	1,543	1,098	100	27.7	71.1	
上 川 農 試	ア ポ ロ 90	6.7	7.25	0.0	黄 中	1,807	1,305	102	32.8	72.2	1997～1999
	デ ィ ア	7.3	7.24	0.0	黄 中	1,792	1,277	100	31.0	71.2	

参照 1) 北海道農政部編，平成12年普及奨励ならびに指導参考事項，52－54 (2000).

(15) DK483 (系統名 SH6547) 2000年

登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第67号

セールスポイント

多収で，耐倒伏性がやや強い晩生品種である。

来歴 本品種は，アメリカのデカルブ・プラント・ジェネティクス社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。1995年に雪印種苗株式会社が導入し，1997年より「SH6547」の系統名で各種の試験を行い，2000年に優良品種となった。

2. 耐倒伏性は「P3732」並かやや強い。
3. 発芽は「P3732」よりやや早く，初期生育は「P3732」より優れる。
4. 乾総重及び推定TDN収量は「P3732」より多い。乾雌穂重割合は「P3732」と同程度である。開花期前後の多雨・寡照・高温条件により，有効雌穂割合が低下することがある。その程度は「P3732」並である。
5. 稈長は「P3732」より短く，着雌穂高は「P3732」並かやや低い。
6. すず紋病抵抗性は「3540」より強く，「P3732」より弱い。ごま葉枯病抵抗性は「3540」及び「P3732」と同程度である。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「P3732」とほぼ同じである。収穫時熟度及び総体の乾物率は「P3732」と同程度である。熟期は晩生の早に属する。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央（北部を除く）及び道南である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 海 道 農 試	D K 4 8 3	7.0	8. 7	25.5	黄初～中	1,776	1,269	111	26.8	71.2	1997～1999
	P 3 7 3 2	5.8	8. 8	31.5	黄 中	1,636	1,146	100	26.4	69.3	
滝 川 畜 試	D K 4 8 3	8.0	8.16	11.4	黄 初	1,797	1,279	100	23.3	71.1	1997～1999
	P 3 7 3 2	6.2	8.16	18.1	黄 中	1,765	1,280	100	25.7	72.5	
道 南 農 試	D K 4 8 3	7.5	8. 7	33.5	黄 中	1,800	1,291	117	32.6	71.8	1997～1999
	P 3 7 3 2	6.3	8. 7	34.0	黄 中	1,558	1,107	100	29.6	71.1	

注) 滝川畜試の1999年は適期播種ができなかったため，倒伏のみ1997～1999年の平均とし，その他の形質は1997～1998年の平均とした。

参照 1) 北海道農政部編，平成12年普及奨励ならびに指導参考事項，55－57 (2000).

(16) **DK566** (系統名 DK566) 2000年
登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)準輸交
第68号

セールスポイント

耐倒伏性およびごま葉枯病抵抗性が強い晩生品種である。

来歴 本品種は、アメリカのデカルブ・プラント・ジェネティクス社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。1995年にカネコ種苗株式会社が導入し、1997年より「DK566」の系統名で各種の試験を行い、2000年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「3540」より約1日早い。収穫時熟度

は「3540」並かやや遅れる。総体の乾物率は「3540」並かやや高い。熟期は晩生の中に属する。
2. 耐倒伏性は「3540」並である。
3. 発芽は「3540」並で、初期生育は「3540」並かやや劣る。
4. 乾総重は「3540」並かやや少なく、推定TDN収量は「3540」並である。乾雌穂重割合は「3540」より高い。
5. 稈長及び着雌穂高は「3540」並である。
6. すず紋病抵抗性は「3540」より強く、「P3732」と同程度である。ごま葉枯病抵抗性は「3540」及び「P3732」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央(北部を除く)及び道南である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
北 海 道 農 試	D K 5 6 6	5.4	8.12	29.6	糊後～黄初	1,866	1,347	99	25.6	72.2	1997～1999
	3 5 4 0	6.5	8.13	30.1	黄初～中	1,928	1,360	100	26.3	70.5	
滝 川 畜 試	D K 5 6 6	8.9	8.19	27.2	黄初～中	1,925	1,391	97	23.6	77.2	1997～1999
	3 5 4 0	7.3	8.19	17.0	黄 中	2,032	1,441	100	23.6	70.8	
道 南 農 試	D K 5 6 6	6.5	8.9	34.4	黄 中	1,826	1,315	103	30.2	72.1	1997～1999
	3 5 4 0	7.8	8.11	33.3	黄 中	1,810	1,272	100	30.0	70.3	

注) 滝川畜試の1999年は適期播種ができなかったため、倒伏のみ1997～1999年の平均とし、その他の形質は1997～1998年の平均とした。

参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 58-60 (2000).

(17) **モノポル85** (系統名 TH9623) 2001年
登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)準輸交
第69号

セールスポイント

多収で、耐倒伏性が強く、すず紋病抵抗性がやや強い早生品種である。

来歴 本品種はドイツのクラインワンツレーベン社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。1996年にタキイ種苗株式会社が導入し、1998年より「TH9623」の系統名で各種の試験を行い、2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ディア」より約1～2日早く、収穫

時熟度は「ディア」よりやや進む。総体の乾物率は「ディア」並である。熟期は早生の晩である。
2. 初期生育は「ディア」より優れ、稈長は「ディア」よりやや高く、着雌穂高は「ディア」並である。耐倒伏性は「ディア」並である。
3. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「ディア」よりやや強く、ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや弱く、「ディアHT」より弱い。
4. 乾総重、推定TDN収量は「ディア」より多く、乾雌穂重割合は「ディア」よりやや高い。推定乾物中TDN割合は「ディア」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部、網走内陸及び道央北部地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	モ ノ ボ ル 85	7.3	8. 4	4.7	黄 初	1,583	1,155	105	29.2	72.9	1998～2000
	デ ィ ア	5.5	8. 5	11.6	黄 初	1,526	1,105	100	29.8	72.4	
十 勝 農 試	モ ノ ボ ル 85	7.1	7.30	33.3	黄初～中	1,467	1,074	109	25.6	73.2	1998～2000
	デ ィ ア	5.7	7.31	30.8	黄 初	1,348	989	100	26.2	73.3	
上 川 農 試	モ ノ ボ ル 85	8.5	7.21	1.1	黄中～後	1,853	1,338	110	31.3	72.2	1998～2000
	デ ィ ア	6.6	7.23	0.2	黄 中	1,718	1,221	100	30.9	71.1	

参照 1)北海道農政部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 40-42 (2001).

(18) 35G86 (系統名 X1045T) 2001年

登録番号: (北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第70号

セールスポイント

多収で, 耐倒伏性がやや強く, ごま葉枯病抵抗性が強い晩生品種である。

来歴 本品種は, アメリカのパイオニア社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。1996年にホクレン農業協同組合連合会が導入し, 1998年より「X1045T」の系統名で各種の試験を行い, 2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「P3732」より約1日遅く, 収穫時熟度及び総体の乾物率はほぼ「P3732」並である。熟期は晩生の早である。
2. 初期生育は「P3732」より優れ, 稈長および着雌穂高は「P3732」より高い。耐倒伏性はほぼ「P3732」並である。
3. すず紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は「3540」より強く, 「P3732」並である。
4. 乾総重, 推定TDN収量は「P3732」より多く, 乾雌穂重割合は「P3732」よりやや低い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央(北部を除く)及び道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 海 道 農 試	3 5 G 8 6	5.6	8. 7	31.1	黄 初	2,013	1,447	124	30.0	71.9	1998～2000
	P 3 7 3 2	4.5	8. 6	31.5	黄初～中	1,665	1,171	100	27.0	69.6	
畜 試 滝川試験地	3 5 G 8 6	7.7	8.11	33.0	黄 中	2,078	1,503	106	27.3	72.4	1998～2000
	P 3 7 3 2	6.1	8.10	17.7	黄 中	1,925	1,418	100	27.4	73.7	
道 南 農 試	3 5 G 8 6	7.8	8. 5	63.1	黄 中	1,788	1,287	115	30.9	72.0	1998～2000
	P 3 7 3 2	6.3	8. 4	65.2	黄 中	1,562	1,122	100	29.6	71.9	

注) 畜試滝川試験地は倒伏のみ1998年～2000年の3か年平均値, その他の形質は1999年を除く2か年平均値。

参照 1)北海道農政部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 43-45 (2001).

(19) カリメラ (系統名 カリメラ) 2002年

登録番号: (北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第72号

セールスポイント

多収で耐倒伏性が強い早生品種である。

来歴 本品種は, アメリカのパイオニア社が育成したデ

ント種×フリント種の単交配一代雑種である。1997年にホクレン農業協同組合連合会が導入し, 1999年より「カリメラ」の系統名で各種の試験を行い, 2002年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ディアHT」より1日遅く, 収穫時

熟度及び総体の乾物率は「ディアHT」並である。熟期は早生の晩である。

- 初期生育は「ディアHT」よりやや劣り、稈長及び着雌穂高は「ディアHT」より高い。耐倒伏性は「ディアHT」並である。
- すす紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや強く、「ディアHT」よりやや弱い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く、「ディアHT」よりやや強

い。

- 乾総重、推定TDN収量は「ディアHT」より多く、乾雌穂重割合及び推定乾物中TDN割合は「ディアHT」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部及び網走内陸地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (9極良-1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	カ リ メ ラ	5.1	8. 4	7.8	黄 後	1,734	1,267	113	30.1	73.1	1999～2001
	デ ィ ア H T	5.4	8. 3	0.0	黄 中	1,550	1,125	100	29.1	72.6	
十 勝 農 試	カ リ メ ラ	4.5	7.29	0.6	黄 中	1,570	1,155	111	27.9	73.6	1999～2001
	デ ィ ア H T	5.1	7.29	0.0	黄初～中	1,426	1,045	100	26.9	73.3	
上 川 農 試	カ リ メ ラ	6.5	7.23	0.9	黄 中	1,790	1,242	102	29.6	69.3	1999～2001
	デ ィ ア H T	7.2	7.23	0.5	黄 中	1,737	1,218	100	29.5	70.1	

参照 1)北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 29-30 (2002).

20 ジェレミス (系統名 JEREMIS) 2002年

登録番号:(北海道)とうもろこし(飼)準輸交
第73号

セールスポイント

多収で、耐倒伏性が強く、すす紋病抵抗性がやや強い中生品種である。

来歴 本品種は、フランスのポー・セマース社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。1997年に株式会社ゲン・コーポレーションが導入し、1999年より「JEREMIS」の系統名で各種の試験を行い、2002年に優良品種となった。

特性概要

- 絹糸抽出期は「DK300」より2日早く、収穫時熟

度は「DK300」並である。総体の乾物率は「DK300」よりやや低い。熟期は中生の早である。

- 初期生育は「DK300」より優れ、稈長及び着雌穂高は「DK300」より高い。耐倒伏性は「DK300」並である。
- すす紋病抵抗性は「キタユタカ」より強く、「DK300」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」及び「DK300」並である。
- 乾総重、推定TDN収量は「DK300」より多く、乾雌穂重割合は「DK300」より高い。推定乾物中TDN割合は「DK300」よりやや高い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部、十勝中部及び網走内陸の気象条件の良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (9極良-1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	ジ ェ レ ミ ス	6.2	8. 4	0.6	黄 中	1,638	1,202	109	27.9	73.5	1999～2001
	D K 3 0 0 0	5.0	8. 6	6.7	黄 中	1,518	1,102	100	28.1	72.6	
十 勝 農 試	ジ ェ レ ミ ス	5.9	7.31	0.3	黄初～中	1,611	1,182	110	26.3	73.4	1999～2001
	D K 3 0 0 0	4.9	8. 2	0.0	黄 初	1,472	1,079	100	26.8	73.3	
上 川 農 試	ジ ェ レ ミ ス	8.0	7.24	1.9	黄中～後	1,917	1,419	105	34.8	74.2	1999～2001
	D K 3 0 0 0	6.4	7.27	0.5	黄 中	1,837	1,347	100	34.5	73.2	

参照 1)北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 31-32 (2002).

(21) 36A43 (系統名 36A43) 2002年
登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第71号

セールスポイント

やや多収で、すす紋病抵抗性がやや強く、ごま葉枯病抵抗性が強い晩生品種である。

来歴 本品種は、アメリカのパイオニア社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。1997年にホクレン農業協同組合連合会が導入し、1999年より「36A43」の系統名で各種の試験を行い、2002年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「3845」より1～2日遅く、収穫時熟

度は「3845」よりやや遅れる。総体の乾物率は「3845」並かやや低い。熟期は中生の晩である。

- 初期生育は「3845」よりやや劣る。稈長は「3845」並で着雌穂高は「3845」より高い。耐倒伏性は「3845」よりやや強い。
- すす紋病抵抗性は「キタユタカ」より強く「3845」並かやや弱い。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」より強く「3845」よりやや強い。
- 乾総重、推定TDN収量は「3845」よりやや多い。乾雌穂重割合は「3845」よりやや低い。開花期前後の多雨・少日照条件により有効雌穂割合が低下することがある。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央（北部を除く）及び道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 生 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 TDN (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	TDN (kg)	同左比 (%)			
北 農 研 セ ン タ ー	3 6 A 4 3	6.3	8. 6	2.5	黄 中	1,971	1,427	110	30.9	72.4	1999～2001
	3 8 4 5	7.5	8. 3	19.5	黄初～中	1,788	1,302	100	30.1	72.8	
上 川 農 試	3 6 A 4 3	6.6	8. 1	14.4	黄初～中	2,086	1,487	100	31.3	71.4	1999～2001
	3 8 4 5	7.5	7.30	14.8	黄中～後	2,034	1,483	100	33.9	72.9	
畜 試 滝川試験地	3 6 A 4 3	5.5	8. 9	24.0	黄後	1,821	1,317	107	28.1	72.2	1999～2001
	3 8 4 5	6.5	8. 7	49.0	黄後	1,681	1,229	100	29.5	73.0	

注)畜試滝川試験地は倒伏のみ1999年～2001年の3か年平均値、その他の形質は1999年を除く2か年平均値。

参照 1)北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 33-34 (2002).

(22) おおぞら (系統名 北交55号) 2002年
登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 北海道交
第71号
(農水省) とうもろこし農林交56号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

やや多収で、耐倒伏性が強く、ごま葉枯病抵抗性がやや強い中生品種である。

来歴 本品種は、独立行政法人北海道農業研究センターが、耐倒伏性が強く、初期生育に優れ登熟の早い安定・多収な中生品種の育成を目標に、「Ho57」を種子親、「Ho49」を花粉親として育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。1998年に「月交580」、1999年より「北交55号」の系統名で各種の試験を行い、2002年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「3790」より1日遅く「3845」並で、

総体の乾物率は「3790」並である。熟期は中生の中である。

- 初期生育は「3790」より優れ「3845」並である。稈長は「3790」より高く、「3845」よりやや高い。着雌穂高は「3790」及び「3845」より高い。耐倒伏性は「3790」及び「3845」より強い。
- すす紋病抵抗性は「キタユタカ」よりやや強く「3790」及び「3845」より弱い。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」より強く「3845」並で、「3790」より弱い。
- 乾総重、推定TDN収量は「3790」及び「3845」よりやや多い。乾雌穂重割合は「3790」及び「3845」よりやや低い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央（北部を除く）及び道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。密植適性は比較的高いが、栽植密度は6,800～8,000本/10 a程度とする。

試験場名	品 種 名	初 生 期 育 (9極良-1極不良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)		
北 農 研 セ ン タ ー	お お ぞ ら	8.4	8.4	9.0	黄 中	1,863	1,344	106	29.6	1997～2001
	3 7 9 0	6.9	8.5	32.3	黄 中	1,765	1,273	100	29.7	
	3 8 4 5	7.5	8.5	37.9	黄初～中	1,809	1,318	104	30.0	
上 川 農 試	お お ぞ ら	7.2	7.31	3.0	黄中～後	2,052	1,458	100	34.5	1998～2001
	3 7 9 0	7.4	7.28	10.4	黄中～後	1,995	1,455	100	34.0	
	3 8 4 5	7.7	7.29	10.7	黄中～後	2,028	1,479	102	33.6	
畜 試 滝 川 試 験 地	お お ぞ ら	6.7	8.8	12.7	黄 後	1,712	1,238	102	30.3	2000～2001
	3 7 9 0	4.5	8.7	24.7	黄中～後	1,676	1,215	100	29.7	
	3 8 4 5	6.5	8.8	57.3	黄中～後	1,680	1,228	101	29.4	

参照 1)北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 35-36 (2002).

2)濃沼圭一 等, 北海道農研研報, 180, 1-17(2004).

23) ビスカ (系統名 X0826X) 2003年

登録番号: (北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第74号

セールスポイント

やや多収で, 耐倒伏性及びすす紋病抵抗性がやや強い
早生品種である。

来歴 本品種は, アメリカのパイオニア社が育成したデ
ント種×フリント種の単交配一代雑種である。1998年に
ホクレン農業協同組合連合会が導入し, 1999年より
「X0826X」の系統名で各種の試験を行い, 2003年に優
良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「オーロラ82」より4日遅く, 収穫時

熟度は「オーロラ82」よりやや遅れる。総体の乾物率
は「オーロラ82」よりやや高い。熟期は早生の中であ
る。

2. 初期生育は「オーロラ82」並で, 稈長および着雌穂
高は「オーロラ82」より高い。耐倒伏性は「オーロラ
82」並である。

3. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」および「オーロ
ラ82」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲ
ン」よりやや強く「オーロラ82」よりやや弱い。

4. 乾総重, 推定TDN収量は「オーロラ82」よりやや
多く, 乾雌穂重割合及び推定乾物中TDN割合は「オー
ロラ82」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部, 十勝及び網走地域である。一般
栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 生 期 育 (9極良-1極不良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
北 見 農 試	ビ ス カ	6.3	8.10	5.0	黄 中	1,651	1,177	103	24.5	71.3	2000～2002
	オ ー ロ ラ 82	5.9	8.8	0.0	黄 中	1,589	1,139	100	22.6	71.6	
十 勝 農 試	ビ ス カ	5.7	8.2	0.2	黄 初	1,622	1,179	107	27.7	72.7	2000～2002
	オ ー ロ ラ 82	5.7	7.29	2.0	黄初～中	1,512	1,102	100	25.7	72.9	
上 川 農 試	ビ ス カ	7.2	7.26	0.5	黄初～中	1,936	1,398	109	29.8	72.2	2000～2002
	オ ー ロ ラ 82	7.5	7.23	0.0	黄中～後	1,778	1,283	100	28.0	72.2	

参照 1)北海道農政部編, 平成15年普及奨励ならびに指導参考事項, 25-26 (2003).

⑭ リッチモンド (系統名 HE9815) 2003年
登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 準輸交
第75号

セールスポイント

やや多収で、耐倒伏性がやや強く、ごま葉枯病抵抗性が強い早生品種である。

来歴 本品種は、フランスのリマグレイン社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。1998年に雪印種苗株式会社が導入し、2000年より「HE9815」の系統名で各種の試験を行い、2003年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「オーロラ82」より1日遅く、収穫時

熟度は「オーロラ82」並である。総体の乾物率は「オーロラ82」より高い。熟期は早生の中である。

2. 初期生育は「オーロラ82」並である。稈長は「オーロラ82」並で、着雌穂高は「オーロラ82」よりやや低い。耐倒伏性は「オーロラ82」並である。
3. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや強く「オーロラ82」並である。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「オーロラ82」より強い。
4. 乾総重、推定TDN収量は「オーロラ82」よりやや多く、乾雌穂重割合は「オーロラ82」並かやや低い。推定乾物中TDN割合は「オーロラ82」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部、十勝及び網走地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	リッチモンド	5.7	8.9	0.0	黄 中	1,635	1,158	100	26.0	70.8	2000～2002
	オーロラ82	5.9	8.7	0.0	黄 中	1,610	1,155	100	22.4	71.6	
十 勝 農 試	リッチモンド	5.8	7.28	0.3	黄 中	1,637	1,202	109	30.1	73.4	2000～2002
	オーロラ82	5.7	7.29	2.0	黄初～中	1,512	1,102	100	25.7	72.9	
上 川 農 試	リッチモンド	7.2	7.23	0.0	黄 中	1,987	1,436	112	31.9	72.3	2000～2002
	オーロラ82	7.5	7.23	0.0	黄中～後	1,778	1,283	100	28.0	72.2	

参照 1)北海道農政部編, 平成15年普及奨励ならびに指導参考事項, 27-28 (2003).

⑮ SL9851 (系統名 SL9851) 2003年
登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 準北海
道交第76号

セールスポイント

やや多収で、耐倒伏性及びごま葉枯病抵抗性がやや強い早生品種である。

来歴 本品種は、雪印種苗株式会社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2000年より「SL9851」の系統名で各種の試験を行い、2003年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ディアHT」より3日遅いが、低温条件ではやや遅れることがある。収穫時熟度及び総体

の乾物率は「ディアHT」並である。熟期は早生の晩である。

2. 初期生育は「ディアHT」よりやや劣る。稈長は「ディアHT」よりやや高く、着雌穂高は「ディアHT」並である。耐倒伏性は「ディアHT」並である。
3. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く「ディアHT」並である。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「ディアHT」より強い。
4. 乾総重、推定TDN収量は「ディアHT」よりやや多く、乾雌穂重割合及び推定乾物中TDN割合は「ディアHT」並かやや低い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部及び網走内陸の気象条件の良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	S L 9 8 5 1	5.1	8.11	1.7	黄 初	1,522	1,070	101	24.4	70.3	2000～2002
	デ ィ ア H T	5.4	8.7	0.0	黄 中	1,482	1,057	100	25.9	71.3	
十 勝 農 試	S L 9 8 5 1	4.2	8.2	0.7	黄初～中	1,561	1,125	107	26.6	72.0	2000～2002
	デ ィ ア H T	5.0	7.30	0.0	黄 初	1,447	1,052	100	25.8	72.7	
上 川 農 試	S L 9 8 5 1	5.8	7.26	1.4	黄 中	1,817	1,316	109	28.2	72.4	2000～2002
	デ ィ ア H T	6.6	7.24	1.4	黄初～中	1,708	1,203	100	27.7	70.3	

参照 1)北海道農政部編, 平成15年普及奨励ならびに指導参考事項, 29-30 (2003).

(26) TH9861 (系統名 TH9861) 2003年
登録番号:(北海道)とうもろこし(飼)準輸交
第77号

セールスポイント

多収で, 耐倒伏性がやや強く, 病害抵抗性が強い中生品種である。

来歴 本品種は, フランスカナダ・セメンセス社が育成したフロント種×デント種の単交配一代雑種である。1998年にタキイ種苗株式会社が導入し, 2000年より「TH9861」の系統名で各種の試験を行い, 2003年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ロイヤルデント90H」より約2日遅

く, 収穫時熟度及び総体の乾物率は「ロイヤルデント90H」並である。熟期は中生の早である。

- 初期生育は「ロイヤルデント90H」並で, 稈長及び着雌穂高は「ロイヤルデント90H」より高い。耐倒伏性は「ロイヤルデント90H」よりやや強い。
- すず紋病抵抗性は「ロイヤルデント90H」及び「キタユタカ」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「ロイヤルデント90H」よりやや強く, 「キタユタカ」より強い。
- 乾総重及び推定TDN収量は「ロイヤルデント90H」より多く, 乾雌穂重割合は「ロイヤルデント90H」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部の気象条件の良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	T H 9 8 6 1	5.4	8.1	0.5	糊後～黄初	1,572	1,158	108	24.4	73.7	2000～2002
	ロイヤルデント90H	5.9	7.28	1.3	黄 初	1,460	1,069	100	25.6	73.2	
畜 試 滝川試験地	T H 9 8 6 1	6.3	8.5	1.7	黄 中	1,530	1,120	110	30.2	73.1	2000～2002
	ロイヤルデント90H	6.0	8.4	2.3	黄 中	1,401	1,020	100	26.8	72.8	
北 農 研 センター	T H 9 8 6 1	7.8	7.29	0.0	黄初～中	1,617	1,179	111	27.2	72.0	2000～2002
	ロイヤルデント90H	8.0	7.27	0.0	黄初～中	1,459	1,063	100	27.1	72.9	

参照 1)北海道農政部編, 平成15年普及奨励ならびに指導参考事項, 31-32 (2003).

(27) チベリウス (系統名 HK9851) 2004年
登録番号:(北海道)とうもろこし(飼)輸交
第26号

セールスポイント

多収で, 耐倒伏性及びごま葉枯病抵抗性がやや強い早生品種である。

来歴 本品種は, ドイツのクラインワンツレーベン育種株式会社が育成したデント種×フロント種の単交配一代雑種である。1999年にホクレン農業協同組合連合会が導入し, 2000年より「HK9851」の系統名で各種の試験を行い, 2004年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期および収穫時熟度は「オーロラ82」並で、総体の乾物率は「オーロラ82」よりやや高い。熟期は「オーロラ82」と同じ早生の中である。
2. 初期生育は「オーロラ82」並である。稈長は「オーロラ82」よりやや高く、着雌穂高は「オーロラ82」並である。耐倒伏性は「オーロラ82」並である。
3. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」並で「オーロラ82」よりやや弱い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイ

ゲン」及び「オーロラ82」より強い。

4. 乾総重、推定TDN収量は「オーロラ82」より多く、乾雌穂重割合は「オーロラ82」よりやや高い。推定乾物中TDN 割合は「オーロラ82」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部、十勝及び網走地域である。すす紋病抵抗性が「オーロラ82」よりやや弱いので、連作を避け、適正な肥培管理を行う。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	チ ベ リ ウ ス	5.9	8. 8	15.0	黄初～中	1,699	1,225	106	25.7	72.1	2001～2003
	オ ー ロ ラ 82	6.0	8. 9	0.0	黄初～中	1,610	1,157	100	23.6	71.7	
十 勝 農 試	チ ベ リ ウ ス	5.6	8. 2	0.7	黄初	1,755	1,274	110	27.6	72.6	2001～2003
	オ ー ロ ラ 82	5.8	8. 2	2.0	黄初	1,608	1,155	100	26.7	71.9	
上 川 農 試	チ ベ リ ウ ス	7.1	7.23	0.0	黄初～中	2,073	1,495	117	28.1	72.1	2001～2003
	オ ー ロ ラ 82	7.1	7.24	0.0	黄中	1,784	1,283	100	25.7	71.9	

参照 1)北海道農政部編，平成16年普及奨励ならびに指導参考事項，20-21 (2004)。

(28) ネオ85 (系統名 TH9952) 2004年

登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)輸交
第27号

セールスポイント

やや多収で、耐倒伏性が強く、ごま葉枯病抵抗性がやや強い早生品種である。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン育種株式会社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。1999年にタキイ種苗株式会社が導入し、2000年より「TH9952」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ディアHT」より2日遅く、収穫時

熟度及び総体の乾物率は「ディアHT」並である。熟期は早生の晩である。

2. 初期生育は「ディアHT」並である。稈長及び着雌穂高は「ディアHT」並である。耐倒伏性は「ディアHT」並である。
3. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く「ディアHT」並である。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「ディアHT」より強い。
4. 乾総重、推定TDN収量は「ディアHT」よりやや多く、乾雌穂重割合及び推定乾物中TDN割合は「ディアHT」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部、十勝中部及び網走内陸地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	ネ オ 8 5	4.7	8.13	0.0	黄 初	1,550	1,090	104	23.0	70.4	2001～2003
	デ ィ ア H T	5.5	8. 9	0.0	黄 初	1,484	1,051	100	24.4	70.8	
十 勝 農 試	ネ オ 8 5	4.3	8. 5	0.7	黄 初	1,664	1,196	108	26.3	71.8	2001～2003
	デ ィ ア H T	4.9	8. 3	0.0	黄 初	1,557	1,111	100	26.8	71.4	
上 川 農 試	ネ オ 8 5	6.0	7.26	0.0	黄初～中	2,011	1,428	113	25.8	71.0	2001～2003
	デ ィ ア H T	6.1	7.25	0.0	黄初～中	1,772	1,260	100	26.4	71.1	

参照 1)北海道農政部編，平成16年普及奨励ならびに指導参考事項，22-23 (2004)。

⑨ 36B08 (系統名 36B08) 2004年
登録番号：(北海道) とうもろこし (飼) 輸交
第28号

セールスポイント

やや多収で、ごま葉枯病抵抗性がやや強い中生品種である。

来歴 本品種は、アメリカのパイオニア社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。2000年にホクレン農業協同組合連合会が導入し、2001年より「36B08」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「3845」並かやや遅く、収穫時熟度は

「3845」並かやや遅れる。総体の乾物率は「3845」よりやや低い。熟期は中生の晩である。

2. 初期生育は「3845」並かやや劣る。稈長は「3845」より低く、着雌穂高は「3845」並である。耐倒伏性は「3845」並である。
3. すず紋病抵抗性は「3845」並で「キタユタカ」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「3845」及び「キタユタカ」より強い。
4. 乾総重、推定TDN収量は「3845」よりやや多く、乾雌穂重割合は「3845」より低い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央（北部を除く）及び道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (9極良- 1極不良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
北 農 研 セ ン タ ー	3 6 B 0 8	6.2	8. 8	17.7	黄 中	1,932	1,377	105	27.9	71.3	2001～2003
	3 8 4 5	7.7	8. 7	10.2	黄 中	1,809	1,309	100	30.2	72.4	
上 川 農 試	3 6 B 0 8	6.5	7.31	0.0	黄 初	2,205	1,564	102	28.9	70.9	2001～2003
	3 8 4 5	6.5	7.31	1.4	黄初～中	2,120	1,528	100	30.6	72.1	
畜 試 滝 川 試 験 地	3 6 B 0 8	5.7	8.14	1.2	黄 中	1,647	1,165	103	25.9	70.5	2001～2003
	3 8 4 5	6.1	8.13	3.7	黄初～中	1,566	1,132	100	27.0	72.1	

参照 1)北海道農政部編，平成16年普及奨励ならびに指導参考事項，24-25 (2004)。

4. 大豆

(1) いわいくろ (系統名 中育39号) 1998年

登録番号(北海道) 大豆北海道第36号
(農水省) だいで農林107号
(種苗法) 第9796号

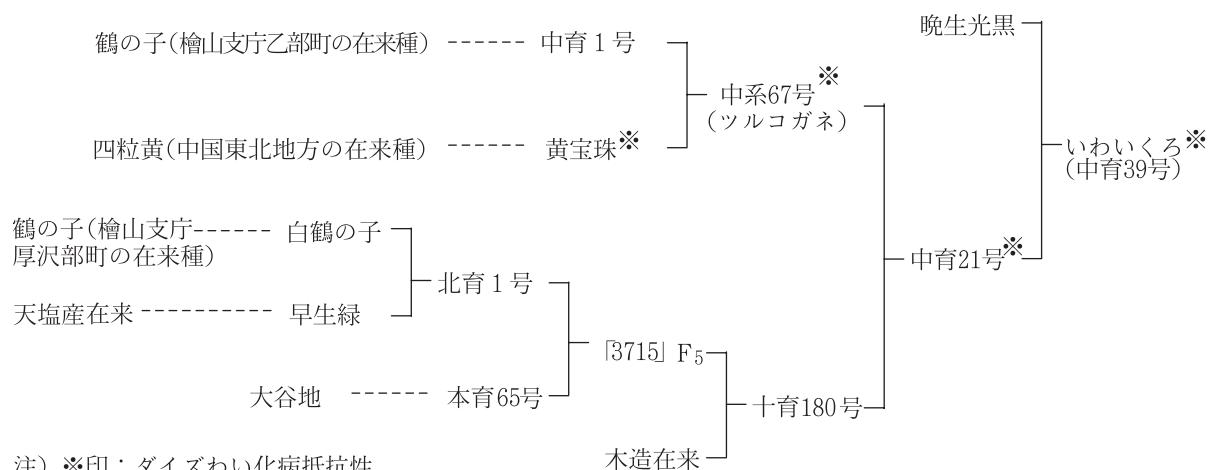
セールスポイント

早熟で極大粒の黒大豆で、粒が豊満であり煮豆加工適性に優れる品種である。

来歴 本品種は、極大粒、良質多収、ダイズわい化病抵抗性の黒大豆品種の育成を目標に、1986年に北海道立中央農業試験場において「晩生光黒」を母、「中育21号」を父に人工交配し、以降、系統育種法により選抜・育成した。1993年に「中系305号」、1994年から「中育39号」の系統名で各種試験を行い、1998年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 成熟期は、ほぼ「トカチクロ」並みの中生種である。
2. 主茎長は「中生光黒」，「晩生光黒」より短く倒伏はこれらより少ない。小葉は円葉，花色は白，毛茸色は褐，熟莢色は褐，裂莢の難易は易である。
3. 粒の大きさは極大粒で「中生光黒」より15%以上重い。粒形は扁球であるが丸みがあり豊満である。粒の光沢は「中生光黒」の強に対し中である。裂皮の難易は中で裂皮粒の発生は「中生光黒」より多いが、このうち、検査上問題となる大裂皮粒はあまり発生しない。外観品質は「中生光黒」より優れる。
4. 収量は「中生光黒」よりやや劣るが、規格内収量（道南の函黒規格，ふるい目9.1mm以上）は同品種より多く「晩生光黒」に近い。
5. わい化病抵抗性はやや強である。シストセンチュウ，茎疫病およびべと病抵抗性は弱である。



注) ※印：ダイズわい化病抵抗性

6. 煮豆は、皮浮き、煮崩れなど少なく、外観と風味の評価が高く、煮豆加工適性は「中生光黒」、「トカチクロ」より優れ、「晩生光黒」並である。

ので発生圃場への作付けは避け、適正な輪作を行う。ダイズべと病は弱なので、従来品種と同様の対策を行う。ダイズわい化病抵抗性はやや強であるが抵抗性は十分ではないので、アブラムシ発生環境に留意し防除を徹底する。従来極大粒品種に準じて肥培管理、脱穀調製を行う。中、上位葉が縮葉する特徴があるので、ウイルス病との区別に留意する。

栽培適地と奨励態度

道央、道南、十勝地域及びこれに準ずる地帯に適する。栽培上の注意は、ダイズシストセンチュウ抵抗性は弱な

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本)	莢 数		子実重 (kg)	同左比 (%)			
中央農試	いわいくろ	7.25	10. 5	58	5.8	52.0	2.0	335	90	46.1	2 中	1994～ 1997
	中生光黒	7.29	10.12	66	5.4	67.6	2.6	373	100	40.0	3 上	
	トカチクロ	8. 3	10.17	73	5.1	44.6	2.5	295	79	48.8	2 下	
	晩生光黒	7.23	10. 3	58	7.4	78.1	1.7	409	110	41.4	3 中	
上川農試	いわいくろ	7.26	10.10	72	4.6	60.1	3.2	387	107	45.6	2 上	1994～ 1997
	中生光黒	7.28	(10.18)	89	5.4	85.6	3.7	361	100	36.2	3 上	
	トカチクロ	7.22	10. 5	75	6.7	80.5	3.3	425	118	38.5	2 下	
十勝農試	いわいくろ	7.25	10. 6	63	5.2	45.2	0.4	302	95	42.8	2 中	1994～ 1997
	中生光黒	7.28	10.16	78	4.1	57.5	2.8	318	100	36.7	2 下	
	トカチクロ	7.22	10. 5	63	5.4	61.6	1.2	314	99	36.6	2 下	
遺伝資源 センター	いわいくろ	7.24	10. 1	68	3.8	51.8	3.0	339	90	46.3	2 中	1994～ 1997
	中生光黒	7.25	10. 7	75	3.4	69.1	2.9	376	100	40.4	3 上	
	晩生光黒	7.29	10.13	86	2.8	44.8	3.3	296	79	46.3	2 下	
	トカチクロ	7.17	9.26	66	6.1	73.1	2.3	358	95	38.6	3 上	
道南農試	いわいくろ	7.23	9.30	73	4.2	59	1.9	285	120	45.0	2 中	1994～ 1997
	中生光黒	7.23	10. 6	84	4.0	76	2.8	319	135	39.1	2 中	
	晩生光黒	7.29	10. 9	93	4.7	54	3.0	237	100	48.9	2 下	

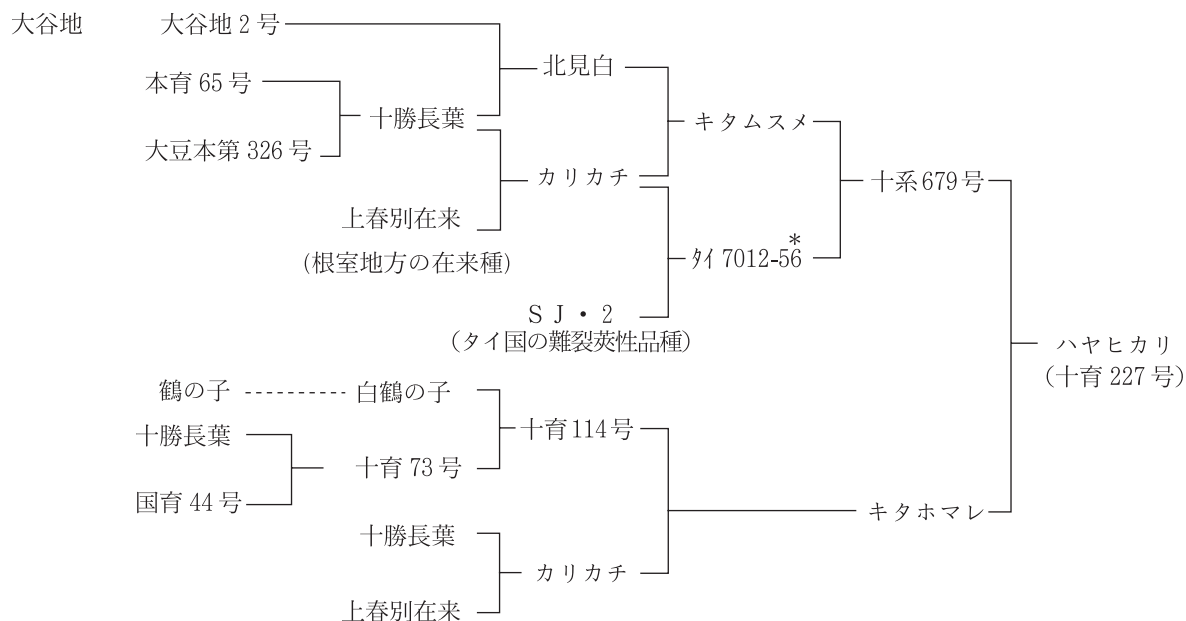
注) 上川農試、「中生光黒」の成熟期：1995,1997年に未成熟のため()を付した。

- 参照 1) 北海道農政部編，平成10年普及奨励ならびに指導参考事項，21-23 (1998).
2) 白井和栄 等，北海道立農試集報. 78,39-58 (2000).

- (2) **ハヤヒカリ** (系統名 十育227号) 1998年
 登録番号：(北海道) 大豆北海道第37号
 (農水省) だいで農林108号
 (種苗法) 第9797号

セールスポイント

早熟で、耐冷性が強く、密植による増収効果が高いコンバイン収穫向きの褐目品種である。



注) *タイ7012-56：日・タイ間的大豆育種に関する共同研究により昭和45年にタイ国において人工交配し、F₄以降北海道立十勝農業試験場で選抜してきた難裂莢性の育成系統である。

特性概要

- 主莖長は「キタムスメ」の中に対し短、主莖節数と分枝数はいずれも少である。伸育型は有限であり、熟莢色は褐を呈する。
- 胚軸色は緑、花色は白、小葉の形は円葉、毛茸は褐・直毛でその多少は中程度である。
- 粒形は「キタムスメ」と同じ球、粒の大小は同品種の中の大に対し中である。臍の色は暗褐、種皮の色は黄白である。
- 開花期、成熟期はともに「キタムスメ」より早く中の早であり、生態型は夏大豆型に属する。
- 子実収量は標準密度では「キタムスメ」並であるが、密植では「キタムスメ」より多い。低温抵抗性(開花期/生育期)は同品種と同じ強/強である。
- シストセンチュウ抵抗性、わい化病抵抗性、黒根病抵抗性および茎疫病抵抗性は「キタムスメ」と同じく弱である。倒伏抵抗性は同品種の中に対し強である。裂莢の難易は同品種の易に対し難であり、最下着莢節

来歴 本品種は、1983年に北海道立十勝農業試験場において、耐冷性が強く安定多収で機械収穫向き難裂莢性品種の育成を目標とし、「十系679号」を母、「キタホマレ」を父として人工交配を行い、以後選抜と固定を図り、その後代から育成したもので、1992年から「十系802号」、1994年からは「十育227号」の系統名で各種試験を行い、1998年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

位高は同品種よりやや低い中である。

- 外観上の品質は「キタムスメ」並であるが、裂皮粒の発生は同品種より少ない。
- 子実の粗蛋白および粗脂肪含有率は「キタムスメ」と同様にそれぞれ低および中である。豆腐、納豆および煮豆の加工適性はいずれも同品種と同等である。また味噌の加工適性は同品種並に優れ、もやしの加工適性は同品種より優る。

栽培適地と奨励態度

十勝(中央部を除く)、網走、上川、留萌地域およびこれに準ずる地帯に適する。栽培上の注意は、1.わい化病抵抗性が弱なので防除を徹底するとともに圃場周辺の雑草化したクローバの除去に努めること、2.シストセンチュウ抵抗性も弱なので発生圃場への作付けは避け適正な輪作のもとで栽培すること、3.密植により増収が期待されるので倒伏に注意しながら密植に努めること、である。

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本)	莢 数 (莢)		子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	ハヤヒカリ	7.21	9.29	57	4.5	78.3	無	323	96	26.2	2 中	1994～ 1997
	キタムスメ	7.24	10. 6	71	5.1	68.6	少	337	100	29.8	2 上	
	北 見 白	7.23	10. 6	65	5.1	70.8	少	327	97	26.1	2 上	
北見農試	ハヤヒカリ	7.26	10. 5	60	4.1	73.5	微	327	97	26.4	2 上	1994～ 1997
	キタムスメ	7.27	10.12	76	4.9	69.3	中	337	100	29.9	1	
上川農試	ハヤヒカリ	7.21	10. 3	68	6.1	110.5	中	474	104	28.5	2 上	1994～ 1997
	キタムスメ	7.22	10.10	89	6.3	97.3	多	454	100	29.8	2 上	

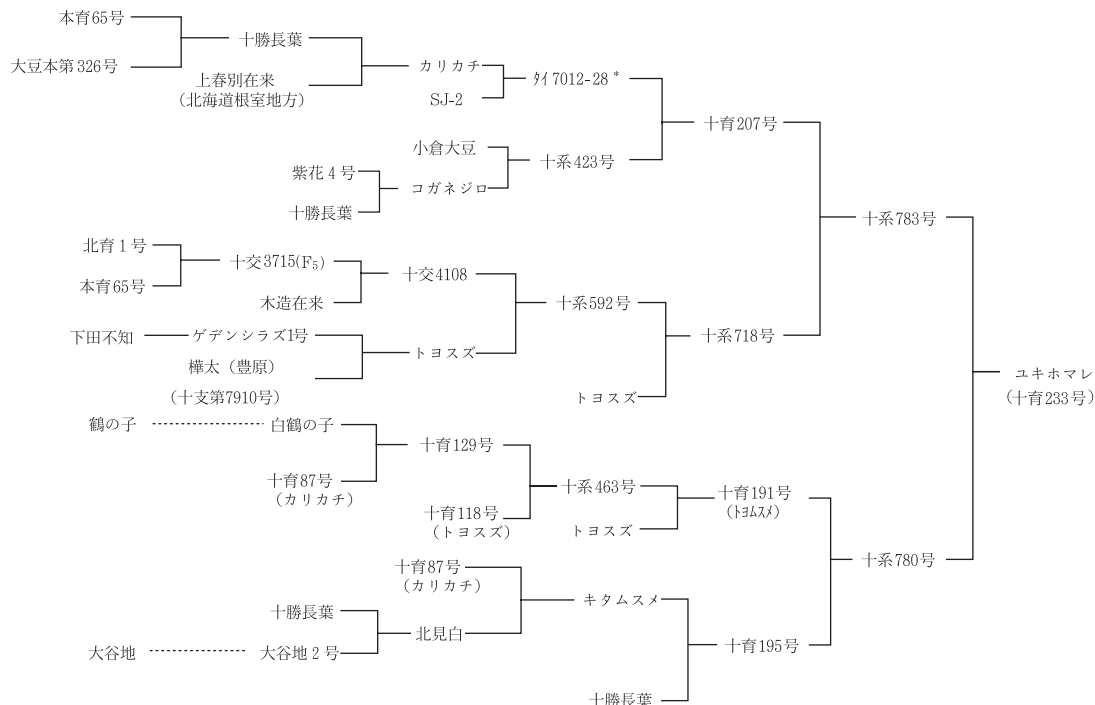
参照 1) 北海道農政部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 18-20 (1998).
2) 湯本節三 等, 北海道立農試集報. 78,19-37 (2000).

(3) ユキホマレ (系統名 十育233号) 2001年
登録番号: (北海道) 大豆北海道第38号
(農水省) だいず農林118号
(種苗法) 第12279号

セールスポイント

早熟, 難裂莢性でコンバイン収穫適性が高く, 低温抵抗性, 臍周辺着色抵抗性およびシストセンチュウ抵抗性を有する白目中粒品種である。

来歴 本品種は, 1990年に北海道立十勝農業試験場において, 早生, 耐冷・安定多収, ダイズシストセンチュウ抵抗性で機械収穫向き難裂莢性品種の育成を目標とし, 「十系783号」を母, 「十系780号」を父として人工交配を行い, 以後選抜と固定を図り, その後代から育成したもので, 1997年から「十系890号」, 1998年からは「十育233号」の系統名で各種試験を行い, 2001年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。



注)*947012-28: 日夕間的大豆育種に関する共同研究により昭和45年に外国において人工交配し, F4以降北海道立十勝農業試験場で選抜してきた難裂莢性の育成系統である。

特性概要

1. 主茎長は「トヨコマチ」と同じ短, 主茎節数と分枝数はそれぞれ少と中である。伸育型は有限であり, 熟莢色は淡褐を呈する。

2. 胚軸色, 花色はともに紫, 小葉の形は円葉で, 毛茸は白・直毛でその多少は中程度である。
3. 粒形は「トヨコマチ」の扁球に対して球であり, 粒の大小は同品種と同じ中の大である。臍の色は黄, 種

皮の色は黄白である。

4. 開花期、成熟期はともに「トヨコマチ」と同じ中の早であり、生態型は夏大豆型に属する。
5. 子実収量は「トヨコマチ」並からやや多収であり、倒伏抵抗性は同品種と同じ強である。低温抵抗性（開花期／生育期）は、「トヨコマチ」のやや強／やや強、「トヨホマレ」の強／強に対し、やや強／強である。開花2～3週間後の低温の影響とされる裂開粒が発生することがある。
6. シストセンチュウ抵抗性は強、わい化病抵抗性は弱である。茎疫病抵抗性は強／強（レース群Ⅰ／Ⅱ）である。裂莢の難易は「トヨコマチ」の易に対し難であり、最下着莢節位高は同品種よりやや低い中である。
7. 外観上の品質は「トヨコマチ」並で、裂皮粒の発生

も同品種並の中である。

8. 子実の粗蛋白および粗脂肪含有率は「トヨコマチ」同様にそれぞれ中および低である。遊離型全糖含有率は同品種並に高い。煮豆、納豆、味噌および豆腐の加工適性は、いずれも「トヨコマチ」など白目中粒品種と同等である。

栽培適地と奨励態度

道央、上川、網走、十勝に適する。栽培上の注意は、

1. わい化病抵抗性が弱なので適切な防除に努めること、
 2. シストセンチュウ抵抗性は強であるが適正な輪作のもとで栽培すること、
 3. 早熟なので収穫期に達した後は雨害による品質低下を避けるため速やかに収穫すること、
- である。

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本)	莢 数 (莢)		子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	ユキホマレ	7.18	9.22	64	4.0	67.2	微	351	100	36.2	2下	1998～ 2000
	トヨコマチ	7.17	9.28	63	4.9	59.3	微	350	100	37.2	3上	
	カリユタカ	7.21	9.30	69	5.7	70.2	微	354	101	34.1	2中	
	トヨホマレ	7.20	10. 2	60	4.2	71.7	微	351	100	35.0	2下	
北見農試	ユキホマレ	7.23	9.26	54	4.3	62.5	少	322	102	31.8	2中	1998～ 2000
	トヨコマチ	7.23	9.30	56	5.0	59.3	少	316	100	32.0	2下	
	カリユタカ	7.26	10. 6	57	5.8	72.7	少	316	100	28.8	2中	
	トヨホマレ	7.25	10. 6	49	4.5	69.8	微	302	96	30.9	3上	
上川農試	ユキホマレ	7.14	9.20	64	6.3	78.1	中	405	98	35.4	3上	1998～ 2000
	トヨコマチ	7.13	9.23	64	6.5	79.2	中	412	100	33.6	3下	
遺伝資源 センター	ユキホマレ	7.13	9.17	60	5.0	71.2	少	312	100	32.6	3中	1998～ 2000
	トヨコマチ	7.14	9.20	61	5.8	75.2	中	311	100	29.5	3上	
	カリユタカ	7.16	9.27	65	5.7	78.5	少	319	102	28.5	3上	
中央農試	ユキホマレ	7.14	9.19	54	4.6	60.6	少	352	98	38.7	3中	1998～ 2000
	トヨコマチ	7.14	9.24	53	5.0	66.2	中	358	100	36.3	3上	
	カリユタカ	7.17	9.30	57	6.2	73.8	少	383	107	35.3	3下	
	トヨホマレ	7.16	10. 3	52	4.1	73.3	中	359	100	35.4	2下	

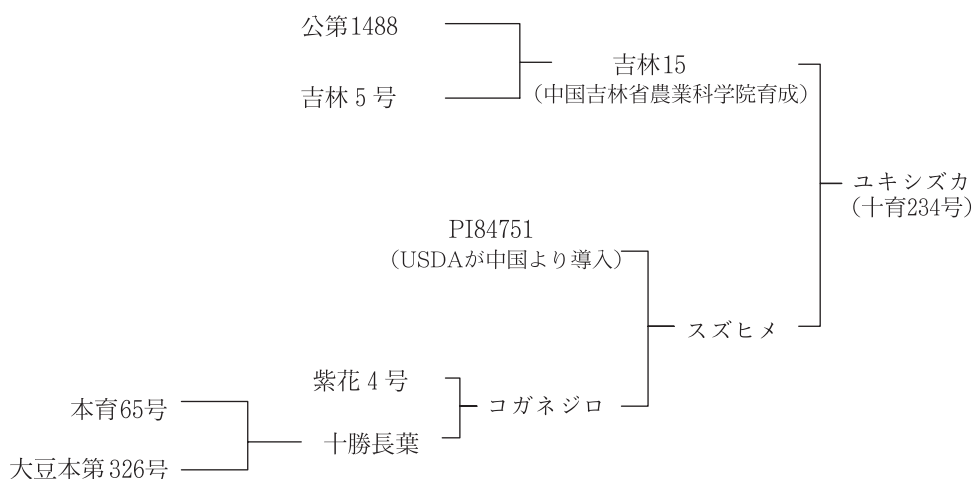
- 参照 1) 北海道農政部編，平成13年普及奨励ならびに指導参考事項，7-9（2001）。
2) 田中義則 等，北海道立農試集報，84,13-24（2003）。

- (4) **ユキシズカ**(系統名 十育234号) 2002年
登録番号：(北海道)大豆北海道第39号
(農水省) だいで農林124号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

早熟で、耐倒伏性に優れ、コンバイン収穫に適し、シストセンチュウ・レース3に抵抗性の納豆向き小粒品種である。

来歴 本品種は、1990年に北海道立十勝農業試験場において、早生、安定多収、ダイズシストセンチュウおよびダイズわい化病抵抗性で機械収穫向き難裂莢性の納豆向き小粒品種の育成を目標とし、「吉林15号」を母、「スズヒメ」を父として人工交配を行い、以後選抜と固定を図り、その後代から育成したもので、1997年から「十系888号」、1999年からは「十育234号」の系統名で各種試験を行い、2002年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 主茎長、主茎節数および分枝数はそれぞれ「スズマル」の中、中および多に対して短、やや少および多である。伸育型は有限であり、熟莢色は淡褐を呈する。
2. 胚軸の色と花色は紫、小葉の形は長葉で、毛茸は色が白で、形は直、その多少は中程度である。
3. 粒の形は「スズマル」と同じ球であり、粒の大小は同品種と同じ小である。また、粒の子葉色は黄、光沢は弱、臍の色は黄、種皮の地色も黄である。
4. 開花期および成熟期は、それぞれ「スズマル」の中の晩および中に対して中および中の早である。生態型は夏大豆型に属する。
5. 子実収量は「スズマル」並からやや多収であり、倒伏抵抗性は同品種と同じ強である。低温抵抗性（開花期／生育期）は「スズマル」のやや強／弱に対し、やや強／中である。
6. シストセンチュウ抵抗性は「スズマル」の弱に対し

強、わい化病抵抗性は弱である。茎疫病抵抗性は強／強（レース群Ⅰ／Ⅱ）である。裂莢の難易は「スズマル」と同じ中であり、最下着莢節位高は中で同品種の高より低い。

7. 外観上の品質は「スズマル」並で、裂皮粒の発生は「スズマル」より少ない難である。粗蛋白含有率および粗脂肪含有率は「スズマル」同様にそれぞれ中および低である。また、遊離型全糖含有率は「スズマル」並である。納豆の加工適性は、「スズマル」と同等である。

栽培適地と奨励態度

道央、上川、網走、十勝に適する。栽培上の注意は、1. わい化病抵抗性は中なので適切な防除に努めること、2. シストセンチュウ・レースⅠ優占圃場への作付けは避けること、3. 耐倒伏性が強く最下着莢節位高がやや低いので土壌条件等を考慮して密植栽培に努めること、である。

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本)	莢 数 (莢)		子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	ユキシヅカ	7.20	9.30	60	7.1	135	無	361	99	13.2	2 中	1999～ 2001
	スズマル	7.25	10. 6	80	9.8	125	少	364	100	14.9	2 上	
	スズヒメ	7.23	9.29	66	6.0	116	無	293	80	14.9	3 上	
北見農試	ユキシヅカ	7.23	10. 3	44	5.6	122	無	284	91	11.9	2 下	1999～ 2001
	スズマル	7.29	10. 3	63	10.0	124	微	311	100	12.4	3 上	
	スズヒメ	7.26	9.28	57	5.7	111	微	283	91	12.8	3 中	
上川農試	ユキシヅカ	7.16	9.21	57	7.8	157	中	373	104	12.6	3 上	1999～ 2001
	スズマル	7.22	9.29	81	10.8	131	中	358	100	14.7	3 下	
	スズヒメ	7.20	9.25	72	8.0	137	中	356	99	12.6	3 下	
遺伝資源 センター	ユキシヅカ	7.14	9.15	55	7.9	145	少	291	100	10.4	2 下	1999～ 2000
	スズマル	7.19	9.20	74	9.8	140	中	292	100	11.6	2 中	
	スズヒメ	7.16	9.14	64	7.3	121	中	266	91	11.7	3 上	

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本)	莢 数		子実重 (kg)	同左比 (%)			
中央農試	ユキシズカ	7.17	9.21	48	8.2	132	微	311	92	12.5	3 中	1999～ 2001
	スズマル	7.21	9.30	61	9.6	124	少	338	100	15.0	3 上	
	スズヒメ	7.19	9.21	54	7.0	113	少	280	83	13.4	3 下	

参照 1) 北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3 (2002).
2) 山崎敬之 等, 北海道立農試集報. 87,21-32 (2004).

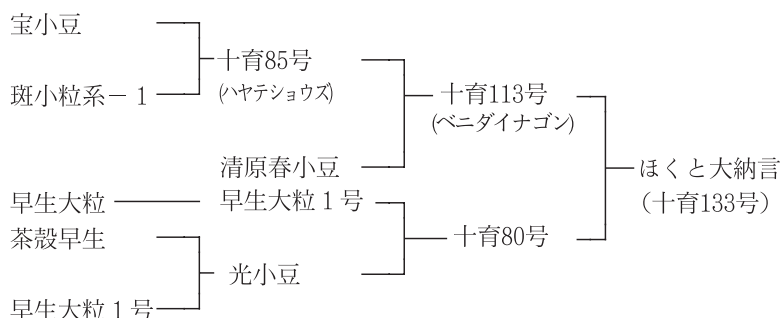
5. 小豆

- (1) ほくと大納言 (系統名 十育133号) 1996年
登録番号: (北海道) 小豆北海道第19号
(農水省) あずき農林第11号
(種苗法) 第7694号

セールスポイント

大納言規格内収量が「アカネダイナゴン」より優り、
外観品質、加工適性に優れる大納言品種である。

来歴 本品種は、良質、大粒、多収品種の育成を目標
とし、1983年に北海道立十勝農業試験場において「十育
113号」を母、「十育80号」を父として人工交配を行い、
以後選抜と固定を図り育成した。1989年より「十系495
号」、1992年からは「十育133号」の系統名で各種試験を
行い、1996年優良品種となった。なお、本品種の系譜は
次のとおりである。



特性概要

- 主茎長は中の短で「アカネダイナゴン」より長く、
主茎節数はやや少で少ない。分枝数は同じ多である。
- 小葉の形は円葉である。毛茸の多少と形は少と鈍、
花色は黄である。
- 子実の形は円筒、大きさは極大に属し、百粒重は
「カムイダイナゴン」より軽い、「アカネダイナゴン」
より25%程度重い。種皮色は淡赤で、「アカネダイナ
ゴン」、「カムイダイナゴン」より明るい。
- 開花期は中、成熟期は中の晩で「アカネダイナゴン」
と同じである。
- 耐倒伏性は中、低温抵抗性はやや弱、落葉病、茎疫

病、ウイルス病抵抗性はいずれも弱である。

- 子実収量は「アカネダイナゴン」とほぼ同じである
が、大納言規格内収量は優れる。
- 加工製品の色は「アカネダイナゴン」より淡く、加
工適性が優れる。

栽培適地と奨励態度

北海道の道央、道南の大納言品種栽培地帯に適する。
栽培上の注意は、①落葉病、茎疫病、萎凋病に抵抗性を
持たないので、適正な輪作を行うとともに、適正な防除
に努める。②雨害等で品質を落とさないため、刈り遅れ
を避け適期収穫に努める。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	成熟期の		10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
					主茎長 (cm)	莢数 (莢)	子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	ほくと大納言	7.29	9.26	1.4	61	37	290	96	23.4	3下	1992,1994,1995
	アカネダイナゴン	7.29	9.28	1.0	51	56	301	100	18.3	4上	
	カムイダイナゴン	7.29	9.26	3.2	66	39	300	100	25.3	4上	
中央農試	ほくと大納言	7.27	9.17	0.4	39	31	237	102	21.4	3上	1992~1995
	アカネダイナゴン	7.27	9.22	0.3	33	44	233	100	16.8	4中	
遺伝資源 センター	ほくと大納言	7.24	9.12	0.7	40	32	261	99	21.2	2下	1992~1995
	アカネダイナゴン	7.24	9.15	0.8	39	46	263	100	17.2	3下	

注 1) 倒伏程度は無：0，微：0.5，少：1，中：2，多：3，甚：4で示し，以下同じ。

2) 成熟期の莢数は株当りの莢数であり，以下同様である。

参照 1) 北海道農政部編，平成8年普及奨励ならびに指導参考事項，13-16(1996)。

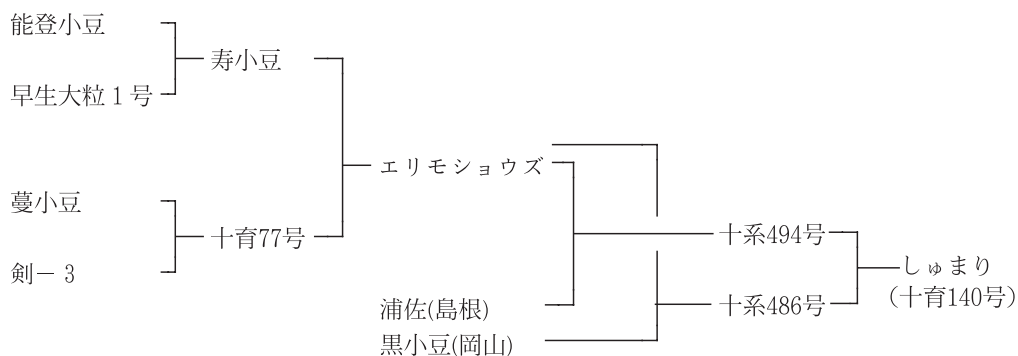
2) 島田尚典 等，北海道立農試集報，72,85-95 (1997)。

(2) しゅまり (系統名 十育140号) 2000年
登録番号：(北海道) 小豆北海道第20号
(農水省) あずき農林第12号
(種苗法) 第11098号

セールスポイント

落葉病，茎疫病，萎凋病に対する複合抵抗性を有し，
あん色が良好で風味が強く加工適性に優れる普通小豆品
種である。

来歴 本品種は，中生，良質，落葉病・茎疫病・萎凋
病抵抗性品種の育成を目標とし，1989年に北海道立十勝
農業試験場において「十系494号」を母，「十系486号」
を父として人工交配を行い，初期世代で落葉病及び茎疫
病の抵抗性選抜を行った。以後選抜と固定を図り育成し
た。1995年より「十系641号」，1996年からは「十育140
号」の系統名で各種試験を行い，2000年優良品種となっ
た。なお，本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 上胚軸は「エリモショウズ」より長く，主茎長も同
品種より長い。主茎節数，分枝数はほぼ同じである。
2. 小葉の形は下位葉が「エリモショウズ」と同じ円葉
であるが，上位葉はやや円葉剣先である。毛茸の多少
と形は少と鈍，花色は黄である。
3. 子実の形は円筒，大きさは中に属し，種皮色は淡赤
である。
4. 開花期は中，成熟期は中の早で「エリモショウズ」
と同じである。

5. 耐倒伏性はやや強，低温抵抗性は弱，落葉病抵抗性
は強，茎疫病抵抗性はかなり強，ウイルス病抵抗性は
弱である。
6. 子実収量は「エリモショウズ」の中の多に対し中
である。
7. 加工製品は「エリモショウズ」よりあん色が良好
(赤紫系)で風味が良い。

栽培適地と奨励態度

北海道の道央，道北，道南の中生種栽培地帯で落葉病，

茎疫病または萎凋病の発生地帯及びこれに準ずる地帯に適する。栽培上の注意は、①落葉病，茎疫病，萎凋病に抵抗性を持つが，本品種を侵す菌系が確認されているの

で，適正な輪作を行う。②耐冷性が弱いので，安定生産のため栽培適地を遵守する。③排水不良圃場では，茎疫病の発生を防ぐため排水対策に努める。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	成熟期の		10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
					主茎長 (cm)	莢数 (莢)	子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	しゅまり	7.30	9.21	1.0	63	41	302	92	15.0	2下	1996～1999
	エリモショウズ	7.29	9.21	1.3	57	46	330	100	14.8	2下	
	きたのおとめ	7.29	9.21	1.5	55	46	328	99	14.2	2中	
上川農試	しゅまり	7.25	9.5	1.0	55	57	321	98	11.4	2中	1996～1999
	エリモショウズ	7.24	9.5	1.4	54	60	328	100	11.6	2中	
	きたのおとめ	7.25	9.5	1.6	52	64	341	104	11.0	2上	
中央農試	しゅまり	7.25	9.3	1.1	52	38	244	118	11.7	2中	1997～1999
	エリモショウズ	7.24	9.2	0.7	46	40	206	100	11.4	2下	
	きたのおとめ	7.24	9.1	0.8	46	39	206	100	10.6	2中	
遺伝資源 センター	しゅまり	7.23	9.6	0.8	55	47	235	100	10.6	3中	1996～1999
	エリモショウズ	7.24	9.5	0.9	52	48	236	100	10.8	3中	
	きたのおとめ	7.23	9.5	1.0	53	51	232	98	10.2	3中	

- 参照 1) 北海道農政部編，平成12年普及奨励ならびに指導参考事項，34-36(2000).
2) 藤田正平等，北海道立農試集報. 82, 31-40 (2002).

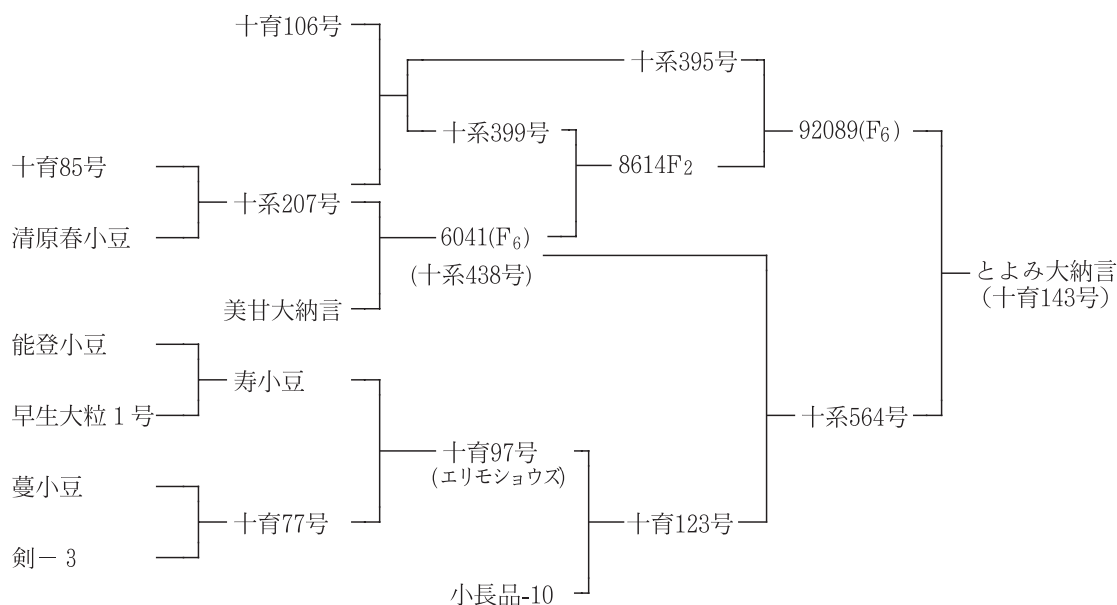
(3) とよみ大納言(系統名 十育143号) 2001年

登録番号：(北海道) 小豆北海道第21号
(農水省) あずき農林第13号
(種苗法) 第12192号

来歴 本品種は，極大粒，落葉病・萎凋病抵抗性品種の育成を目標とし，1992年に北海道立十勝農業試験場において「92089 (F₆)」を母，「十系564号」を父として人工交配を行い，以後選抜と固定を図り育成した。1997年より「十系699号」，1998年からは「十育143号」の系統名で各種試験を行い，2001年優良品種となった。なお，本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

極大粒で，種皮色が明るく，落葉病，萎凋病抵抗性を有する大納言品種である。



特性概要

1. 主茎長は「アカネダイナゴン」と同じ中の短であるがやや短く、主茎節数は同品種より少ない。分枝数は同じ多である。
2. 小葉の形は円葉である。毛茸の多少と形は少と鈍、花色は黄である。
3. 子実の形は短円筒、大きさは極大に属し、百粒重は「ほくと大納言」よりやや重く、種皮色は「アカネダイナゴン」の濃赤に対し、「ほくと大納言」と同じ淡赤である。
4. 開花期は中、成熟期は中の晩とともに「アカネダイナゴン」と同じである。
5. 耐倒伏性は中、低温抵抗性はやや弱、落葉病抵抗性は強、茎疫病及びウイルス病抵抗性は弱である。

6. 子実収量は「アカネダイナゴン」とほぼ同じであるが、大納言規格内収量は「アカネダイナゴン」、「ほくと大納言」より多い。
7. 外観品質に優れ、雨害による濃赤粒の発生が「ほくと大納言」より少ない。

栽培適地と奨励態度

北海道の道北、道央、道南及び十勝の大納言品種栽培地帯に適する。栽培上の注意は、①茎疫病に抵抗性を持たないので茎疫病発生ほ場での栽培は避ける。②雨害による濃赤粒発生が「ほくと大納言」より少ないが、良質安定生産のため刈り遅れを避け、適期収穫に努める。③落葉病に抵抗性を持つが、栽培に当たっては適正な輪作を行う。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	成熟期の		10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
					主茎長 (cm)	莢数 (莢)	子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	とよみ大納言	7.30	9.22	3.5	84	41	368	101	25.9	3下	1998～2000
	アカネダイナゴン	7.28	9.21	3.2	93	60	363	100	18.2	3下	
	ほくと大納言	7.30	9.21	3.6	103	40	329	91	23.5	3下	
中央農試	とよみ大納言	7.22	9.2	1.0	44	35	254	102	19.4	3中	1998～2000
	アカネダイナゴン	7.22	9.2	1.3	46	48	249	100	14.0	4下	
	ほくと大納言	7.22	9.4	1.3	54	34	225	90	18.3	4中	
上川農試	とよみ大納言	7.26	9.7	3.2	64	50	357	99	21.4	3上	1998,1999
	アカネダイナゴン	7.27	9.10	3.2	80	75	359	100	14.0	3下	
	ほくと大納言	7.25	9.8	3.5	72	55	344	96	19.7	2下	
遺伝資源 センター	とよみ大納言	7.25	9.4	1.5	55	36	233	106	19.7	3中	1998,1999
	アカネダイナゴン	7.25	9.5	1.8	64	51	220	100	15.5	4中	
	ほくと大納言	7.24	9.5	1.7	68	34	197	90	19.2	4上	

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12(2001).
2) 藤田正平等, 北海道立農試集報. 84,25-36 (2003).

(4) **きたほたる** (系統名 十育146号) 2004年
登録番号: (北海道) 小豆北海道第22号
(農水省) あずき農林第15号
(種苗法) 第 号

は「十育146号」の系統名で各種試験を行い、2004年優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

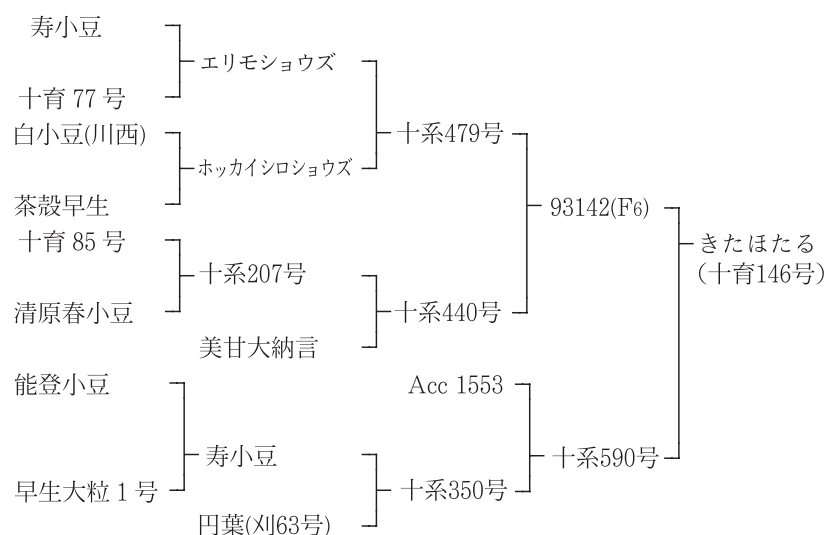
セールスポイント

あん色が白く明るい色調で、加工適性が優り、落葉病、茎疫病、萎凋病に抵抗性を有する白小豆品種である。

来歴 本品種は、良質、耐冷、落葉病・茎疫病・萎凋病抵抗性の白小豆品種の育成を目標とし、1993年に北海道立十勝農業試験場において「93142 (F₆)」を母、「十系590号」を父として人工交配を行い、以後選抜と固定を図り育成した。1999年より「十系774号」、2000年から

特性概要

1. 主茎長は「エリモショウズ」よりやや短く短の長である。主茎節数は同品種と同じやや少で、分枝数は同じ中である。
2. 小葉の形は円葉である。毛茸の多少と形は少と鈍、花色は黄である。
3. 子実の形は短円筒、大きさは中の小に属し、種皮色は黄白である。
4. 開花期は「エリモショウズ」と同じ中で、成熟期は



「ホッカイシロシヨウズ」と同じ中の晩であるが、同品種よりやや早い。

5. 耐倒伏性はやや強、低温抵抗性は弱、落葉病及び茎疫病抵抗性は強、ウイルス病抵抗性は弱である。
6. 子実収量は「エリモシヨウズ」より低収であるが、「ホッカイシロシヨウズ」並である。
7. 粒揃いがやや劣るが、「ホッカイシロシヨウズ」より種皮色及びあん色が白く明るい色調で、加工適性が優れる。

栽培適地と奨励態度

北海道の道東の早生種栽培地帯を除く小豆栽培地帯に適する。栽培上の注意は、①ピシウム苗立枯病に対して赤色の品種より弱いので、種子消毒を必ず行い、播種量を多めとする。②成熟期前後の降雨で腐敗粒が多発する場合がありますので、刈り遅れを避け適期収穫に努める。③落葉病、茎疫病、萎凋病に抵抗性を有するが栽培に当たっては適正な輪作体系を守る。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	成熟期の		10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
					主茎長 (cm)	莢数 (莢)	子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	きたほたる	7.27	9.29	1.6	64	56	338	99	13.9	4中	2000~2003
	ホッカイシロシヨウズ	7.26	10.1	2.5	79	65	340	100	15.6	4中	
	エリモシヨウズ	7.27	9.25	3.4	72	54	385	113	15.4	4上	
上川農試	きたほたる	7.23	9.18	3.2	74	67	435	107	14.1	4中	2001~2003
	ホッカイシロシヨウズ	7.23	9.24	3.9	84	77	406	100	15.9	4上	
中央農試	きたほたる	7.30	9.24	2.0	59	52	341	97	12.5	規格外	2001,2003
	ホッカイシロシヨウズ	7.30	9.26	2.5	57	55	350	100	14.8	規格外	
道南農試	きたほたる	7.30	9.21	1.2	39	41	241	97	13.3	4上	2001~2003
	ホッカイシロシヨウズ	7.30	9.28	2.4	52	51	248	100	15.4	4上	

注) 十勝農試の成熟期は未成熟で収穫した1試験を除く。

参照 1) 北海道農政部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 40-42(2004).

6. 菜豆

- (1) 福うずら (系統名 十育D10号) 1999年
登録番号: (北海道) 菜豆北海道27号
(種苗法) 第10367号

セールスポイント

早熟, 多収で, 耐倒伏性に優れ, やや大粒で食味が良

い, わい性の中長鶉類品種である。

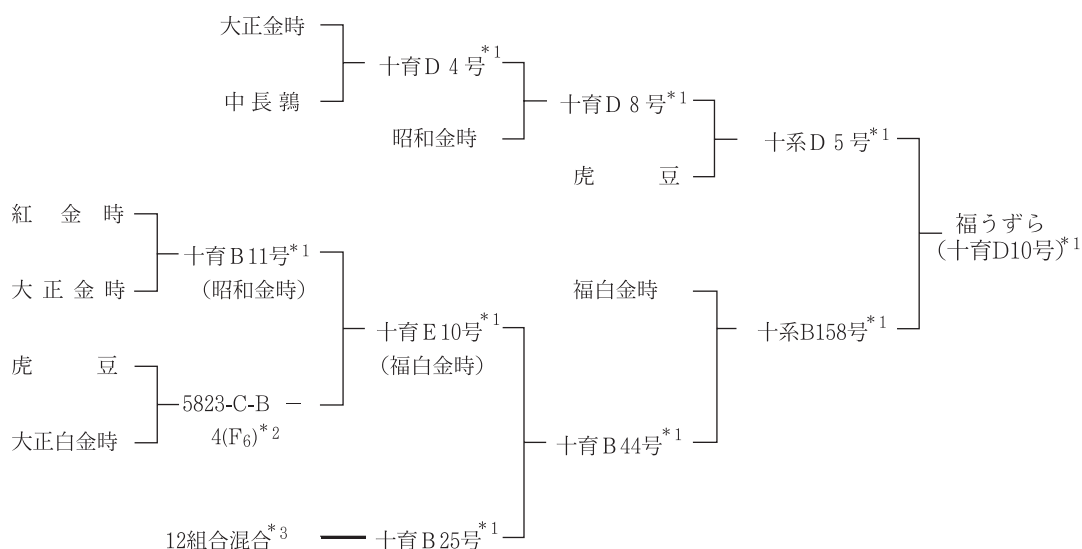
来歴 本品種は, 矮性で多収, 大粒良質の中長鶉類品種の育成を目標とし, 1990年に北海道立十勝農業試験場において, 「十系D5号」を母, 「十系B158号」を父として人工交配を行い, 以後選抜と固定を図り育成した。1995

年からは「十系D11号」、1996年からは「十育D10号」の系統名で各種の試験を行い、1999年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 伸育性と草型は「福粒中長」の無限半つる性に対し、有限わい性である。草丈は中、主茎節数は少である。
2. 胚軸色は赤紫で、花色は赤紫、若莢色は緑色地に赤紫色の条斑紋がある。
3. 子実は楕円体、大きさは中の大、種皮色は褐色地に濃赤紫色の普通斑がある。環色は黄褐である。

4. 開花期は「福粒中長」と同じ早であるが2日程度早く、成熟期は「福粒中長」の中に対し早の晩で4日程度早い。収量性は「福粒中長」に優る。
5. 耐倒伏性は「福粒中長」の弱に対し中、葉落ちの良否は「福粒中長」のやや不良に対しやや良である。
6. インゲン黄化病抵抗性は「福粒中長」と同じやや弱で、インゲン炭そ病抵抗性はRace 7に対し無、Race 38に対し有、Race81に対し有で、いずれも「福粒中長」「大正金時」と同じである。
7. 加工適性は「福粒中長」に比べ煮豆の皮がやや軟らかく、粘りが強く、味、総合評価は優る。



注) *1: 十育及び十系番号についてアルファベットについてBが金時類、Dが中長鶉類、Eが白金時類であることを示す。
 *2: 5823-C-B-4(F₆)は蔓性白金時類の十勝農試育成中間母本である。
 *3: 12組合混合は昭和39年に金時類F₄代集団12組合せを混合し、その中より選抜・系統を育成したもの。

栽培適地と奨励態度

全道のいんげんまめ作付け地帯で「福粒中長」に置き換えて栽培する。栽培上の注意は次のとおりである。①大粒であるので、脱穀機の回転数を調節し損傷粒の発生を避ける。②極端な多肥栽培では成熟期における葉落ち

が不良になることがある。③インゲン黄化病抵抗性はやや弱なので防除を徹底する。④その他の病害防除は従来品種に準じて行い、播種時期および肥培管理は金時類品種に準じて行う。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	葉 落 良 否	草 丈 (cm)	莢 数 (/株)	10 a 当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
								子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	福うずら	7.16	9.14	0.1	1.9	36	15.8	298	107	80.7	2上	1996~1998
	福粒中長	7.18	9.18	2.1	3.6	99	16.2	279	100	75.6	2中	
	大正金時	7.15	9.7	0.1	3.5	33	14.4	227	82	74.4	3下	
北見農試	福うずら	7.25	9.28	2.7	1.0	43	15.3	313	109	85.8	3上	1998
	福粒中長	7.28	10.9	3.7	1.5	107	17.8	286	100	77.5	3上	
	大正金時	7.23	9.21	2.3	1.5	39	14.0	241	84	82.8	4中	
上川農試	福うずら	7.8	8.27	3.0	4.0	51	25.3	370	118	67.3	3下	1998
	福粒中長	7.14	8.31	3.0	3.7	117	23.1	314	100	56.9	3下	
	大正金時	7.8	8.23	3.0	3.0	51	21.0	237	75	54.1	3中	

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	葉 落 良 否	草 丈 (cm)	莢 数 (/株)	10 a 当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
								子実重 (kg)	同左比 (%)			
遺伝資源 センター	福うずら	7. 6	8.23	0.3	1.8	27	12.4	197	105	62.6	2 下	1997～1998
	福粒中長	7. 8	8.25	1.1	1.8	49	13.3	188	100	56.9	2 中	
	大正金時	7. 5	8.19	0.0	2.9	24	10.0	134	74	58.3	3 中	

注1)倒伏程度：0(無)～4(甚)，葉落良否：1(良)～5(不良)。

参照 1) 北海道農政部編，平成11年普及奨励ならびに指導参考事項，17-19 (1999)。

(2) 福良金時 (系統名 十育B67号) 2002年

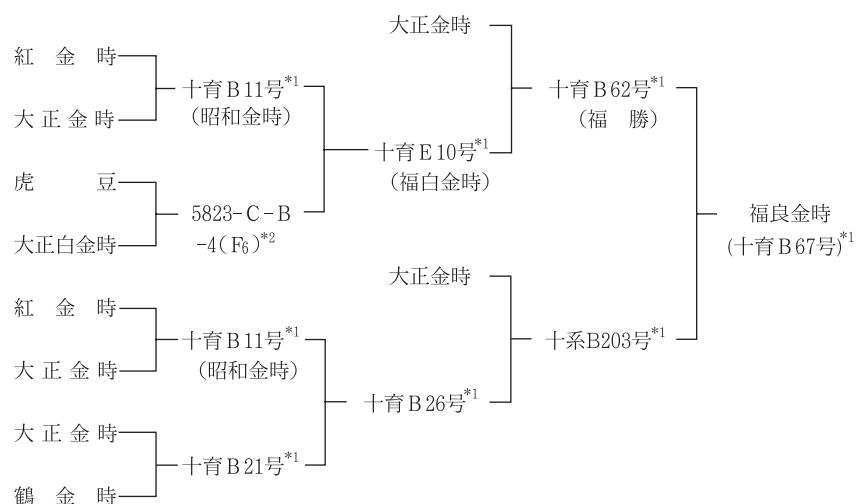
登録番号：(北海道) 菜豆北海道第28号

(種苗法) 第 号

セールスポイント

「大正金時」並の早生で，葉落ちが良く，粒大が大きく，収量性がやや優る金時類品種である。

来歴 本品種は，早生で多収，大粒良質の金時類品種の育成を目標とし，1992年に北海道立十勝農業試験場において「十育B62号(福勝)」を母，「十系B203号」を父として人工交配を行い，以後選抜と固定を図り育成した。1997年より「十系B262号」，1998年からは「十育B67号」の系統名で各種の試験を行い，2002年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。



注) *1：十育及び十系番号についたアルファベットについてBが金時類、Eが白金時類であることを示す。

*2：5823-C-B-4(F6)は蔓性白金時類の十勝農試育成中間母本である。

特性概要

1. 伸育性と草型は有限わい性である。草丈は「大正金時」と同等で「福勝」よりやや低く，主莖節数は少である。
2. 胚軸色は淡赤紫で，花色は淡赤紫，若莢色は緑，斑紋は無である。
3. 子実は楕円体，大きさは大，種皮色は赤紫で斑紋は無く，環色は無である。
4. 開花期は「大正金時」と同じ早であり，成熟期は「福勝」の早に対し，「大正金時」と同じかなり早である。
5. 耐倒伏性は中，葉落ちの良否はやや良で，インゲン黄化病抵抗性は「大正金時」と同じ弱，インゲン炭そ

病抵抗性はRace 7 に対し無，Race38に対し有，Race 81に対し有で，いずれも「大正金時」，「福勝」と同じである。

6. 加工適性は総じて「大正金時」と同等である。

栽培適地と奨励態度

全道のいんげんまめ作付け地帯で「大正金時」の一部に置き換えて栽培する。栽培上の注意は次のとおりである。①大粒であるので，脱穀時の回転数を調節し損傷粒の発生を防ぐ。②極端な多肥栽培では成熟期における葉落ちが不良になることがある。③インゲン黄化病抵抗性が弱なので適切な防除に努める。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	葉 落 良 否	草 丈 (cm)	莢 数 (/株)	10a 当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
								子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	福良金時	7.12	8.31	1.3	2.1	41	17.4	281	107	80.7	3下	1998~2001
	大正金時	7.11	8.31	0.8	3.9	41	17.1	263	100	70.7	3下	
	福 勝	7.12	9. 4	1.2	2.3	45	16.5	301	114	83.9	3中	
北見農試	福良金時	7.16	9. 6	1.9	1.9	43	16.3	282	104	80.8	3中	1998~2001
	大正金時	7.15	9. 6	1.6	3.0	41	16.5	272	100	73.1	3下	
	福 勝	7.16	9.12	2.0	2.4	45	15.2	288	106	84.3	3中	
上川農試	福良金時	7. 6	8.17	2.9	1.7	47	16.9	247	104	68.9	2中	1998,2000, 2001
	大正金時	7. 5	8.18	2.9	2.8	46	17.2	237	100	62.0	2下	
	福 勝	7. 6	8.21	2.8	3.3	47	16.3	279	118	75.5	2下	
遺伝資源 センター	福良金時	7. 4	8.15	1.3	1.3	33	16.9	217	106	69.0	2中	1998~2001
	大正金時	7. 4	8.17	1.1	2.6	33	16.7	204	100	62.0	2下	
	福 勝	7. 5	8.19	1.1	3.1	36	14.7	248	122	73.1	2中	

注1)倒伏程度：0(無)~4(甚)，葉落良否：1(良)~5(不良)。

参照 1) 北海道農政部編，平成14年普及奨励ならびに指導参考事項，4-6 (2002)。

(3) (系統名 十育A56号) 2004年

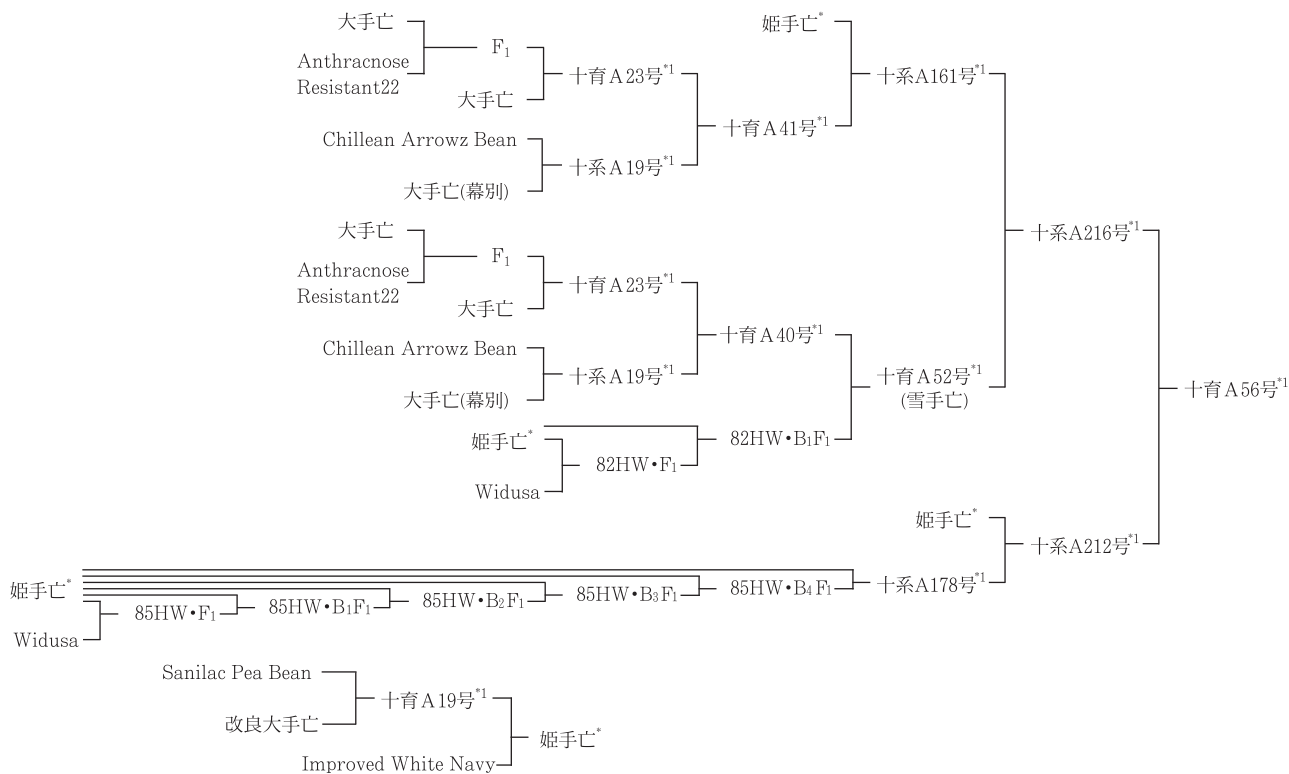
登録番号：(北海道) 菜豆北海道29号

(種苗法) 第 号

セールスポイント

あん色が白く明るい色調で，粒あん加工適性に優れ，インゲン炭そ病抵抗性の手亡類品種である。

来歴 本品種は，炭そ病抵抗性で加工適性に優れた良質の手亡類品種の育成を目標とし，1995年に北海道立十勝農業試験場において，「十系A216号」を母，「十系A212号」を父として人工交配を行い，以後選抜と固定を図り育成した。2000年からは「十系A283号」，2001年からは「十育A56号」の系統名で各種の試験を行い，2004年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。



注) *1：十育及び十系番号についたアルファベットについてAが手亡類であることを示す。

特性概要

1. 伸育性と草型は有限そう性であり、草丈は「姫手亡」及び「雪手亡」よりやや低いが、両品種と同じ高に属する。
2. 胚軸色は緑で、花色は白、若莢の地色は淡緑、若莢の斑紋は「姫手亡」と同じ赤紫のぼかし斑である。
3. 子実は楕円体、大きさは「姫手亡」「雪手亡」の小に対し、より大きくやや小に属する。種皮色は白で、斑紋と環色はいずれもなしである。
4. 開花期は「姫手亡」と同じ中であるが1日程度早く、成熟期は「姫手亡」より1日遅く、「雪手亡」より1日早く、両品種と同じやや晩に属する。収量性は「姫手亡」よりやや低収であり、とくに極端な低温条件下では減収率が大きい。
5. 耐倒伏性はやや弱、インゲン炭そ病抵抗性はRace 7, 38, 81の3レースに対し抵抗性を有する。インゲ

ン黄化病抵抗性は「姫手亡」「雪手亡」と同じやや強である。

6. 加工適性は、水漬後の未吸水粒率がかなり低く、「姫手亡」よりも低い。「姫手亡」「雪手亡」よりもあん粒子径は小さく、あん付着性は高い。

栽培適地と奨励態度

北海道のいんげんまめ作付け地帯で、道東の特に冷涼な地帯を除く地帯において、「姫手亡」の一部に置き換えて栽培する。栽培上の注意は次のとおりである。①極端な低温条件下では減収率が大きいので、特に気象条件の厳しい地帯での栽培は避けるのが望ましい。②極端な多肥栽培では倒伏を助長し、成熟期における葉落ちが不良になることがある。③インゲン炭そ病防除の茎葉散布は不要であるが、他病害には従来の品種と同様に罹病するので防除を行う。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	葉 落 良 否	草 丈 (cm)	莢 数 (/株)	10 a 当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
								子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	十育A56号	7.26	9.29	2.8	2.2	54	35.2	362	93	40.6	3上	2001～2003
	姫手亡	7.25	9.28	2.7	2.0	58	33.9	389	100	32.6	3上	
	雪手亡	7.26	9.30	2.2	1.9	66	33.3	402	103	34.1	2中	
北見農試	十育A56号	7.24	9.27	3.2	3.4	59	35.3	361	90	40.7	2上	2001～2003
	姫手亡	7.23	9.24	3.3	2.5	62	36.0	401	100	33.4	2上	
	雪手亡	7.25	9.25	3.3	2.2	64	39.0	434	108	34.0	2上	
上川農試	十育A56号	7.13	9.1	3.4	3.0	64	30.8	334	92	38.0	2下	2001～2003
	姫手亡	7.13	9.1	3.3	3.5	68	31.8	362	100	31.9	2下	
	雪手亡	7.13	9.3	2.9	4.2	73	30.2	381	105	33.0	2中	
中央農試	十育A56号	7.31	9.29	2.4	2.4	57	29.0	363	99	40.8	2中	2002～2003
	姫手亡	7.31	9.29	2.4	2.2	58	30.7	368	100	33.2	3上	
	雪手亡	7.31	9.30	2.5	2.9	58	28.5	384	104	35.4	3中	

注1)倒伏程度：0(無)～4(甚)、葉落良否：1(良)～5(不良)。

参照 1) 北海道農政部編、平成16年普及奨励ならびに指導参考事項、43-45 (2004)。

7. 花豆

- (1) ^{しろはなっこ}白花っ娘 (系統名 中育M52号) 2004年
登録番号：(北海道)花豆北海道第2号
(種苗法)第 号

セールスポイント

「大白花」に比べ粒が大きく、外觀品質に優れ、網走地方で、大粒規格の製品収量が大きく上回る白花豆品種である。

来歴 本品種は、早生、極大粒高品質の白花豆品種育成を目標に、1991年に北海道立中央農業試験場が農林水産省農業生物資源研究所放射線育種場に依頼し、「大白花」にγ線を照射し、粒大変異を誘導後、選抜と固定を図り育成した。1998年より「中育M52号」の系統名で各種試験を行ない、2004年に優良品種となった。

特性概要

1. 形態的特性は「大白花」に類似しているが、「大白

花」と比べ莢の幅が広く、粒が大きい。開花期は「大白花」と同じであるが、成熟期は若干遅い。

2. 莢数は「大白花」とほぼ同等、一莢内粒数はやや少なく、百粒重は重い。子実重は「大白花」並からやや劣る。
3. 栽培適地である網走地方では、大粒規格の5分上収量（5分の篩目上に残る子実重）は「大白花」を上回る。
4. 煮熟後の子葉および種皮の硬さは「大白花」よりやや柔らかく、甘納豆、煮豆およびコロケの加工適性は「大白花」とほぼ同等である。

栽培適地と奨励態度

網走地方のべにばないんげん栽培地帯で「大白花」の大半に置き換えて栽培する。栽培に当たっては開花盛期の窒素追肥による増収効果が「大白花」同様に高いので、同技術の適用に努める。熟莢率が低いので、適期に根切りを行なうとともに、立毛で十分な乾燥を行う。採種栽培では、他のべにばないんげんと自然交雑を避けるため、十分な隔離栽培に努める。大粒なので、脱穀時の回転数を調節し損傷粒の発生を防ぐ。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	莢数 (/株)	一莢内 粒 数	子実重 (kg/10a)	同左比 (%)	5分 上率 (%)	5分上 収 量 (kg/10a)	同左比 (%)	百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次 (年)
中央農試	中育M52号 大 白 花	7.11	10.02	24.8	1.99	274	98	41	111	271	191	4 上	1998~2001
		7.11	10.01	26.3	2.40	281	100	15	41	100	160	4 上	
北見農試	中育M52号 大 白 花	7.14	(42)	51.1	2.89	328	96	21	68	234	176	2 下	2002~2003
		7.13	(44)	53.3	3.26	340	100	8	29	100	164	3 上	

注1)成熟期における()は収穫時における熟莢率を示す。

2)5分上重率：子実重全体の中で5分の篩目上(篩目15.2mm)に残る子実重の比率(%)。

3)5分上収量：5分の篩目上に残る子実重。

参照 1)北海道農政部編，平成16年普及奨励ならびに指導参考事項，46-48(2004)。

8. ばれいしょ

(1) アーリースターチ(系統名 北海72号)1996年

登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第30号

(農水省)ばれいしょ農林37号

(種苗法)第7892号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、大粒で粒揃いが良いため、掘り残しが少なく、早掘りに適するでん粉原料用品種である。

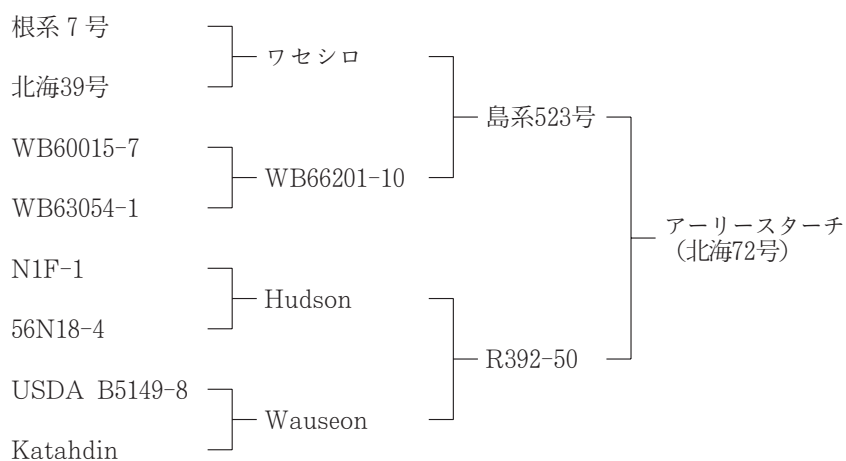
来歴 本品種は大粒でん粉原料用のジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種育成を目標として、1979年に農林水産省北海道農業試験場において、「島系523号」を母、「R392-50」を父として、交配した組合せから選抜したもので、1988年より「島系550号」、1991年からは「北海72号」の系統名で各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. そう性は中間型で、茎長は「コナフブキ」より短い

中、茎の太さは中、茎色は緑色で、分枝数は「コナフブキ」と同等の中である。葉色は緑色、小葉は大きく、毛茸が少なく光沢がある。花色は濃い赤紫色で、白色が両面先に分布する。花の数は多く、花粉は少なく、自然結果は認められない。

2. 塊茎は扁球形で揃いが良く、大粒で、皮色は白黄色、目の深さは中で、尻もやや深い。肉色は白色である。
3. 初期生育は中であるが、いもの早期肥大性はやや早く、特に一個重の増加が早い。枯凋期は「コナフブキ」よりやや早い中晩生で、塊茎の休眠期間はやや長い。
4. 9月上旬の早掘り収穫におけるでん粉収量は「コナフブキ」をやや下回るものの「紅丸」を上回る。普通掘りでは、上いも収量は「コナフブキ」並で、株当り上いも数は少ないが、上いも平均一個重は極めて重く、粒揃いが良い。でん粉価は「コナフブキ」よりやや低い。でん粉収量は「紅丸」「コナフブキ」にやや劣る。
5. でん粉粒子の大きさ、灰分及びリン含量はほぼ「コナフブキ」並である。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は中、そうか病には弱、粉状そ



うか病及び青枯病にはやや弱い。褐色心腐の発生は「コナフブキ」より多く「紅丸」並かやや少ない中、中心空洞は微発生。

栽培適地と奨励態度

北海道のでん粉原料用ばれいしょ生産地帯に適する。栽培上の注意は、早期収穫向けでん粉原料用なので、初期生育の促進を図り、疎植栽培は避ける。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	でん粉 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北海道農試	アーリースターチ	5.31	(9.15)	55	8.0	146	3,968	77	733	96	19.5	124	1988~1995
	紅 丸	5.30	(9.25)	71	14.8	104	5,176	100	763	100	15.7	100	
	コナフブキ	5.31	(9.24)	68	9.0	130	3,839	74	789	103	21.6	138	
中央農試	アーリースターチ	5.29	9.17	47	10.4	91	3,952	79	723	98	19.4	122	1991~1993
	紅 丸	5.28	9.28	54	14.4	83	4,973	100	736	100	15.9	100	
	コナフブキ	5.30	9.23	62	12.8	80	4,280	86	864	117	21.3	134	
上川農試	アーリースターチ	5.31	(9.29)	55	11.1	106	3,860	82	840	102	22.8	123	1991~1993
	紅 丸	5.29	(10.2)	54	15.1	95	4,707	100	826	100	18.5	100	
	コナフブキ	6. 2	9.30	61	11.9	94	3,564	76	866	105	25.2	136	
十勝農試	アーリースターチ	5.28	9.17	72	10.6	96	4,409	88	838	104	20.0	118	1991~1993
	紅 丸	5.25	9.25	84	12.8	90	5,017	100	802	100	17.0	100	
	コナフブキ	5.30	9.25	82	10.9	92	4,273	85	926	115	22.6	133	
北見農試	アーリースターチ	6. 3	9.18	62	8.3	122	4,077	83	711	105	18.5	125	1991~1993
	紅 丸	6. 3	9.28	84	11.0	105	4,896	100	676	100	14.8	100	
	コナフブキ	6. 5	9.20	78	9.8	99	4,135	84	802	119	20.4	138	
根釧農試	アーリースターチ	6.14	10. 7	54	6.3	148	3,522	81	673	92	20.2	113	1991~1993
	紅 丸	6.13	10.13	67	10.8	105	4,345	100	728	100	17.8	100	
	コナフブキ	6.13	10. 5	61	9.1	104	3,615	83	765	105	22.2	125	

注) 試験成績は標準施肥区、枯凋期欄内 (): 未枯凋を除く平均。

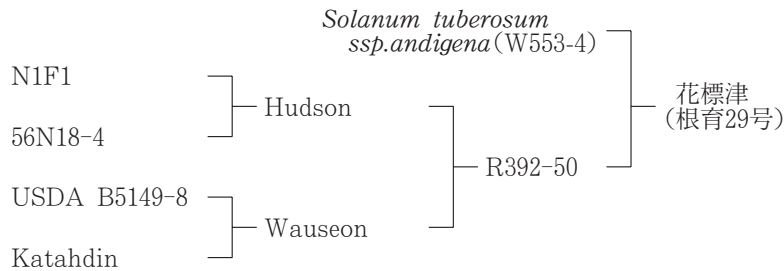
参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12(1996).

(2) 花標津(系統名 根育29号)1997年
 登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第31号
 (農水省)ばれいしょ農林38号
 (種苗法)第8638号

セールスポイント

疫病圃場抵抗性が極めて強く、疫病の無防除栽培が可能なジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ生食用品種である。

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ及び疫病抵抗性を有する食用品種の育成を目標として、1984年に北海道立根釧農業試験場において、近縁種系統 *S.tuberosum* ssp.*andigena* 「W553-4」を母、「R392-50」を父として、交配した組合せから選抜したもので、1993年より「根系81号」、1994年からは「根育29号」の系統名で各種の試験を行い、1997年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性はやや開張型で、茎長はやや長く、茎は太く、茎色は緑色に赤紫色の斑紋があり、分枝数は中である。葉色は淡緑色、小葉の大きさは中である。花色は「男爵薯」より濃い赤紫色で、花の数は多く、花は大きい。花粉量はやや多いが、自然結果は稀である。
2. ふく枝はかなり長い、いも着生の深浅は浅い。塊茎は扁球形で、皮色は淡赤色、目に赤色が分布し、目は「男爵薯」並に深い。肉色は淡黄色である。
3. 初期生育は「男爵薯」並のやや速であるが、いもの早期肥大性はやや遅く、枯凋期は「農林1号」並の中晩生で、塊茎の休眠期間はやや短い。
4. 上いも収量は多く、中以上いも収量は中程度である。上いも及び中いも数は多く、上いも平均一個重は軽い。いもの粒揃いは中で、でん粉価は「男爵薯」並に低い。
5. 調理後の肉質は中で「男爵薯」より粉質度が低く、舌ざわりは滑らかである。調理後黒変は「男爵薯」よ

- り多く、煮崩れ程度はやや少なく、食味は中である。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性は極強く、疫病無防除栽培でも収量や、でん粉価、ビタミンCなどの品質低下はほとんどみられない。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はやや強、Yモザイク病抵抗性は弱、青枯病抵抗性は極弱、そうか病及び粉状そうか病抵抗性は弱である。褐色心腐及び中心空洞の発生はなく、二次生長は「男爵薯」よりやや多い。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、塊茎形成及び肥大が遅いので、浴光催芽、早植えなど初期生育の確保に努める。疫病の無防除と組み合わせる他の薬剤の使用も控える場合には、土壌病害や軟腐病、菌核病の発生が多い圃場での栽培を避ける。収穫後は、赤皮で緑化いもとの識別が難しいので、遮光シートで覆うなど曝光を避ける。休眠期間が短いので、低温貯蔵に努める。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収量 (kg)	同左比 (%)			
根釧農試	花 標 津	6.14	10. 9*	73	13.4	80	4,021	120	3,146	114	15.7	106	1989, 1993~1996
	男 爵 薯	6.15	9.18	45	9.9	86	3,341	100	2,770	100	14.8	100	
	農 林 1 号	6.13	10. 9*	68	8.9	118	4,019	120	3,765	136	17.7	120	
中央農試	花 標 津	5.25	10. 2*	71	14.5	72	4,455	131	3,149	115	13.4	89	1994~1996
	男 爵 薯	5.26	8.21	39	9.0	86	3,390	100	2,731	100	15.0	100	
	農 林 1 号	5.25	9.27*	54	9.4	98	4,088	121	3,630	133	14.8	99	
上川農試	花 標 津	5.30	10. 6*	83	21.6	70	5,118	(152)	3,840	(131)	13.1	(98)	1994~1996
	男 爵 薯	5.30	9. 3	45	(10.8)	(96)	(3,373)	(100)	(2,926)	(100)	(13.4)	(100)	
	農 林 1 号	5.29	10. 6*	67	13.9	100	4,837	(143)	4,379	(150)	13.0	(97)	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 収 量 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	花 標 津	5.30	9.27	91	14.2	72	4,454	124	3,065	104	14.3	97	1993～1996
	男 爵 薯	5.31	9. 6	48	9.6	84	3,578	100	2,954	100	14.8	100	
	農 林 1 号	5.29	9.30	81	9.3	104	4,312	121	3,933	133	16.0	108	
北見農試	花 標 津	6. 3	9.30	89	15.6	78	5,583	134	4,289	115	14.5	101	1994～1996
	男 爵 薯	6. 5	9. 4	57	8.8	105	4,156	100	3,741	100	14.2	100	
	農 林 1 号	6. 3	10. 1	82	8.8	119	4,790	115	4,498	120	16.3	115	
北 海 道 農 試	花 標 津	6. 4	9.30*	99	13.9	90	4,207	108	3,591	103	14.2	94	1994～1996
	男 爵 薯	6. 3	9. 6	53	12.4	95	3,918	100	3,485	100	15.1	100	
	農 林 1 号	6. 2	9.27*	79	10.7	110	4,019	103	3,771	108	16.6	110	

注) 試験成績は標準施肥区, 枯凋期欄内*: 霜による枯凋, ()内は塊茎腐敗激発による参考値。

参照 1) 北海道農政部編, 平成9年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3(1997).

2) 千田圭一 等, 北海道立農試集報, 74,1-17(1998).

(3) スタークイーン(系統名 根育31号)1999年

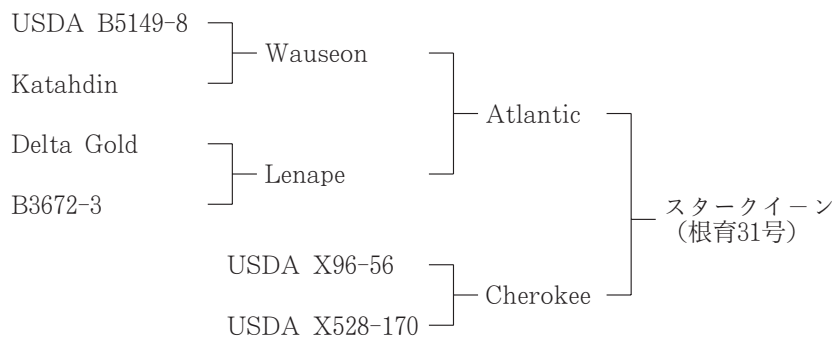
登録番号:(北海道)ばれいしょ北海道第32号

(農水省)ばれいしょ農林40号

(種苗法)第10617号

セールスポイント

そうか病抵抗性が既存品種より強く, ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ生食用品種である。



特性概要

1. そう性は中間型で, 茎長は「男爵薯」より長い中, 茎色は緑色に赤紫色の斑紋があり, 分枝数は中である。葉色は緑色で, 小葉の大きさは中, 健全株にウイルス病によるモザイク症状に似た退緑斑紋が現れることがある。花色は極淡い赤紫色で, 白色が両面先に分布する。花の数, 大きさは中で, 花粉量は少なく, 自然結果は稀である。
2. 塊茎は扁球形, 皮色は白黄で, 表皮はやや粗い。目はやや浅く, 肉色は黄白色である。
3. 初期生育は中, 早期肥大性はやや速いが, 枯凋期は「農林1号」よりやや早い中生で, 塊茎の休眠期間はやや短い。
4. 上いも及び中以上のいも収量は「男爵薯」より多い中で, 枯凋期に相応する収量性がある。上いも数はやや少ないが, 上いも平均一個重は「男爵薯」より重い中で, いもの粒揃いはやや良い。でん粉価はやや低い。
5. 調理後の肉質はやや粉質, 舌ざわりは「男爵薯」並である。調理後黒変は少なく, 煮崩れ程度はやや多く, 食味は「男爵薯」並の中の上で, サラダやコロケに適する。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し, そうか病抵抗性は「男爵薯」より明らかに強く「アトランチック」よりやや強いやや強である。そうか病の低密度汚染圃場であれば, 病いも率, 発病度とも「男爵薯」の半分程度に抑えることができる。Yモザイク病抵抗性,

疫病圃場抵抗性及び疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は弱、亀の甲病には「男爵薯」より弱い。粉状そうか病抵抗性はやや強い。褐色心腐及び中心空洞の発生は微で、二次生長は「男爵薯」より多い。

栽培適地と奨励態度

北海道一円（そうか病発生地帯）に適する。栽培上の注意は、そうか病の病いも率15%以下を目標とした場合、

「男爵薯」の病いも率が30%以下の圃場に栽培する。健全株にウイルス病によるモザイク症状に似た退緑斑紋が発生することがあるので、原採種栽培では抜き取りに当り注意する。二次生長が発生しやすいので、培土、収穫時期などに注意する。亀の甲病や亀の甲病類似症状が発生することがある。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
根釧農試	スタークイーン	6.14	10. 3	62	8.9	107	3,669	109	3,314	117	17.0	114	1993～1997
	男 爵 薯	6.15	9.17	45	10.4	84	3,362	100	2,827	100	14.9	100	
	農 林 1 号	6.14	10. 9*	67	8.7	120	4,008	119	3,780	134	17.7	119	
中央農試	スタークイーン	5.24	9.17	58	9.7	102	4,365	119	3,859	131	15.8	103	1995～1998
	男 爵 薯	5.24	8.23	38	10.0	84	3,654	100	2,945	100	15.4	100	
	農 林 1 号	5.24	9.20	61	10.4	104	4,774	131	4,301	146	16.4	106	
上川農試	スタークイーン	5.27	10. 1*	71	16.1	93	5,289	114	4,374	104	14.8	101	1996～1998
	男 爵 薯	5.29	9.10	46	11.6	110	4,642	100	4,226	100	14.6	100	
	農 林 1 号	5.28	10. 3*	73	12.8	127	6,056	130	5,718	135	16.3	112	
十勝農試	スタークイーン	5.29	9.21	76	9.3	105	4,335	116	3,905	127	15.8	107	1994～1998
	男 爵 薯	5.31	9. 3	54	10.1	83	3,726	100	3,076	100	14.8	100	
	農 林 1 号	5.29	9.30*	86	9.6	103	4,392	118	3,998	130	15.6	105	
北見農試	スタークイーン	6. 3	9.26*	83	9.3	133	5,533	123	5,233	128	16.2	113	1994～1998
	男 爵 薯	6. 4	9. 7	58	9.0	110	4,491	100	4,090	100	14.4	100	
	農 林 1 号	5.31	10. 1*	85	8.6	131	5,145	115	4,904	120	16.6	115	
北海道農試	スタークイーン	5.26	9.30	70	10.3	118	5,327	108	4,991	113	16.1	105	1997～1998
	男 爵 薯	5.27	9.12	46	11.7	97	4,950	100	4,432	100	15.4	100	
	農 林 1 号	5.26	10.10*	103	11.2	118	5,827	118	5,552	125	16.4	106	

注) 試験成績は標準施肥区、枯凋期欄内*：霜による枯凋。

参照 1) 北海道農政部編, 平成11年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-13(1999).
2) 千田圭一 等, 北海道立農試集報, 78,1-18(2000).

(4) ノースチップ(系統名 P961)1999年

登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道(輸)第33号
(種苗法)第10618号

セールスポイント

低温での長期貯蔵後のチップ品質が優れる、油加工食品用品種である。

来歴 本品種は低温下で長期貯蔵が可能な加工食品用(ポテトチップ用)品種の育成を目標として、1988年にホクレン農業協同組合連合会農業総合研究所において、「ホッカイコガネ」を母、「ND860-2」を父として、交配した組合せから選抜したもので、1996年から各種の試験を行い、1999年に優良品種となった。なお、本品種の

系譜は次のとおりである。

特性概要

1. そう性は中間型で、茎長は「トヨシロ」並、茎の太さは中で、分枝は少ない。茎色は緑色で赤紫色の斑紋があり、葉色は緑色、小葉の大きさは中である。花色は赤紫色で白色が両面先に分布する。花の大きさ、数はともに中、花粉量は中で、自然結果は少程度認められる。
2. 塊茎は球形で目は浅く、目数は中で、外観は良い。皮色は黄褐で表皮はやや粗く、肉色は白色である。
3. 初期生育は「トヨシロ」並で、いもの肥大は「トヨシロ」より遅いが、枯凋期はほぼ「トヨシロ」並の中早生である。



4. 上いも収量は「トヨシロ」並で、中以上いも収量はやや劣る場合が多い。上いも数が多く、上いも平均一個重は軽い。粒揃いが良く、大きいもの着生は少ない。でん粉価はほぼ「トヨシロ」並である。
5. 調理後の肉質は中、煮崩れ程度は少で、舌ざわりはやや滑らかである。調理後黒変は微で、剥皮褐変は少なく、食味は「トヨシロ」並の中である。ポテトチップカラー（アグトロン値）は収穫時から高く、低温貯蔵（6℃）中のチップカラーの低下がかなり少なく、低温下での長期貯蔵が可能である。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はない。疫病圃

場抵抗性は弱で、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はやや強、そうか病抵抗性は弱である。PVY-Tに対しては接種当代では無病徴。褐色心腐、中心空洞及び二次生長の発生は「トヨシロ」より少ない。

栽培適地と奨励態度

北海道一円（ただし、ジャガイモシストセンチュウ汚染地域は除く）に適する。栽培上の注意は、収量を確保するために、生育の後半まで塊茎の肥大期間を確保するように努め、センチュウ汚染地域での栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
中央農試	ノースチップ	5.26	9.6	53	13.5	70	4,192	102	3,091	88	15.7	96	1996～1998
	トヨシロ	5.29	9.6	54	10.0	93	4,105	100	3,511	100	16.4	100	
上川農試	ノースチップ	5.28	9.20	60	15.4	101	5,624	117	5,034	114	15.8	96	1996～1998
	トヨシロ	5.29	9.10	59	11.8	113	4,815	100	4,410	100	16.5	100	
十勝農試	ノースチップ	6.2	9.10	74	12.7	75	4,179	97	3,300	84	16.1	99	1996～1998
	トヨシロ	6.3	9.9	75	9.0	112	4,328	100	3,929	100	16.2	100	
北見農試	ノースチップ	6.7	9.16	76	10.1	95	4,392	83	3,889	78	15.3	96	1996～1998
	トヨシロ	6.11	9.19	83	9.2	128	5,318	100	4,997	100	16.0	100	
根釧農試	ノースチップ	6.18	9.27	52	12.2	80	3,752	92	3,086	79	19.0	110	1996～1997
	トヨシロ	6.20	10.1	54	7.6	145	4,100	100	3,911	100	17.2	100	
北海道農試	ノースチップ	5.28	9.18	68	11.9	110	5,654	103	5,175	98	16.3	103	1997～1998
	トヨシロ	5.27	9.15	67	9.5	135	5,495	100	5,266	100	15.9	100	

注) 試験成績は標準施肥区。

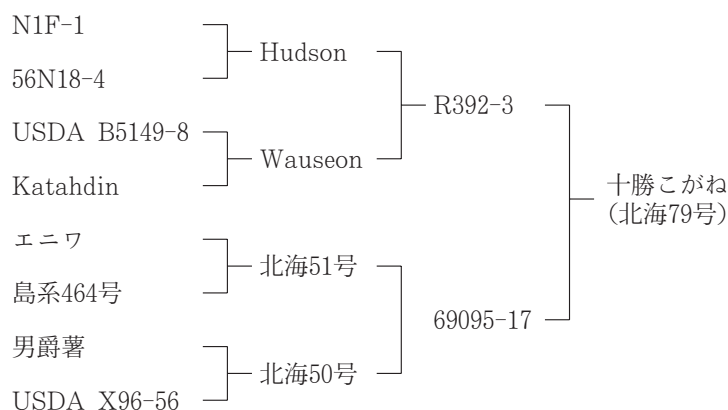
参照 1) 北海道農政部編, 平成11年普及奨励ならびに指導参考事項, 14-16(1999).

- (5) 十勝こがね(系統名 北海79号)2000年
登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第35号
(農水省)ばれいしょ農林41号
(種苗法)第8549号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、貯蔵性が良く、調理適性に優れた生食用品種である。

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有する早生、大粒で調理適性の優れた生食用品種の育成を目標として、1986年に農林水産省北海道農業試験場において、「R392-3」を母、「69095-17」を父として、交配した組合せから選抜したもので、1992年より「島系566号」、1994年からは「北海79号」の系統名で各種の試験を行い、2000年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性はやや直立し、茎長は短く、茎の太さはある。茎色は緑色で分枝は少ない。葉色は淡緑色、小葉の大きさは中である。花色は白色で、花の数は少なく、花粉量は多く、自然結果は中程度認められる。
2. 塊茎は楕円形、皮色は白黄色で、表皮の粗滑は中で、目は極浅く、肉色は淡黄色である。
3. 初期生育は遅く、いもの早期肥大性は「農林1号」並の中であるが、枯凋期は「男爵薯」並の早生で、塊茎の休眠期間は極長く、貯蔵性が良い。
4. 上いも収量はやや少なく、中以上いも収量はほぼ「男爵薯」並である。上いも数は少なく、上いも平均一個重は重く、いもの粒揃いは良い。でん粉価は「農林1号」並の中である。
5. 剥皮歩留りが高く、トリミング数は少ない。剥皮褐変も少ない。調理後の肉質はやや粉質で、調理後黒変はなく、煮崩れ程度は「男爵薯」並かやや少ない中で、食味は「男爵薯」より良い上である。一次加工適性に優れ高い業務向け適性を持ち、さらに休眠が長いので貯蔵後の品質劣化が少なく、長期間の供給が可能である。チップ・フライの褐変程度は微で、フライ調理適

性も高い。

6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性は弱く、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は極弱である。Yモザイク病抵抗性、そうか病及び粉状そうか病抵抗性は弱く、青枯病抵抗性は弱であるが「男爵薯」よりやや強い。褐色心腐及び二次生長はなく、中心空洞は2L以上の規格で「男爵薯」並に発生する。打撲耐性は「農林1号」より強く「男爵薯」並である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、休眠期間が長いので通常の種いも貯蔵では萌芽及び初期生育が遅れ易いので、1)休眠期間を短くするために、収穫後D型ハウスなどで仮貯蔵し、凍結の恐れが生じる10月中旬頃までに本貯蔵とする。2)休眠明けを早めるために、3月上旬から10℃以上20℃を上限として貯蔵温度を高くし、また早めの種いも切断を行うことが必要である。また、疫病による塊茎腐敗が発生しやすいので、予察情報などを活用し、適正な防除に努める。2L規格以上のいもでは中心空洞が発生することがあるので、茎数の確保に努め、疎植・多肥を避けることも必要である。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収量 (kg)	同左比 (%)			
北海道農試	十勝こがね	5.27	8.30	49	6.8	130	3,920	88	3,735	98	15.7	105	1998~1999
	男爵薯	5.24	9.7	46	11.2	92	4,459	100	3,805	100	15.0	100	
中央農試	十勝こがね	6.1	8.27	40	6.1	109	2,938	88	2,689	94	16.9	114	1998~1999
	男爵薯	5.29	8.29	39	8.1	95	3,347	100	2,846	100	14.8	100	
上川農試	十勝こがね	5.31	8.27	52	8.7	116	4,482	102	4,186	106	14.9	107	1998~1999
	男爵薯	5.29	8.28	41	9.6	103	4,384	100	3,948	100	13.9	100	
十勝農試	十勝こがね	6.1	8.27	52	6.8	112	3,349	101	3,175	115	15.6	106	1998~1999
	男爵薯	5.30	8.26	42	9.6	79	3,333	100	2,763	100	14.7	100	
北見農試	十勝こがね	6.7	9.7	48	8.6	115	4,419	104	4,113	110	16.7	108	1998~1999
	男爵薯	6.2	9.4	48	10.0	94	4,251	100	3,747	100	15.4	100	

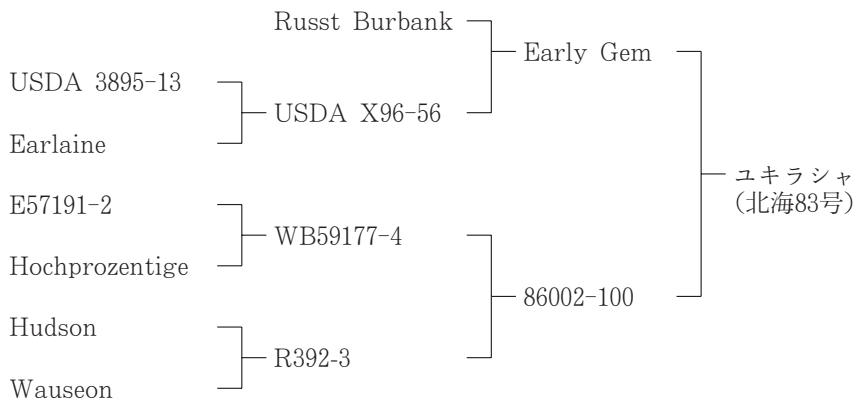
注) 試験成績は標準施肥区、種いも加温処理平均。

参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 16-18(2000).

(6) ユキラシャ(系統名 北海83号)2000年
 登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第36号
 (農水省)ばれいしょ農林42号
 (種苗法)第11097号

セールスポイント

そうか病抵抗性が強く、貯蔵性が良く、調理適性に優れる生食用品種である。



来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ及びそうか病抵抗性を有する、生食用品種の育成を目標として、1991年に農林水産省北海道農業試験場において、「Early Gem」を母、*S.tuberosum ssp. andigena*, *S.demissum*, *S.stoloniferum*, *S.commersonii*に由来する種間雑種系統「86002-100」を父として、交配した組合せから選抜したもので、1996年より「島系582号」、1997年からは「北海83号」の系統名で各種の試験を行い、2000年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. そう性は中間型で、茎長はやや短く、茎は太く、茎色は緑色で、分枝数は少ない。葉色は淡緑色、小葉は大きい。花色は白色で、花数は中、花粉量は少なく、自然結果は稀である。
2. 塊茎は楕円形、皮色は褐色で表皮は粗く、ラセット皮を有する。目はやや極浅、肉色は白色である。
3. 初期生育は遅く、いもの早期肥大性は中、枯凋期は中早生で、塊茎の休眠期間は極長である。
4. 上いも収量、中以上いも収量は「男爵薯」並の少である。上いも数は中で、上いも平均一個重は軽く、粒揃いはやや良い。でん粉価は中である。
5. 剥皮特性に優れ、剥皮褐変も少なく、カットやプレピール等の業務向け一次加工に適する。調理後の肉質はやや粉質で、煮崩れ程度は大きく、調理後黒変は微で、食味は中である。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はない。疫病圃場抵抗性はやや弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はや

や強、Yモザイク病抵抗性は弱である。そうか病抵抗性は強で、「スタークイーン」より強い。粉状そうか病抵抗性は強である。褐色心腐及び中心空洞の発生は微、二次生長はない。いもの裂開は微、打撲耐性は「農林1号」並のやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円（そうか病発生地帯）に適する。栽培上の注意は、休眠期間が長いので通常の種いも貯蔵では萌芽及び初期生育が遅れ易いので、1)休眠期間を短くするために、収穫後D型ハウスなどで仮貯蔵し、凍結の恐れが生じる10月中旬頃までに本貯蔵とする。2)休眠明けを早めるために、3月上旬から10℃以上20℃を上限として貯蔵温度を高くし、また早めの種いも切断を行うことが必要である。また、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有していないので、汚染地域では栽培しないとともに、いもが裂開することがあるので、過剰な施肥など急激な肥大を促す栽培管理を行わない。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収量 (kg)	同左比 (%)			
北海道農試	ユキラシャ	5.27	9.10	64	11.9	90	4,714	106	4,120	108	15.6	104	1998~1999
	男爵薯	5.24	9.7	46	11.2	92	4,459	100	3,805	100	15.0	100	
中央農試	ユキラシャ	6.1	9.3	50	9.6	79	3,249	97	2,564	90	17.3	114	1998~1999
	男爵薯	5.29	8.29	39	8.1	95	3,347	100	2,846	100	14.8	100	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 収 量 (kg)	同左比 (%)			
上川農試	ユ キ ラ シ ャ	6. 2	8.30	59	10.6	85	3,924	90	3,286	83	15.6	112	1998～1999
	男 爵 薯	5.29	8.28	41	9.6	103	4,384	100	3,948	100	13.9	100	
十勝農試	ユ キ ラ シ ャ	6. 1	9. 1	59	10.2	72	3,266	98	2,537	92	16.1	110	1998～1999
	男 爵 薯	5.30	8.26	42	9.6	79	3,333	100	2,763	100	14.7	100	
北見農試	ユ キ ラ シ ャ	6. 7	9.10	60	9.1	98	3,963	93	3,415	91	17.0	110	1998～1999
	男 爵 薯	6. 2	9. 4	48	10.0	94	4,251	100	3,747	100	15.4	100	

注) 試験成績は標準施肥区、種いも加温処理平均。

参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 19-21(2000).

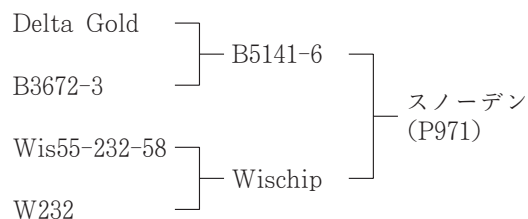
(7) スノーデン(系統名 P971)2000年

登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道(輸)第34号

セールスポイント

9℃長期貯蔵でのポテトチップ加工適性に優れ、収穫翌年の6月まで利用可能な油加工食品用品種である。

来歴 本品種は米国ウイコンシン大学において、「B5141-6」を母、「Wischip」を父として交配し、以降選抜を加え、「Snowden」の名で公開されたものをカルビーポテト株式会社が導入し、1997年から各種の試験を行い、2000年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性は中間型で、茎長は「トヨシロ」より長く、茎色は緑色で赤紫色の斑紋がある。葉色は淡緑色で、小葉の大きさはやや小さい。花色は白色で、花粉はなく、自然結果は認められない。
2. ふく枝は長く、いもの着生位置も深い。塊茎は球形で、目は浅い。皮色は褐色で、表皮は粗く、肉色は白色である。
3. 枯凋期は「トヨシロ」より晚い中晩生で、塊茎の休眠期間は「トヨシロ」と同様に長い。
4. 上いも収量は「トヨシロ」よりやや少なく、中以上いも収量は同等である。上いも数はやや多く、上いも平均一個重はやや軽い、極大粒がほとんどないので、ポテトチップの生産工程での選別や極大粒いもの半裁処理等の省力化が可能である。でん粉価は「トヨシロ」より低い。
5. 調理後の肉質は中である。チップ・フライの褐変程度は「トヨシロ」と同じ微で、収穫後のグルコース含量は「トヨシロ」に比べ低く推移し、収穫時のチップカラーは「トヨシロ」とほぼ同等で、収穫後9℃で貯

蔵し、無加温で4～6月に加工した場合「トヨシロ」よりチップカラーは高く、ポテトチップ加工適性は「トヨシロ」より優れる。

6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はない。疫病圃場抵抗性は「トヨシロ」と同程度の中で、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は強い。そうか病抵抗性は「トヨシロ」より強く「アトランチック」並の中である。Yモザイク病抵抗性は弱である。褐色心腐及び中心空洞の発生はなく、二次生長は「トヨシロ」と同様に微程度発生する。

栽培適地と奨励態度

北海道一円(ただしジャガイモシストセンチュウ汚染地域は除く)に適する。栽培上の注意は、収量、でん粉価の向上を図るため、早植え、浴光催芽などの基本技術を励行し、完熟塊茎の安定生産に努める。ふく枝が長く、緑化塊茎が発生し易いので、十分な培土を行い、塊茎着生位置が深いので、ハーベスタの掘り取り深度に注意する。多肥栽培は避け、やや疎植にする。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 備 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 も 収 量 (kg)	同左比 (%)			
中央農試	ス ノ ー デ ン	5.28	9.28	68	11.8	79	4,034	107	3,256	99	13.8	85	1997～1999
	ト ヨ シ ロ	5.29	9. 6	51	8.7	102	3,769	100	3,275	100	16.3	100	
上川農試	ス ノ ー デ ン	5.29	10. 3	71	12.7	92	4,674	103	4,182	100	13.6	82	1997～1999
	ト ヨ シ ロ	5.30	9. 8	58	9.9	115	4,533	100	4,192	100	16.6	100	
十勝農試	ス ノ ー デ ン	5.30	9.21	81	11.8	82	4,169	96	3,422	85	14.4	87	1997～1999
	ト ヨ シ ロ	6. 2	9. 7	64	8.4	118	4,355	100	4,026	100	16.4	100	
北見農試	ス ノ ー デ ン	6. 4	10. 1	89	11.4	92	4,728	88	4,059	88	16.0	95	1997～1999
	ト ヨ シ ロ	6. 8	9.16	78	9.6	125	5,348	100	4,632	100	16.8	100	
根釧農試	ス ノ ー デ ン	6.17	10. 2	63	9.4	98	3,537	87	3,105	79	17.3	100	1997
	ト ヨ シ ロ	6.20	10. 3	53	6.8	155	4,058	100	3,933	100	17.3	100	
北海道農試	ス ノ ー デ ン	5.27	10. 8	88	9.5	130	5,318	99	5,120	101	14.6	91	1997～1999
	ト ヨ シ ロ	5.26	9.14	68	9.6	129	5,351	100	5,083	100	16.0	100	

注) 試験成績は標準施肥区。

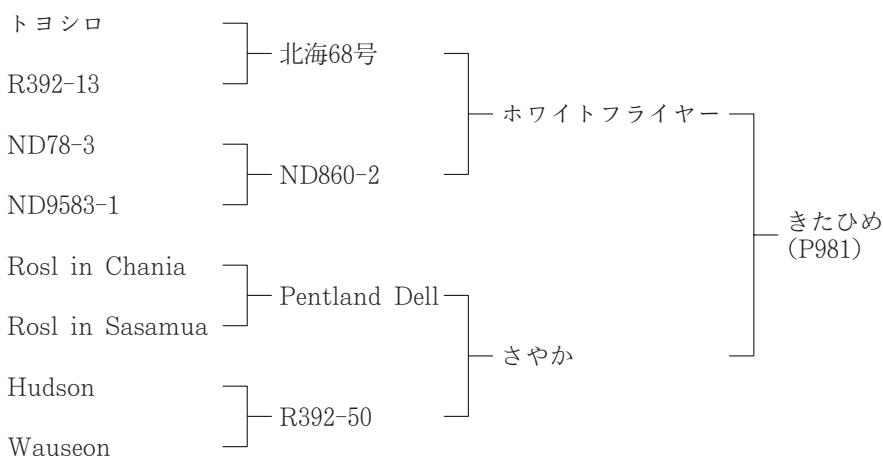
参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 22-24(2000).

(8) きたひめ(系統名 P982)2001年

登録番号:(北海道)ばれいしょ北海道(輸)第37号
(種苗法)第 号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち, 6℃長期低温貯蔵でのポテトチップ加工適性に優れる油加工食品用品種である。



特性概要

1. そう性はやや開張型で, 茎長は「トヨシロ」並, 茎はやや細く, 茎色は緑色で, 分枝数は中である。葉色は緑色, 小葉の大きさはやや小さい。花色は白色で花裏に紫の着色があり, 花の数は中, 花粉量は中, 自然結果は中程度認められる。
2. 塊茎は球形で, 皮色は黄白色, 表皮はやや滑らかで,

来歴 本品種は低温下で長期貯蔵が可能な加工食品用(ポテトチップ用)品種の育成を目標として, ホクレン農業協同組合連合会農業総合研究所と農林水産省北海道農業試験場との共同研究により育成された品種で, 1991年に農林水産省北海道農業試験場において「ホワイトフライヤー」を母, 「さやか」を父として交配した組合せから, 翌年以降ホクレンにおいて選抜したもので, 1998年から各種の試験を行い, 2001年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

目の数はやや多く, 深さはやや浅く, 肉色は白色である。

3. 枯凋期は「トヨシロ」より晩く「農林1号」より早い中生で, 塊茎の休眠期間はやや短い。
4. 上いも及び中以上いも収量は「トヨシロ」並ないしやや多い中である。上いも数, 上いも平均一個重はほぼ「トヨシロ」並の中, でん粉価は「トヨシロ」並

いしやや低い中である。

5. チップ・フライの褐変程度は微で「トヨシロ」並ないしやや優り、「農林1号」より優る。1月～5月にかけて6℃の低温貯蔵後、無加温で加工した場合のチップカラーは「トヨシロ」及び「農林1号」より優り、「ノースチップ」並に優れる。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性、Yモザイク病及びそうか病抵抗性は弱、疫

病菌による塊茎腐敗抵抗性は中である。褐色心腐、中心空洞及び二次生長の発生はいずれもほぼ「トヨシロ」並の微である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、大いもに中心空洞が発生することがあるので、多肥や疎植を避ける。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
中央農試	き た ひ め	5.29	9. 8	55	9.1	105	4,249	120	3,834	123	14.8	91	1998～2000
	ト ヨ シ ロ	5.30	9. 1	52	7.8	108	3,545	100	3,108	100	16.2	100	
	農 林 1 号	5.28	9.19	64	9.5	105	4,418	125	3,943	127	15.3	94	
上川農試	き た ひ め	5.28	9. 9	63	11.2	100	4,862	108	4,319	109	14.5	99	1998～2000
	ト ヨ シ ロ	5.28	9. 5	59	10.6	98	4,513	100	3,975	100	14.7	100	
	農 林 1 号	5.27	9.24	80	12.7	98	5,486	122	4,907	123	14.4	98	
十勝農試	き た ひ め	5.29	9.11	62	8.8	102	3,921	97	3,625	100	15.7	99	1998～2000
	ト ヨ シ ロ	5.30	9. 4	60	9.0	102	4,029	100	3,620	100	15.9	100	
	農 林 1 号	5.27	9.17	74	9.3	100	4,114	102	3,784	105	15.2	96	
北見農試	き た ひ め	5.31	9.22	61	9.3	107	4,611	95	4,215	94	16.3	96	1998～2000
	ト ヨ シ ロ	6. 5	9.13	62	9.5	113	4,855	100	4,466	100	16.9	100	
	農 林 1 号	5.30	9.28	65	9.5	118	5,098	105	4,828	108	17.6	104	
北海道農試	き た ひ め	5.25	9.20	70	8.8	123	4,702	97	4,516	101	16.0	99	1998～2000
	ト ヨ シ ロ	5.25	9.10	64	10.4	106	4,860	100	4,463	100	16.1	100	
	農 林 1 号	5.24	10.10	83	10.7	113	5,374	111	5,035	113	16.2	101	

注) 試験成績は標準施肥区。

参照 1) 北海道農政部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 19-21(2001).

(9) ナツフブキ(系統名 北育5号)2003年

登録番号:(北海道)ばれいしょ北海道第38号
(農水省)ばれいしょ農林47号
(種苗法)第 号

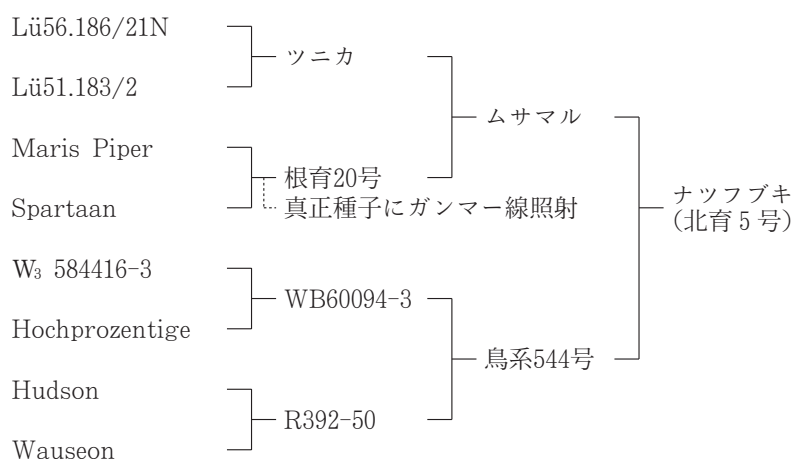
セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、早掘りに適するでん粉原料用品種である。

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有する高でん粉価のでん粉原料用品種の育成を目標として、1992年北海道立根釧農業試験場において、「ムサマル」を母、「島系544号」を父として、交配した組合せから選抜し、1999年より「北系5号」、2000年からは「北育5号」の系統名で各種の試験を行い、2003年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. そう性はやや開張型で、茎長は「コナフブキ」並の長、茎の太さは「コナフブキ」並の中、茎色は緑色に赤紫色の斑紋があり、分枝数はやや少ない。葉色は緑色で、小葉の大きさは中である。花色は赤紫色で白色が両面先に分布する。花の数は中、花の大きさは小さく、花粉量は多く、自然結果は少程度認められる。
2. 塊茎は球形で、目の深淺は中で、皮色は黄褐色で、肉色は白い。
3. 初期生育、早期肥大性ともやや速く、枯凋期は「コナフブキ」より1週間程度早い中生で、塊茎の休眠期間は中である。
4. 上いも重は中、上いも数はやや多、上いも平均一個重は中、でん粉価は高く、でん粉重は多い。
5. でん粉粒子の大きさ、リン含量、離水率はほぼ「コナフブキ」並であり、糊化開始温度、最高粘度及び最高粘度時温度も「コナフブキ」並である。



6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性及びYモザイク病抵抗性は弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は中、そうか病抵抗性は弱、粉状そうか病抵抗性は中である。褐色心腐の発生は多く、中心空洞、二次生長は微発生である。

栽培適地と奨励態度

北海道のでん粉原料用ばれいしょ栽培地帯（主としてジャガイモシストセンチュウ発生地帯）に適する。栽培上の注意は、9月下旬以降の収穫では「コナフブキ」よりでん粉重がやや少ないので、作付計画に留意する。褐色心腐の発生が「紅丸」並に多いので、培土などの栽培管理に留意する。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	でん粉 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北見農試	ナツフブキ	5.31	9.27	77	9.6	107	4,689	97	1,011	97	22.6	100	1998～2002
	コナフブキ	5.31	10.4	75	10.0	107	4,844	100	1,044	100	22.6	100	
中央農試	ナツフブキ	5.27	9.10	71	12.0	85	4,473	103	854	100	20.1	97	2000～2002
	コナフブキ	5.27	9.18	75	11.9	82	4,363	100	857	100	20.7	100	
上川農試	ナツフブキ	5.24	9.11	84	13.9	80	4,747	94	879	90	19.4	96	2000～2002
	コナフブキ	5.23	9.23	73	12.9	90	5,028	100	975	100	20.3	100	
十勝農試*	ナツフブキ	5.28	9.19	83	11.3	79	3,907	93	726	90	19.6	97	2000～2002
	コナフブキ	5.28	9.23	86	11.9	81	4,195	100	807	100	20.3	100	
北農研 センター	ナツフブキ	5.25	9.21	67	11.2	100	4,749	102	984	98	21.8	97	2000～2002
	コナフブキ	5.25	9.30	69	10.3	107	4,657	100	1,001	100	22.5	100	

注) 試験成績は標準施肥区，*：2001年を除く平均。

参照 1) 北海道農政部編，平成15年普及奨励ならびに指導参考事項，10-12(2003)。

2) 池谷 聡 等，北海道立農試集報. 87, 9-20(2004)。

(10) ひかる (系統名 F001)2003年

登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道(輸)第39号
(種苗法)第 号

セールスポイント

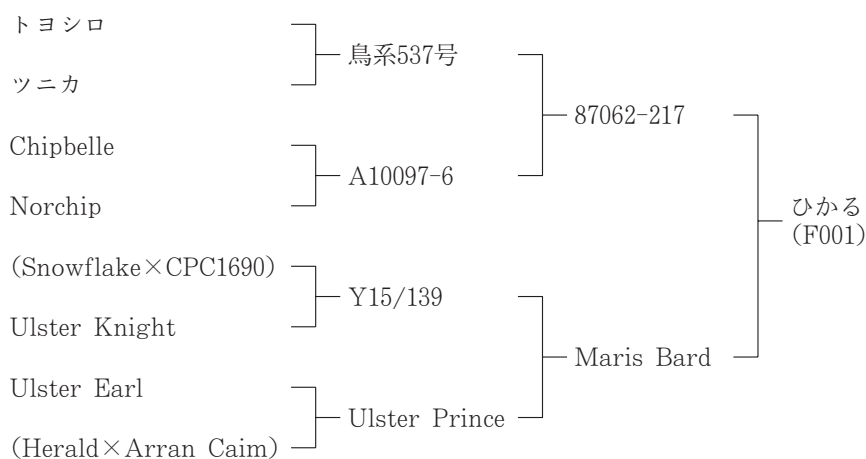
ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、目が浅く、大粒・多収でポテトサラダ適性に優れる生食用品種である。

来歴 本品種はポテトサラダ適性に優れた生食用品種の

育成を目標として、1993年にホクレン農業協同組合連合会農業総合研究所において、「87062-217」を母、「Maris Bard」を父として、交配した組合せから選抜したもので、2000年より「F001」の系統名で各種の試験を行い、2003年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. そう性は直立型で、茎長は「男爵薯」よりも長い中、茎の太さは中で、茎色は緑色に赤紫色の斑紋があり、



分枝数は中である。葉色は緑色、小葉の大きさは中である。花色は紫色で、花の数は稀で、花粉及び自然結果はない。

2. 塊茎は扁球形で、皮色は黄褐色、表皮の粗滑はやや粗く、目の数は中で、深さは浅い。肉色は淡黄色である。
3. 初期生育は中で、枯凋期は「農林1号」並の中晩生、塊茎の休眠期間はやや長い。
4. 上いも重は極多く、上いも数は少なく、上いも平均一個重は極重く、いもの粒揃いはやや整である。でん粉価は中である。
5. 調理後の肉質はやや粉、煮崩れ程度は中で、調理後黒変は「男爵薯」より少ない。ポテトサラダの官能評価では、「男爵薯」と比べて製造直後ではほぼ同等で、製造後30日前後では優り、サラダ用の主力品種の「トヨシロ」と比べると明らかに優り、ポテトサラダ製造

時の歩留りは「さやか」並に高い。

6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性及びYモザイク病抵抗性は弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は極弱で、そうか病抵抗性はやや弱である。中心空洞は「男爵薯」並の微であるが、年次・場所により発生が多いことがある。褐色心腐は微、二次生長は少発生する。

栽培適地と奨励態度

北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意は、塊茎腐敗が発生することがあるので、排水不良な圃場での栽培は避ける。疫病に弱いので、予察情報などを活用し、適正な防除に努める。中心空洞の発生することがあるので、多肥や疎植を避け、培土や収穫時期に留意する。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
中央農試	ひ か る	5.26	9.14	71	12.3	101	5,294	121	4,571	131	14.8	106	2000～2002
	男 爵 薯	5.24	8.20	37	13.2	76	4,391	100	3,476	100	14.0	100	
	農 林 1 号	5.25	9.19	70	10.7	96	4,614	105	4,086	118	15.0	107	
上川農試	ひ か る	5.23	9.15	71	12.3	105	5,615	122	4,978	135	14.0	103	2000～2002
	男 爵 薯	5.22	8.20	40	13.3	79	4,607	100	3,686	100	13.6	100	
	農 林 1 号	5.22	9.17	69	13.3	93	5,380	117	4,649	126	14.4	106	
十勝農試	ひ か る	5.29	9.20	79	9.5	130	5,239	135	4,936	152	16.0	113	2000～2002
	男 爵 薯	5.27	8.29	39	11.6	75	3,883	100	3,237	100	14.5	100	
	農 林 1 号	5.25	9.24	76	10.4	105	4,860	125	4,549	141	15.4	108	
北見農試	ひ か る	5.30	9.30	63	9.1	133	5,579	143	5,259	160	16.9	104	2000～2002
	男 爵 薯	5.27	9. 2	32	10.1	84	3,905	100	3,285	100	16.3	100	
	農 林 1 号	5.26	10. 3	62	9.5	122	5,282	135	5,057	154	18.8	115	
北 海 道 農 試	ひ か る	5.29	9.27	78	8.8	136	5,313	129	5,088	160	15.8	96	2000
	男 爵 薯	5.26	9. 3	36	14.0	67	4,128	100	3,175	100	16.4	100	
	農 林 1 号	5.27	10. 1	76	10.4	106	4,858	118	4,429	139	16.0	98	

注) 試験成績は標準施肥区。

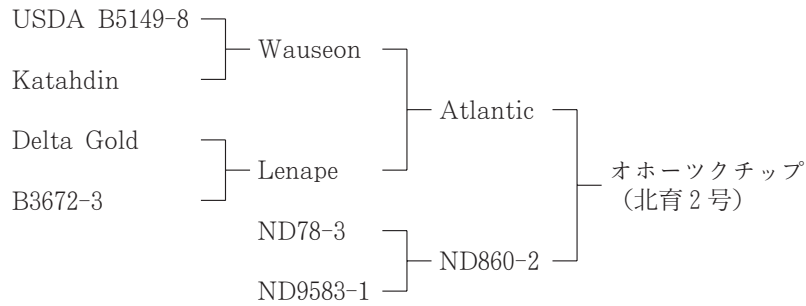
参照 1) 北海道農政部編, 平成15年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-15(2003).

(11) オホーツクチップ(系統名 北育2号)2004年
 登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第40号
 (農水省)ばれいしょ農林52号
 (種苗法)第 号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性及びそうか病に中程度の抵抗性を持つ、早生でポテトチップ加工適性に優れる油加工食品用品種である。

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有する早生でポテトチップ適性の優れる加工食品用品種の育成を目標として、1991年北海道立根釧農業試験場において、「アトランチック」を母、「ND860-2」を父として、交配した組合せから選抜し、1998年より「根系105号」、1999年からは「北育2号」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性はやや開張型で、茎長はやや短く、茎の太さは「ワセシロ」並の中、茎色は緑色で、分枝数は少ない。葉色は淡緑色で、小葉の大きさは中である。花色は白色で、花の数、花の大きさは中、花粉量は中程度で、自然結果は稀である。
2. 塊茎は球形で、目は浅く、皮色は褐色で、肉色は白い。
3. 初期生育はやや速く、早期肥大性はやや遅く、枯凋期は「ワセシロ」よりやや遅い早生で、塊茎の休眠期間はやや短い。
4. 上いも重は「ワセシロ」並の中、中以上いも重はやや少なく、上いも数はやや多く、上いも平均一個重は「ワセシロ」より軽い。でん粉価は中である。
5. 早掘り及び収穫直後のチップ・フライの褐変程度は

無でチップカラーは「トヨシロ」、「ワセシロ」に優り、翌年1月までのチップカラーも「トヨシロ」並ないし優れる。

6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性及びYモザイク病抵抗性は弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はやや強く、そうか病抵抗性は中、粉状そうか病抵抗性はやや弱である。褐色心腐、中心空洞及び二次生長はいずれもは微発生である。

栽培適地と奨励態度

北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意は、肥大性がやや遅く小粒であることから、生育促進に努める。倒伏し易い傾向にあるので、過繁茂や軟弱な地上部生育にならないよう施肥量に留意する。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収量 (kg)	同左比 (%)			
北見農試	オホーツクチップ	5.28	9. 6	47	10.2	88	4,147	98	3,636	93	17.6	101	1999～2003
	トヨシロ	6. 3	9. 9	51	9.1	110	4,245	100	3,923	100	17.5	100	
	ワセシロ	5.30	9. 3	52	8.2	116	4,292	101	4,055	106	16.7	95	
中央農試	オホーツクチップ	5.26	8.28	48	12.1	84	4,373	105	3,581	99	15.2	96	1999～2002
	トヨシロ	5.29	9. 1	54	9.3	106	4,151	100	3,608	100	15.9	100	
	ワセシロ	5.28	8.26	54	9.7	107	4,508	109	4,050	112	14.8	94	
上川農試	オホーツクチップ	5.25	8.28	55	13.7	79	4,714	103	3,719	94	14.1	97	1999～2002
	トヨシロ	5.26	9. 1	55	11.5	91	4,567	100	3,936	100	14.6	100	
十勝農試	オホーツクチップ	5.26	8.29	48	10.3	82	3,745	89	3,153	84	15.4	96	1999～2002
	トヨシロ	5.29	9. 5	55	9.9	97	4,191	100	3,740	100	16.0	100	
	ワセシロ	5.29	8.27	59	8.7	106	4,097	98	3,837	103	14.6	91	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北 農 研 センター	オホーツクチップ	5.24	9.10	47	11.6	90	4,573	95	3,979	90	16.4	97	1999～2002
	トヨシロ	5.25	9.13	60	9.8	112	4,806	100	4,436	100	16.9	100	

注) 試験成績は標準施肥区。

参照 1) 北海道農政部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 49-51(2004).

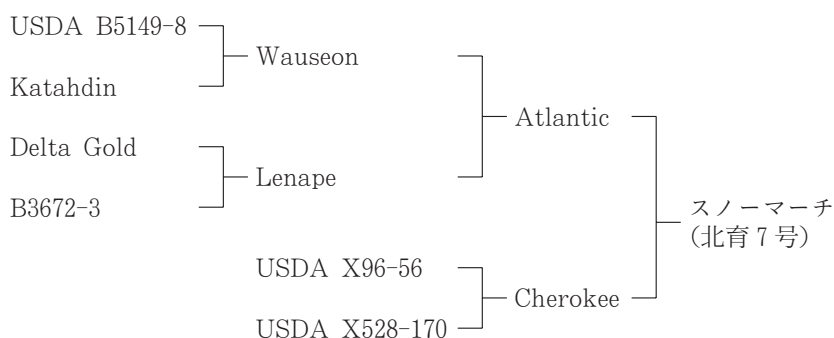
(12) スノーマーチ(系統名 北育7号)2004年

登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第41号
(農水省)ばれいしょ農林51号
(種苗法)第 号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性及びそうか病に強い抵抗性を持つ、調理特性の優れた生食用品種である。

来歴 本品種はそうか病抵抗性とジャガイモシストセンチュウ抵抗性を併せ持つ生食用品種の育成を目標として、1993年北海道立根釧農業試験場において、「アトランチック」を母、「Cherokee」を父として、交配した組合せから選抜し、2000年より「北系7号」、2001年からは「北育7号」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性は中間型で、茎長はやや短く、茎の太さは中、茎色は緑色で、分枝数は中である。葉色は緑色で、小葉の大きさは大きく、花色は白色で、花の数はやや少なく、花の大きさは中、花粉量は中程度で、自然結果は少程度認められる。
2. 塊茎は倒卵形で、目は浅く、皮色は白黄色で、肉色は白い。
3. 初期生育及び早期肥大性はやや遅く、枯凋期は「男爵薯」より晚い中生で、塊茎の休眠期間はやや短い。
4. 上いも重及び中以上いも重は「男爵薯」より多い中、上いも数は「男爵薯」並の中で、上いも平均一個重は「男爵薯」より重い中である。でん粉価は「男爵薯」より高いやや低である。
5. 剥皮褐変がなく、調理後の肉質はやや粉質で、煮崩

- れ程度は少なく、調理後黒変は微で、食味は中上である。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性及びYモザイク病抵抗性は弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は中、そうか病抵抗性は強、粉状そうか病抵抗性はやや強である。褐色心腐及び二次生長はいずれも微発生で、中心空洞は「男爵薯」並の少発生である。

栽培適地と奨励態度

北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯(主としてそうか病発生地帯)に適する。栽培上の注意は、褐色心腐及び中心空洞の発生することがあるので、多肥や疎植を避け、培土に留意する。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均重 (g)	10 a 当り				でん 粉 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 も 重 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北見農試	スノーマーチ	5.28	9.15	43	9.0	98	4,085	122	3,690	125	17.6	105	2001～2003
	男 爵 薯	5.27	8.26	32	8.1	87	3,361	100	2,952	100	16.7	100	
	スタークイーン	5.27	9.23	50	8.1	116	4,357	130	4,095	140	18.0	108	
中央農試	スノーマーチ	5.26	9.9	53	16.0	75	5,373	117	4,199	115	15.5	103	2001～2003
	男 爵 薯	5.24	8.17	39	13.6	76	4,577	100	3,650	100	15.1	100	
	スタークイーン	5.23	9.17	63	14.2	87	5,486	120	4,513	124	15.3	101	
上川農試	スノーマーチ	5.24	9.6	50	13.7	91	5,476	113	4,679	113	15.4	105	2001～2003
	男 爵 薯	5.23	8.24	38	11.8	94	4,828	100	4,137	100	14.6	100	
	スタークイーン	5.22	9.11	56	12.2	108	5,699	118	5,070	123	15.3	105	
十勝農試	スノーマーチ	5.27	9.15	54	10.7	95	4,498	114	4,045	117	16.4	110	2001～2003
	男 爵 薯	5.26	8.26	39	10.4	85	3,929	100	3,456	100	14.9	100	
	スタークイーン	5.27	9.21	63	10.1	108	4,784	121	4,394	127	16.8	113	
北農研 センター	スノーマーチ	5.27	9.23	47	8.6	117	4,392	112	4,140	120	17.2	106	2001～2003
	男 爵 薯	5.24	9.1	35	9.5	95	3,910	100	3,454	100	16.3	100	
	スタークイーン	5.24	9.23	54	10.8	104	4,925	125	4,467	129	17.8	109	

注) 試験成績は標準施肥区。

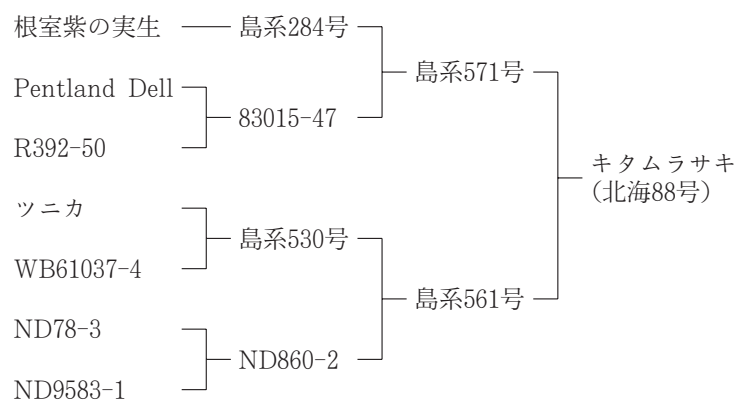
参照 1) 北海道農政部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3 (2004).

(13) キタムラサキ(系統名 北海88号)2004年

登録番号：(北海道)ばれいしょ北海道第42号
(農水省)ばれいしょ農林50号
(種苗法)第 号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、肉色が紫色でアントシアニン色素を含有する生食用品種である。



特性概要

1. そう性はやや直立型で、茎長はやや長く、茎は太く、茎色は紫色に緑色の斑紋があり、分枝数は少ない。葉色は濃緑色で、小葉の大きさは小さい。花色は白色で、花の数、花の大きさは中、花粉量は中程度で、自然結果は稀である。
2. 塊茎は倒卵形で、目は浅く、皮色は紫色で、肉色は

来歴 本品種は肉色が紫でジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、チップ適性にも優れた生食用品種の育成を目標として、1991年農林水産省北海道農業試験場において、「島系571号」を母、「島系561号」を父として、交配した組合せから選抜したもので、1995年より「島系578号」、2000年からは「北海88号」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

紫色に白色の斑紋がある。

3. 初期生育及び早期肥大性は中、枯凋期は「男爵薯」より遅い中晩生で、塊茎の休眠期間は長い。
4. 上いも重及び中以上いも重は「男爵薯」より多い中、上いも数は「男爵薯」より少ない少で、上いも平均一個重は「男爵薯」より重い大である。でん粉価は「男爵薯」より高い中である。

5. 調理後の肉色は紫で肉質はやや粘質，煮崩れ程度は少なく，食味は中である。チップ・フライの褐変程度は「男爵薯」並の中である。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し，疫病圃場抵抗性は中，Yモザイク病抵抗性は弱，疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はやや強，そうか病抵抗性は弱，粉状そうか病抵抗性はやや強である。褐色心腐及び中心空洞の発生はなく，二次生長は「男爵薯」より多い少発生である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は，紫皮のため緑化等の見分けが難しいので，十分な培土と培土を崩さない様な管理作業を行い，緑化させないように注意する。休眠期間が比較的長く，頂芽優勢が強いため，頂芽の損傷により，萌芽の不揃いを生じやすい。浴光育芽時には芽を伸ばしすぎないようにし，種いもの切断には注意する。生育後半に葉が巻く症状が出ることもあるが，生理的なものである。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 価 (%)	同左比 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	中以上 いも 収 量 (kg)	同左比 (%)			
北 農 研 センター	キタムラサキ 男 爵 薯	5.28	9.29	77	8.5	128	4,799	125	4,549	139	17.3	108	1999～2003
		5.25	9. 6	37	10.1	89	3,846	100	3,282	100	16.0	100	
中央農試	キタムラサキ 男 爵 薯	5.28	9.19	83	13.9	89	5,470	126	4,632	133	16.7	115	2000～2003
		5.25	8.19	38	12.9	78	4,358	100	3,481	100	14.5	100	
上川農試	キタムラサキ 男 爵 薯	5.24	9.18	75	14.2	83	5,174	112	4,233	115	15.9	117	2000～2002
		5.22	8.20	40	13.3	79	4,607	100	3,689	100	13.6	100	
十勝農試	キタムラサキ 男 爵 薯	5.29	9.23	101	9.6	118	4,809	124	4,501	139	15.8	109	2000～2002
		5.27	8.29	39	11.6	75	3,883	100	3,237	100	14.5	100	
北見農試	キタムラサキ 男 爵 薯	5.29	(10.5)	82	9.4	130	5,518	141	5,200	158	17.8	109	2000～2002
		5.27	9. 3	32	10.1	84	3,905	100	3,285	100	16.3	100	

注) 試験成績は標準施肥区，枯凋期欄内()：未枯凋を除く平均。

参照 1) 北海道農政部編，平成16年普及奨励ならびに指導参考事項，52-54(2004)。

II 特用作物

1. てんさい

- (1) ユーデン (系統名 HT 9) 1996年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第40号

セールスポイント

「スターヒル」より根重が多く、根中糖分はやや下回るが糖量が優る。また根腐れ症状が「スターヒル」よりやや少ない。

来歴 本品種は、スウェーデンのヒレスヘッグ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS-303-E」を種子親に、四倍体多胚系統「4x/7」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1991年に北海道糖業株式会社が輸入し、1992年から「HT 9」の系統名で各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長は中、葉数は中である。根形

はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。

- 根重は「スターヒル」より多く、根中糖分は「スターヒル」よりやや低く、糖量は「スターヒル」より多い。
- 有害性非糖分は「スターヒル」に比べ、アミノ態窒素は低く、カリウムはやや高く、ナトリウムは同程度で、不純物価は「スターヒル」並である。
- 抽苔耐性は「スターヒル」と同じ強である。
- 耐病性は、褐斑病抵抗性は「スターヒル」と同じ弱である。根腐れ症状の発生は「スターヒル」に比べてやや少ない。
- 耐湿性は「スターヒル」、「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性は弱なので、適期防除に留意する。また、排水不良な圃場では栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ユ ー デ ン	6.44	17.80	1,143	106	100	106	105	1992~1995
	モ ノ ホ マ レ	6.09	17.77	1,079	100	100	100	100	
	ス タ ー ヒ ル	5.96	18.08	1,076	98	102	100	104	
北 見 農 試	ユ ー デ ン	6.61	18.18	1,199	105	100	105	110	1992~1995
	モ ノ ホ マ レ	6.29	18.15	1,140	100	100	100	100	
	ス タ ー ヒ ル	6.25	18.38	1,147	99	101	101	108	
中 央 農 試	ユ ー デ ン	8.17	16.73	1,365	104	100	104	99	1992~1995
	モ ノ ホ マ レ	7.87	16.65	1,308	100	100	100	100	
	ス タ ー ヒ ル	7.59	17.00	1,289	96	102	99	94	
上 川 農 試	ユ ー デ ン	6.82	17.80	1,209	102	101	103	102	1992~1995
	モ ノ ホ マ レ	6.69	17.67	1,178	100	100	100	100	
	ス タ ー ヒ ル	6.30	18.06	1,137	94	102	97	102	

参照 1) 北海道農務部編, 平成 8 年普及奨励ならびに指導参考事項, 16-18 (1996).

- (2) リーランド (系統名 H123) 1997年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第41号

セールスポイント

「メロディー」より根重が多く、根中糖分はやや下回るが糖量が優る。

来歴 本品種は、オランダのバンデルハーベ種子会社が

二倍体雄性不稔系統「MOMS30, 13.4」を種子親に、四倍体多胚系統「T 5 /56」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1992年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、1993年から「H123」の系統名で各種の試験を行い、1997年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長はやや短、葉数は中である。

- 根形は円錐形，露肩はやや少で分岐根は少である。
2. 根重は「メロディー」より多く，根中糖分は「メロディー」やや低く，糖量は「メロディー」より多い。
 3. 有害性非糖分は「メロディー」に比べ，アミノ態窒素はやや高く，カリウムは同程度，ナトリウムはやや高く，不純物価は「メロディー」やや高い。
 4. 抽苔耐性は「モノホマレ」と同じ強である。
 5. 耐病性は，褐斑病抵抗性は「スターヒル」と同じ弱

である。

6. 耐湿性は「モノホマレ」よりやや強く，「モノエースS」と同じ中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は，褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。また，根腐れの発生することがあるので排水不良な圃場では栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	リ ー ラ ン ド	6.56	17.86	1,165	109	100	109	101	1993～1996
	モ ノ ホ マ レ	6.00	17.77	1,064	100	100	100	100	
	メ ロ デ ィ ー	5.81	18.43	1,067	97	104	100	100	
北 見 農 試	リ ー ラ ン ド	6.54	17.92	1,170	107	100	107	108	1993～1996
	モ ノ ホ マ レ	6.09	17.97	1,093	100	100	100	100	
	メ ロ デ ィ ー	5.59	18.50	1,106	98	103	101	98	
中 央 農 試	リ ー ラ ン ド	8.18	17.05	1,389	103	102	105	94	1993～1996
	モ ノ ホ マ レ	7.92	16.73	1,322	100	100	100	100	
	メ ロ デ ィ ー	7.65	17.33	1,318	97	104	100	93	
上 川 農 試	リ ー ラ ン ド	7.60	17.58	1,331	107	102	109	99	1993～1996
	モ ノ ホ マ レ	7.09	17.31	1,224	100	100	100	100	
	メ ロ デ ィ ー	6.74	18.08	1,215	95	104	99	94	

- 参照 1) 北海道農務部編，平成9年普及奨励ならびに指導参考事項，4-6 (1997).
2) 吉村康弘 等，北海道立農試集報. 73,69-73 (1997).

- (3) フルーデン (系統名 HT12) 1998年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第42号

セールスポイント

「スターヒル」より根重が多く，根中糖分は同程度で糖量がやや優る。また耐湿性が「中」で「スターヒル」より強く，根腐症状の発生が少ない。

来歴 本品種は，スウェーデンのノバルティス種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS-350-O」を種子親に，二倍体多胚系統「2X/43」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。1993年に北海道糖業株式会社が輸入し，1994年から「HT12」の系統名で各種の試験を行い，1998年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや直立，葉長は中，葉数はやや多である。根形はやや短円錐形，露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「スターヒル」より多く，根中糖分は「スターヒル」並で，糖量は「スターヒル」よりやや多い。
3. 有害性非糖分は「スターヒル」に比べ，アミノ態窒素，カリウムは同程度，ナトリウムは高く，不純物価は「スターヒル」並である。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」と同じ強である。
5. 耐病性は，褐斑病抵抗性は「スターヒル」と同じ弱である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」，「スターヒル」より強く，「モノエースS」と同じ中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は，褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	フルーデン	6.41	17.82	1,137	103	102	104	105	1994~1997
	モノホマレ	6.25	17.49	1,092	100	100	100	100	
	スターヒル	6.08	17.90	1,087	97	102	100	107	
北 見 農 試	フルーデン	6.22	18.59	1,150	103	103	106	105	1994~1997
	モノホマレ	6.03	18.10	1,089	100	100	100	100	
	スターヒル	6.09	18.66	1,132	101	103	104	101	
中 央 農 試	フルーデン	7.38	17.13	1,255	96	103	99	101	1994~1997
	モノホマレ	7.66	16.65	1,272	100	100	100	100	
	スターヒル	7.15	17.14	1,222	93	103	96	94	
上 川 農 試	フルーデン	7.23	17.82	1,287	97	105	102	99	1994~1997
	モノホマレ	7.42	17.02	1,265	100	100	100	100	
	スターヒル	7.08	17.79	1,262	95	105	100	97	

参照 1) 北海道農務部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 12-14 (1998).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 75, 53-57 (1998).

(4) めぐみ (系統名 Kawe-J538) 1998年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第43号

セールスポイント

「モノエースS」より根重が多く, 根中糖分は下回る
が糖量が優る。

来歴 本品種は, ドイツのクラインワンツレーベン種子
会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 9 E0020」を種子
親に, 四倍体多胚系統「PS 0 X8017」を花粉親として
育成した三倍体単胚の一代雑種である。1994年に日本甜
菜製糖株式会社が輸入し, 1995年から「Kawe-J538」
の系統名で各種の試験を行い, 1998年に優良品種となっ
た。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長はやや短, 葉数は中である。

根形は円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。

2. 根重は「モノエースS」より多く, 根中糖分は「モノエースS」より低く, 糖量は「モノエースS」より多い。
3. 有害性非糖分は「モノエースS」に比べ, アミノ態窒素は同程度, カリウム, ナトリウムは高く, 不純物価は「モノエースS」より高い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」と同じ強である。
5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性は「モノエースS」と同じ弱である。
6. 耐湿性は「モノエースS」よりやや弱く, 「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は, 褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。また, 排水不良な圃場での栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	め め ん	6.30	18.11	1,141	102	101	103	103	1995~1997
	モノホマレ	6.16	17.90	1,104	100	100	100	100	
	モノエースS	5.91	18.66	1,106	96	104	100	89	
北 見 農 試	め め ん	6.13	18.47	1,131	107	101	108	103	1995~1997
	モノホマレ	5.73	18.36	1,051	100	100	100	100	
	モノエースS	5.43	19.26	1,045	95	105	99	87	
中 央 農 試	め め ん	7.48	17.26	1,289	101	102	103	101	1995~1997
	モノホマレ	7.37	16.92	1,246	100	100	100	100	
	モノエースS	6.95	18.17	1,262	94	107	101	84	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
上 川 農 試	め ぐ み	7.66	17.67	1,352	101	102	104	94	1995～1997
	モノホマレ	7.57	17.24	1,306	100	100	100	100	
	モノエースS	7.17	18.29	1,312	95	106	100	80	

参照 1) 北海道農務部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 15-17 (1998).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 75, 59-63 (1998).

(5) シュベルト (系統名 北海70号) 1998年
登録番号: (北海道) てんさい北海道交第44号
(農水省) てんさい農林交17号
(種苗法) 第10058号

セールスポイント

そう根病抵抗性が強く、健全畑での収量が既存抵抗性品種より優る。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン種子会社育成の単胚二倍体単交配の雄性不稔系統「KRMS-4」(MOMS-3901×MOOT-4027)を種子親に、農林水産省北海道農業試験場育成の多胚二倍体系統「NK-212BR」を花粉親として、両者の国際共同研究により育成した単胚二倍体三系交配一代雑種である。1994年に「R1002」、1995年から「北海70号」の系統名で各種の試験を行い、1998年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや直立、葉長は長、葉数は多である。根形は円錐形である。

2. 根重は「モノホマレ」よりやや少なく、根中糖分は「モノホマレ」並で、糖量は「モノホマレ」よりやや少ない。
3. 有害性非糖分は「モノホマレ」に比べ、アミノ態窒素は高く、カリウムは同程度、ナトリウムは低く、不純物価は「モノホマレ」よりやや高い。
4. 抽苔耐性は「モノヒカリ」より強く、「モノホマレ」と同じ強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性は「リゾール」と同じ強、褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや強い中、根腐病抵抗性は「モノホマレ」と同じ弱である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円のそう根病発病地帯に適する。栽培上の注意は、そう根病圃場抵抗性を有するが、前回作付けした圃場の発病程度を十分考慮して、汚染程度が高いと思われる圃場での栽培は避ける。また、根腐病抵抗性、耐湿性が弱いのでこれらの発生が懸念される地帯での栽培は避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 海 道 農 試	シュベルト	5.76	16.79	970	95	103	98	102	1995～1997
	モノホマレ	6.08	16.27	987	100	100	100	100	
	モノホワイト	5.43	17.07	927	89	105	94	91	
十 勝 農 試	シュベルト	5.91	18.20	1,077	98	101	99	104	1995～1997
	モノホマレ	6.05	18.06	1,091	100	100	100	100	
	モノホワイト	5.51	18.85	1,039	91	104	95	90	
北 見 農 試	シュベルト	5.81	18.58	1,077	100	100	100	114	1995～1997
	モノホマレ	5.83	18.50	1,077	100	100	100	100	
	モノホワイト	5.35	19.22	1,027	92	104	95	92	
中 央 農 試	シュベルト	6.63	16.91	1,120	92	101	93	110	1995～1997
	モノホマレ	7.21	16.78	1,210	100	100	100	100	
	モノホワイト	6.75	17.83	1,204	94	106	100	89	
上 川 農 試	シュベルト	7.34	17.27	1,266	95	101	96	103	1995～1997
	モノホマレ	7.75	17.04	1,320	100	100	100	100	
	モノホワイト	7.07	18.14	1,281	91	106	97	90	

参照 1) 北海道農務部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 9-11 (1998).

(6) カブトマル (系統名 北海73号) 1999年
 登録番号：(北海道) てんさい北海道交第45号
 (農水省) てんさい農林交19号
 (種苗法) 第10626号

セールスポイント

「モノホマレ」より根重が多く、根中糖分は同程度で糖量が優る。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン種子会社育成の単胚二倍体単交配の雄性不稔系統「KMS-5」(MOMS-2099×MOOT-1502)を種子親に、農林水産省北海道農業試験場育成の多胚二倍体系統「NK-210BR」を花粉親として、両者の国際共同研究により育成した単胚二倍体三系交配の一代雑種である。1995年に「J1011」、1996年から「北海73号」の系統名で各種の試験を行い、1999年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや直立、葉長はやや長、葉数は中である。

根形はやや短円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。

2. 根重は「モノホマレ」よりやや多く、根中糖分は「モノホマレ」並で、糖量は「モノホマレ」よりやや多い。
3. 有害性非糖分は「モノホマレ」に比べ、アミノ態窒素、カリウムは同程度、ナトリウムはやや高く、不純物価は「モノホマレ」並である。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」と同じ強である。
5. 耐病性は、根腐病抵抗性が「モノホマレ」よりやや弱い弱、褐斑病抵抗性及びそう根病抵抗性は「モノホマレ」並のやや弱である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、根腐病抵抗性は弱なので、適正な輪作を行うとともに適期防除に留意する。また、耐湿性はやや弱なので、湿害の懸念される圃場での栽培は避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北海道農試	カブトマル	6.84	16.94	1,157	109	101	111	99	1996~1998
	モノホマレ	6.28	16.73	1,045	100	100	100	100	
十勝農試	カブトマル	6.61	17.35	1,140	109	101	109	99	1996~1998
	モノホマレ	6.09	17.20	1,045	100	100	100	100	
北見農試	カブトマル	6.24	18.58	1,156	108	101	109	95	1996~1998
	モノホマレ	5.78	18.32	1,059	100	100	100	100	
中央農試	カブトマル	8.07	16.76	1,345	106	101	107	108	1996~1998
	モノホマレ	7.61	16.60	1,259	100	100	100	100	
上川農試	カブトマル	8.16	17.47	1,422	103	103	106	99	1996~1998
	モノホマレ	7.90	16.95	1,338	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農務部編, 平成11年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3 (1999).

(7) アーベント (系統名 H125) 1999年
 登録番号：(北海道) てんさい輸交第46号

セールスポイント

「ハミング」より根重が多く、根中糖分は同程度で糖量が優る。

来歴 本品種は、オランダのバンデルハーベ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MOMS14B8,13.4」を種子親に、四倍体多胚系統「T18/06」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1994年にホクレン農業

協同組合連合会が輸入し、1995年から「H125」の系統名で各種の試験を行い、1999年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長はやや短、葉数は中である。
 根形は円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。
2. 根重は「ハミング」より多く、根中糖分は「ハミング」並で、糖量は「ハミング」より多い。
3. 有害性非糖分は「ハミング」に比べ、アミノ態窒素、カリウム、ナトリウムともに同程度で、不純物価は「ハミング」並である。

4. 抽苔耐性は「モノホマレ」,「ハミング」と同じ強である。
5. 耐病性は,褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く,「ハミング」と同じ弱である。根腐病抵抗性は「モノホマレ」と同じやや弱である。
6. 耐湿性は「ハミング」と同じで,「モノホマレ」よ

りやや強い中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は,褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ア ー ベ ン ト	6.26	17.94	1,121	102	104	106	91	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	6.16	17.21	1,058	100	100	100	100	
	ハ ミ ン グ	6.15	17.89	1,097	100	104	104	94	
北 見 農 試	ア ー ベ ン ト	6.18	18.83	1,162	104	104	108	84	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	5.95	18.16	1,078	100	100	100	100	
	ハ ミ ン グ	5.86	18.87	1,104	98	104	102	88	
中 央 農 試	ア ー ベ ン ト	7.91	17.07	1,346	106	104	111	86	1997~1998
	モ ノ ホ マ レ	7.46	16.34	1,214	100	100	100	100	
	ハ ミ ン グ	7.76	17.39	1,345	104	106	111	82	
上 川 農 試	ア ー ベ ン ト	8.18	17.70	1,447	104	104	108	84	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	7.90	16.95	1,338	100	100	100	100	
	ハ ミ ン グ	7.48	17.83	1,331	95	105	100	82	

- 参照 1) 北海道農務部編,平成11年普及奨励ならびに指導参考事項,7-9(1999).
2) 梶山 努 等,北海道立農試集報.77,9-12(1999).

- (8) モリーノ(系統名 HT15)1999年
登録番号:(北海道)てんさい輸交第47号

セールスポイント

そう根病抵抗性が強で,「エマ」より強く,健全畑での根重,糖量が「エマ」より優る。

来歴 本品種は,スウェーデンのノバルティス種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS-367-0」を種子親に,二倍体多胚系統「2X/52」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。1995年に北海道糖業株式会社が輸入し,1996年から「HT15」の系統名で各種の試験を行い,1999年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや直立,葉長は中,葉数はやや多である。根形はやや短円錐形,露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「エマ」より多く,根中糖分は「エマ」より

低く,糖量は「エマ」より多い。

3. 有害性非糖分は「エマ」に比べ,アミノ態窒素は低く,カリウムは同程度,ナトリウムは高い,不純物価は「エマ」並である。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」と同じ強である。
5. 耐病性は,そう根病抵抗性は「エマ」よりやや強い強である。褐斑病抵抗性は「モノホマレ」,「エマ」より強いやや強,根腐病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱い弱である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円のそう根病発生地帯に適する。栽培上の注意は,そう根病抵抗性は強であるが,汚染程度が高いと思われる圃場での栽培は避ける。根腐病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。耐湿性はやや弱なので,湿害が懸念される圃場での栽培は避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	モ リ ー ノ	6.75	16.71	1,027	110	97	107	103	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	6.16	17.21	1,058	100	100	100	100	
	エ マ	6.34	17.74	1,104	(97)	(102)	(100)	(104)	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	モ リ ー ノ	6.12	17.47	1,067	103	96	99	106	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	5.95	18.16	1,078	100	100	100	100	
	エ マ	5.69	18.68	1,058	(93)	(102)	(95)	(102)	
中 央 農 試	モ リ ー ノ	7.23	16.54	1,192	95	100	95	101	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	7.61	16.34	1,259	100	100	100	100	
	エ マ	7.21	16.70	1,197	(97)	(102)	(99)	(105)	
上 川 農 試	モ リ ー ノ	8.40	16.74	1,405	106	99	105	101	1996~1998
	モ ノ ホ マ レ	7.90	16.95	1,338	100	100	100	100	
	エ マ	7.94	17.65	1,395	(98)	(104)	(102)	(99)	

注) 「エマ」は1997~1998年の2ヶ年平均で、対「モノホマレ」比は同年の比率。

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成11年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-6 (1999).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 77, 13-16 (1999).

(9) スコーネ (系統名 HT14) 2000年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第48号

セールスポイント

耐湿性の中で、「ユーデン」より黒根病、根腐病の発生がやや少ない。また、「ユーデン」より根重はやや少ないが糖量は同程度であり、不純物価がやや低く品質が良好である。

来歴 本品種は、スウェーデンのノバルティス種子会社が二倍体単胚雌性不稔系統「MS-382-E」を種子親に、四倍体多胚系統「4X/9」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1994年に北海道糖業株式会社が輸入し、1996年から「HT14」の系統名で各種の試験を行い、2000年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長は中、葉数は中である。根形

はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。

- 根重は「ユーデン」よりやや少なく、根中糖分、糖量は「ユーデン」並である。
- 有害性非糖分は「ユーデン」に比べ、アミノ態窒素は低く、カリウムは同程度、ナトリウムは低い。不純物価は「ユーデン」よりやや低い。
- 抽苔耐性は「モノホマレ」、「ユーデン」と同じ強である。
- 耐病性は、褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く、「ユーデン」並の弱、根腐病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱い弱、黒根病の発生は「モノホマレ」並からやや多いが、「ユーデン」より少ない。
- 耐湿性は「モノホマレ」よりやや強く中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。また、根腐病抵抗性が既存品種同様に弱なので適期防除に留意する。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ス コ ー ネ	6.48	17.18	1,112	109	101	110	98	1996~1999
	モ ノ ホ マ レ	5.96	16.95	1,010	100	100	100	100	
	ユ ー デ ン	6.44	17.01	1,094	108	100	108	107	
北 見 農 試	ス コ ー ネ	6.30	18.57	1,167	106	102	109	91	1996~1999
	モ ノ ホ マ レ	5.93	18.12	1,074	100	100	100	100	
	ユ ー デ ン	6.38	18.29	1,165	108	101	108	104	
中 央 農 試	ス コ ー ネ	7.53	16.77	1,264	104	103	107	94	1996~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.25	16.26	1,181	100	100	100	100	
	ユ ー デ ン	7.77	16.54	1,282	107	102	109	99	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
上 川 農 試	ス コ ー ネ	7.65	17.60	1,345	100	104	104	88	1996~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.62	16.91	1,288	100	100	100	100	
	ユ ー デ ン	8.00	17.26	1,379	105	102	107	96	

参照 1) 北海道農務部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12 (2000).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 79, 73-76 (2000).

(10) のぞみ (系統名 Kawe-J7123) 2000年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第49号

セールスポイント

「ストーク」より根重が多く, 根中糖分は下回るが糖量が優る。

来歴 本品種は, ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 2 A0019」を種子親に, 二倍体多胚系統「PS 1 R 7597」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。1996年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し, 1997年から「Kawe-J7123」の系統名で各種の試験を行い, 2000年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立, 葉長はやや短, 葉数はやや多である。
根形はやや短円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「ストーク」よりかなり多く, 根中糖分は「ストーク」より低く, 糖量は「ストーク」よりかな

り多い。

3. 有害性非糖分は「ストーク」に比べ, アミノ態窒素はやや低く, カリウム, ナトリウム, 不純物価は同程度である。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」, 「ストーク」と同じ強である。
5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く, 「ストーク」並の弱である。根腐病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱い弱である。黒根病の発生は「モノホマレ」並からやや多く, 「ストーク」並である。
6. 耐湿性は「ストーク」よりやや弱く, 「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は, 褐斑病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。また, 根腐病抵抗性は既存品種と同様弱なので適期防除に留意する。排水不良圃場での栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	の ぞ み	6.69	16.93	1,134	109	101	110	87	1997~1999
	モ ノ ホ マ レ	6.13	16.74	1,027	100	100	100	100	
	ス ト ー ク	5.81	17.71	1,029	95	106	100	92	
北 見 農 試	の ぞ み	6.42	18.81	1,207	106	103	110	81	1997~1999
	モ ノ ホ マ レ	6.03	18.24	1,098	100	100	100	100	
	ス ト ー ク	5.35	19.40	1,038	89	106	95	80	
中 央 農 試	の ぞ み	7.82	16.38	1,281	111	103	114	82	1997~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.03	15.97	1,125	100	100	100	100	
	ス ト ー ク	7.01	16.76	1,174	100	105	104	87	
上 川 農 試	の ぞ み	7.91	17.66	1,397	103	104	108	74	1997~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.65	16.93	1,294	100	100	100	100	
	ス ト ー ク	7.04	18.40	1,293	92	109	100	76	

参照 1) 北海道農務部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-15 (2000).
2) 有田敬俊 等, 北海道立農試集報. 79, 77-80 (2000).

(11) スタウト (系統名 H126) 2001年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第50号

セールスポイント

褐斑病抵抗性が強、根腐病抵抗性が中で、「アーベント」に比べ褐斑病、根腐症状の発生が少ない。

来歴 本品種は、オランダのバンデルハーベ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「10CR」を種子親に、四倍体多胚系統「T16/80」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1996年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、1997年から「H126」の系統名で各種の試験を行い、2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長はやや短、葉数は中である。
根形は円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。
2. 根重は「アーベント」よりやや多く、根中糖分は

- 「アーベント」よりやや低く、糖量は「アーベント」並である。
3. 有害性非糖分は「アーベント」に比べ、アミノ態窒素、カリウムは同程度、ナトリウムはやや高く、不純物価は「アーベント」並である。
 4. 抽苔耐性は「モノホマレ」、「アーベント」と同じ強である。
 5. 耐病性は、褐斑病抵抗性は「モノホマレ」、「アーベント」より強い強、根腐病抵抗性は「モノホマレ」、「アーベント」よりやや強い中である。
 6. 耐湿性は「モノホマレ」よりやや強く、「アーベント」と同じ中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性は強であるが、薬剤防除が必要な場合があるので本病の発生推移を観察し、防除の要否を判断する。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ス タ ウ ト	6.61	16.69	1,103	107	101	108	96	1997~2000
	モ ノ ホ マ レ	6.15	16.59	1,021	100	100	100	100	
	ア ー ベ ント	6.40	17.24	1,104	104	104	108	92	
北 見 農 試	ス タ ウ ト	6.54	17.54	1,140	107	99	105	93	1997~2000
	モ ノ ホ マ レ	6.11	17.74	1,082	100	100	100	100	
	ア ー ベ ント	6.45	18.13	1,164	106	102	108	87	
中 央 農 試	ス タ ウ ト	7.99	16.19	1,291	114	101	115	92	1997~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.03	15.97	1,125	100	100	100	100	
	ア ー ベ ント	7.81	16.77	1,306	111	105	116	86	
上 川 農 試	ス タ ウ ト	8.20	16.93	1,381	103	104	107	84	1997~2000
	モ ノ ホ マ レ	7.94	16.35	1,293	100	100	100	100	
	ア ー ベ ント	8.15	17.01	1,382	103	104	107	83	

参照 1) 北海道農務部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-15 (2001).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 81, 29-32 (2001).

(12) きたさやか (系統名 Kawe-J 8131) 2001年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第51号

セールスポイント

そう根病抵抗性が強で、健全畑での収量が「リゾール」より優る。また、褐斑病抵抗性がやや強、耐湿性が中で「リゾール」より優る。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 6 J2204」を種子親に、二倍体多胚系統「PS 5 R8801」を花粉親として

育成した二倍体単胚の一代雑種である。1997年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し、1998年から「Kawe-J8131」の系統名で各種の試験を行い、2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立、葉長はやや短、葉数は多である。根形は短円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。
2. 根重は「めぐみ」、「リゾール」よりかなり多く、根中糖分は「めぐみ」、「リゾール」より低く、糖量は「めぐみ」より多く、「リゾール」よりかなり多い。

3. 有害性非糖分は「めぐみ」, 「リゾール」に比べ, アミノ態窒素は「めぐみ」並で「リゾール」より低く, カリウムは低く, ナトリウムは「めぐみ」より低く, 「リゾール」より高く, 不純物価は「めぐみ」, 「リゾール」より低い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」, 「めぐみ」, 「リゾール」と同じ強である。
5. 耐病性は, そう根病抵抗性は「リゾール」と同じ強, 褐斑病抵抗性は「モノホマレ」, 「めぐみ」より強く「リゾール」よりやや強いやや強, 根腐病抵抗性は

- 「モノホマレ」, 「めぐみ」よりやや弱い弱である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」, 「めぐみ」よりやや強く, 「リゾール」より強い中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円のそう根病発生地帯に適する。栽培上の注意は, そう根病抵抗性は強であるが, 汚染程度が高い圃場での栽培は避ける。また, 根腐病抵抗性が弱なので適期防除に留意する。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	き た さ や か	6.91	16.11	1,114	114	99	113	87	1998~2000
	モ ノ ホ マ レ	6.08	16.25	988	100	100	100	100	
	リ ゾ ー ル	5.85	16.44	960	96	101	97	110	
	め ぐ み	6.26	16.46	1,030	103	101	104	105	
北 見 農 試	き た さ や か	7.18	16.69	1,194	116	97	112	82	1998~2000
	モ ノ ホ マ レ	6.20	17.21	1,066	100	100	100	100	
	リ ゾ ー ル	5.61	17.35	972	90	101	91	110	
	め ぐ み	6.33	17.22	1,085	102	100	102	107	
中 央 農 試	き た さ や か	8.62	15.45	1,332	119	100	119	83	1998~1999
	モ ノ ホ マ レ	7.23	15.47	1,123	100	100	100	100	
	リ ゾ ー ル	6.23	15.60	971	86	101	86	112	
	め ぐ み	8.05	15.51	1,251	111	100	111	101	
上 川 農 試	き た さ や か	9.03	15.90	1,429	110	99	109	79	1998~2000
	モ ノ ホ マ レ	8.18	16.02	1,307	100	100	100	100	
	リ ゾ ー ル	7.50	16.45	1,228	92	103	94	112	
	め ぐ み	8.29	16.61	1,370	101	104	105	95	

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 16-18 (2001).
2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 81, 33-36 (2001).

(13) えとぴりか (系統名 KWS9226) 2002年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第52号

セールスポイント

「めぐみ」より根重, 根中糖分が, 「のぞみ」より根中糖分が高く, 糖量が優る。また, 不純物価が低く品質が良好である。

来歴 本品種は, ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 5 A3983」を種子親に, 四倍体多胚系統「PS 6 X8028」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1998年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し, 1999年から「KWS9226」の系統名で各種の試験を行い, 2002年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長は中, 葉数は中である。根形はやや短円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「めぐみ」より多く, 「のぞみ」並で, 根中糖分は「めぐみ」, 「のぞみ」より高く, 糖量は「めぐみ」より多く, 「のぞみ」よりやや多い。
3. 有害性非糖分は「めぐみ」, 「のぞみ」に比べ, アミノ態窒素は同程度, カリウム, ナトリウムは「めぐみ」より低く, 「のぞみ」と同程度, 不純物価は「めぐみ」よりかなり低く, 「のぞみ」よりやや低い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」, 「めぐみ」, 「のぞみ」と同じ強である。
5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く, 「めぐみ」, 「のぞみ」と同じ弱, 根腐病抵抗性は「モノホマレ」, 「めぐみ」よりやや弱く, 「のぞみ」

と同じ弱である。

6. 耐湿性は「モノホマレ」, 「めぐみ」, 「のぞみ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性が弱なので適切な防除に努める。また、根腐病抵抗性が弱なので適期防除に留意する。排水不良な圃場での栽培は避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	え と び り か	6.18	17.28	1,070	104	103	107	77	1999~2001
	モ ノ ホ マ レ	5.95	16.74	997	100	100	100	100	
	め ぐ み	6.00	16.97	1,019	101	101	102	102	
	の ぞ み	6.41	16.81	1,079	108	100	108	83	
北 見 農 試	え と び り か	6.94	17.70	1,227	112	103	115	82	1999~2001
	モ ノ ホ マ レ	6.21	17.14	1,063	100	100	100	100	
	め ぐ み	6.41	17.15	1,096	103	100	103	107	
	の ぞ み	6.63	17.06	1,127	107	100	106	86	
中 央 農 試	え と び り か	7.64	16.20	1,235	107	108	115	77	1999, 2001
	モ ノ ホ マ レ	7.11	15.05	1,071	100	100	100	100	
	め ぐ み	7.81	15.09	1,177	110	100	110	101	
	の ぞ み	7.84	15.40	1,208	110	102	113	84	
上 川 農 試	え と び り か	7.81	17.22	1,336	102	106	108	78	1999~2001
	モ ノ ホ マ レ	7.63	16.27	1,233	100	100	100	100	
	め ぐ み	7.69	16.77	1,278	101	103	104	96	
	の ぞ み	7.64	16.75	1,264	100	103	103	80	

参照 1) 北海道農務部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 7-9 (2002).

2) 梶山 努 等, 北海道立農試集報. 83, 15-18 (2002).

(14) ユキヒノデ (系統名 北海83号) 2003年

登録番号: (北海道) てんさい北海道交第53号

(農水省) てんさい農林交21号

(種苗法) 第 号

セールスポイント

そう根病抵抗性と褐斑病抵抗性がともに強で、黒根病の発生は少ない。

来歴 本品種は、オランダのアドバンタ社育成の単胚二倍体雄性不稔系統「MOMS149」を種子親に、北海道農業研究センター育成の多胚二倍体系統「NK-212BR」を花粉親として、両者の国際共同研究により育成した単胚二倍体の一代雑種である。1999年に「K1228」、2000年から「北海83号」の系統名で各種の試験を行い、2003年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立、葉長は長、葉数はやや多である。根形はやや円錐形、露肩はやや少で分岐根はやや少である。

2. 根重は「カプトマル」より少なく「シュベルト」並、根中糖分は「カプトマル」並で、「シュベルト」より高く、糖量は「カプトマル」より少なく、「シュベルト」より多い。

3. 有害性非糖分は「カプトマル」, 「シュベルト」に比べ、アミノ態窒素は「カプトマル」と同程度で、「シュベルト」より低く、カリウムは同程度で、ナトリウムは「カプトマル」と同程度で、「シュベルト」より高い。不純物価は「カプトマル」, 「シュベルト」より低い。

4. 抽苔耐性は「カプトマル」, 「シュベルト」よりやや弱いやや強である。

5. 耐病性は、そう根病抵抗性は「シュベルト」と同じ強で、褐斑病抵抗性は「シュベルト」より強い強で、根腐病抵抗性は「カプトマル」, 「シュベルト」と同じ弱である。

6. 耐湿性は「カプトマル」, 「シュベルト」より強い中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円のそう根病発生地帯に適する。栽培上の注

意は、根腐病抵抗性は弱なので適期防除に留意する。また、抽苔耐性はやや強であるが、育苗中の低温で抽苔す

る懸念があるため、極端な早期播種は避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 農 研 セ ン タ ー	ユ キ ヒ ノ デ	6.77	17.83	1,205	98	102	99	92	2000~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.92	17.51	1,212	100	100	100	100	
	カ ブ ト マ ル	7.33	17.72	1,299	106	101	107	96	
	シ ュ ベ ル ト	6.70	17.43	1,168	97	100	96	99	
十 勝 農 試	ユ キ ヒ ノ デ	6.42	17.55	1,128	102	102	104	99	2000~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.30	17.20	1,085	100	100	100	100	
	カ ブ ト マ ル	7.01	17.14	1,201	111	100	111	104	
	シ ュ ベ ル ト	6.34	17.09	1,085	101	99	100	106	
北 見 農 試	ユ キ ヒ ノ デ	6.43	17.36	1,113	103	102	105	95	2000~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.27	17.00	1,064	100	100	100	100	
	カ ブ ト マ ル	6.85	16.78	1,147	109	99	108	110	
	シ ュ ベ ル ト	6.43	16.74	1,073	103	99	101	117	
中 央 農 試	ユ キ ヒ ノ デ	7.91	15.61	1,235	98	102	100	108	2001~2002
	モ ノ ホ マ レ	8.06	15.34	1,237	100	100	100	100	
	カ ブ ト マ ル	8.33	15.36	1,278	103	100	103	109	
	シ ュ ベ ル ト	7.84	15.00	1,178	97	98	95	113	
上 川 農 試	ユ キ ヒ ノ デ	7.80	17.04	1,315	103	102	106	101	2000~2002
	モ ノ ホ マ レ	7.54	16.62	1,240	100	100	100	100	
	カ ブ ト マ ル	7.65	16.64	1,248	101	100	101	102	
	シ ュ ベ ル ト	7.18	16.49	1,170	95	99	94	107	

参照 1) 北海道農務部編, 平成15年普及奨励ならびに指導参考事項, 16-18 (2003).

(15) アセンド (系統名 H129) 2004年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第54号

セールスポイント

「アーベント」より根重が多く、糖量が優る。

来歴 本品種は、オランダのアドバンタ社が二倍体単胚雄性不稔系統「MOMS14B8, 13, 4」を種子親に、四倍体多胚系統「T21/78」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。2000年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、2001年から「HT29」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長はやや短、葉数はやや多である。根形は円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。

2. 根重は「アーベント」よりやや多く、根中糖分は「アーベント」並で、糖量は「アーベント」より多い。
3. 有害性非糖分は「アーベント」に比べ、アミノ態窒素はやや高く、カリウム、ナトリウムは同程度で、不純物価は「アーベント」並である。
4. 抽苔耐性は「アーベント」と同じ強である。
5. 耐病性は、褐斑病抵抗性は「アーベント」と同じ弱、根腐病抵抗性は「アーベント」と同じやや弱、黒根病抵抗性は「モノホマレ」と同じ中である。
6. 耐湿性は「アーベント」よりやや弱く、「モノホマレ」と同じやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性が弱なので適切な防除に努める。また、そう根病に抵抗性を持たないので、発病圃場での栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ア セ ン ド	6.88	18.31	1,259	106	103	109	89	2001~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.47	17.85	1,154	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	6.48	18.43	1,194	100	103	104	93	
北 見 農 試	ア セ ン ド	6.75	18.01	1,215	109	101	110	99	2001~2003
	モ ノ ホ マ レ	6.21	17.76	1,101	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	6.36	18.26	1,162	102	103	105	92	
中 央 農 試	ア セ ン ド	8.54	16.17	1,382	102	104	106	89	2001~2003
	モ ノ ホ マ レ	8.36	15.55	1,301	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	8.44	16.03	1,353	101	103	104	99	
上 川 農 試	ア セ ン ド	7.91	18.41	1,456	108	103	111	88	2001~2003
	モ ノ ホ マ レ	7.33	17.87	1,311	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	7.57	18.27	1,382	103	102	105	91	

参照 1) 北海道農務部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-6 (2004).
2) 飯田修三 等, 北海道立農試集報. 87, 37-40 (2004).

(16) あまいぶき (系統名 KWS0213) 2004年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第55号

セールスポイント

「のぞみ」より根重はかなり少ないが, 根中糖分がかなり高く, 不純物価が低く品質が良好である。

来歴 本品種は, ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 5 A3938」を種子親に, 四倍体多胚系統「PS 6 X8067」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。1999年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し, 2000年から「KWS0213」の系統名で各種の試験を行い, 2004年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長はやや短, 葉数はやや多である。根形は円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「のぞみ」より少なく, 「モノホワイト」並で, 根中糖分は「のぞみ」, 「モノホワイト」より高く,

糖量は「のぞみ」より少なく, 「モノホワイト」より多い。

3. 有害性非糖分は「のぞみ」, 「モノホワイト」に比べ, アミノ態窒素は同程度, カリウムは「モノホワイト」よりやや低く「のぞみ」並, ナトリウムは「のぞみ」よりやや低く「モノホワイト」並である。不純物価は「のぞみ」よりやや低く, 「モノホワイト」より低い。
4. 抽苔耐性は「のぞみ」と同じ強である。
5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く, 「のぞみ」と同じ弱, 根腐病抵抗性は「のぞみ」よりやや強いく, 「モノホマレ」と同じやや弱, 黒根病抵抗性は「モノホマレ」と同じ中である。
6. 耐湿性は「モノホマレ」, 「のぞみ」よりやや強い中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は, 褐斑病抵抗性が弱なので適切な防除に努める。また, そう根病に抵抗性を持たないので発病圃場での栽培を避ける。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	あ ま い ぶ き	6.00	18.39	1,104	94	106	100	81	2000~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.38	17.29	1,104	100	100	100	100	
	の ぞ み	6.64	17.41	1,157	104	101	105	83	
	モ ノ ホ ワ イ ト	5.80	18.15	1,053	91	105	95	93	
北 見 農 試	あ ま い ぶ き	6.24	18.56	1,155	100	107	107	83	2000~2003
	モ ノ ホ マ レ	6.25	17.37	1,084	100	100	100	100	
	の ぞ み	6.73	17.32	1,164	108	100	107	90	
	モ ノ ホ ワ イ ト	5.60	18.11	1,011	90	104	93	95	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
中 央 農 試	あ ま い ぶ き	7.77	17.03	1,322	93	110	102	85	2001~2003
	モ ノ ホ マ レ	8.36	15.55	1,301	100	100	100	100	
	の ぞ み	8.62	15.97	1,376	103	103	106	91	
	モ ノ ホ ワ イ ト	7.12	16.55	1,179	85	106	91	97	
上 川 農 試	あ ま い ぶ き	7.29	18.30	1,324	95	107	101	84	2000~2003
	モ ノ ホ マ レ	7.70	17.06	1,305	100	100	100	100	
	の ぞ み	7.83	17.39	1,349	102	102	103	83	
	モ ノ ホ ワ イ ト	7.20	17.85	1,277	93	105	98	96	

参照 1) 北海道農務部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 7-9 (2004).
2) 飯田修三 等, 北海道立農試集報, 87, 33-36 (2004).

(17) フルーデンR (系統名 HT21) 2004年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第56号

セールスポイント

そう根病抵抗性が強く、健全畑での根中糖分が「モリーノ」より高い。また、「フルーデン」より不純物価がやや低く品質が良好であり、褐斑病抵抗性が「やや強」で優る。

来歴 本品種は、スウェーデンのシンジェンタ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS-388-0」を種子親に、二倍体多胚系統「2X/55」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2000年に北海道糖業株式会社が輸入し、2001年から「HT21」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立、葉長は中、葉数はやや多である。根形はやや短円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。
2. 根重は「モリーノ」より少なく「フルーデン」並、根中糖分は「フルーデン」並で「モリーノ」より高く、

糖量は「フルーデン」並で、「モリーノ」よりやや少ない。

3. 有害性非糖分は「フルーデン」、「モリーノ」に比べ、アミノ態窒素は同程度、カリウムは「フルーデン」よりやや高く、「モリーノ」と同程度、ナトリウムは低く、不純物価は「フルーデン」、「モリーノ」よりやや低い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」、「フルーデン」、「モリーノ」と同じ強である。
5. 耐病性は、褐斑病抵抗性は「モノホマレ」、「フルーデン」より強く、「モリーノ」と同じやや強、根腐病抵抗性は「モノホマレ」よりやや弱く、「フルーデン」、「モリーノ」と同じ弱、そう根病抵抗性は「モリーノ」と同じ強、黒根病抵抗性は「モノホマレ」と同じ中である。
6. 耐湿性は「フルーデン」と同じで、「モノホマレ」、「モリーノ」よりやや強い中である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。栽培上の注意は、根腐病抵抗性は弱なので適切な防除に努める。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	フ ル ー デ ン R	6.02	18.93	1,138	93	106	99	97	2001~2002
	モ ノ ホ マ レ	6.46	17.85	1,154	100	100	100	100	
	フ ル ー デ ン	6.01	19.11	1,148	93	107	99	102	
	モ リ ー ノ	6.60	17.90	1,181	102	100	102	105	
北 見 農 試	フ ル ー デ ン R	5.75	18.69	1,073	93	105	97	108	2001~2003
	モ ノ ホ マ レ	6.21	17.76	1,101	100	100	100	100	
	フ ル ー デ ン	5.88	18.96	1,115	95	107	101	110	
	モ リ ー ノ	6.21	18.28	1,131	100	103	103	104	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
中 央 農 試	フルーデン R	7.79	16.22	1,264	93	104	97	115	2001~2003
	モノホマレ	8.36	15.55	1,301	100	100	100	100	
	フルーデン	7.38	16.56	1,222	88	106	94	112	
	モリーノ	8.19	15.53	1,273	98	100	98	118	
上 川 農 試	フルーデン R	6.34	18.95	1,202	86	106	92	100	2001~2003
	モノホマレ	7.33	17.87	1,311	100	100	100	100	
	フルーデン	6.84	19.17	1,311	93	107	100	110	
	モリーノ	7.04	18.20	1,283	96	102	98	111	

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12 (2004).
2) 山田誠司 等, 北海道立農試集報, 87, 41-44 (2004).

Ⅲ 果 樹

1. りんご

- (1) **さんさ** (系統名 盛岡42号) 1996年
 登録番号：(北海道) りんご移第10号
 (農水省) りんご農林7号
 (種苗法) 第1565号

セールスポイント

食味が良く、黒星病に抵抗性がある。

来歴 本品種は、1969年に農林水産省果樹試験場盛岡支場が「あかね」の花粉をニュージーランドに送り、これを花粉親とし、ニュージーランド品種「ガラ」を種子親としてニュージーランドで交配が行われ、得られた交雑実生から選抜・育成された。1981年から「盛岡42号」の系統名で各種の試験を行い、1986年に「さんさ」として農林登録され、1988年種苗法に基づく品種登録がなされた。北海道では、1985年より各種の試験が実施され、1996年に優良品種となった。

特性の概要

- 樹姿はやや直立する。樹勢は弱く、樹体の大きさは「つがる」よりやや小さい。葉色は淡緑である。花芽の着生は比較的良好である。
- 発芽から開花に至るまでの生育相は、ほぼ「つがる」と同時期に経過する。収穫期は「つがる」より若干早い。

- 1樹あたり収量は「つがる」に比べて低い。
- 果実は円錐形で、果実の大きさは「つがる」と比べると小さい。着色は紅色ないし鮮紅色で、美しい色調を呈する。「つがる」に比べて糖度、酸度が高く、果肉がしまっている。食味は果汁が多く、甘さと酸味の調和がとれており、非常に良い。蜜は入ることがあるがわずかである。心かびは認められない。
- 貯蔵期間としては室温で2週間、冷蔵で1か月程度と考えられる。
- 黒星病に対して抵抗性があり、「つがる」に比べて明らかに黒星病の発生が少ない。
- 道内の主要品種との交配親和性は問題ないが、問題とする組み合わせとして「ジョナゴールド」×「さんさ」がある。

栽培適地と奨励態度

本道のりんご栽培地域に適する。樹体が大きくならないので、栽植密度は「つがる」と同程度かやや狭くする。枝の発生が少ないので、切り返し剪定を主体におこない枝の発生を促す。着色が先行するが、収穫期は糖度、食味などから総合的に判断し早採りを慎む。収穫前落果が少ないため、収穫が遅れることがあるが、収穫が遅れると、果肉の軟化が進み、内部褐変も発生するので、収穫が遅れないようにする。

試験場所	品種名	満開期 (月日)	収穫期 (月日)	積算 収量 (kg)	果実品質					黒星病 果率 (%)	試験年次
					果実重 (g)	着色 (0~10)	硬 度 (lb)	糖 度 (%)	酸 度 (g/100ml)		
中 央 農 試	さんさ	5.31	9.26	35.1	208	8.9	13.8	13.9	0.47	0.1	1986~1995
	つがる	5.30	10.2	70.8	241	8.5	13.1	13.4	0.34	36.5	
北海道 農 試	さんさ	5.28	9.27	68.3	207	—	14.7	13.8	0.49	—	1989~1995
	つがる	5.26	9.29	88.8	247	—	13.5	13.5	0.33	—	

- 注 1) 満開期、収穫期は1993~1995年の平均。
 2) 積算収量は1樹あたり収量で、中央農試は樹齢7年生を除く4~9年生、北農試は樹齢7~13年生。
 3) 果実品質は中央農試では1992~1995年の平均、北農試は1989~1995年の平均。
 4) 黒星病果率は殺菌剤散布制限下での過去9年の黒星病果率の平均。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 18-21 (1996).
 2) 村松裕司 等, 北海道立農試集報, 73, 23-28 (1997).

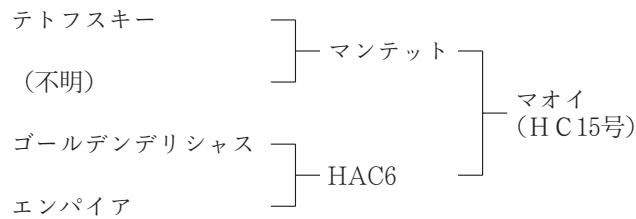
- (2) **マオイ** (系統名 りんごHC15号) 2000年
 登録番号：(北海道) りんご北海道第11号
 (種苗法) 第12305号

セールスポイント

果実が大きく、日持ち性に優れた、極早生品種である。

来歴 本品種は、早生で日持ち性のある品種の育成を目標とし、1982年に北海道立中央農業試験場において、「マンテット」を種子親、「HAC6」を花粉親として交配を行い、得られた交配実生から選抜・育成された。

1992年より「HC15号」の系統名で各種の試験を行い、2000年に優良品種となった。なお、本品種の系統図は以下のとおりである。



特性の概要

1. 樹姿はやや直立し、樹勢は「きたかみ」よりやや強い。葉は長形で「きたかみ」より長い。花は淡桃色で、大きさは「きたかみ」よりやや大きい。
2. 発芽期～落花期まで「きたかみ」とほぼ同時期である。収穫期は9月上旬で、極早生の「きざし」より5日程度遅く、早生の「きたかみ」より2週間程度早い。なお、熟期は、同一樹内でもばらつきがみられる。
3. 花芽は「きたかみ」と同等に着生しやすく、腋花芽の着生はやや多い。結実樹齢に達するのは4年生で、生産性は「きたかみ」と同程度に高い。早期落果及び収穫適期での後期落果はほとんどない。
4. 果実は「きたかみ」より大きく、果形は円である。収穫期の果皮の色は、地色が緑で、陽向面がわずかに着色する。果皮面は滑らかで、脂質は少なく、さびはこうあ部（果柄基部）にわずかに発生する。心かび、裂果はほとんど発生しない。果肉の硬さときめは「きたかみ」と同程度であるが、肉質は「きたかみ」、「き

- ざし」より優れる。食味はやや酸味が多いが香りがあり、さわやかである。
5. 果実の地色が「ふじ」のカラーチャートで2.0～2.5の時、収穫適期である。適期収穫された果実は、室温下でも軟化しにくく、収穫直後から6～7日間が適期である。
6. 本道で栽培される主要な品種とは交配親和性がある。黒星病抵抗性は有していないが、一般防除下で特に問題となる病害虫は認められない。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。樹勢がやや強く、新梢が遅伸びするような条件では凍害が発生する場合があるので、樹勢が強くなり過ぎないように注意する。同一樹内でも果実の熟期がばらつくので、果実の地色が「ふじ」のカラーチャートで2.0～2.5を目安にすぐり収穫する。着色を待って収穫すると、果実が樹上で軟化し食味が低下してくるので採り遅れないように注意する。

試験場所	品種名	満開期 (月日)	収穫期 (月日)	積算収量 (kg)	果実品質						試験年次
					果実重 (g)	着色 (0～10)	硬度 (lb)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	蜜入り (0～4)	
中央農試	マオイ	5.28	9.7	40.5	258	4.1	14.5	12.3	0.82	0.1	1992～1999
	きたかみ	5.31	9.22	43.4	187	9.1	12.2	12.6	0.52	0.0	

注 1) 満開期、収穫期は1996～1999年の平均。
 2) 積算収量は1樹あたり収量。
 3) 果実品質は1996～1999年の平均。

参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 43-45 (2000).
 2) 吉田昌幸 等, 北海道立農試集報. 82, 41-48 (2002).

- (3) **ひめかみ** (系統名 盛岡37号) 2001年
 登録番号: (北海道) りんご移第12号
 (農水省) りんご農林5号
 (種苗法) 第931号

蜜入りが多く食味が良い。生食用だけでなく料理用にも適する。

来歴 本品種は、1968年に農林水産省果樹試験場盛岡支場において、「紅玉」を花粉親、「ふじ」を種子親として交配し、得られた交雑実生から育成された。1976年から

セールスポイント

「2910-15」, 1979年からは「盛岡37号」の系統名で各種の試験が行われ, 1984年に「ひめかみ」として農林登録され, 1985年種苗法に基づく品種登録がなされた。北海道では, 1984年より各種の試験が行われ, 2001年に優良品種となった。

特性の概要

1. 樹姿は中間からやや直立し, 樹勢は中からやや強で「つがる」よりやや強い。短果枝の着生は中で「つがる」「ノースキーン」より少ない。
2. 満開期は「つがる」に比べ1~3日, 「ノースキーン」に比べ3日遅い。収穫期は10月中旬の中生で, 「つがる」より15日前後遅く, 「ノースキーン」と同じかやや遅い。
3. 収量は「つがる」と同程度かやや多く, 隔年結果は認められない。耐寒性は特に問題ない。
4. 果実は長円から円錐形で, 果実重は「つがる」と同程度である。果皮色は濃赤色で縞が入り全面に着色する。果肉の硬さは「つがる」「ノースキーン」より硬く, 果実全体に蜜が入る。肉質は「つがる」並である。甘酸適和で, 食べたときに独特の香気があり良食

- 味である。加熱しても果肉が崩れにくく, 鮮やかな黄色を呈し, 料理用としても利用できる。収穫期には果面に脂質が少量発生する。さびはこうあ部(果柄基部)に少量発生する。芯かび, 裂果はほとんど発生しない。
5. 適期に収穫した場合の貯蔵期間は, 「レッドゴールド」に比べ硬度の低下が少なく貯蔵性が優れている。冷蔵での貯蔵期間は1月半程度である。
 6. 黒星病および斑点落葉病に対して抵抗性は有していないが, 慣行防除下で特に問題となる病害虫は認められない。
 7. 本道の主要栽培品種とは交配親和性があるが, 花粉親の「紅玉」とは不親和の傾向がある。

栽培適地と奨励態度

全道のりんご栽培地域に適する。栽培上の注意事項としては, 果皮強度が「つがる」や「レッドゴールド」に比べ弱いことから, 果皮に傷が付かないよう果実の取り扱いに注意する。本品種の特性を発揮させるためには, 十分蜜入りしてから収穫することが重要で, 地色指数5前後, ヨード反応0.5前後, 果皮表面に脂質が少し感じられる等が目安となる。

試験場所	品種名	満開期 (月日)	収穫期 (月日)	積算 収量 (kg)	果実品質						試験年次
					果実重 (g)	着色 (0~10)	硬度 (lb)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	蜜入り (0~3)	
中央農試	ひめかみ	6.1	10.15	153.0	274	8.8	14.8	14.1	0.62	2.3	1994~2000
	つがる	5.30	10.1	158.1	277	8.7	12.5	13.2	0.30	0.2	
北海道農試	ひめかみ	5.29	10.12	68.5	228	多	15.6	14.0	0.65	多	1989~2000
	つがる	5.26	9.29	28.1	240	中	13.6	13.4	0.34	無	

注 1) 満開期, 収穫期は1994~1999年(中央農試), 1989~1994年(北農試)の平均。
 2) 積算収量は1樹あたり収量で, 中央農試は9~15年生, 北農試は樹齢5, 6年生を除く樹齢4~9年生。
 3) 果実品質は中央農試では1995~2000年の平均, 北農試は1989, 1992~1994, 2000年の平均。

参照 1) 北海道農政部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 22-24 (2001).
 2) 稲川 裕 等, 北海道立農試集報. 81, 37-40 (2001).

2. ぶどう

- (1) 藤稔(原名 藤稔) 2000年
 登録番号: (北海道) ぶどう準移第8号
 (種苗法) 第919号

て行った交配から選抜された四倍体品種である。1985年に種苗法に基づく品種登録がなされた。北海道では, 1996年から各種の試験を行い, 2000年優良品種となった。

セールスポイント

良食味で極大粒のハウス栽培向けの生食用品種である。

来歴 本品種は, 1978年に神奈川県藤沢市の青木一直氏が, 「井川682号」を種子親, 「ピオーネ」を花粉親とし

特性の概要

1. 樹体生育は「キャンベルアーリー」(以下「キャンベル」)よりも旺盛である。寒害による枯死芽率は問題ないレベルである。
2. 発芽期および展葉期は「キャンベル」と同時期で,

開花期は「キャンベル」よりやや遅い。

3. 5月上旬被覆での成熟期は、「キャンベル」より遅い。
4. 1樹当たり収量は、初結実から3年間の合計では「キャンベル」と同等である。樹冠占有面積当たりの収量は「紅伊豆」より多い。
5. 花振いの発生は「キャンベル」より多いが、「紅伊豆」より少ない。
6. 粒着はやや密で、果粒は短楕円形である。果皮は紫黒色で、果皮と果肉の分離は容易で食べやすい。果肉は崩壊性と塊状の中間で果肉の硬さは軟らかい。弱い

フォクシー香がある。裂果は僅かだが、収穫が遅れると発生することがある。果粒は極大で、糖度は高く酸度は低い。

7. 特に問題となる病虫害の発生は見られない。

栽培適地と奨励態度

生食用ぶどう栽培地域でのハウス栽培に適する。寒害を防ぐため、冬期は枝おろしを行う。樹勢が強いため、剪定は間引きを主体として極力弱くする。着果過多は、果粒肥大不足、熟期の遅れ、品質低下、耐寒性の低下など悪影響が大きいので注意する。

試験場所	品 種 名	発芽期 (月日)	満開期 (月日)	収穫期 (月日)	積算収量 (kg)	果 実 品 質				試験年次
						果房重 (g)	果粒重 (g)	糖 度 (%)	酸 度 (g/100ml)	
中央 農試	藤 稔	5.7	6.30	9.30	4.9	281	12.5	17.0	0.53	1996~2000
	キャンベルアーリー	5.7	6.27	9.18	5.2	143	5.0	16.6	0.81	
	紅 伊 豆	5.7	6.28	9.30	3.9	253	12.1	16.6	0.90	

注 1) 満開期、収穫期は1997~1999年の平均、果実品質は1999、2000年の平均。
2) 根域制限栽培。

参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 46-48 (2000).
2) 内田哲嗣 等, 北海道立農試集報. 79, 81-84 (2000).

3. おうとう台木

- (1) チシマ台1号 (系統名 DS1) 2002年

登録番号: (北海道) 台木類 (おうとう) 北海道交
第1号
(種苗法) 第12376号

セールスポイント

アオバ台に比べて耐寒性が強く、接ぎ木親和性が高い。コルト台に比べてわい化性が強く、樹体が大きくなるない。

来歴 本品種は、耐寒性が強く、わい化性に優れるおうとう台木の育成を目的として、1978年に北海道立道南農業試験場が道内各地から収集したチシマザクラの種子から養成した台木に、おうとう品種を接ぎ木し、それらの台木特性を検討し、選抜したもので、1992年より「DS1」の系統名で各種の試験を行い、2002年に優良品種となった。

特性の概要

1. 耐寒性は、アオバ台に比べて明らかに強いが、二重台「南陽」ではコルト台に比べてやや弱い。自根台は

二重台より耐寒性が強い。

2. わい化性はコルト台に比べて明らかに強く、アオバ台に比べて同等かやや弱い。自根台は二重台に比べてわい化度はやや弱い。
3. 幼木における花芽の着生はコルト台より多く、アオバ台と同程度である。自根台は二重台に比べて花芽の着生はやや少ないがコルト台より多い。
4. 収量は二重台では「北光」でアオバ台より多いが、「南陽」ではコルト台より少ない。自根台「南陽」は二重台「南陽」より明らかに収量が多い。
5. おうとう品種との接ぎ木活着率は高い。接ぎ木部位の接合状態はアオバより明らかに良い。
6. 吸枝(根ばえ)はコルト、アオバでは発生するが、発生しない。しかし、二重台にした場合、アオバ部分から吸枝が発生することがある。
7. 繁殖性はアオバ、コルトに比べて劣るが、アオバを補助根とした二重台木と緑枝ざしによる自根台木での繁殖が可能である。二重台木はアオバに芽接ぎして概ね2年後におうとう品種と接ぎ木可能となる。自根台木は挿し木後の生育が緩慢なため、おうとう品種と接ぎ木可能となるのに挿し木4年後となる。

8. 果実品質に対する台木の影響は、一定の傾向として認められない。
9. 満開日と収穫盛期に対する台木の影響は認められない。

地域で利用する。栽培上の注意としては、二重台では栽植距離はアオバ台と同程度かやや広くする。自根台では栽植距離はアオバ台よりやや広くし、コルト台より30%程度狭くする。二重台ではりんごの二重台（M26／マルバカイドウ）と異なり、栽植後「チシマ台1号」部分からの発根が認められないので深植えをしない。「南陽」は自根台を利用する。

栽培適地と奨励態度

全道のおうとう栽培地域で、アオバ台で衰弱樹や枯死樹が発生する地域、コルト台で樹体が大きくなりすぎる

試験 場所	台 木	台木特性（穂品種は「南陽」）								
		凍害枯死 樹 割 合	幹断面 積 比	花芽数 (4年生)	積算収 量(kg)	果実品質				試験年次
						果実重 (g)	着色度 (1-5)	糖 度 (%)	酸 度 (g/100ml)	
中央 農試	チシマ台1号(二重)	0/4	54	57	11.0	8.5	3.6	13.7	0.50	1993~2001
	コ ル ト	0/4	100	9	50.2	8.5	3.3	14.4	0.52	
	ア オ バ	4/4	—	18	—	—	—	—	—	
	チシマ台1号(自根)	0/2	69	27	10.1	9.7	3.3	15.2	0.57	1995~2001
	チシマ台1号(二重)	0/2	53	60	3.5	9.6	3.1	14.8	0.56	

- 注 1) 凍害枯死樹割合は累積枯死樹数／供試樹数。
 2) 幹断面積比はコルトを100とする。
 3) 積算収量は1樹あたり収量で、上段は10年生まで、下段は8年生までの合計。
 4) 果実品質は1998~2001年の平均。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12 (2002).
 2) 村松裕司 等, 北海道立農試集報. 86, 47-56 (2004).

IV 花 き

1. デルフィニウム（ラクスパー）

- (1) シーオーワン（系統名 CO-1）1995年
登録番号：（北海道）花き類北海道第1号
（種苗法）第7920号

セールスポイント

従来にない白地に紫色の刷毛目の入った複色品種で、晩生のため秋出荷作型での品質も良好である。

来歴 本品種は、1990年に北海道立中央農業試験場において、導入品種「ブルースパイヤー」の色変わり個体を自殖で採種し、その後、選抜・育成された。1994年から「CO-1」の系統名で各種試験を行い、1995年に優良品種となった。

特性概要

1. 花色は白地に紫色の刷毛目の入った複色で、従来に

ない花色である。がく片では外層と内層の刷毛目の色調は異なり、内層の方がやや赤味を帯びる。

- 刷毛目の入り方の濃い個体がわずかにあり、花色の濃淡は連続的である。
- ラクスパーの品種群中では晩生品種である。
- 花穂長は市販品種と比較してやや長く、着花密度（花の付き方）はやや低い。
- その他の切花形質は市販品種並である。
- 落花の難易、耐寒性、耐暑性、病害・虫害抵抗性は市販品種並である。
- 切花形質のばらつきは市販品種に比べ小さく、そのため出荷分留まりが高い。

栽培適地と奨励態度

全道一円の施設、雨よけ栽培で作付け可能である。栽培は慣行栽培に準ずる。

場所名	品 種 名	到 花 日 数 (日)	採花率 (%)	異色 割合 (%)	切り花長 (cm)	同 左 変動係数 (%)	切り花重 (g)	花穂長 (cm)	花蕾数 (個)	試験年次
中央農試	シーオーワン	102	85.5	0	113.5	14.1	91.8	43.0	22.1	1994 ~1995
	ブルースパイヤー	91	92.8	0	104.0	22.7	84.7	36.9	18.6	
	ホワイトスパイヤー	104	68.8	0	105.4	10.9	91.9	39.7	24.8	
道南農試	シーオーワン	97	76.5	0	92.4	16.8	62.0	39.0	22.5	
	ブルースパイヤー	89	76.0	0	79.7	22.3	51.1	33.5	16.2	
	ホワイトスパイヤー	98	57.5	0	85.7	18.8	63.9	32.2	24.7	

注 1) 4月上旬、5月下旬播種作型の平均値

参照 1) 北海道農政部編，平成8年普及奨励ならびに指導参考事項，22-24（1996）。

2. 花ゆり

- (1) きたきらり（系統名 Li-9号）2003年
登録番号：（北海道）花ゆり北海道第7号
（種苗法）第 号

セールスポイント

草姿の形状が良く、切花収量が極めて高く、栽培が容易な小輪性品種である。

来歴 本品種は、1994年に北海道立中央農業試験場と花・野菜技術センターにおいて、小輪品種の育成を目標とし、アジアティック系品種「モナ」を母、野生種チョウセン

ヒメユリ (*Lilium concolor ver. pulchellum*) を父として、花柱切断受粉法による交配と胚培養により得た雑種から育成された。2001年から「Li-9」の系統名で各種試験を行い、2003年に優良品種となった。

特性概要

- 冷凍貯蔵球を用いた5月定植栽培での到花日数は「モナ」より約3日早く、チョウセンヒメユリより約8日遅い。
- 花色は鮮橙色で花卉基部に微小な暗灰赤色の斑点を有する。花形はスカシユリ型で、花径はチョウセンヒ

メユリよりやや大きい、「モナ」より明らかに小さい小輪咲きである。チョウセンヒメユリのような不快臭はほとんどない。

- 花蕾数は、「モナ」やチョウセンヒメユリより少ない。花房の形は総状で第1花梗の向きは垂直より約40度、花向きは垂直より約10度で、箱詰めにも適した花房形状である。
- 草丈は「モナ」やチョウセンヒメユリより短い、茎長は「モナ」より長く花房と茎長のバランスが良い。葉形は披針形で弱い光沢を有する。葉枯病の発生は、チョウセンヒメユリより軽微であるが「モナ」よりやや多い。

- 多芽性で1個の球根から約4本の花茎が伸長するため、規格内（花蕾数3個以上）採花本数は、「モナ」やチョウセンヒメユリを大幅に上回る。
- 日持ち性は「モナ」と同程度である。
- 増殖性はチョウセンヒメユリより高い。二年目養成栽培後の肥大性に優れ、分球性が強く、切花栽培に用いる二年養成球は多芽球となる。

栽培適地と奨励態度

全道一円のゆり栽培（施設栽培）に適する。アジアティック系品種としては葉枯病がやや発生しやすく、発生動向に注意し適切な防除を行う。

場所名	品 種 名	到 花 日 数 (日)	草 丈 (cm)	花 径 (mm)	花蕾数 (個/本)	花梗長 (cm)	花茎数 (個/球)	採花本数		葉 枯 発 生	試 験 年 次
								規格内 (本/a)	規格外 (本/a)		
花・野菜 センター	き た き ら り	65	79.5	91	3.8	4.5	4.0	(14302)	(3118)	少	2001 ~2002
	モ ナ	68	85.5	163	5.9	8.2	1.0	(4221)	(0)	微	
	チョウセンヒメユリ	57	109.8	76	8.4	5.4	1.0	(2222)	(0)	中	

注 1) 供試作型は冷凍貯蔵球利用5月定植（供試球根は球周12-14cm）。採花本数は2002年のみの結果。
2) 葉枯発生：無-微-少-中-多（観察による評価）。

- 参照 1) 北海道農政部編，平成15年普及奨励ならびに指導参考事項，19-21（2003）。
2) 大宮 知等，北海道立農試集報，87，1-8（2004）。

- (2) Li-19（系統名 Li-19）2004年
登録番号：（北海道）花ゆり北海道第8号
（種苗法）第 号

セールスポイント

小球根での開花性や切花特性に優れ、花形と草姿はシンテッポウユリの形態で、斑点のない鮮やかな花色の小輪性品種である。

来歴 本品種は、1998年に北海道立中央農業試験場と花・野菜技術センターにおいて、小輪性テッポウユリタイプ切花用品種の育成を目標に、シンテッポウユリ「ホワイトランサー」を母、野生種チョウセンヒメユリを父として、花柱切断受粉法による交配と胚珠-胚培養により得た雑種から育成された。2002年から「Li-19」の系統名で各種試験を行い、2004年に優良品種となった。

特性概要

- 冷凍貯蔵球を用いた5月定植栽培での到花日数は、「ロイヤルトリニティー」や「きたきらり」と同等で、チョウセンヒメユリより長い。
- 花色は「きたきらり」よりやや淡い、透明感のある

鮮橙色で斑点はない。花形は「きたきらり」のスカシユリ型に対しテッポウユリ型とスカシユリ型の中間で、花径は「きたきらり」よりやや大きい「ロイヤルトリニティー」より明らかに小さい。花粉は赤橙色で香りはしない。

- 花蕾数は、多輪性のチョウセンヒメユリより少ないが「ロイヤルトリニティー」より明らかに多い。花房の形は総状で花梗はやや長い、花梗と花の向きは上向きのためコンパクトで箱詰めしやすい形状である。
- 草丈は「ロイヤルトリニティー」やチョウセンヒメユリと同等である。止葉下節間長がやや長く、葉は長楕円形で着生角度は垂直より約70度である。葉枯病の発生は、「ロイヤルトリニティー」より多く、「きたきらり」と同等である。
- 觀賞日数は、「ロイヤルトリニティー」よりやや短い、実用的な日持ち性は有している。
- 増殖性は「ロイヤルトリニティー」とほぼ同等である。球根肥大性にも優れる。さらに小球開花性が高いため、多くの一年球を切花栽培用として利用することが可能である。

栽培適地と奨励態度

全道一円のユリ栽培（施設栽培）に適する。多輪性が強いので大球の使用は避け、球周8～10cm（平均花蕾数5～7個）または10～12cm（同7～8個）の小球根を使

用する。また、球根生産では球周8～12cmの一年球を出荷し、8cm未満の極小球のみ2年養成を行う。葉枯病がやや発生しやすいので、発生動向に注意し、アジアティック系品種に準じた適切な防除を行う。

場所名	品 種 名	球 周 (cm)	到 花 日 数 (日)	草 丈 (cm)	茎 長 (cm)	止葉下 節間長 (cm)	花 径 (mm)	花 蕾 数 (個/本)	花 梗 長 (cm)	採 花 本 数 (本/a)	葉 枯 発 生	試 験 年 次
花・野菜 センター	L i - 1 9	10-12	64	104	75	9.5	98	7.9	8.6	4444	少	2002～ 2003
	ロイヤルトリニティー	12-14	64	104	84	6.7	165	5.0	5.3	4444	微	
	チョウセンヒメユリ	12-14	55	108	84	5.0	76	14.6	5.3	2222	中	

- 注 1) 供試作型は冷凍貯蔵球利用5月定植。
 2) 採花本数は花茎数と障害株等の発生率から算出。
 3) 葉枯発生：無－微－少－中－多（観察による評価）。

参照 1) 北海道農政部編，平成16年普及奨励ならびに指導参考事項，13-16（2004）。

V 野 菜

1. たまねぎ

- (1) トヨヒラ (系統名 月交18号) 1997年
 登録番号：(北海道) たまねぎ北海道交第7号
 (農水省) たまねぎ農林交6号
 (種苗法) 第8842号

セールスポイント

秋期から春期にわたり長期間出荷可能なサラダ用及び半調理(加熱時間の短い調理)用の辛みの少ない良食味品種である。

来歴 本品種は、秋播き品種に近い球品質を備え、かつ従来の春播き品種と同等の高い貯蔵性を有する品種の育成を目標に、農林水産省北海道農業試験場において、米国より導入した細胞質雄性不稔系統「2935A」を種子親とし、新潟県園芸試験場育成の「CS-12」を花粉親として育成された単交配一代雑種である。1993年から「月交18号」の系統名で各種試験を行い、1997年に優良品種となった。

特性概要

1. 草姿は「ツキヒカリ」に近似するが、草丈は「ツキヒカリ」より長い。葉折れは「ツキヒカリ」と同程度であるが、葉先枯れは「ツキヒカリ」よりやや少ない。葉色は「ツキヒカリ」よりやや薄い。
2. 苗床内並びに定植後の生育は旺盛で、「ツキヒカリ」及び「北もみじ86」よりも優る。肥大期は「ツキヒカリ」とほぼ同時期かやや早い。倒伏期は「ツキヒカリ」

とほぼ同時期であるが、枯葉期はやや早い。抽台率は「ツキヒカリ」、「北もみじ86」よりやや高い。

3. 球肥大が良好で総収量は「ツキヒカリ」を上回る。規格内収量は「ツキヒカリ」以上である。
4. 変形・裂皮球がやや多く、球形は「ツキヒカリ」より扁平である。球形の揃いは「ツキヒカリ」、「北もみじ86」よりやや劣る。球の硬さは「ツキヒカリ」、「北もみじ86」より軟らかい。皮色は「ツキヒカリ」、「北もみじ86」より濃い。りん葉は「ツキヒカリ」、「北もみじ86」より厚い。辛味の強さの指標となるピルビン酸生成量(EFPA)は「ツキヒカリ」より15%程度低い。
5. サラダでは「ツキヒカリ」より辛味が少なく、甘味が強く、肉質も優れる。短時間(15分間)加熱したオニオンスープでは、甘味が強く、食味も優れる。
6. 貯蔵中の腐敗は「ツキヒカリ」と同等に少ない。貯蔵中の萌芽が遅く、茎盤突出が少ないので、貯蔵末期(4月)における健全率は「ツキヒカリ」と同等以上に高い。
7. 乾腐病に対する抵抗性は、抵抗性強の「ツキヒカリ」よりやや弱い。収穫期前後の腐敗(乾腐病、ボトリチス)の発生率も「ツキヒカリ」とほぼ同等である。

栽培適地と奨励態度

北海道のたまねぎ栽培地帯における春播き露地移植栽培に適する。変形球及び裂皮球が発生しやすいので、根切り処理による枯葉の促進が必要である。

試験場名	品 種 名	倒伏期 (月日)	規格内1) 収 量 (kg/a)	同左標 準対比 (%)	規格1) 内率 (%)	平 均 一 球 重 (g)	貯蔵前 腐敗率 (%)	球 形 指 数	球の2) 硬 さ	貯蔵後 健全率 (%)	試 験 年 次
北海道農試	トヨヒラ	8.9	717	129	92	243	1.9	78	7.9	80	1993 ~1996
	ツキヒカリ	8.8	555	100	85	203	1.7	93	9.7	68	
	北もみじ86	8.9	700	128	87	250	1.7	90	9.3	82	
中央農試 花・野菜 センター	トヨヒラ	8.16	365	87	68	176	5.3	85	4.0	36	1993 ~1996
	ツキヒカリ	8.16	418	100	84	161	1.9	95	7.0	39	
	北もみじ86	8.16	472	113	85	177	2.8	93	7.0	63	
北見農試	トヨヒラ	8.17	428	89	62	242	8.1	85	4.6	21	1993 ~1996
	ツキヒカリ	8.17	486	100	85	211	9.5	97	6.0	22	
	北もみじ86	8.16	574	122	87	240	9.4	94	6.0	27	

注 1) 規格基準が試験場所で異なる(扁平の基準が、北海道農試では球径指数70以下、道立農試では80以下)。

注 2) 北海道農試では硬度計による測定値、道立農試では、触感による9段階評価。

- 参照** 1) 北海道農政部編, 平成9年普及奨励ならびに指導参考事項, 6-8(1997).
 2) 佐藤 裕等, 北海道農試研報. 168, 47-57(1999).

(2) ウルフ (系統名 T-383) 1998年
登録番号：(北海道) たまねぎ準移交第15号

セールスポイント

中生で球肥大性、収量性を備えた、年内出荷用の多収品種である。

来歴 本品種は、タキイ種苗株式会社において、良質、耐病性で肥大性に優れることを目標として育成された。「札幌黄(橋本系)×Early Yellow Globe(米国種)」の後代から選抜した系統を種子親とし、「札幌黄」の北見在来から選抜した系統を花粉親とする単交配一代雑種である。1995年より「T-383」の系統名で各種試験を行い、1998年に優良品種となった。

特性概要

1. 種子千粒重は「ツキサップ」並で、「北もみじ86」よりやや重い。発芽勢及び発芽率は「ツキサップ」並に高く、「北もみじ86」より優る。苗の葉数は両品種と同等かやや少ないが、草丈は同等か優る。
2. 草姿、葉色及び葉先枯れは中位である。
3. 肥大期は両品種と比較してやや早く、倒伏期は「北もみじ86」と同等からやや早く、「ツキサップ」より早い中生である。
4. 乾腐病に対しては、抵抗性強の「ツキサップ」、「北もみじ86」と比較すると抵抗性はやや弱い。灰色腐敗病などボトリチス属菌による病害に対しては、両品種

より発病率がやや低い。肌腐れ症状などの発生も比較的少ない。

5. 耐抽台性はやや低い。
6. 平均一球重は「ツキサップ」、「北もみじ86」とほぼ同等以上である。規格内率は「ツキサップ」、「北もみじ86」より高いが、変形球の発生が多いことがある。規格内収量は「ツキサップ」、「北もみじ86」より優る。
7. 球の締り、外皮色の濃さ及び皮張りの程度は「北もみじ86」よりやや劣るが、「ツキサップ」よりやや優る。
8. 発根及び茎盤の突出が早いいため、貯蔵後健全率は高貯蔵性の「北もみじ86」、「ツキサップ」より劣る。また萌芽が早い場合がある。

栽培適地と奨励態度

全道のたまねぎ栽培地帯に適する。球肥大性に優れることから、変形球や裂皮球発生を避けるため適期に根切りを実施する。また乾燥しやすい砂れき地や排水不良地を避けるなど圃場の選定に留意し、適切な肥培管理に努める。ボトリチス属菌による病害や肌腐れ症状等の発生は比較的少ないが、倒伏遅延の気象条件下では灰色腐敗病などの発生が増加することがあるので、適切な防除の実施に努める。成型ポット式の育苗方式では栽培管理マニュアルに従い、不良苗の発生を防止する。乾腐病に対する抵抗性はやや弱いので、同病多発圃場での栽培は避ける。

場所名	品種名	倒伏期 (月日)	規格内 収量 (kg/a)	同左標 準対比 (%)	規 格 内 率 (%)	平 均 一 球 重 (g)	乾 腐 病 率 (%)	その他 病害率 (%)	貯蔵後 健全率 (%)	試験年次
北海道農試	ウ ル フ	8. 8	668	100	92	215	0.2	0.1	46.5	1995～1997
	ツキサップ	8.12	669	100	89	232	0.5	2.9	89.2	
	北もみじ86	8.10	627	94	81	231	0.6	1.1	97.3	
中央農試 花・野菜 センター	ウ ル フ	8.13	566	130	91	201	0.4	1.1	11.6	1995～1996
	ツキサップ	8.19	434	100	91	160	0.6	5.2	76.2	
	北もみじ86	8.15	439	101	85	164	0.4	3.3	85.8	
北見農試	ウ ル フ	8.11	576	122	87	239	1.9	2.9	18.4	1995～1997
	ツキサップ	8.15	473	100	78	223	1.9	4.0	72.2	
	北もみじ86	8.13	578	122	90	230	2.1	5.5	68.4	

注 1) 貯蔵後健全率は1995,1996年産の値である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 27-29(1998).

(3) カムイ (系統名 T-400) 1998年
登録番号：(北海道) たまねぎ準移交第16号

セールスポイント

やや晩生で球肥大性、収量性及び乾腐病抵抗性を備え、球の外観品質にも優れる多収品種である。

来歴 本品種は、タキイ種苗株式会社において、良質、大球、高貯蔵性で乾腐病及び白斑葉枯病等の複合抵抗性に優れることを目標として育成された。「札幌黄×Northern系(米国種)」の後代から選抜した系統を種子親とし、「札幌黄」の北見在来から選抜した系統を花粉親とする単交配一代雑種である。1995年より「T-400」の系統名で各種試験を行い、1998年に優良品種となった。

特性概要

1. 種子千粒重は「ツキサップ」並で、「北もみじ86」よりやや重い。発芽勢及び発芽率は「ツキサップ」並に高く、「北もみじ86」より優る。苗の葉数は両品種と同等かやや少ないが、草丈はほぼ同等か優る。
2. 草姿はやや立性で、葉色及び葉先枯れは中位である。
3. 肥大期は両品種と比較して同等かやや早く、倒伏期も「北もみじ86」と同等からやや早く、「ツキサップ」

より早いやや晩生である。

4. 乾腐病に対しては抵抗性強である「ツキサップ」、「北もみじ86」とほぼ同等であるが、発病率のやや高い事例もみられる。灰色腐敗病などボトリチス属菌による病害や肌腐れ症状などは比較的少ない。
5. 抽台率がわずかに高くなることがある。
6. 平均一球重は両品種と同等である。規格内率は両品種より高い。規格内収量は両品種に優る。
7. 球の締り、外皮色の濃さ及び皮張り程度は「北もみじ86」並で、「ツキサップ」より優る。
8. 発根及び茎盤の突出がやや早いため、貯蔵後健全率は高貯蔵性の両品種よりやや劣る。

栽培適地と奨励態度

全道のたまねぎ栽培地帯に適する。球肥大性に優れることから、変形球や裂皮球発生を避けるため適期に根切りを実施する。また乾燥しやすい砂れき地や排水不良地を避けるなど圃場の選定に留意し、適切な肥培管理に努める。ボトリチス属菌による病害や肌腐れ症状等の発生は比較的少ないが、倒伏遅延の気象条件下では灰色腐敗病などの発生が増加することがあるので、適切な防除の実施に努める。

場所名	品種名	倒伏期 (月日)	規格内 収量 (kg/a)	同左標 準対比 (%)	規 格 内 率 (%)	平 均 一 球 重 (g)	乾 腐 病 率 (%)	その他 病害率 (%)	貯蔵後 健全率 (%)	試験年次
北海道農試	カムイ	8.12	678	101	89	227	0.4	0.5	77.5	1995~1997
	ツキサップ	8.12	669	100	89	232	0.5	2.9	89.2	
	北もみじ86	8.10	627	94	81	231	0.6	1.1	97.3	
中央農試 花・野菜 センター	カムイ	8.16	499	115	93	173	0.3	1.0	71.3	1995~1996
	ツキサップ	8.19	435	100	91	160	0.6	5.2	76.2	
	北もみじ86	8.15	439	101	85	164	0.4	3.3	85.8	
北見農試	カムイ	8.12	598	126	93	225	1.3	3.2	43.0	1995~1997
	ツキサップ	8.15	473	100	78	223	1.9	4.0	72.2	
	北もみじ86	8.13	578	122	90	230	2.1	5.5	68.4	

注 1) 貯蔵後健全率は1995,1996年産の値である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 30-32(1998).

(4) さらり (系統名 北見交27号) 2000年
登録番号：(北海道) たまねぎ北海道交第8号
(種苗法) 第10978号

セールスポイント

辛みが少なく生サラダ、ソテーの食味評価は一般の春播き品種に比較して高く、貯蔵性もあり、良食味たまね

ぎとして長期安定出荷が可能である。

来歴 本品種は、北海道立北見農業試験場とホクレン農業総合研究所との共同研究により、辛みが少なく良食味で、貯蔵性の高い品種の育成を目標に、ホクレン農総研がアドバンタ社から導入した細胞質雄性不稔系統「AOPFA」を種子親とし、北見農業試験場が「北見黄」

から育成した系統「81S」を花粉親として育成された単交配一代雑種である。1994年に「PRCX02」、1996年からは「北見交27号」の系統名で各種試験を行い、2000年に優良品種となった。

特性概要

1. 種子千粒重は「ツキサップ」よりやや重く、発芽勢はやや劣るが、発芽率は同等である。苗の葉数、草丈は「ツキサップ」、「トヨヒラ」とほぼ同等であるが葉鞘径は太い。
2. 草丈は「トヨヒラ」と同等で、「ツキサップ」より高い。草姿は両品種より開張する。葉色は「ツキサップ」とほぼ同様で中位である。葉折れはやや多く、葉先枯れは「ツキサップ」並で、やや多い。
3. 倒伏期は「ツキサップ」、「トヨヒラ」と同時期である。
4. 乾腐病に対しては、両品種より抵抗性が低い。灰色腐敗病などボトリチス属菌による病害と肌腐れ症状も多い。虫害はやや多い。

5. 耐抽台性は「ツキサップ」、「トヨヒラ」並である。
6. 平均一球重は「ツキサップ」よりやや優り、「トヨヒラ」並である。規格内率は「ツキサップ」並で、「トヨヒラ」よりやや優る。規格内収量は「ツキサップ」、「トヨヒラ」並からやや多い。
7. りん葉は厚く、球の硬さは「ツキサップ」、「トヨヒラ」並か、やや軟らかい。辛さの指標となるピルビン酸生成量は少なく、貯蔵中の増加も少ない。外皮色の濃さは「トヨヒラ」並である。
8. 貯蔵後健全率は「ツキサップ」、「トヨヒラ」より劣る。貯蔵後の皮むけ程度は「トヨヒラ」に優る。

栽培適地と奨励態度

全道のたまねぎ栽培地帯に適する。乾腐病多発圃場の栽培は避ける。ボトリチス属菌による病害、肌腐れ症状等による腐敗球についても、年次、場所により多発することがあるので、適切な防除の実施に留意する。地温30℃を超えると発芽率が劣るので、播種後の温度管理に留意する。

場所名	品 種 名	倒伏期 (月日)	規格内 収 量 (kg/a)	同左標 準対比 (%)	規格内率 内 率 (%)	平 均 一 球 重 (g)	乾 腐 病 率 (%)	その他 病害率 (%)	ピルビン酸 生 成 量 (μ mol/g)	貯蔵後 健全率 (%)	試験年次
北見農試	さ ら り	8.13	562	108	90	219	1.8	3.6	(6.30)	44.2	1996~1999
	ツキサップ	8.14	521	100	85	210	0.8	2.5	(9.22)	50.6	
	トヨヒラ	8.12	482	93	74	224	1.1	2.5	(7.54)	38.0	
北海道農試	さ ら り	8. 9	409	83	79	173	1.1	11.7		(44.6)	1997~1999
	ツキサップ	8.15	495	100	81	195	0.1	7.8		77.7	
	トヨヒラ	8.12	469	95	81	188	0.4	6.2		56.8	
花・野菜センター	さ ら り	8. 8	451	116	91	175	3.1	8.4		72.0	1996,1998, 1999
	ツキサップ	8.10	389	100	92	159	2.2	6.5		69.7	
	トヨヒラ	8. 8	409	105	81	167	1.5	3.3		74.6	

注 1) 貯蔵後健全率は北見農試は1996~1998年産、北海道農試は1997~1998年産（さらりは1998年のみ）、花・野菜技術センターは1996,1998年産の値である。
2) ピルビン酸生成量は、1999年産収穫時の値である。

参照 1) 北海道農政部編、平成12年普及奨励ならびに指導参考事項、37-39(2000)。

(5) 北こがね2号 (T-418) 2001年

登録番号：(北海道)たまねぎ準移交第17号

セールスポイント

中生の早で球肥大性が良く、規格内率の高い多収品種であり、皮色・皮張りにも優れている。また、既存中生の早の品種より貯蔵性が高い。

来歴 本品種は、タキイ種苗株式会社が、「札幌黄」×「早生 Early Yellow Globe 群」の後代から選抜した

系統を種子親とし、「札幌黄」の北見在来から選抜した系統を花粉親とする単交配一代雑種である。1998年より「T-418」の系統名で各種試験を行い、2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 発芽勢は「ツキサップ」、「ウルフ」より高く、発芽率は同等である。苗の草丈は「ウルフ」と同等である。葉数及び葉鞘径は「ウルフ」並である。
2. 初期生育とその後の草勢は「ウルフ」並に旺盛であ

る。葉色は「ウルフ」より濃く、草姿は「ウルフ」よりわずかに開張する。均一性は「ウルフ」とほぼ同等で、葉先枯れは少ない。生育盛期の草丈は、「ウルフ」並で、葉数、葉鞘径は「ウルフ」と同等である。

3. 倒伏期は「ウルフ」と同等で、「ツキサップ」よりやや早く、中生の早に属する。枯葉期は両品種よりやや早い。
4. 乾腐病の発生程度は「ツキサップ」より高く、「ウルフ」よりやや高い。灰色腐敗病などボトリチス属菌による病害は、「ツキサップ」より発生率がやや低い。
5. 不時抽台は「ツキサップ」並である。
6. 平均一球重は「ウルフ」に並で、「ツキサップ」より優る。規格内率は「ウルフ」と同等である。規格内

収量は「ウルフ」よりやや劣るが、「ツキサップ」と同等以上である。また、L大球（球径が8 cm）以上の比率は「ウルフ」より高い。

7. 貯蔵後健全率は高貯蔵性の「ツキサップ」より劣るが、「ウルフ」より優る。
8. 球は「ツキサップ」より軟らかいが、「ウルフ」よりやや硬い。外皮色は「ウルフ」より濃い。皮張り程度は「ウルフ」並である。

栽培適地と栽培態度

全道のたまねぎ栽培地帯に適する。乾腐病の発生程度はやや低い程度であるので、同病多発圃場での作付けは避ける。

場所名	品 種 名	倒伏期 (月日)	規格内 収 量 (kg/a)	同左比 (%)	規 格 内 率 (%)	平 均 一 球 重 (g)	乾 腐 病 率 (%)	その 他 病 害 率 (%)	貯蔵後 健全率 (%)	試験年次
北海道農試	北こがね2号	8.6	491	107	85	193	0.5	8.1	12.5	1998～2000
	ツキサップ	8.9	458	100	84	185	0.0	11.5	50.5	
	ウルフ	8.4	534	117	89	195	0.2	5.1	3.5	
花・野菜 センター	北こがね2号	8.1	548	129	97	189	1.9	2.5	61.5	1998～2000
	ツキサップ	8.3	426	100	94	165	2.2	3.5	83.2	
	ウルフ	7.31	572	134	95	200	2.7	1.8	19.3	
北見農試	北こがね2号	7.29	488	108	92	175	1.2	2.0	21.6	1999～2000
	ツキサップ	8.5	452	100	85	172	0.6	1.4	84.1	
	ウルフ	7.30	512	113	91	185	0.6	2.3	10.8	

注 1) 北農試、花野セの貯蔵後健全率は1998・1999年産の平均、他は1999年産。

参照 1) 北海道農政部編，平成13年普及奨励ならびに指導参考事項，30-31(2001)。

- (6) **イヨマンテ**（系統名 T-422）2001年
登録番号：(北海道)たまねぎ準移交第18号

セールスポイント

中生で、球肥大性が良く、規格内率の高い多収品種である。また、既存の中生品種と比較してもL大規格以上の収量性が優れる。

来歴 本品種は、タキイ種苗株式会社が、「Northern系（米国種）」×「Early Yellow Globe 群」の後代から選抜した系統を種子親とし、「札幌黄」の北見在来から選抜した系統を花粉親として育成した単交配一代雑種である。1998年より「T-422」の系統名で各種試験を行い、2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 発芽勢は「カムイ」より高く、「ツキサップ」と同

等で、発芽率は両品種並に高い。苗の草丈は「カムイ」より低く、葉数及び葉鞘径は両品種並である。

2. 初期生育とその後の草勢は両品種より優り、葉色は同等である。草姿は「カムイ」より開張する。葉先枯れは「カムイ」並で、「ツキサップ」より少ない。生育盛期の草丈、葉数及び葉鞘径は、「カムイ」並である。
3. 倒伏期は「カムイ」より1日、「ツキサップ」より2日早い中生に属する。枯葉期は両品種よりやや早い。
4. 乾腐病の発生程度は、「ツキサップ」より高く、「カムイ」よりやや高い。灰色腐敗病などボトリチス属菌による病害は、「ツキサップ」より発生率がやや低い。
5. 平均一球重及び規格内率は「カムイ」並で、「ツキサップ」より優る。規格内収量は「カムイ」並である。また、L大球（球径が8 cm）以上の比率は「カムイ」より優る。
6. 貯蔵後健全率は高貯蔵性の「ツキサップ」より劣る

が、「カムイ」よりやや優る。

7. 球の硬さは「カムイ」並で、外皮色は「ツキサップ」より濃い、「カムイ」よりやや劣る。球の揃いは「カムイ」並で、皮張り程度はやや劣る。

栽培適地と栽培態度

全道のたまねぎ栽培地帯に適する。乾腐病の発生程度はやや低い程度であるので、同病多発圃場での作付けは避ける。

場所名	品 種 名	倒伏期 (月日)	規格内 収 量 (kg/a)	同左比 (%)	規 格 内 率 (%)	平 均 一 球 重 (g)	乾腐 病 率 (%)	その他 病 害 率 (%)	貯蔵後 健 全 率 (%)	試験年次
北海道農試	イオマンテ	8. 5	531	116	88	194	0.5	7.0	20.4	1998～2000
	ツキサップ	8. 9	458	100	84	185	0.0	11.5	50.5	
	カ ム イ	8. 7	520	114	87	193	0.1	6.5	24.3	
花・野菜 センター	イオマンテ	8. 1	498	117	95	181	4.4	1.7	59.0	1998～2000
	ツキサップ	8. 3	426	100	94	165	2.2	3.5	83.2	
	カ ム イ	8. 3	545	128	97	187	2.2	1.8	51.9	
北見農試	イオマンテ	7.31	462	102	89	176	1.5	1.8	43.1	1999～2000
	ツキサップ	8. 5	452	100	85	172	0.6	1.4	84.1	
	カ ム イ	7.31	475	105	94	164	0.6	1.3	35.2	

注 1) 北農試、花野セの貯蔵後健全率は1998・1999年産の平均、北見農試は1999年産。

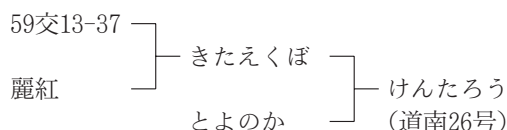
参照 1) 北海道農政部編，平成13年普及奨励ならびに指導参考事項，32-33(2001)。

2. いちご

(1) けんたろう (系統名 道南26号) 2000年
登録番号：(北海道) いちご北海道第3号
(種苗法) 第12061号

セールスポイント

果実品質(外観，食味，日持ち性)に優れ，萎凋病や萎黄病などの土壌病害に強い，無加温半促成栽培向け品種である。



特性概要

1. 草姿は中間型で，草勢は「きたえくぼ」より弱い「宝交早生」より強い。収穫始は「宝交早生」と同じか2日程度遅いが，「きたえくぼ」より4日程度早い。
2. 果房当たりの果数は「きたえくぼ」や「宝交早生」より少ない。上物率は「宝交早生」「きたえくぼ」より高く，上物収量は「宝交早生」並に多い。
3. 果実は円錐形で果実硬度は「きたえくぼ」より硬く，輸送性が優れる。果皮色は鮮赤色，果肉色は淡橙色であり，光沢が優れ，色むらが少ない。先白果の発生は認められない。糖度は「きたえくぼ」並であるが，酸度が低いため糖酸比は高い。食味は「宝交早生」や

来歴 本品種は，1993年に北海道立道南農業試験場において，早生で果実品質が「きたえくぼ」並で障害果の発生が少ない品種の育成を目標に，「きたえくぼ」を母，「とよのか」を父として交配し，育成されたもので，1997年より「道南26号」の系統名で各種試験を行い，2000年に優良品種となった。なお，本品種の系譜は次のとおりである。

「きたえくぼ」より優る。

4. うどんこ病には「宝交早生」より強く，灰色かび病には「宝交早生」と同等であるが「きたえくぼ」より強い。また，萎凋病には「宝交早生」よりやや強く，萎黄病には「宝交早生」より明らかに強い。

栽培適地と奨励態度

全道一円の無加温半促成栽培に適する。果房当たり果数が少ないため，果房数が少ないと減収する場合がある。そのため，適期定植に努めて秋の生育量を確保する必要がある。

試験場名	品 種 名	開花始 (月日)	収穫始 (月日)	上物収量 (kg/a)	上物率 (%)	上 物 1 果重 (g)	果 実 硬 度	糖 度 (Brix)	外 観 品 質	果 実 総 評 価	実 合 価	試験年次
道南農試	けんたろう	4.10	5.10	211	57	11.9	4.0	10.6	4.4	3.9	1996～1999	
	きたえくぼ	4.13	5.14	201	38	10.9	3.6	10.7	4.2	3.5		
	宝交早生	4. 8	5.10	132	32	10.7	2.0	10.5	2.8	3.1		
花・野菜 センター	けんたろう	4.14	5.21	195	—	15.0	—	10.2	4.0	4.3	1997～1999	
	きたえくぼ	4.17	5.25	207	—	14.8	—	10.4	4.3	4.3		
	宝交早生	4.11	5.19	149	—	13.0	—	9.6	3.0	3.0		

注 1) 上物率は全収穫量に対する上物果数の割合。

2) (果実硬度, 外観品質, 果実総合評価):(硬～軟, 良～不良):(5～1)。

参照 1) 北海道農政部編, 平成12年普及奨励ならびに指導参考事項, 40-42 (2000).

2) 今野 寛等, 北海道立農試集報. 81, 1-10(2001).

(2) エッチェス-138 (系統名 HS-138号) 2001年

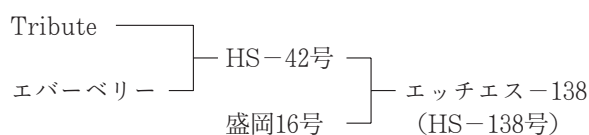
登録番号:(北海道)いちご北海道第4号

(種苗法)第12057号

セールスポイント

多収でかつ業務用適性(外観, 日持ち, 輸送性)に優れる四季成り性品種である。

来歴 本品種は, 夏秋どり作型における多収性と日持ち性・高輸送性を目標に, 1995年に北海三共株式会社が同社育成系統の「HS-42号」を母, 「盛岡16号」を父として交配した後代から選抜・育成された。1999年より「HS-138号」の系統名で各種試験を行い, 2001年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 草姿は開張性で, 草勢は「エバーベリー」よりもやや強い。分けつ性が高く, 芽数が多い。
2. 果房数が多く, また果房に着生する果数が多い。そのため, 収穫果数が多く収量性は高いが, 屑果は多く上物率がやや低い。
3. ランナー発生数は「エバーベリー」並であるが, ランナー増殖中にも株およびランナー苗で開花・結実するため, 子苗の生産性は一季成り性品種の「宝交早生」と比べて劣る。
4. 耐病性は灰色かび病, うどんこ病の罹病程度は「エ

バーベリー」並である。萎凋病抵抗性は「エバーベリー」よりやや強く, 「宝交早生」より強い。萎黄病抵抗性は「エバーベリー」より弱く, 「宝交早生」と同等である。

5. 果形は円錐形, 果皮色は鮮赤色で, 光沢は優れる。果肉色は淡橙色で, 中心空洞はほとんどない。日持ち性は「エバーベリー」よりも明らかに優る。また, 外観に優れ, 果実が硬いことから「エバーベリー」と比べて業務用適性が優れる。糖度(Brix値)は「エバーベリー」並である。酸味がやや強いいため, 食味評価は「エバーベリー」よりやや劣る。

試験場名	品 種 名	上物収量 (kg/a)	上物率 (%)	果実 硬度	糖度 (%)	酸味	外観	日持ち 性	試験年次
道南農試	エッチェス-138	99	30.5	5.0	8.5	2.0	4.0	5.0	1999～2000
	エバーベリー	82	38.0	3.0	8.7	3.0	3.0	2.5	

注 1) 上物率は全収穫量に対する上物果数の割合。

2) 酸味は酸度計による測定値と官能試験結果から評価した(酸味:(弱～強):(5～1))。

3) 果実硬度:(硬～軟):(5～1)。外観, 日持ち:(良～不良):(5～1)。

参照 1) 北海道農政部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 27-29 (2001).

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。土耕および高設栽培のいずれにも利用できる。栽培上の注意点は、上物率を高めるため、弱い芽・弱い花房及び果房を摘除する。夏期には着果過多による成り疲れが生ずることがあるが、その場合は花

房及び果房を摘除して株を休ませて、再び出てきた果房で収穫を再開する。本作型では長期にわたって栄養生長と生殖生長を続けることに加え、本品種が多収性であることを考慮し、着果期以降には液肥等による追肥を行う。

3. メロン

<実とり用>

- (1) めろりん (系統名 空知交5号) 1998年
登録番号：(北海道)メロン北海道第1号
(種苗法)第9656号

セールスポイント

良食味で着果性・肥大性が優れ、外観品質も良好な緑肉品種である。つる割病菌レース0、レース2やうどんこ病に対して抵抗性を示し栽培しやすい。

来歴 本品種は、良食味緑肉品種「キングメルター」の着果性、肥大性、果実外部品質および耐病性の改良を目標に、北海道立花・野菜技術センター育成の「G50」を種子親、「G51」を花粉親として育成された単交配一代雑種である。1995年に「95X-13」、1996年より「空知交5号」の系統名で各種試験を行い、1998年に優良品種となった。

特性概要

1. 苗の生育は「キングメルター」より旺盛である。草勢は「キングメルター」よりやや強い。側枝(むだづる)の発生は「キングメルター」より少なく、葉色は「キングメルター」よりやや濃い。
2. 着果性は「キングメルター」より優れる。果実成熟日数は「キングメルター」より2～3日長い。「キン

グメルター」と同様に成熟に伴う果皮の黄化と離層の形成が見られ、収穫時期の判定難易は「キングメルター」と同等のやや難である。

3. 果実肥大性は「キングメルター」より非常に優れ、果形およびネット形質も「キングメルター」より優れる。果皮色は灰緑色で、成熟に伴って黄化する。果肉が厚く、果肉色は淡緑色で「キングメルター」よりやや淡い。糖度が「キングメルター」よりやや低いが食味・肉質ともに「キングメルター」と同等に良好である。日持ち性は「キングメルター」と同等からやや優れる。
4. 収量性は収穫果率・良果率が高く、1果重も大きいため「キングメルター」より多収である。
5. うどんこ病、つる割病菌レース0、レース2に抵抗性を有する。

栽培適地と奨励態度

全道のメロン栽培地域に適し、適応作型は無加温半促成栽培、ハウス早熟栽培である。過肥大とヒルネットの発生を抑えるため、灌水は「キングメルター」より控える。また、着果節位は6-10節と低めにする。「キングメルター」で行われているネット形成を促すための「蒸しこみ」は必要としない。「キングメルター」と同様に日持ち日数の短い品種であるため、流通期間が短い産地直送や地場消費などに適する。

場所名	作型	品種名	成熟日数(日)	規格内収量(kg/a)	同左標準対比(%)	規格内率(%)	平均一果重(g)	ネット密度	糖度(Brix)	日持ち性	試験年次
中央農試, 花・野菜センター	ハウス・半促成・早熟	めろりん	52.3	300	261	76	2269	4.9	13.0	1.8	1995~1997
		キングメルター	49.3	115	100	50	1395	3.1	13.8	1.8	
上川農試	トンネル・ハウス早熟	めろりん	45.2	264	175	66	2000	3.5	12.8	3.3	1996~1997
		キングメルター	45.0	151	100	60	1316	2.3	15.4	1.5	
原子力環境センター	トンネル早熟	めろりん	47	147	89	65	1401	3.5	12.6	2.0	1996~1997
		キングメルター	44	165	100	97	1260	3.0	15.1	2.5	

注 1) ネット密度は1(粗) - 5(密), 日持ち性は1(不良) - 5(良)で評価。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 24-26(1998).
2) 中住晴彦等, 北海道立農試集報. 82, 49-56(2002).

(2) いちひめ (系統名 空知交11号) 2002年
登録番号：(北海道)メロン北海道第2号
(種苗法)第 号

セールスポイント

さわやかな香りを持ち、高温期においても糖度が高く、果実肥大性・日持ち性が優れ、うどんこ病に強い栽培しやすい赤肉品種である。

来歴 本品種は、主力品種「ルピアレッド」と同等の優れた栽培特性を有し、高温期でも安定した収量、品質が得られるさわやかな食味の赤肉品種育成を目標に、北海道立花・野菜技術センターと株式会社大学農園の共同研究により、「HM-G52」を種子親とし、「DHM-R1」を花粉親として育成された単交配一代雑種である。1999年に「99RX-8」、2000年より「空知交11号」の系統名で各種試験を行い、2002年に優良品種となった。

特性概要

1. 「ルピアレッド」に比べ節間が長く、葉がやや大きく、草勢はやや強いが、収穫期のむだ蔓の発生はやや少ない。
2. 両性花の着生および着果は「ルピアレッド」と同等からやや優れる。平均収穫日は「ルピアレッド」よりもやや遅い。
3. 「ルピアレッド」と同様に成熟に伴う果皮色の変化がなく、離層の形成が「ルピアレッド」よりも少ないため、収穫適期判定は「ルピアレッド」と比べ同等からやや難である。
4. 果実の肥大性は「ルピアレッド」よりやや優れる。

果径比は「ルピアレッド」とほぼ同等で、正球に近い。「ルピアレッド」に見られる果溝はほとんど見られず、果形の揃いは良好である。果皮色は灰緑～緑である。ネットの密度は「ルピアレッド」よりやや低く、太さはやや細い。結果枝は「ルピアレッド」に比べやや細い。

5. 果肉は「ルピアレッド」に比べ厚く、胎座部の空洞が小さい。果肉色は「ルピアレッド」より淡い橙色である。糖度 (Brix) は無加温半促成栽培では「ルピアレッド」よりやや高く、特に高温期に収穫となる遅い作期では、「ルピアレッド」に比べ糖度が高い。食味は赤肉特有のいわゆる「赤肉臭」が極めて少なく、さわやかである。「ルピアレッド」に比べ収穫後適食期に達するまでにやや日数を要する。このため、「ルピアレッド」より日持ち性が優れる。
6. 収量性は「ルピアレッド」と比べ収穫果数はほぼ同等であるが、果実肥大がやや優れ、良果率がやや高いことから多収である。
7. つる割病菌レース0、レース2に対して抵抗性を有するが、つる割病菌レース1,2yおよびえそ斑点病に対しては抵抗性を持たない。うどんこ病には強い抵抗性を有する。

栽培適地と奨励態度

全道のメロン栽培地域に適する。つる割病菌レース1,2yおよびえそ斑点病抵抗性を有しないため、これらの土壌病害が発生している圃場での栽培には抵抗性台木を利用するなどの対策を講じる必要がある。収穫後適食期に達するまでにやや時間を要するので、出荷・流通に当たっては留意する。

場所名	作型	品種名	成熟日数 (日)	規格内収量 (kg/a)	同左標準対比 (%)	規格内率 (%)	平均一果重 (g)	ネット密度	糖度 (Brix)	赤肉臭	試験年次
花・野菜センター	無加温半促成	いちひめ	53.0	361	174	91	2,137	4.0	13.0	1.1	2000～2001
		ルピアレッド	52.4	208	100	57	2,013	4.4	12.0	2.6	
原子力環境センター	ハウス抑制	いちひめ	48	225	257	53	2,045	2	12.1	—	2000～2001
		ルピアレッド	44	88	100	25	1,912	3	11.0	—	

注 1) ネット密度は、1 (粗) - 5 (密)、赤肉臭は、1 (弱) - 5 (強) で評価。

参照 1) 北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-14(2002).
2) 平井 剛 等, 北海道立農試集報. 84, 37-46(2003).

<台木>

(1) どうだい1号 (系統名 空知台1号) 1999年
登録番号：(北海道) 台木類北海道第1号
(種苗法) 第10755号

セールスポイント

日本初のつる割病菌レース1,2y抵抗性台木品種である。

来歴 本品種は、1995年に北海道立中央農業試験場において、メロンつる割病菌レース1,2yに抵抗性を有する台木品種の育成を目標として、農林水産省野菜・茶業試験場育成の「メロン中間母本農1号」とシロウリ「東京早生(丸葉)」を交雑し、その後代から選抜・育成された。1997年から「空知台1号」の系統名で各種試験を行い、1999年に優良品種となった。

特性概要

1. 胚軸径がやや細いため接ぎ木作業性がやや劣るが、接ぎ木接合面の癒合は正常であり接ぎ木親和性に問題はない。
2. つる割病菌レース1,2y未発生圃場における穂木の両性花着生率・着果率や着果期までの草勢は一般台木品種や自根栽培とほぼ同等であるが、着果期以降の草勢がやや劣る場合がある。

3. 果実外部・内部品質は一般台木品種や自根栽培に比べ未発生圃場ではほぼ同等であるが、発生圃場においてはやや優れる。
4. 収量性は一般台木品種や自根栽培に比べ未発生圃場ではやや劣るが、発生圃場ではやや優れる。
5. つる割病菌レース1,2yに対しては実用上問題ない程度の強い抵抗性を有する。また、レース0に対しては質的抵抗性を有するが、レース2に対する抵抗性はない。

栽培適地と奨励態度

全道のメロン栽培地域のうち、つる割病菌レース1,2yの発生が確認された地域に適する。汚染度が高い圃場では、菌密度を低下させる措置(土壌消毒等)と併せて用いる。低温期において穂木の生育がやや劣る場合があることから、適応作期は4月下旬以降定植の作期とする。つる割病菌レース2に対する抵抗性を有しないため、レース2が発生している地域での栽培は避ける。十分な胚軸径を確保するために、播種日は穂木の播種日より7~10日前とする。草勢の強い品種を穂木に用いる場合は、定植後、特に着果期以降の草勢を落とさないように注意する。

場所名	品 種 名		定 植 時 穂木茎長 (cm)	成 熟 日 数 (日)	平 均 一果重 (g)	外 観 品 質	メロンつる割病菌レース1,2y		試験年次
	台木	穂 木					発病度	発病個体率(%)	
花・野菜 センター	どうだい1号 (自根)	赤肉キング系	3.8	54.5	2471	2.9	5.7	18.2	1998
			4.4	53.2	2693	2.9	84.8	100	
	どうだい1号 (自根)	ルピアレッド	3.0	59.2	1811	2.8	99.0	100	
			3.0	61.0	1938	3.1			

注 1) 外観品質は、1(不良) - 5(良)。

2) メロンつる割病菌レース1,2yに対する発病度、発病個体率は幼苗検定結果。

参照 1) 北海道農政部編, 平成11年普及奨励ならびに指導参考事項, 20-22 (1999年)。

(2) どうだい2号 (系統名 空知台2号) 2001年
登録番号：(北海道) 台木類北海道交第2号
(種苗法) 第12287号

セールスポイント

つる割病菌レース1,2yにやや強で、全てのレースに抵抗性を持ち、接ぎ木作業性が良く、台木特性が優れた栽培しやすい台木品種である。

来歴 本品種は、北海道立花・野菜技術センターにおいて、メロンつる割病菌レース1,2y抵抗性台木品種「どうだい1号」の台木特性の改良を目標として、台木品種「バーネット・ヒル・フェボリット」を種子親とし、「どうだい1号」を花粉親として育成された単交一代雑種である。1999年から「空知台2号」の系統名で各種試験を行い、2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 胚軸径は「金剛1号」「どうだい1号」に比べて太く、接ぎ木作業性は優る。接ぎ木接合面は正常であり、接ぎ木親和性に問題はない。
2. 穂木の両性花着生率および着果率については、「金剛1号」「どうだい1号」や自根栽培とほぼ同等である。着果期以降の草勢についても、「どうだい1号」に比べ強く、「金剛1号」や自根栽培とほぼ同等である。
3. 果実外部・内部品質は、「金剛1号」「どうだい1号」および自根栽培に比べ、つる割病菌レース1,2y未発生圃場では同等からやや優り、発生圃場ではやや優る。
4. 収量性は未発生圃場、発生圃場いずれにおいても、「金剛1号」「どうだい1号」および自根栽培と同等から優る。

5. つる割病菌レース1,2yに対しては、やや強い抵抗性を有する。また、つる割病菌レース0およびレース2に対しては質的抵抗性を有する。

栽培適地と奨励態度

全道のメロン栽培地域で、つる割病菌レース1,2yの発生が確認された圃場および発生の恐れがある圃場に適する。本品種のつる割病菌レース1,2y抵抗性は「どうだい1号」よりやや劣り、激発圃場では発病を抑制できない場合があるので、導入にあたっては「メロンつる割病菌レース1,2y抵抗性台木品種「どうだい2号」導入指針」(2003年普及推進事項)に従い発病の安定した抑制に努める。過度の「蒸し込み」は生育異常を引き起こす場合があるため避ける。

場所名	品 種 名		定植時胚軸径		成 熟 日 数 (日)	平 均 一果重 (g)	ネ ッ ト 密 度	メロンつる割病菌レース1,2y		試 験 年 次
	台 木	穂 木	台 木 (mm)	穂 木 (mm)				発 病 度	発病個体 率 (%)	
花・野菜 センター	どうだい2号	赤肉キング系	(4.4)	(4.7)	45.9	2,093	2.9	57.1	95.4	1999~2000
	金剛1号		(3.9)	(5.5)	45.2	2,157	2.8	100	100	
	どうだい1号		(3.9)	(5.0)	45.7	2,021	2.9	6.7	23.5	
	(自根)		—	(4.9)	45.1	2,046	3.0			
	どうだい2号	ルピアレッド	(4.1)	(4.0)	53.6	2,072	3.9			
	金剛1号		(3.6)	(4.7)	53.6	2,055	3.7			
	どうだい1号		(3.6)	(4.3)	54.3	1,904	3.6			
	(自根)		—	(4.2)	53.2	2,102	3.9			

- 注 1) 定植時胚軸径は1998年のみ調査。
 2) ネット密度は、1(粗) - 5(密)。
 3) メロンつる割病菌レース1,2yに対する発病度、発病個体率は幼苗検定結果。

参照 1) 北海道農政部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 25-26 (2001).

- (3) どうだい3号(系統名 空知台交3号) 2002年
 登録番号:(北海道)台木類(メロン)北海道交
 第3号
 (種苗法)第 号

3」を花粉親として育成された単交配一代雑種である。2000年より「空知台交3号」の系統名で各種試験を行い、2002年に優良品種となった。

セールスポイント

日本初のえそ斑点病に完全な抵抗性を持つ台木品種である。また、つる割病菌レース0, レース2に対して完全な抵抗性を有し、台木特性が優れる栽培しやすい台木品種である。

来歴 本品種は、メロンえそ斑点病抵抗性を有し、台木特性に優れた品種の育成を目標に、北海道立花・野菜技術センターにおいて、「パーリタ」を種子親とし、「HM-

特性概要

1. 「金剛1号」「どうだい2号」に比べ、胚軸長がやや短い、胚軸の太さがやや太いため、接ぎ木作業性は同等である。いずれの穂木品種に対しても接ぎ木接合面は正常であり、接ぎ木親和性に問題はない。
2. 穂木の両性花着生率および着果率は、「金剛1号」「どうだい2号」および自根栽培と同等からやや優る。着果期以降の草勢は、「金剛1号」「どうだい2号」および自根栽培と同等からやや優る。
3. 果実の外観、内部品質はともに、えそ斑点病発生圃

場、未発生圃場いずれにおいても、未発生圃場における自根栽培と遜色ない。

4. 良果収量は、未発生圃場においても「金剛1号」「どうだい2号」および自根栽培と比較して同等からやや優る。
5. えそ斑点病に対して完全な抵抗性を有するが、本抵抗性は穂木に誘導されない。つる割病菌レース0、レース2に対して完全な抵抗性を有するが、つる割病菌レース1,2yに対しては抵抗性を有しない。

栽培適地と奨励態度

全道のメロン栽培地域で、えそ斑点病の発生が確認された圃場および発生の恐れがある圃場に適する。接ぎ木により全身の抵抗性は誘導されないため、管理作業を行う際には自根栽培などによる発病株からの接触伝染を生じないように注意する。つる割病菌レース1,2yの発生が認められた圃場および発生の恐れがある圃場での栽培は抵抗性を有しないため避ける。

場所名	品 種 名		収 穫 期 草 勢	成 日 熟 数 (日)	平 均 一 果 重 (g)	ネ ッ ト 密 度	糖 度 (Brix)	試 験 年 次
	台木	穂 木						
花・野菜 センター	どうだい3号	赤肉キング系	3.5	49.4	2,303	3.4	12.5	2000～2001
	金剛1号 (自根)		3.0	49.5	2,212	3.2	12.4	
			3.3	50.0	2,254	3.9	12.2	
	どうだい3号	ルピアレッド	3.3	53.0	1,982	4.2	11.9	
	金剛1号 (自根)		3.0	52.8	1,943	4.3	12.1	
			3.0	52.4	2,013	4.4	12.0	

注 1) ネット密度は、1 (粗) - 5 (密)。

参照 1) 北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 15-17 (2002).

VI 飼料作物

1. アカクローバ

(1) クラノ (系統名 KRANO) 1998年
登録番号：(北海道) アカクローバ準輸第9号

セールスポイント

2番草の草勢が穏やかで、再生時にチモシーの生育を抑圧せず、混播適性に優れた晩生品種である。

来歴 本品種は、デンマークのDLF TRIFOLIUM A/S社が「Bora」×「Monark」の後代から育成した2倍体品種である。ホクレン農業協同組合連合会が導入し、1995年から各種の試験を行い、1998年に優良品種となった。

特性概要

- 1番草の開花始は「ホクセキ」より3週間以上遅く、晩生である。「アルタスウェード」との比較ではやや早生である。
- 小葉の大きさは「ホクセキ」及び「アルタスウェード」より大きい。草丈は「ホクセキ」より低く、「アルタスウェード」よりやや高い。

3. チモシーとの混播適性は、「ホクセキ」に比べ、チモシーの被度を高く維持し、裸地が少なく、優れている。また、チモシーとの競合力はマメ科率と被度からみて、「ホクセキ」より弱く、「アルタスウェード」より強い。
4. 越冬性は「ホクセキ」並である。
5. 収量性は「ホクセキ」より低く、「アルタスウェード」より高い。
6. 耐倒伏性は「ホクセキ」より強く、「アルタスウェード」よりやや弱い。また、さび病、うどんこ病、輪紋病に対する耐病性は「ホクセキ」並である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。主として、チモシー中生品種との組合せで利用する。なお、チモシー早生品種との組合せでは、競合力の穏やかな品種として利用できる。

試験場名	年間乾物収量(kg/10a)				3ヵ年合計乾物収量の		乾物中マメ科率(2-3年平均, %)				試験年次
	1年目	2年目	3年目	合計	ホクセキ比 (%)	アルタスウェード比 (%)	1番草		2番草		
							クラノ	ホクセキ	クラノ	ホクセキ	
北海道農試	86	1238	1238	2594	105	112	29	30	49	65	1995~1997
北見農試	463	1016	1098	2560	82	100	36	38	30	58	
根釧農試1	474	1126	1041	2641	94	102	35	36	19	44	
根釧農試2	573	1053	957	2584	98	104	31	29	29	40	
天北農試	264	870	851	1983	98	104	19	24	13	29	
新得畜試	421	1033	1073	2538	97	104	23	26	8	24	
滝川畜試	313	1210	1188	2773	98	107	25	33	12	37	
全平均	374	1082	1067	2541	96	104	28	31	23	43	

注) 根釧農試2はチモシー「ノサップ」との混播で、他は全てチモシー「キリタツプ」との混播の乾物収量。

参照 1) 北海道農政部編, 平成10年普及奨励ならびに指導参考事項, 33-35 (1998).

(2) ナツユウ (系統名 北海9号) 2001年
登録番号：(北海道) クローバ類北海道第7号
(農水省) アカクローバ農林5号
(種苗法) 第12308号

セールスポイント

越冬性、永続性に優れ、既存のアカクローバ早生品種の中では競合力が小さく、混播適性に優れた品種である。

来歴 本品種は、チモシーとの混播適性に優れ、越冬性、永続性及び収量性を兼ね備えた品種の育成を目標に、1980年に農林水産省北海道農業試験場(以下、北農試)で養成した基礎集団から、母系選抜法により2サイクルの個体選抜を経て選抜した10母系を、1992年より北農試と北海道立根釧農業試験場で生産力を検定し、4母系を選抜し、これに北農試で菌核病菌を接種・選抜した個体から育成した2倍体品種である。1998年から「北海9号」の系統名で各種の試験を行い、2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 1番草の開花始は「ホクセキ」並であり、早生である。「ホクセキ」に比べ2番草の開花程度がやや小さく、「クラノ」より開花程度は大きい。
2. チモシーとの競合力は「ホクセキ」より小さく、「クラノ」より大きい。チモシーとの混播適性は、「ホクセキ」に比べ、チモシー収量が高く、マメ科率は低く推移するため、優れる。
3. 耐寒性は「ホクセキ」を中としてやや強である。萌芽良否、早春草勢は「ホクセキ」並かやや優れ、「クラノ」より優れ、越冬性は「ホクセキ」、「クラノ」より優れる。また、永続性は「ホクセキ」並で、「クラ

ノ」より優れる。

4. 乾物収量は「ホクセキ」並で、「クラノ」との比較ではやや高い。
5. うどんこ病には「ホクセキ」よりやや強く、「クラノ」より強い。菌核病には「ホクセキ」並かやや強く、黒葉枯病には「ホクセキ」並かやや弱い。その他の病害は「ホクセキ」並である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。チモシーの植生維持を優先する場合において、チモシーの早生から中生品種に対し、競合力の穏やかな早生品種として利用する。

試験場名	年間乾物収量(kg/10a)				3ヵ年合計乾物収量の		乾物中マメ科率(2-3年平均, %)				試験年次
	1年目	2年目	3年目	合計	ホクセキ比(%)	クラノ比(%)	1番草		2番草		
							ナツユウ	ホクセキ	ナツユウ	ホクセキ	
北海道農試1	480	1104	1020	2442	99	113	38	37	55	60	1998~2000
北海道農試2	474	1302	1162	2930	100	100	49	47	54	62	
北見農試1	432	1080	1110	2627	95	103	54	67	50	69	
北見農試2	474	1202	1198	2867	98	103	51	63	57	68	
根釧農試	209	761	956	1920	96	103	32	41	61	67	
天北農試	220	932	949	2109	102	113	57	46	64	64	
道立畜試	573	1152	935	2654	101	98	49	49	39	50	
全平均	409	1076	1047	2507	99	105	47	50	54	63	

注) 乾物収量は、北農試2および北見農試2はチモシー「キリタツ」との混播で、他は全てチモシー「ノサップ」との混播。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 37-39 (2001).
2) 磯部祥子 等, 北海道農研研報, 177, 1-14(2002).

2. シロクローバ

- (1) ルナメイ (系統名 LUNE DE MAI) 1996年
登録番号:(北海道) シロクローバ準輸第3号

セールスポイント

大葉型で、シロクローバ率の変動が小さく、越冬性が優れる、採草・放牧用の晩生品種である。

来歴 本品種は、フランスのINRAで大葉型の品種及び育成系統から選抜した20親栄養系を用いて合成品種法により育成された。雪印種苗株式会社が導入し、1993年から各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。

特性概要

1. 1番草の開花始は晩生～極晩生の「カリフォルニアラジノ」より2日早い晩生である。開花程度は「カリフォルニアラジノ」に比べ、春季が多く、夏季及び秋

季は少ない。

2. 「カリフォルニアラジノ」に比べて、小葉の大きさは同等かやや小さい大葉型で、草丈はやや低い。ほふく茎の密度はやや高い。
3. オーチャードグラスとの混播適性は、「カリフォルニアラジノ」に比べて、シロクローバ割合の年次間及び番草間の変動が小さく、やや優れている。また、オーチャードグラスとの競合力は同程度である。
4. 越冬性は「カリフォルニアラジノ」より優れている。
5. 収量性は単播条件および混播条件とも「カリフォルニアラジノ」とほぼ同程度である。
6. 「カリフォルニアラジノ」に比べて、そばかす病耐病性はほぼ同程度、菌核病にはやや強い。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。採草・放牧用として、イネ科牧

草との混播で利用する。ただし、大葉型に属するので、
地域によっては混播イネ科草種・品種との組合せに留意

試験場名	年間乾物収量(kg/10a)				3 ヶ年合計のカリフォルニアラジノ比(%)	シロクローバ割合(%)		同左標準偏差		試験年次
	1年目	2年目	3年目	合計		ルナメイ	カリフォルニアラジノ	ルナメイ	カリフォルニアラジノ	
北海道農試	340	1019	705	2065	107	39	38	11	18	1993~1995
北見農試	636	727	505	1867	99	34	37	11	13	
根釧農試	283	588	557	1428	98	32	35	13	15	
天北農試	140	789	790	1715	100	41	38	11	12	
新得畜試	290	682	525	1497	99	28	30	8	9	
滝川畜試	516	698	802	2016	97	16	15	14	12	
全平均	368	751	647	1765	100					

注) オーチャードグラスとの混播の乾物総収量。

シロクローバ割合のデータは3 ヶ年平均値、標準偏差は全番草のシロクローバ割合の標準偏差。

参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 40-42 (1996).

(2) ラモーナ (系統名 WWV-14) 1996年

登録番号: (北海道) シロクローバ準輸第4号

セールスポイント

中葉型で「ソーニヤ」とほぼ同程度の能力を有する、採草・放牧用の中生品種である。

来歴 本品種は、スウェーデンのSvalof Weibull AB社で中葉型品種「ソーニヤ」から採種性について選抜した、200個体により集団選抜法で育成された。三井東圧化学株式会社が導入し、1993年から各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。

特性概要

1. 1番草の開花始は「ソーニヤ」より1日遅く、中生の「フィア」に比べて1日早い中生である。開花程度は、「ソーニヤ」と比べて春季がやや少なく、夏季及

び秋季はほぼ同程度である。

- 小葉の大きさは「ソーニヤ」とほぼ同等の中葉型である。草丈は「ソーニヤ」並で、ほふく茎の密度は「ソーニヤ」並かやや低い。
- チモシーとの混播適性及び競合力は「ソーニヤ」と同程度で、オーチャードグラスとの混播適性は「ソーニヤ」並かやや優れ、オーチャードグラスに対する競合力は同等かやや弱い。
- 越冬性は「ソーニヤ」並である。
- 収量性は単播条件及び、チモシーまたはオーチャードグラスとの混播条件でも「ソーニヤ」並かやや優れる。
- そばかす病及び菌核病に対する耐病性は「ソーニヤ」並である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。採草・放牧用として、イネ科牧草との混播で利用する。

試験場名	年間乾物収量(kg/10a)				3 ヶ年合計のソーニヤ比(%)	シロクローバ割合(%)		同左標準偏差		試験年次
	1年目	2年目	3年目	合計		ラモーナ	ソーニヤ	ラモーナ	ソーニヤ	
北見農試	593	911	567	2071	109	45	42	13	18	1993~1995
根釧農試	274	691	607	1572	99	41	36	14	14	
新得畜試	363	628	419	1410	103	61	60	16	17	
北海道農試	319	888	488	1695	110	25	22	13	15	1993~1995
天北農試	144	795	758	1692	103	35	35	10	12	
滝川畜試	578	665	719	1962	100	8	11	6	7	
全平均	379	763	593	1734	104					

注) 北見, 根釧農試および新得畜試はチモシー, 北農試, 天北農試および滝川畜試はオーチャードグラスとの混播の乾物総収量。

シロクローバ割合のデータは3 ヶ年平均値、標準偏差は全番草のシロクローバ割合の標準偏差。

参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 43-45 (1996).

(3) **リベンデル** (系統名 RIVENDEL) 1996年
登録番号：(北海道) シロクローバ準輸第5号

セールスポイント

小葉型で、競合力が穏やかな放牧用の中生品種である。

来歴 本品種は、デンマークのDansk Planteformaedling A/S社で、集団選抜法で育成された。雪印種苗株式会社が導入し、1993年から各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。

特性概要

1. 1番草の開花始は「ソーニヤ」より1～2日遅く、中生の「フィア」に比べて1日早い中生である。開花程度は、「ソーニヤ」と比べて、春季および秋季ではほぼ同等であるが、夏季でははやや多い。
2. 小葉の大きさは「ソーニヤ」より小さい小葉型で、草丈は「ソーニヤ」より低い。ほふく茎の密度は「ソーニヤ」とほぼ同等である。

ニヤ」とほぼ同等である。

3. チモシーに対する競合力は弱く、チモシーを抑圧することなく、チモシーとの混播適性は「ソーニヤ」より優れる。オーチャードグラスに対する競合力は「ソーニヤ」よりやや弱く、オーチャードグラスに抑圧される傾向があり、オーチャードグラスとの混播適性は「ソーニヤ」より劣る。
4. 越冬性は「ソーニヤ」並である。
5. 収量性は、単播条件では「ソーニヤ」よりやや優る。チモシーとの混播条件では「ソーニヤ」より劣り、オーチャードグラスとの混播条件では「ソーニヤ」とほぼ同等である。
6. そばかす病及び菌核病に対する耐病性は「ソーニヤ」並である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。放牧用として、チモシーとの混播で利用する。

試験場名	年間乾物収量(kg/10a)				3ヵ年合計のソーニヤ比(%)	シロクローバ割合(%)		同左標準偏差		試験年次
	1年目	2年目	3年目	合計		リベンデル	ソーニヤ	リベンデル	ソーニヤ	
北見農試	512	859	454	1824	96	32	42	16	18	1993～1995
根釧農試	226	623	514	1363	86	28	36	12	14	
新得畜試	336	587	469	1391	102	34	60	8	17	
北海道農試	300	841	440	1582	102	13	22	11	15	1993～1995
天北農試	127	775	709	1609	98	30	35	15	12	
滝川畜試	560	660	663	1883	96	6	11	4	7	
全平均	344	724	542	1609	96					

注) 北見、根釧農試および新得畜試はチモシー、北農試、天北農試および滝川畜試はオーチャードグラスとの混播の乾物総収量。シロクローバ割合のデータは3ヵ年平均値、標準偏差は全番草のシロクローバ割合の標準偏差。

参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 46-48 (1996).

(4) **タホラ** (系統名 TAHORA) 1996年
登録番号：(北海道) シロクローバ準輸第6号

セールスポイント

小葉型で、競合力が穏やかな放牧用の中生品種である。

来歴 本品種は、ニュージーランドのAgResearch Grasslandsで丘陵地帯の残存株から、永続性・収量性及び、ほふく茎密度について選抜した個体から集団選抜法により育成された。ホクレン農業協同組合連合会が導入し、1993年から各種の試験を行い、1996年に優良品種となった。

特性概要

1. 1番草の開花始は「ソーニヤ」より1日遅く、中生の「フィア」に比べて1～2日早い中生である。開花程度は、「ソーニヤ」と比べて、春季では少なく、夏季および秋季ではやや少ない。
2. 小葉の大きさは「ソーニヤ」より小さい小葉型で、草丈は「ソーニヤ」より低い。ほふく茎の密度は「ソーニヤ」とほぼ同等かやや高い。
3. チモシーに対する競合力は「ソーニヤ」より弱く、チモシーを抑圧することがない。チモシーとの混播適性は「ソーニヤ」より優れる。オーチャードグラスに対する競合力は「ソーニヤ」とほぼ同等である。オーチャードグラスとの混播適性は「ソーニヤ」とほぼ同等から

やや劣る。

4. 越冬性は「ソーニヤ」とほぼ同等である。
5. 収量性は単播条件で「ソーニヤ」よりやや優る。チモシーとの混播条件における収量性は「ソーニヤ」よりやや劣るが、オーチャードグラスとの混播条件における収量性は「ソーニヤ」とほぼ同等である。

6. そばかす病および菌核病耐病性ともに「ソーニヤ」とほぼ同様である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。放牧用として、チモシーとの混播で利用する。

試験場名	年間乾物収量(kg/10a)				3ヵ年合計のソーニヤ比(%)	シロクローバ割合(%)		同左標準偏差		試験年次
	1年目	2年目	3年目	合計		タホラ	ソーニヤ	タホラ	ソーニヤ	
北見農試	515	833	476	1824	96	35	42	14	18	1993~1995
根釧農試	251	648	491	1390	87	26	36	15	14	
新得畜試	346	601	506	1452	106	46	60	16	17	
北海道農試	277	867	465	1608	104	16	22	12	15	1993~1995
天北農試	122	722	748	1589	97	27	35	11	12	
滝川畜試	550	666	730	1946	99	7	11	5	7	
全平均	344	723	569	1635	98					

注) 北見、根釧農試および新得畜試はチモシー、北農試、天北農試および滝川畜試はオーチャードグラスとの混播の乾物総収量。シロクローバ割合のデータは3ヵ年平均値、標準偏差は全番草のシロクローバ割合の標準偏差。

参照 1) 北海道農政部編, 平成8年普及奨励ならびに指導参考事項, 49-51 (1996).

3. アルファルファ

- (1) ハルワカバ (系統名 北海3号) 2003年
 登録番号: (北海道) アルファルファ北海道第6号
 (農水省) アルファルファ農林8号
 (種苗法) 第 号

セールスポイント

寒地適応型の特性を示し、永続性、越冬性および収量性に優れる品種である。

来歴 本品種は、農林水産省北海道農業試験場において、永続性、越冬性及び収量性に優れる品種の育成を目標に集団選抜法により育成された品種である。1997年に「月系2号」由来の個体から、萌芽が良好で越冬性に優れる48個体を選抜し、増殖一代系統を造成し、1999年から「北海3号」の系統名で各種の試験を行い、2003年に優良品種となった。

特性概要

1. 1番草の開花始は「マキワカバ」とほぼ同時期の早生に属する。
2. 「マキワカバ」に比較して、草型が開帳型で、秋の草勢が劣り、雑色花の割合が高く、側根の割合が大き

い。また、秋の休眠性が高く、寒地適応性の特徴が強い。

3. 永続性は既存品種中最も優れる。
4. 越冬性、萌芽良否および春の草勢の評価はいずれも「マキワカバ」より優れ、耐寒性も「マキワカバ」の中に対し、中～やや強である。既存品種中最も越冬性に優れる。
5. 収量性は「マキワカバ」に比べ105%と多収を示し、特に3～4年目の多収傾向が顕著である。既存品種中最も多収である。
6. 倒伏程度は草型が開帳型であるため、「マキワカバ」より大きく評価される。
7. そばかす病およびいぼ斑点病の耐病性は「マキワカバ」並みで高い。パーティシリウム萎ちょう病に対しては抵抗性である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適し、特にこれまでアルファルファの安定栽培が難しかったところでも栽培の安定化が図られる。開帳型のため倒伏程度は大きく評価されるが耐倒伏性は実用レベルである。刈遅れに注意する。

試験場名	年間乾物収量										試験年次
	1年目		2年目		3年目		4年目		合計		
	ハルワカバ	マキワカバ	ハルワカバ	マキワカバ	ハルワカバ	マキワカバ	ハルワカバ	マキワカバ	ハルワカバ	マキワカバ	
北農研	102	608	109	1033	101	1181	104	1272	104	4094	1999～2002
北見農試	103	466	94	977	100	799	106	781	100	3013	
根釧農試	108	153	106	531	128	579	104	811	111	2074	
天北農試	101	275	107	954	116	787	111	917	110	2923	
道立畜試	93	149	96	970	104	742	110	774	102	2636	
全平均	101	330	102	893	110	818	107	911	105	2948	

注)「マキワカバ」は実収量(kg/10a),「ハルワカバ」は「マキワカバ」対比(%)である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成15年普及奨励ならびに指導参考事項, 22-24 (2003).

4. ガレガ

(1) こまさと184 (系統名 Gale) 2002年
登録番号:(北海道)ガレガ準輸交第1号

セールスポイント

地下茎で増殖し, 永続性が高く, アルファルファに比べて栄養価の低下が緩慢な, 新草種ガレガの唯一の品種である。

来歴 本品種は, 1988年にエストニア農業試験研究所で集団選抜法により育成された, アルカロイドを含まない *Galega orientalis* Lam. 種の唯一の品種である。ホクレン農業協同組合連合会が導入し, 1999年から各種試験を行い, 2002年に優良品種となった。

特性概要

- 1番草の開花始は早生のアルファルファ「マキワカバ」に比べ8日早い。
- 「マキワカバ」に比べ, 初期生育および再生は緩慢である。
- チモシーとの混播条件では, 造成後のマメ科率が低く維持され, 徐々に増加するため, チモシーのスタン드의確保が容易で, 混播適性に優れる。

4. 地下茎を発生して増殖し, 永続性は「マキワカバ」およびアカクロバ「ホクセキ」より優れる。
5. 萌芽は「マキワカバ」より3日早く, 越冬性は「マキワカバ」より優れる。
6. 乾物収量は「マキワカバ」より少ない。
7. 耐倒伏性は「マキワカバ」に比べて優れている。また, 顕著な病害は発生していない。
8. 「マキワカバ」に比べて, 1番草の生育の進行に伴う品質の低下が少ない。また, 開花始期以降では粗蛋白割合が高い。サイレージの発酵品質および家畜の摂取量は「マキワカバ」と同程度である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適するが, 気象条件が比較的良好な地域からチモシーとの混播で普及を図り, 根釧地域等への普及は定着率を高める栽培法の確立を進めながら行う。

9月から10月上旬の刈取りが翌年の生育に影響を及ぼすので, 注意が必要である。また, 初期生育が緩慢であるため, 播種当年における雑草との競合回避対策が重要である。その他の栽培法はアルファルファの栽培法に準じる。

試験場名	年間乾物収量(kg/10a)				3年合計のマキワカバ比(%)	マメ科率(乾物中%)					試験年次
	1年目	2年目	3年目	合計		ガレガ				マキワカバ	
						1年目	2年目	3年目	合計	合計	
北農研	554	1001	1143	2704	79	13	15	21	17	76	1999～2001
根釧農試	73	490	414	976	52	12	13	26	18	52	
天北農試	87	973	838	1904	81	10	8	12	10	80	
全平均	238	821	798	1861	73	12	12	20	15	69	

注) 北農研および天北農試はチモシー「ノサップ」, 根釧農試は「キリタツ」との混播における総乾物収量。

参照 1) 北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 18-20 (2002).

5. チモシー

- (1) ホライズン (系統名 SB-T-9502) 2002年
登録番号：(北海道) チモシー準北海道合第7号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

耐倒伏性がやや優れ、2番草が多収な早生品種である。

来歴 本品種は、雪印種苗株式会社が、斑点病幼苗接種検定試験、栄養系評価試験および多交配後代検定試験を実施して9親栄養系を選抜し、合成品種法により育成した。1999年から各種試験を行い、2002年に優良品種となった。

特性概要

1. 早晚性は、出穂始が「ノサップ」より2日早く「クンプウ」より6日遅い、早生である。出穂程度は、1番草と2番草が「ノサップ」より高く、3番草は「ノ

サップ」よりやや高い。

2. 収量性は、2,3年目の合計乾物収量が「ノサップ」よりやや多く、番草別では2番草が多い。
3. 越冬性は「ノサップ」並である。斑点病、すじ葉枯病に対する抵抗性は「ノサップ」並である。
4. 1番草の耐倒伏性は「ノサップ」よりやや優れる。
5. 草勢は、早春および秋ともに「ノサップ」並である。再生草勢は2番草が「ノサップ」並で、3番草が「ノサップ」よりやや劣る。
6. 草丈は2番草が「ノサップ」よりやや高く、1番草と3番草が「ノサップ」並である。
7. 混播適性は「ノサップ」並である。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。栽培利用上の注意は採草用として利用する。

試験場所名	品種名	出穂始 (月.日)	乾物収量				試験年次
			1番草	2番草	3番草	年合計	
北見農試	ホライズン	6.12	101	124	86	106	1999~2001
	ノサップ	6.14	425	156	56	636	
天北農試	ホライズン	6.17	101	113	91	103	
	ノサップ	6.17	577	241	133	950	
根釧農試	ホライズン	6.19	94	120	—	103	
	ノサップ	6.21	624	335	—	958	
道立畜試 (新得)	ホライズン	6.14	106	119	106	109	
	ノサップ	6.16	575	284	212	1070	
道立畜試 (滝川)	ホライズン	6.9	102	107	113	105	
	ノサップ	6.10	734	359	265	1358	
北農研センター	ホライズン	6.12	100	127	97	103	
	ノサップ	6.13	519	85	130	733	
全場所平均	ホライズン	6.13	101	116	103	105	
	ノサップ	6.15	575	243	159	950	

注) 2,3年目の平均値。乾物収量の「ノサップ」は実数 (kg/10a) で、「ホライズン」は「ノサップ」対比(%)である。根釧農試は2回刈り。

参照 1)北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 21-22 (2002)。

- (2) シリウス (系統名 SB-T-9504) 2002年
登録番号：(北海道) チモシー準北海道合第8号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

斑点病抵抗性と混播適性がやや優れる晩生品種である。

来歴 本品種は、雪印種苗株式会社が斑点病幼苗接種検定試験、栄養系評価試験および多交配後代検定試験を実施して、6親栄養系を選抜して、合成品種法により育成した。1999年から各種試験を行い、2002年に優良品種となった。

特性概要

1. 早晩性は、出穂始が「ホクシュウ」と同じ、晩生である。出穂程度は1番草、2番草とも「ホクシュウ」よりやや高い。
2. 収量性は2,3年目の合計乾物収量が「ホクシュウ」並である。
3. 越冬性は「ホクシュウ」並で、斑点病に対する抵抗性は「ホクシュウ」よりやや優れる。
4. 耐倒伏性は「ホクシュウ」並である。
5. 草勢は早春が「ホクシュウ」並で、秋は「ホクシュウ」よりやや劣る。再生草勢は「ホクシュウ」並である。

6. 草丈は1番草、2番草とも「ホクシュウ」よりやや高い。
7. 混播適性は「ホクシュウ」よりやや優れる。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。栽培利用上の注意は採草用として利用する。

試験場所名	品種名	出穂始 (月.日)	乾物収量			試験年次
			1番草	2番草	年合計	
北見農試	シリウス	6.22	100	93	99	1999～2001
	ホクシュウ	6.24	663	168	830	
天北農試	シリウス	6.27	97	96	97	
	ホクシュウ	6.27	729	327	1056	
根釧農試	シリウス	6.30	96	99	97	
	ホクシュウ	6.28	636	348	983	
道立畜試 (新得)	シリウス	6.26	96	92	95	
	ホクシュウ	6.26	746	373	1118	
道立畜試 (滝川)	シリウス	6.22	102	103	102	
	ホクシュウ	6.20	950	478	1428	
北農研センター	シリウス	6.22	99	95	98	
	ホクシュウ	6.24	662	197	859	
全場所平均	シリウス	6.25	98	97	98	
	ホクシュウ	6.25	731	315	1046	

注) 2,3年目の平均値。乾物収量の「ホクシュウ」は実数(kg/10a)で、「シリウス」は「ホクシュウ」対比(%)である。

参照 1)北海道農政部編,平成14年普及奨励ならびに指導参考事項,23-24(2002).

(3) なつさかり (系統名 北見22号) 2004年

登録番号:(北海道)チモシー北海道合第9号
(農水省)チモシー農林合7号
(種苗法)第 号

セールスポイント

耐倒伏性と斑点病抵抗性が強く、混播適性がやや優れる晩生品種である。

来歴 本品種は、北海道立北見農業試験場において、晩生で、耐倒伏性、斑点病抵抗性及び混播適性に優れる多収品種の育成を目標に、北見農業試験場育成7品種・系統及び海外から導入した2品種に由来する9親栄養系による合成品種法により育成された。2001年から「北見22号」の系統名で各種の試験を行い、2004年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「ホクシュウ」より1～5日遅い6月24日～7月5日で、晩生に属する。
2. 2年間または3年間の合計乾物収量は「ホクシュウ」よりやや多く、年次別、番草別の乾物収量も同程度かやや多いことから、収量性は同程度かやや優れる。
3. 耐倒伏性および斑点病抵抗性は「ホクシュウ」より優れる。
4. シロクローバとの混播栽培で利用すると合計乾物収量が「ホクシュウ」より多く、マメ科率は同程度で、混播適性はやや良好である。
5. 越冬性は「ホクシュウ」と同程度、耐寒性は「ホクシュウ」と同じ“強”である。
6. 放牧適性、推定TDN含有率、採種量は「ホクシュウ」と同程度である。
7. 形態的特性は、草丈が1番草、2番草とも「ホクシュウ」よりやや劣る。再生草勢は「ホクシュウ」並である。

ウ」より高く、穂長、葉長が長く、葉幅は広く、茎が太く、茎数密度が低い。

栽培適地と奨励態度

北海道に適し、「ホクシュウ」と置き換える。栽培上の注意は、晩生品種として、年間2回の採草利用を主体とし、放牧にも利用できる。

試験場所名	品種名	出穂始 (月.日)	乾物収量			試験年次
			1 番草	2 番草	年合計	
北 見 農 試	なつさかり	6.29	103	106	104	2001～2003
	ホクシュウ	6.28	889	246	1134	
天 北 農 試	なつさかり	6.26	100	104	101	
	ホクシュウ	6.21	781	231	1012	
根 釧 農 試	なつさかり	7. 5	107	96	103	
	ホクシュウ	7. 4	573	308	881	
道 立 畜 試	なつさかり	6.24	102	101	102	
	ホクシュウ	6.21	829	288	1117	
北 農 研 セ ン タ ー	なつさかり	6.27	100	109	101	
	ホクシュウ	6.25	931	187	1118	
家畜改良センター 十 勝 牧 場	なつさかり	7. 1	105	107	105	
	ホクシュウ	6.27	656	261	917	
家畜改良センター 新 冠 牧 場	なつさかり	6.27	100	103	100	
	ホクシュウ	6.26	764	205	969	
全 場 所 平 均	なつさかり	6.28	102	103	102	
	ホクシュウ	6.26	775	247	1021	

注) 2, 3年目の平均値。乾物収量の「ホクシュウ」は実数 (kg/10a) で、「なつさかり」は「ホクシュウ」対比(%)である。

参照 1)北海道農政部編, 平成16年普及奨励ならびに指導参考事項, 17-19 (2004)。

6. オーチャドグラス

(1) ハルジマン (系統名 北海26号) 2001年

登録番号: (北海道)オーチャドグラス北海道合8号
(農水省)オーチャドグラス農林合9号
(種苗法)第12215号

セールスポイント

耐病性、収量性に優れた中生品種である。

来歴 本品種は、農林水産省北海道農業試験場が北海道および東北部の寒冷地に適する耐病性、多収性などに優れた中生品種の育成を目標に、選抜栄養系の評価試験から7栄養系を選び合成した品種である。1997年から「北海26号」の系統名で各種の試験を行い、2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「オカミドリ」と同じで中生の晩に属する。
2. 越冬性は「オカミドリ」と同程度で、春の草勢は

「オカミドリ」よりやや優れる。雪腐大粒菌核病抵抗性は「オカミドリ」より優れ強であるが、耐寒性は「オカミドリ」と同程度かやや劣る。

3. 乾物収量は「オカミドリ」と同程度かやや多収で、1番草の収量は「オカミドリ」より多い。
4. 多刈の収量は「オカミドリ」と同程度かやや優れる。
5. 耐病性は、すじ葉枯病、雲形病、黒さび病には「オカミドリ」より優れ、葉枯れ性病害に抵抗性を示す。
6. 耐倒伏性は強いが、「オカミドリ」よりやや劣る。
7. 放牧適性は「オカミドリ」と同程度である。
8. 混播適性は「オカミドリ」と同程度である。

栽培適地と奨励態度

北海道全域および東北部に適する。栽培利用上の注意は採草および放牧に利用できる。北海道東部では冬枯れの発生に注意する。

品種名	1～4年目の合計乾物収量						すじ葉枯病	試験年次
	北海道農試	天北農試	畜試	北見農試	根釧農試	5場所平均	5場所平均	
ハルジマン	104	102	99	104	102	102	3.2	1997～2000
オカミドリ	3243	3167	3523	2989	3509	3286	3.8	
ホクト	102	104	101	98	99	101	4.2	

注1) 乾物収量は「オカミドリ」が実数(kg/10a)で、その他は「オカミドリ」対比(%)である。

注2) すじ葉枯病は1:極微～9:極甚。

参照 1) 北海道農政部編, 平成13年普及奨励ならびに指導参考事項, 34-36 (2001).

2) 山田敏彦 等, 北海道農研研報, 177, 15-36(2002).

(2) バッカス (系統名 SB-O-9504) 2002年
登録番号:(北海道) オーチャドグラス準北海道
合11号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

収量性, 耐病性に優れる晩生品種である。

来歴 本品種は, 雪印種苗株式会社が北海道に適する収量性, 耐病性に優れる晩生品種の育成を目標に, 栄養系試験および後代検定から選抜した8栄養系の組み合わせによる合成品種である。1999年から「SB-O-9504」の系統名で各種の試験を行い, 2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「オカミドリ」より2日遅く晩生に属する。
2. 乾物収量は「オカミドリ」よりやや多い。番草別にみると1, 2番草では「オカミドリ」より多い。年次による収量の低下は「オカミドリ」より少ない。
3. 越冬性, 早春の草勢は「オカミドリ」と同程度である。
4. 耐病性は, すじ葉枯病, 黒さび病に「オカミドリ」より優れる。
5. 耐倒伏性は「オカミドリ」と同程度である。
6. 混播適性はクローバとの競合力が「オカミドリ」と同程度かやや強い。

栽培適地と奨励態度

北海道全域に適する。栽培利用上の注意は採草用として利用する。

品種名	2～3年目の合計乾物収量						すじ葉枯病	試験年次	
	北海道農試	天北農試	畜試	滝川試験地	北見農試	根釧農試	6場所平均		6場所平均
SB-O-9504	103	103	102	102	108	106	104	3.1	1999～2001
オカミドリ	2204	2073	1906	2222	1135	1481	1837	3.8	
グローラス	94	98	99	94	101	95	96	4.3	

注1) 乾物収量は「オカミドリ」が実数(kg/10a)で、その他は「オカミドリ」対比(%)である。

注2) すじ葉枯病は1:極微～9:極甚。

参照 1) 北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 25-26 (2002).

7. メドウフェスク

(1) ハルサカエ (系統名北海12号) 1999年

登録番号:(北海道) メドウフェスク北海道合2号
(農水省) メドウフェスク農林合2号
(種苗法) 第10639号

セールスポイント

越冬性, 収量性および混播適性に優れる早生品種である。

来歴 本品種は, 農林水産省北海道農業試験場が寒地・寒冷地に適する収量性, 越冬性および混播適性に優れる品種の育成を目標に, 「日高エコタイプ」, 「Leto」, 「Salten」, 「Tammisto」, 「Boris」に由来する8栄養系による合成品種法により育成された。1995年から「北海12号」の系統名で各種の試験を行い, 1999年に優良品種と

なった。

特性概要

1. 出穂始は「トモサカエ」より2日遅く早生に属する。
2. 乾物収量は少回刈収量では「トモサカエ」に比べ道東で優れ、多雪地帯では同等である。多回刈収量では「トモサカエ」に比べ道央で優れ、道東では同程度である。
3. 季節生産性は「トモサカエ」に比べ、1番草は高く、2番草は同程度、3番草はやや低い。
4. 永続性は「トモサカエ」と同程度である。
5. 越冬性、早春草勢は「トモサカエ」より優れる。耐寒性は「トモサカエ」と同程度で、耐凍性、耐雪性は

優れる。

6. 網斑病抵抗性は「トモサカエ」と同程度である。
7. 混播適性はシロクローバ、アカクローバとの混播で「トモサカエ」より競合力が優れる。
8. 放牧適性は「トモサカエ」と同程度である。
9. 耐倒伏性は「トモサカエ」よりやや優れる。

栽培適地と奨励態度

北海道全域および本州中部以北の高冷地に適する。栽培利用上の注意は採草および放牧用として利用する。道東の冬枯れの著しいところでは、秋季の強度な放牧は避ける。

品種名	1～4年目の合計乾物収量						越冬性	試験年次
	北海道農試	天北農試	畜試	北見農試	根釧農試	場所平均	6場所平均	
ハルサカエ	100	101	102	108	105	103	6.5	1995～1998
トモサカエ	2467	3206	2652	2767	3818	2982	4.8	
タミスト	82	90	94	95	96	91	4.8	

注1) 乾物収量は「トモサカエ」が実数(kg/10a)で、その他は「トモサカエ」対比(%)である。

注2) 越冬性は1:極不良～9:極良。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成11年普及奨励ならびに指導参考事項, 26-28 (1999).
2) 高井智之 等, 北海道農試研報. 173, 47-62(2001).

(2) プラデール (系統名PRADEL) 2002年

登録番号:(北海道)メドウフェスク準輪第8号

セールスポイント

放牧用で収量性、特に夏及び秋の季節生産性に優れる早生品種である。

来歴 本品種は、スイスの育成機関RACがスイス在来種を用い収量性、永続性、各種耐病性の改良を目標に、循環選抜法で育成した。1999年から「PRADEL」の系統名で各種の試験を行い、2001年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「ハルサカエ」より3日早く、「トモサカエ」より1日早く、早生に属する。

2. 乾物収量は「ハルサカエ」よりやや多い。
3. 季節生産性は、春の収量は「ハルサカエ」並であるが、夏および秋は「ハルサカエ」より多い。
4. 越冬性は「ハルサカエ」並かやや劣り、「トモサカエ」よりやや優れる。
5. 網斑病抵抗性は「ハルサカエ」並である。
6. 永続性は「ハルサカエ」と同程度で「トモサカエ」よりやや優れる。
7. 出穂程度は「ハルサカエ」よりやや少ない。
8. 混播適性は「ハルサカエ」並である。

栽培適地と奨励態度

道東地域に適する。栽培利用上の注意は放牧用として利用する。

品種名	2～3年目の合計乾物収量				2か年時期別平均乾物			試験年次
	根釧	北見	畜試	3場平均	収量(3場平均)			
					春期	夏期	秋期	
プラデール	109	106	102	105	100	105	111	1999～2001
ハルサカエ	815	826	1328	990	332	459	200	
トモサカエ	106	97	96	99	98	100	99	

注1) 乾物収量は「ハルサカエ」が実数(kg/10a)で、その他は「ハルサカエ」対比(%)である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成14年普及奨励ならびに指導参考事項, 27-28 (2002).

8. ペレニアルライグラス

(1) ポコロ (系統名 天北2号) 1999年

登録番号: (北海道)

ペレニアルライグラス北海道合第1号
(種苗法) 第10383号

セールスポイント

旺盛な秋の生育を保持しつつ, 春の生育が良好であり, 早春からの放牧利用が可能である。

来歴 本品種は, 北海道立天北農業試験場において, 道内の土壤凍結のない地域を対象に, 収量性, 越冬性および永続性に優れた晩生品種の育成を目標に, 我が国および海外の4品種由来の5栄養系による合成品種法により育成された。1995年から「天北2号」の系統名で各種試験を行い, 1999年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「ファントム」より2～3日遅く, 「フレ

ンド」より4～5日早い晩生に属する。

2. 乾物収量は「フレンド」より多収で, 永続性はやや優る。季節生産性は, 春季では優り, 夏・秋季ではやや優る。

3. 耐雪性, 耐寒性は「フレンド」と同程度で, 各種雪腐病に対する抵抗性は同程度からやや優る。萌芽および早春の生育は良好で, 総合的な越冬性はやや優れる。

4. 冠さび病, 網斑病, 斑点病など葉枯性病害に対する抵抗性は「フレンド」並みである。

5. 放牧適性, 1番草を採草する兼用利用適性は「フレンド」と同程度である。

6. シロクロバとの混播条件では乾物収量が「フレンド」よりやや多く, シロクロバ率の変動も小さく, 混播適性は優る。

栽培適地と奨励態度

土壤凍結のない地帯に適する。放牧利用とするが, 1番草は採草も可能である。

試験場名	乾物収量				季節別CGR (2～4年目平均)						試験年次
	2～4年目		4年目		春季		夏季		秋季		
	ポコロ	フレンド	ポコロ	フレンド	ポコロ	フレンド	ポコロ	フレンド	ポコロ	フレンド	
天北農試	106	1706	105	547	109	31.2	103	37.8	103	23.4	1995～1998
滝川畜試	108	2127	105	818	109	44.2	107	37.7	106	30.0	
北農試	103	2326	104	787	108	54.9	100	38.6	99	36.7	
3場平均	105	2053	104	717	109	43.4	103	38.0	103	30.0	

注) 乾物収量の成績は「フレンド」が実数(kg/10a)で, 「ポコロ」は「フレンド」対比(%)である。

季節別CGRの成績は「フレンド」が実数(kg/10a/10日)で, 「ポコロ」は「フレンド」対比(%)である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成11年普及奨励ならびに指導参考事項, 23-25 (1999).

2) 佐藤尚親 等. 北海道立農試集報. 82, 57-66(2002).

北海道登録品種一覧

I 普通作物

1 水 稲

注 1. 農林水産省登録品種には、*印をつけた。
2. 系統名の欄には、系統名、種苗台帳番号、原名をあてた。
3. 登録年の（ ）は、優良品種決定年である。

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
農 林 20 号 *	北海86号	水稲 北海道うち第1号	1971 (1941)	1975	上 川 支 場	「農林1号」×「胆振 早稲」	早生，多収
栄 光	上育B18号	水稲 北海道うち第2号	1971 (1942)	1974	上 川 支 場	「鶴亀」×「早生富国」	多収，良質，良味
巴 ま さ り	渡育120号	水稲 北海道うち第3号	1971 (1951)	1997	渡 島 支 場	「東北14号」×「北海 87号」	晩生，分けつ多く，多収，食味良
南 栄	渡育129号	水稲 北海道うち第4号	1971 (1951)	1972	渡 島 支 場	「巴錦」×「農林20号」	晩生，長稈，食味良，冷水抵抗性強
ユ ー カ ラ *	北海182号	水稲 北海道うち第5号 水稲農林138号	1971 (1962)	1991	北 海 道 農 試	「関東53号」×「栄光」	初期生育旺盛，強稈，良質多収，多 肥栽培で増収，いもち病N菌に強
し お か り	上育234号	水稲 北海道うち第6号	1971 (1963)	1985	上 川 支 場	(「目黒栄糯」×「共 和」) F ₁ ×「共和」	早生，登熟良，いもち耐病性中，耐 倒伏中，障害型耐冷性やや弱
ほ う り ゅ う	空育24号	水稲 北海道うち第7号	1971 (1964)	1981	空 知 支 場	「新栄」×「照錦」	中生，中肥で多収，食味・品質良好
う り ゅ う	空育22号	水稲 北海道うち第8号	1971 (1965)	1983	中 央 農 試	「石狩白毛」×「暁」	短稈，耐冷性・耐病性強，良質，中 生の早，初期生育不良
き よ か ぜ	上育254号	水稲 北海道うち第9号	1971 (1965)	1986	上 川 農 試	「新栄」×「水稲農林 15号」	極早生，良質，いもち耐病性弱，耐 倒伏性やや弱，障害型耐冷性やや強
ひ め ほ な み	空育39号	水稲 北海道うち第10号	1971 (1966)	1974	中 央 農 試	「空系26号」×「ヤチ ミノリ」	中生の晩，穂数型，いもち耐病性や や強，良質，多収，初期生育旺盛
ほ く せ つ	上育265号	水稲 北海道うち第11号	1971 (1966)	1972	上 川 農 試	「新栄」×「上育161 号」(大国早生×福 糯)	中生，登熟良，いもち耐病性中，耐 倒伏性やや強，障害型耐冷性極強
そ ら ち	空育51号	水稲 北海道うち第12号	1971 (1967)	1982	中 央 農 試	「空育12号」×「みま さり」	中生の中，安定多収
は や ゆ き	北育33号	水稲 北海道うち第13号	1971 (1968)	1975	北 見 農 試	「新栄」×「水稲農林 19号」	耐冷性極強，いもち耐病性弱
か ち ほ な み	十育12号	水稲 北海道うち第14号	1971 (1968)	1982	十 勝 農 試	(「豊光」×「大雪」) ×「上育161号」	中生，安定多収，倒伏し難い
な る か ぜ	上育314号	水稲 北海道うち第15号	1971 (1970)	1979	上 川 農 試	「北海182号」×「さ さほなみ」	早生，良質，いもち耐病性中，耐倒 伏性中，障害型耐冷性やや強
マ ッ マ エ *	北海222号	水稲 北海道うち第16号 水稲農林209号	1971 (1970)	1991	北 海 道 農 試	「ふ系51号」×「北海 183号」	晩生，偏穂数型，強稈，いもち耐病 性強，良質多収，食味やや良好
ゆ う な み	空育87号	水稲 北海道うち第17号	1971	1980	中 央 農 試	「ユーカー×ささほ なみ」F ₁ ×「ささほ なみ」	中生の早，短稈穂数型，いもち耐病 性やや強，障害型耐冷性中，耐倒伏 性やや強
イ シ カ リ *	道北1号	水稲 北海道うち第18号 水稲農林217号	1971	1987	上 川 農 試	「北海182号」×「空 育4号」	多収，良質，草姿良，いもち耐病性 強，耐倒伏性強，耐冷性やや強
ユ キ モ チ *	北海125号	水稲 北海道もち第19号 水稲農林59号	1971 (1951)	1988	上 川 支 場	「大国早生」×「福糯」	中生，中稈，穂数型，稀短芒，良質， 多収
か む い も ち	上育266号	水稲 北海道もち第20号	1971 (1965)	1985	上 川 農 試	「新栄」×「上育161 号」	糯，早生，良質，いもち耐病性中， 耐倒伏性やや強，障害型耐冷性やや 強
工 藤 糯		水稲 北海道もち第21号	1971 (1965)	1997	道 南 農 試	「南糯」×「多福糯」	中生の晩，中稈，穂重型，いもち耐 病性強
お ん ね も ち	北育糯47号	水稲 北海道もち第22号	1971 (1970)	1994	北 見 農 試	「北海182号」×「上 育230号」	良質，「もち」良質，多収，耐冷性 やや強，いもち耐病性やや弱～弱
き た こ が ね	北育51号	水稲 北海道うち第23号	1973	1982	北 見 農 試	「北海182号」×「上 育230号」	やや良質，耐冷性やや強，多収，い もち耐病性弱
さ ち ほ	空育97号	水稲 北海道うち第24号	1974	1982	中 央 農 試	「ささほなみ×空系 1号」F ₁ ×「北海190 号」	良質，登熟早い，いもち病場抵抗 性強，強稈性
キ タ ヒ カ リ *	北海230号	水稲 北海道うち第25号 水稲農林236号	1975	1991	北 海 道 農 試	「しおかり」×「ユ ーカラ」	中生，偏穂数型，良質，食味良好， 少肥瘦地栽培で少収，機械化栽培に 適する

草 型	茎		穂						玄 米			品 質	食 味	搗 歩 合	栽 培 適 地
	長短	強弱	長短	粒着 密度	稈色	稈先色	芒の 有無	芒の 長短	形状	大小	色 沢				
中間型	長	や強	中	密	淡黄白	赤褐	無	－	中	中	白	上の中	上	－	道北，道東北地方，これに準ずる山 間地の中生種。道央の早生種
穂数型	や短	や強	中	や密	黄白	黄白	有	短少	中	中	白	上の中	上の中	－	道中央部
穂数型	や長	中	中	や密	黄白	赤	無	－	中	中	淡白	中の中	上	－	道南の温暖地帯，特に日本海沿岸
穂数型	や長	強	中	や密	黄白	赤褐	無	－	中	中	濃白	中の中	上	－	道南温暖地帯
穂数型	短	強	中	や疎	黄白	黄白	無	－	や長	や大	淡白	極良	良	－	道央部，これに準ずる肥沃地
偏穂数型	中	中	や短	や密	黄白	黄白	有	中の中	や円	や小	銀白	中の上	良	－	上川，留萌および網走
穂数型	中	中	や長	や密	黄白	暗褐色	無	－	中	中	純白	良	良	89.0	石狩，空知，胆振，日高の「栄光」 の栽培されている地帯
中間型	短	中	中～ や長	や密	黄白	黄白	無	－	中	中	鈍銀白	良	良	88.8	空知中央部，上川北部およびこれに 準ずる地帯
中間型	中	や弱	中	や密	黄白	黄白	極稀	極短	中	中	や白	上の中	良	－	上川，留萌の北部および中央部の山 間地帯，ならびにこれに類似の地帯
穂数型	短	中	短	密	黄白	黄白	無	－	や円	や小	鈍銀白	良	良	86.5	空知，石狩，上川の道央部および類 似の地帯のとくにいもち病発生地帯
穂数型	中	や強	短	中	黄白	黄白	有稀	稀短	中	中	や白	上の中	良	－	上川中南部，留萌南部，空知全域お よびこれと類似の地帯
穂数型	や短	中	や長	中	黄白	黄白	無	－	中	中	鈍銀白	や良	－	－	中生種の作付けされている道内各地 帯，ならびに中晩生種地帯の冷水田
中間型	長	や弱	中	中	黄白	黄白	少	短	中	中	や鈍白	中の中	－	－	網走の「農林20号」栽培地帯および 十勝，上川北部，留萌北部の類似地 帯
穂数型	や短	中～ や弱	短	や密	黄白	黄白	無	－	や円	や小	や良	中の上	－	93.0	十勝，網走の全域，上川北部ならび にこれに準ずる地帯
穂数型	や短	や強	中	中	黄白	黄白	無	－	中	中	や良	上の中	良	89.4	網走，十勝の良地帯，上川，留萌の 山間部，道央部の早生地帯
偏穂数型	中	剛	長	中	黄白	淡褐色	有極稀	極短	中	や大	淡白	良	や良	91.0	渡島半島南部良地帯
穂数型	短	や剛	や長	や密	黄白	黄白	無	－	中	中	鈍銀白	上の中	や良	91.0	空知，石狩の「ほうりゅう」の安全 栽培良地帯，ならびに類似地帯
偏穂数型	短	剛	長	中	黄白	黄白	無	－	や長	や大	や白	上の中	良	90.5	上川，留萌のやや良～良地帯，空知， 石狩，後志，檜山のやや良地帯
穂数型	中	や強	中	や密	黄白	黄白	有	稀短	中	中	白	上の中	良	－	道央部
偏穂数型	や短	や強	や短	中	黄白	黄白	や少	や短	中	中	白	上の中	良	－	上川中央部，留萌全域，空知北部
穂重型	中	剛	長	や密	黄白	黄白	無	－	中	小	白	や良	良	－	渡島，檜山南部，胆振沿岸地帯
穂数型	や短	や強	中	中	黄白	黄白	や少	短	中	中	白	中の上～ 上	良	－	網走，十勝および上川，留萌の北部 で「はやもち」，「双豊糯」の作付け 地帯
偏穂数型	や短	や強	中	中	黄白	黄白	中	中	中	や大	白	上の中	中～や良	－	網走，十勝の中生種が作付けされて いる地帯
偏穂数型	や短	強	中	や密	黄白	黄白	極稀	極短	良	や大	良	上の中	や良	89.0	空知，石狩，後志，胆振，日高，道 南北部，上川南部の中生種地帯
偏穂数型	や短	や強	や長	中	黄白	黄白	無	－	中	中	淡白	良	良	90.0	留萌南部，上川中南部，道央部，道 南北部の移植栽培，中央部良地帯の 機械移植栽培

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
ふ っ くり ん こ	渡育240号	水稲 北海道うるち第55号 第 号	(2003)		道 南 農 試	「空系90242B」× 「上育418号」(ほし のゆめ)	晩生の早、良質・良食味、いもち耐 病性やや弱、障害型耐冷性強

2 大 麦

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
春 星	6号	大麦 北海道春第1号	1971 (1953)	1975	北 見 農 試	「ハルピン2条」× 「ホヘミヤ8号」	2角直立種、子実は殻皮やや厚し、 醸造用に適する
ほしまさり	訓系16号	大麦 北海道春第2号	1972	1993	北 見 農 試	「春星」×「女系8号」	大粒、良質で極めて多収、醸造用に 適する
りょうふう	北育19号	大麦 北海道春第4号 第2154号	1990 (1989)		北 見 農 試	「新田二条1号」× 「北育15号」	短稈、耐倒伏性強、原麦粗蛋白質含 量が低い、醸造品質が優れる、大麦 網斑病にやや弱い

3 裸 麦

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
マリモハダカ	北海春裸13号	裸麦 北海道春第1号	1971 (1966)	1999	北 見 農 試	「サナダ麦」×「北統 3号」	強稈、良質、耐病性強、多収、多条 播適応性大

4 ラ イ 麦

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
ベ ト ク ー ザ		ライ麦 北海道輸第1号	1971 (1939)		ド イ ツ	導入品種	長稈、多けつ、耐倒伏、良質、多収、 耐寒性、赤さび病や赤かび病にやや 弱い

5 小 麦

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
ハルヒカリ*	北見春2号	小麦 北海道春第1号 小麦農林104号	1971 (1965)	1996	北 見 農 試	(「Mida」×「Pilot」) ×「春播小麦農林75 号」	各種さび病に強く、品質はすこぶる 良い
ハルミノリ*	北見春17号	小麦 北海道春第2号 小麦農林111号	1971 (1969)	1981	北 見 農 試	「硬質小麦農林42号」 ×「北育1号」	さび病以外の病害には比較的強く、 安定多収である
ホクエイ	本系331	小麦 北海道秋第3号	1971 (1954)	1978	北 見 農 試	「赤錆不知1号」× 「東北67号」	耐寒、耐病性強く安定、粉質劣る、 多収
改良伊達早生		小麦 北海道秋第4号	1971 (1957)	1975	渡 島 支 場	伊達町広瀬弘夫氏裁 培の「伊達早生小麦」 から選抜	極早生、短稈、耐倒伏耐病性強、間 作に適する。耐冬性劣る
ムカコムギ*	北見11号	小麦 北海道秋第5号 小麦農林108号	1971 (1968)	1984	北 見 農 試	(「Kanred」×「ナン ブコムギ」)×「北成 9号」	黒目粒発生少、原粒性状・小麦粉性 状ともすぐれ、やや多収
イービス	(IBIS)	小麦 北海道秋第6号	1971 (1970)	1987	北 見 農 試	オランダより導入	晩生、耐倒伏性極強、耐冬性弱、ア ミロ粘度高い
ホロシロコムギ*	北見23号	小麦 北海道秋第7号 小麦農林114号	(1974)		北 見 農 試	「北系8」×「北海240 号」	短強稈、耐倒伏性強、穂重型、多収、 多肥密植で増収
タクネコムギ*	北見30号	小麦 北海道秋第8号 小麦農林115号	(1974)		北 見 農 試	「東北118号」×「北 系221」	早生、短稈、耐倒伏性強、粒の外見 品質良、アミロ粘度高い
チホクコムギ*	北見42号	小麦 北海道秋第9号 小麦農林126号 第337号	1983 (1981)		北 見 農 試	(「北見18号」×「北 見19号」)×「北系320」	良質、多収
ハルユタカ*	北見春47号	小麦 北海道春第10号 小麦農林130号 第1385号	1987 (1985)		北 見 農 試	(「Siete Cerros×Pal.1」)×「(Tob-8156(R)× ハルヒカリ)」	短強稈、多収
タイセツコムギ*	北見61号	小麦 北海道秋第11号 小麦農林136号 第3107号	1992 (1990)		北 見 農 試	「北系920」×「北見 42号」	めんの色相が良、製麺適性優れる、 耐雪性やや優れる、多収、耐倒伏性 やや劣る、赤かび病抵抗性やや弱

草 型	茎		穂					玄 米			品 質	食 味	搗 精 歩 合	栽 培 適 地	
	長短	強弱	長短	粒着 密度	稈色	稈先色	芒の 有無	芒の 長短	形状	大小					色 沢
穂数型	中	中	や長	や疎	黄白	黄白	少	短	や長	や大	や淡	中上	上下	91.0	檜山南部、渡島中・南部及びこれに 準ずる地帯

幼苗の色	穂の			芒の			子実の		耐 倒 伏 性	栽 培 適 地
	型	粒着密度	下垂度	有無	長短	色	大小	色		
濃緑	二条矢 羽根型	や密	や垂	多	長	黄	大	黄白	や弱	全道の二条大麦を栽培している地域
濃緑	二条矢 羽根型	や密	中	多	長	黄	大	黄白	や弱	全道の二条大麦を栽培している地域
やや濃	二条矢 羽根型	や密	中	多	長	淡黄	やや大	黄白	や強	北海道の二条大麦(子実用)の作付 け地帯

穂の 型	穂の		芒の			子実の		耐倒伏性	栽 培 適 地
	粒着密度	有無	長短	色	大小	色			
6条 (4角)	疎	多	長	黄	中	飴	強	網走, 上川	

稈の強弱	穂型	芒の		粒の		製粉歩合 (%)	越冬歩合 (%)	栽 培 適 地
		長短	多少	大小	色			
強	短大	長	多	大	灰青緑	91.4	92.0	全道一円に適する

叢性	株の 開閉	穂 の		芒の有無 多 少	葯色	稈色	粒 の			粒質	製粉性	耐病性		耐 倒 伏 性	栽 培 適 地
		型	粒着 密度				形	大小	色			赤さび 病	うどん こ病		
	閉	錐状	粗	長多	—	(白)	中	大	赤	硝子	(や良)	や強	中	中	全道栽培可能、硬質小麦としての特 性上主に網走、上川
	中	錐状	粗	長多	—	(白)	中	大	赤	硝子	(や良)	中	中~や強	中	網走、上川およびこれに準ずる地域
中間	閉	錐状	中	無	—	褐	短	大	赤	中間	—	強	中	中	十勝、網走支庁管内の肥沃地
直立	閉	紡錘状	中	無	—	黄白	中	大	赤	中間	—	や強	—	強	道南地方の限定
中間	閉	錐状	粗	短頂芒	—	褐	中	大	赤	中間	(や良)	や強	中	中	道南の極早生地帯を除く全道、とく に網走・十勝
匍匐	閉	棒状	密	無		(白)	短	大	赤	粉状~ 中間	(や良)	中	や強	極強	斜里郡、網走郡(美幌、津別を除く) 網走市南網走、その他冬枯少地帯
直立	閉	棒状	密	無	黄	黄	中	大	黄褐	中間	中	中	や強	強	道南の極早生地帯を除く全道、とく に肥沃地
中間	や開	錐状	中	無	黄	褐	短	大	赤	硝子	中	中	中	や強	早生品種として全道、とくに道央以 南
直立	閉	棍棒状	密	無	黄	淡黄	や円	や大	黄褐	粉状	中	(極強)	(中)	強	十勝、網走管内
	閉	錐状	や密	長多	黄	黄	中	や大	赤褐	硝子	良	強	強	強	全道の春播小麦栽培地帯
直立	閉	棒状	密	無	黄	淡黄	中	や大	黄褐	粉状	や高	(極強)	や強	や強	道央・道北の上川支庁管内の雪腐病 の危険が比較的少ない地帯

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
春のあけぼの*	北見春53号	小麦 北海道秋第12号 小麦農林139号 第417号	1995 (1993)	2001	北見農試	「北見春31号×北見春30号」×「北見春34号」	耐穂発芽性、製パン適性、外観品質が優れる。収量やや劣る。うどんこ病抵抗性やや劣る
ホクシン*	北見66号	小麦 北海道秋第13号 小麦農林142号 第494号	1996 (1994)		北見農試	「北見35号」×「北見42号」	やや早生、耐雪性、うどんこ病抵抗性やや強、耐穂発芽性やや優れる、製粉性、製めん適性優れる。
きたもえ*	北見72号	小麦 北海道秋第14号 小麦農林149号 第11237号	2003 (2000)		北見農試	「59045」×「北系1354」	コムギ縮萎縮病抵抗性、耐雪性やや強。穂発芽性が優れる。粉色、めん色優れる。粘弾性やや劣る。
はるひので*	北見春59号	小麦 北海道秋第15号 小麦農林150号 第11238号	2003 (2000)		北見農試	「北系春575」×「北系春533」	赤かび病抵抗性、耐倒伏性が優れる。多収で製パン性がやや優れる。うどんこ病抵抗性が劣り、製粉性がやや劣る。
春よ恋	HW1号	小麦 北海道春第16号 第8834号	2001 (2000)		ホクレン農業協同組合連合会	「ハルユタカ」/「S40a」 窮培養を利用した半数体育種法	多収でうどんこ病、赤かび病抵抗性、製パン性が優れる。耐倒伏性、製粉性がやや劣る。
キタノカオリ*	北海257号	小麦 北海道秋第17号 小麦農林158号 第11095号	2003 (2003)		北農研	「ホロシリコムギ」/ 「GK-Szemes」	赤さび病、うどんこ病抵抗性、耐倒伏性、製パン性が優れる。コムギ縮萎縮病抵抗性が劣る。収量性がやや劣る。

6 えん麦

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
前 進	(原名) オンワード	えん麦 北海道輸第1号	1971 (1942)		北海道農試	—	早熟、草丈やや低く、強稈、穂は長く中間型過熟になると穂首から折れ易い、稈率は高く、多収
ホナミ*	本系68号	えん麦 北海道第2号 えん麦農林2号	1971 (1959)	1987	北海道農試	「黒実」×「ビクトリー1号」	草丈低く強稈、稈率は「前進」より少ない
オホーツク*	北海1号	えん麦 北海道第3号 えん麦農林3号	1971 (1966)	1998	北海道農試	「ホナミ」×「前進」	やや晩生、散穂、強稈、耐倒伏性強
モイワ*	北海7号	えん麦 北海道第4号 えん麦農林4号	1973	1987	北海道農試	「S84×Milford」× 「前進」	散穂、やや早生、やや短稈、多収良質
アキユタカ*	北海21号	えん麦 北海道第5号 えん麦農林5号 第135号	1981 (1980)		北海道農試	「カーターズラクス タ」×「ニュートン」	初期伸長性がすぐれ、秋播緑肥用として生草及び乾物収量多い
アキワセ*	北海44号	えん麦 北海道第7号 えん麦農林6号 第2334号	1990 (1990)	2002	北海道農試	「本系989号」× 「Paramo」	極早生、多収、耐倒伏性強、冠さび病弱、牧草との同伴適性が優れる
ヒダカ*	北海47号	えん麦 北海道第6号 えん麦農林7号 第3106号	1992 (1990)	1998	北海道農試	「本系776号×Flamande」(Fi)×「本系434号×Sang」(Fi)	中生、多収、耐倒伏性強、冠さび病抵抗性弱

7 とうもろこし

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	組合せまたは 育成方法	主要特性
ゴールドクロス バンタム*	ゴールド クロスバンタム	とうもろこし(普) 北海道第1号	1971 (1956)	1999	米 国 (北海道農試)	「P39」×「P51B」	中生の晩、生食加工用、極良質
イエロースイート	札交5207	とうもろこし(普) 北海道第2号	1971 (1959)	1975	北海道立農試	「(C13×C30)」× (セルボア)	早生、生食用、良質
タナバタワセ	札交5322	とうもろこし(普) 北海道第3号	1971 (1959)	1975	北海道立農試	「黄早生」×「C13」	極早生、生食用
ゴールド ビューティ*	ゴールド ビューティ	とうもろこし(普) 北海道第4号	1971 (1963)	1999	米 国 (北海道農試)	「C13」×「Ma21547」	極早生、生食加工用
ホワイトワキシー	マンモス ホワイト ワキシー	とうもろこし(普) 北海道第5号	1971 (1966)	1975	北海道立農試	「(C339×マンモス ホワイトデントコー ン)」×「マンモス ホワイトデントコーン」	加工用、糯種
複 交 4 号	W275	とうもろこし(飼) 北海道第6号	1971 (1957)	1975	北海道立農試	「(W9×WM13R)」 ×「(W49×WH)」	早生、デント子実用、多収
交 4 号 *	月交193号	とうもろこし(飼) 北海道第7号	1971 (1957)	1978	北海道農試	「(N21×N19)」× 「T6」	早生、フリント子実用、初期生育良
交 6 号 *	月交431号	とうもろこし(飼) 北海道第8号	1971 (1962)	1986	北海道農試	「(D403×D405)」× 「(T102×T107)」	中生、セミデント、耐倒伏性
ジャイアンツ	本交3304	とうもろこし(飼) 北海道第9号	1971 (1962)	1978	北海道農試	「(WF9-T×W22)」 ×「青森エローデント」	晩生、デント、採播易
交 8 号 *	長交347号	とうもろこし(飼) 北海道第10号	1971 (1968)	1979	長 野 (十勝農試)	「岩手エローデント」 ×「W531-「(455× 466)」	晩生、初期生育良

叢性	株の開閉	穂の		芒の有無 多 少	蒴色	稈色	粒の			粒質	製粉性	耐病性		耐倒 伏性	栽培適地
		型	粒密				形	大小	色			赤さび 病	うどん こ病		
	閉	紡錘状	や密	多長	紫	黄	中	大	赤褐	硝子	中	強	や強	強	道央中部・北部及び道北地域
直立	閉	棒状	密	無	黄	淡黄	中	や大	黄褐	粉状	中	(強)	や強	強	全道
直立	閉	棒状	密	無	黄	淡黄	中	や大	黄褐	粉状	やや高	や弱	や強	強	全道のコムギ縮萎縮病発生地帯
	閉	紡錘状	や密	多長	紫	黄	中	かなり 大	赤褐	硝子	やや高	中	や弱	強	全道
	閉	紡錘状	や密	多長	黄	黄	長	大	赤褐	硝子	中	や強	強	中	全道
直立	かなり 閉	棒状	密	無	黄	淡黄	中	大	褐	硝子	中	かなり強	強	強	全道

幼苗の			稈		芒の有 無長短	穂の		粒の		耐倒 伏性	栽培適地
姿勢	葉色	葉幅	細太	剛柔		型	粒着密度	大小	色		
直立	や濃緑	中	や太	強	多長	中間	密	中	淡灰	強	全道一円
直立	濃緑	中	中	強	少中	散穂	密	中	淡黄白	強	さび病多発地帯を除く、全道一円
直立	濃緑	中	中	剛	中長	散穂	密	中	淡黄	強	宗谷、留萌、根釧のほか道内の倒伏頻発地帯
直立	緑	中	中	中	無	散穂	や密	中	淡黄	中	全道一円
直立	緑	中	中	中	少中	散	中	中	淡黄白	中	秋季の緑肥用、全道一円
直立	濃緑	中	細	中	極少中	散穂	中	中	淡黄	強	全道一円
直立	濃緑	中	太	中	極少短	散穂	密	中	淡黄	強	全道一円

初期生育	分けつ の 多 少	稈の長短	耐倒伏性	着穂高	粒の種類	粒色	絹糸色		栽培適地
							苞皮外	苞皮内	
中	多	中	弱	中	S	黄	無	無	道中央、道南
中	多	短	弱	低	S	黄	紅	紅	ゴールドクロスバンタム栽培地帯
良	中	極短	中	低	F、S混	黄	淡紅	無	都市近郊の早出し生食用
や良	微	極短	中	低	S	黄	淡紅	無	全道
—	—	長	中	高	Wx	白	—	—	道央、道南
や不良	無	中	中	中	D	黄	—	—	早生、道東道北の「坂下」に代る子実用デント
良	多	中	弱	中	F	橙黄	—	—	道東、道北部における子実用として「坂下」におきかえる
中	微	中	強	高	F、D	橙黄			道央以南子実用、道東北サイレージ用
中	無	長	弱	高	D	黄			全道の「エローデントコーン」におきかえる
良	無	長	弱	高	D	黄			十勝、網走サイレージ用

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	組合せまたは 育 成 方 法	主要特性	絹糸色		栽培適地
								苞皮外	苞皮内	
ハイゲンワセ*	道交16号	とうもろこし(飼) 北海道第11号 とうもろこし農林交15号	1973	1998	十勝農試	〔N19×CM7〕× 〔W41A×W79A〕	早生, 強稈, 機械化向			十勝, 網走, 上川北部, サイレージ用
ホクユウ*	北交22号	とうもろこし(飼) 北海道第12号 とうもろこし農林交16号	1974	1986	北海道農試	〔N85×N21〕× 〔T23×T24〕	初期生育, 登熟良			十勝, 網走, 釧路, サイレージ用
ピリカスイート	十生7号	とうもろこし(普) 北海道第13号 とうもろこし農林交19号	1975	1999	十勝農試	〔V574〕×〔Ma21547〕	早生, 缶詰加工用			全道
北 缶 3 号	HLC145	とうもろこし(普) 北海道第14号	1976	1999	北海製缶KK (十勝農試)	〔Me123〕×〔Ma2154 7〕	早生, 穂型良, 軸付冷凍用			全道
ワセホマレ*	道交S1号	とうもろこし(飼) 北海道第15号 とうもろこし農林交21号	1978	1998	十勝農試	〔N19×To15〕×〔C M37×CMV3〕	早生, 初期生育良, 強稈			道東北, サイレージ用
ウイスコンシン573	W573	とうもろこし(飼) 準輸交第1号	1971	1986	米 国 (中央農試)		晩生, デント, 強稈			道央・十勝, サイレージ用
バイオニア3620	P3620	とうもろこし(飼) 準輸交第2号	1971	1975	米 国 (中央農試)		晩生, 強稈			十勝, サイレージ用
エローデントコーン	本第1951号	とうもろこし(飼) 準輸交第3号	1971 (1923)	1975	北海道農事試		晩生, デント			北部, 東部の冷涼地を除く道内一円
マンモスホワイト デントコーン	本第2520号	とうもろこし(飼) 準輸交第4号	1971 (1923)	1975	北海道農事試		極晩生, デント, 未成熟			道央以南
P 3 7 1 5		とうもろこし(飼) 準輸交第5号	1974	1986	米 国 (北海道農試)		晩生, 耐倒伏性			道央・道南, サイレージ用
J X 1 8 8		とうもろこし(飼) 準輸交第6号	1976	1986	米 国 (北海道農試)		晩生, 耐倒伏性			道南, サイレージ用
C 5 3 5		とうもろこし(飼) 準輸交第7号	1976	1992	オランダ (北海道農試)		早生			十勝・網走・根釧内陸, サイレージ用
P 3 3 9 0		とうもろこし(飼) 準輸交第8号	1976	1986	米 国 (北海道農試)		晩生, 耐倒伏性			道南, サイレージ用
P 3 5 7 5		とうもろこし(飼) 準輸交第9号	1976	1986	米 国 (北海道農試)		晩生, 耐倒伏性			道南, サイレージ用
J X 1 6 2		とうもろこし(飼) 準輸交第10号	1977	1986	アメリカ Jacques See 社	単交雑	晩生, デント			道央・道南, サイレージ用
リ ザ	Liza	とうもろこし(飼) 準輸交第11号	1981	1994	フランス Pioneer 社	三系交雑	早生, セミデント			十勝, 網走, 根釧・道北の内陸
ワセミノリ	SH-250	とうもろこし(飼) 準輸交第12号	1982	1990	フランス ノースラップ キング種子会社	三系交雑	早生, セミデント			道北, 根釧, サイレージ用
ニューデント85日	SH-10	とうもろこし(飼) 準輸交第13号	1982	1990	フランス ノースラップ キング種子会社	単交雑	早生, セミデント			道北でC535の栽培地帯
ブルータス	MTC-1	とうもろこし(飼) 準輸交第14号	1982	1993	フランス ニッカーソン社 UCOPAC	三系交雑	早生, セミデント			十勝・網走, 根釧・道北の内陸
バッファロー	SH-145	とうもろこし(飼) 準輸交第15号	1982	1990	アメリカ PAGSeed 社	単交雑	中生, デント, 耐倒伏性			十勝・網走の内陸, 道央北部
ダイハイゲン*	道交S4号	とうもろこし(飼) 北海道第16号 とうもろこし農林交21号 第602号	1984 (1983)	1998	十勝農試	〔To9×To15〕× 〔W79A×RB262〕	早生, セミデント, 初期生育良			道東・道北・道央北部でC535の栽培地帯
R X 4 2	RX42	とうもろこし(飼) 準輸交第16号	1983	1996	アメリカ アスグロ種子 会	単交雑	中生, デント			十勝中部・道央北部
J X 9 2	JX92	とうもろこし(飼) 準輸交第17号	1983	1988	アメリカ Jacques Seed 社	単交雑	中生, デント			道央, 十勝中央
デントン	MTC-1C	とうもろこし(飼) 準輸交第18号	1984	1993	アメリカNorth AmericanPlant Breeders 社	単交雑	中生, デント, 耐倒伏性			道央(北部を除く), 道南
P 3 9 0 6	P3906	とうもろこし(飼) 準輸交第19号	1984	1998	アメリカ Pioneer 種 子 会 社	単交雑	中生, デント, 多収			道央地域(北部を除く)
ヒノデワセ*	道交S8号	とうもろこし(飼) 北海道第17号 とうもろこし農林交25号 第1209号	1986 (1985)	2002	十勝農試	〔N19×To38〕× 〔W41A×W79A〕	早生, セミデント, 耐倒伏性			道東・道北で早生品種の登熟が不十分な地帯
P 3 7 3 2	P3732	とうもろこし(飼) 準輸交第20号	1985	2001	アメリカ Pioneer 種 子 会 社	単交雑	中生, デント, 耐倒伏性			道央・道南地域
ロイヤルデント85	LG5	とうもろこし(飼) 準輸交第21号	1985	1995	フランス リマグラン社	複交雑	早生, セミデント			道北・網走・根釧の内陸, 十勝中央 部周辺
エ マ	PH1201	とうもろこし(飼) 準輸交第22号	1986		フランス Pioneer	単交雑	早生, セミデント			道北・根釧地域

初期生育	分けつの 多 少	稈の長短	耐倒伏性	着穂高	粒の種類	粒色	絹糸色		栽培適地
							苞皮外	苞皮内	
中	微	短	強	中	F, D	黄			十勝, 網走, 上川北部, サイレージ用
良	多	中	弱	や高	F	黄褐			十勝, 網走, 釧路, サイレージ用
中	少	極短	弱	低	S	黄	無	無	全道
中	中	極短	弱	低	S	黄	無	無	全道
良	微	短	強	や低	F, D	黄			道東北, サイレージ用
や不良	無	や長	や強	や高	D	黄			道央・十勝, サイレージ用
や不良	無	長	や強	中	D	黄			十勝, サイレージ用
—	微	長	中	高	D	黄			北部, 東部の冷涼地を除く道内一円
—	無	長	弱	高	D	白			道央以南
や不良	無	長	強	高	D	黄			道央・道南, サイレージ用
や不良	無	長	や強	高	D	黄			道南, サイレージ用
中	無	短	中	中	F, D	黄			十勝・網走・根釧内陸, サイレージ用
や不良	無	長	や強	高	D	黄			道南, サイレージ用
や不良	無	長	や強	高	D	黄			道南, サイレージ用
や不良	無	長	中	高	D	黄			道央・道南, サイレージ用
中	無	や短	中	中	F, D	黄	桃	緑	十勝, 網走, 根釧・道北の内陸
や不良	無	短	や弱	中	F, D	黄	桃	緑	道北, 根釧, サイレージ用
中	無	や短	中	中	F, D	黄	桃	緑	道北でC535の栽培地帯
や不良	無	や短	中	中	F, D	黄	桃	緑	十勝・網走, 根釧・道北の内陸
中	無	や長	強	や高	D	黄	緑	緑	十勝・網走の内陸, 道央北部
良	微	中	や強	中	F, D	黄	緑	緑	道東・道北・道央北部でC535の栽培地帯
中	無	や長	中	高	D	黄	緑	緑	十勝中部・道央北部
中	無	や長	中	高	D	黄			道央, 十勝中央
中	無	や長	や強	や高	D	黄	桃	緑	道央(北部を除く), 道南
中	無	や長	や強	や高	D	黄	緑	緑	道央地域(北部を除く)
良	微	短	や強	や低	F, D	黄	緑	緑	道東・道北で早生品種の登熟が不十分な地帯
中	無	や長	強	高	D	黄	桃	緑	道央・道南地域
中	無	短	や強	中	F, D	黄	桃	緑	道北・網走・根釧の内陸, 十勝中央 部周辺
良	無	短	や強	中	F, D	黄	緑	緑	道北・根釧地域

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	組合せまたは 育 成 方 法	主要特性
ソ ロ 1 0 0 H	TH211A	とうもろこし (飼) 準輸交第24号	1986	1993	西 ド イ ツ K W S 社	単交雑	中生, セミデント
P 3 7 4 7	PH3201	とうもろこし (飼) 準輸交第25号	1986	1999	ア メ リ カ Pioneer	単交雑	中生, デント, 多収, 耐倒伏性
メロディスweet*	十生13号	とうもろこし (普) 北海道第18号 とうもろこし農林交28号 第2272号	1990 (1987)	1999	十 勝 農 試	「G61D」×「Tos 2」	中生の早, 耐倒伏性, 缶詰加工用
ド リ ー ナ	PH2301	とうもろこし (飼) 準輸交第26号	(1987)	1998	ア メ リ カ パイオニア社	三系交雑	早生, デント, 初期生育やや劣る, すず紋病抵抗性弱
J X 4 7	SH3097	とうもろこし (飼) 準輸交第27号	(1987)	1991	ア メ リ カ J a c q u e s S e e d 社	単交雑	中生の晩, デント
コ ス タ ル	コスタル	とうもろこし (飼) 準輸交第28号	(1987)	1991	ア メ リ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	三系交雑	晩生の早, デント, 耐倒伏性
キ タ ユ タ カ *	北交42号	とうもろこし (飼) 北海道第19号 とうもろこし農林交29号 第2040号	1989 (1988)	2002	北 海 道 農 試	「W182EHt×Pa70- 5」×「CM91×914- 2」	中生, デント
3 7 9 0	PH3305	とうもろこし (飼) 準輸交第29号	(1988)	2002	ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	中生の中, デント, 耐倒伏性
O'S Gold 2570	O'S Gold2570	とうもろこし (飼) 準輸交第30号	(1988)	1996	ア メ リ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	三系交雑	晩生の晩, デント, すず紋病・ごま 葉枯病抵抗性
ロイヤルデント105T	TH200	とうもろこし (飼) 準輸交第31号	(1988)	1993	ア メ リ カ ア ト ロ ー ジ ャ ン 社	単交雑	晩生の中, デント
ロイヤルデントリンダ	TH82082	とうもろこし (飼) 準輸交第32号	(1988)	1997	ア メ リ カ ト ッ プ フ ァ ー ム 社	単交雑	中生の早, デント, 耐倒伏性
バ リ ア ン ト	OS104	とうもろこし (飼) 準輸交第33号	(1988)	1991	カ オ ナ セ コ 社	単交雑	中生の中, デント, 耐倒伏性
ヘイゲンミノリ*	道交S10号	とうもろこし (飼) 北海道第20号 とうもろこし農林交30号 第2338号	1990 (1989)	2002	十 勝 農 試	「66C 5-4×To15」 ×「CM91×CM174」	早生の晩, セミデント, 初期生育良, 耐倒伏性, 多収
キ タ ア サ ヒ *	北交43号	とうもろこし (飼) 北海道第21号 とうもろこし農林交31号 第2875号	1991 (1989)	2002	北 海 道 農 試	「914-2×CM174」 ×「Ho 3×Ho 4」	中生の早, セミデント, 初期生育良, 耐倒伏性
A N J O U 09	ANJOU09	とうもろこし (飼) 準輸交第34号	(1989)	1998	フ ラ ン ス リ マ グ ラ ン 社	三系交雑	早生の中, デント
ロイヤルデント コメット 8 0	LG2080	とうもろこし (飼) 準輸交第35号	(1989)	1997	フ ラ ン ス リ マ グ ラ ン 社	三系交雑	早生の早, デント
R X 4 2 0	H802238	とうもろこし (飼) 準輸交第36号	(1989)	1996	ア メ リ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	複交雑	中生の晩, デント
リ ビ ア	LIVIA	とうもろこし (飼) 準輸交第37号	(1990)	2002	ア メ リ カ パイオニア社	三系交雑	早生の中, セミデント
3 5 4 0	VALERIA	とうもろこし (飼) 準輸交第38号	(1990)		ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	晩生の中, デント
デ ュ ー ク	HS11号	とうもろこし (飼) 準輸交第39号	(1991)	1999	ア メ リ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	単交雑	晩生の早, すず紋病抵抗性, 耐倒伏 性
A W 6 1 1	AW611	とうもろこし (飼) 準輸交第40号	(1991)	2000	ア メ リ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	単交雑	早生の晩, セミデント
D K 4 6 4	EXP-646	とうもろこし (飼) 準輸交第41号	(1991)	1998	ア メ リ カ デ カ ル プ ラ ン ト ジ ェ ネ テ ィ ッ ク ス 社	単交雑	中生の晩, デント
D K 5 3 5	EXP-654	とうもろこし (飼) 準輸交第42号	(1991)	1998	ア メ リ カ デ カ ル プ ラ ン ト ジ ェ ネ テ ィ ッ ク ス 社	単交雑	晩生の中, デント
カーギル1 2 3	SX123	とうもろこし (飼) 準輸交第43号	(1992)		ア メ リ カ カ ー キ ル イ ン コ ー ポ レ テ ッ ド 社	単交雑	中生の早, デント
3 8 9 7	X C D 78	とうもろこし (飼) 準輸交第44号	(1992)	2000	ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	中生の早, デント
スイートメモリー*	十生24号	とうもろこし (普) 北海道第22号 とうもろこし農林交32号 第4589号	1995 (1993)	2003	十 勝 農 試	「87:13」×「Tos12」	中生の中, 缶詰加工用
セ リ ア	X C P D 76	とうもろこし (飼) 準輸交第45号	(1993)	2004	フ ラ ン ス パイオニア社	単交雑	早生の晩, デント
コ ラ リ ス	コラリス	とうもろこし (飼) 準輸交第46号	(1993)	1998	フ ラ ン ス コ ー プ ・ ド ・ ポ	三系交雑	早生の中, セミデント

初期生育	分けつ の 多 少	稈の長短	耐倒伏性	着穂高	粒の種類	粒色	絹糸色		栽培適地
							苞皮外	苞皮内	
中	無	中	や強	中	F, D	黄	鮭	緑	十勝・網走の気象条件の良い地帯・ 道央北部
や不良	無	や長	中	や高	F, D	黄	緑	緑	道央地域
や不良	無	や長	や強	や高	D	黄	桃	緑	道央・道南地域
中	少	中	強	低	S	濃黄	白	白	十勝中部, 道央中部及び北部, 網走 内陸部
中		短	中	や高	D	黄			十勝, 網走, 道北 (山麓, 沿海除く), 道央北部, 釧路内陸部
中		中	強	中	D	黄			道央, 道南
中		長	強	高	D	黄			道央 (北部を除く), 道南
や良		中	や強	や高	D	黄			道央, 道南
中		や長	強	高	D	黄			道央, 道南
や不良		長	や強	高	D	黄			道央 (北部を除く), 道南
良		長	中	高	D	黄			道央 (北部を除く), 道南
中		長	強	高	D	黄			十勝中部, 道央北部
中		長	強	や高	D	黄			十勝中部, 網走内陸部, 道央北部
や良		中	強	中	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸部, 道央北部
や良		中	強	中	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸部, 道央北部
中		短	や強	や低	D	黄			根釧内陸, 道北, 十勝山麓・沿海地 帯
中		や短	中	や低	D	黄			根釧, 道北, 十勝山麓・沿海地 帯
や不良		長	強	高	D	黄			道央地域
中		短	中	や高	F, D	黄			道北の気象条件の良い所, 十勝中部, 網走内陸部
良		長	強	高	D	黄			道央 (北部を除く), 道南地域
中		や長	強	や高	S	黄			道央, 十勝中部
中		中	や強	中	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸部, 道北, 根釧 の気象条件の良好な地帯
中		中	や強	中	D	黄			道央 (北部を除く), 道南地域
中		中	強	中	D	黄			道央 (北部を除く), 道南 (八雲を 除く) の気象条件の良好な地帯
や良		や長	強	高	D	黄			十勝中部の気象条件の良好な地帯
や良		長	強	高	D	黄			道央地帯
中	少	や長	や強	高	S	黄	白	白	道央, 十勝中部, 網走内陸部, 道南
中		や長	中	高	D	黄			十勝中部, 道央北部, 網走内陸部の 気象条件の良好な地帯
中		中	や強	中	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸部, 根釧の気 象条件の良好な地帯

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性	絹糸色		栽培適地
								苞皮外	苞皮内	
3 4 7 7	3 4 7 7	とうもろこし (飼) 準輸交第47号	(1993)		ア メ リ カ カ ー キ ル イ ン コ ー ポ レ テ ッ ド 社	単交雑	中生の中, デント			道央 (北部を除く), 道南
マ ー キ ス	HS14号	とうもろこし (普) 準輸交第48号	(1994)	1999	ア メ リ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	単交雑	早生の中, 缶詰加工用, すず紋病抵抗性			北海道一円
ラ イ サ	X9033	とうもろこし (飼) 準輸交第49号	(1994)	2000	フ ラ ン ス バ イ オ ニ ア 社	単交雑	中生の中, デント			道央
3 8 4 5	3845	とうもろこし (飼) 準輸交第50号	(1994)	2004	ア メ リ カ バ イ オ ニ ア 社	単交雑	中生の晩, デント			道央, 道南
ゴールデンデント D K 3 0 0	DK300	とうもろこし (飼) 準輸交第51号	(1994)	2002	ア メ リ カ デ カ ル プ プ ラ ン ト ジ ェ ネ テ ィ ッ ク ス 社	単交雑	中生の早, セミデント, 多収			道央北部, 十勝中部, 網走内陸部の気象条件の良好な地帯
サマースイート*	十生26号	とうもろこし (普) 北海道第23号 とうもろこし農林交36号 第6622号	1998 (1995)	2002	十 勝 農 試	「Tos10」×「87:14」	早生の早, 缶詰加工用		白	北海道一円
スイートエール*	十生27号	とうもろこし (普) 北海道第24号 とうもろこし農林交37号 第6623号	1998 (1995)	2002	十 勝 農 試	「86:206」×「Tos14」	早生の中, 缶詰加工用		白	北海道一円
ロイヤルデント90H	TH8913	とうもろこし (飼) 準輸交第52号	(1995)	2004	ア メ リ カ ア グ リ セ ネ テ ィ ッ ク ス 社	単交雑	中生の早, セミデント			道央北部, 十勝中部, 網走内陸部の気象条件の良好な地帯
D K 2 1 2	SH2112	とうもろこし (飼) 準輸交第53号	(1996)	2002	フ ラ ン ス デ カ ル プ ジ ェ ネ テ ィ ッ ク ス コ ー ポ レ ー シ ョ ン 社	単交雑	早生の中, セミデント			道央北部, 十勝, 網走地域および根釧, 道北の気象条件の良好な地域
ピ ャ シ リ 85	SH1302	とうもろこし (飼) 準北海道交第54号	(1996)		雪 印 種 苗 株 式 会 社	単交雑	早生の晩, セミデント			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
L G 2 2 9 0	HE9138	とうもろこし (飼) 準輸交第55号	(1996)		フ ラ ン ス リ マ グ レ イ ン 社	単交雑	早生の晩, セミデント			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
D K 4 7 4	PP1460	とうもろこし (飼) 準輸交第56号	(1996)	2003	ア メ リ カ デ カ ル プ ・ プ ラ ン ト ・ ジ ェ ネ テ ィ ッ ク ス 社	単交雑	晩生の早, デント			道央中部, 南部および道南の気象条件の良好な地域
D K 4 0 1	DK401	とうもろこし (飼) 準輸交第57号	(1996)	2002	ア メ リ カ デ カ ル プ ・ プ ラ ン ト ・ ジ ェ ネ テ ィ ッ ク ス 社	単交雑	中生の晩, デント			道央中部, 南部および道南
ロイヤルデントオーロラ82	TH9128	とうもろこし (飼) 準輸交第58号	(1997)	2004	ド イ ツ ク ラ イ ン ワ ン ツ レ ー ベ ン 育 種 株 式 会 社	単交雑	早生の中, セミデント			十勝, 道央北部, 網走地域ならびに道北の気象条件の良好な地域
ディアHT	ディアHT	とうもろこし (飼) 準輸交第59号 第5853号	(1997)		ア メ リ カ バ イ オ ニ ア 社	単交雑	早生の晩, セミデント			十勝中部, 道央北部および網走内陸地域
ノ ル ダ	ノルダ	とうもろこし (飼) 準輸交第60号	(1998)		ア メ リ カ バ イ オ ニ ア 社	三系交雑	早生の中, セミデント			十勝, 網走地域ならびに根釧, 道北の気象条件の良好な地域
ピ リ カ 90	SL9305	とうもろこし (飼) 準北海道交第61号	(1998)		雪 印 種 苗 株 式 会 社	単交雑	早生の晩, セミデント			十勝中部, 道央北部および網走内陸地域
ク ラ リ カ	3893	とうもろこし (飼) 準輸交第62号	(1998)		ア メ リ カ バ イ オ ニ ア 社	単交雑	中生の中, デント			道央地域
K D 3 5 4	KD354	とうもろこし (飼) 準輸交第63号	(1999)		ド イ ツ ク ラ イ ン ワ ン ツ レ ー ベ ン 育 種 株 式 会 社	単交雑	早生の晩, セミデント			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
ロイヤルデント85H	TH9434	とうもろこし (飼) 準輸交第64号	(1999)	2003	ド イ ツ ク ラ イ ン ワ ン ツ レ ー ベ ン 育 種 株 式 会 社	三系交雑	早生の晩, セミデント			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
ノ ベ タ	ノベタ	とうもろこし (飼) 準輸交第65号	(2000)		フ ラ ン ス バ イ オ ニ ア 社	単交雑	早生の晩, フリントデント			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
ロイヤルデントアポロ90	TH9597	とうもろこし (飼) 準輸交第66号	(2000)		フ ラ ン ス フ ラ ン ス ・ カ ナ ダ セ メ ン シ ス 社	単交雑	早生の晩, セミデント			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
D K 4 8 3	SH6547	とうもろこし (飼) 準輸交第67号	(2000)		ア メ リ カ デ カ ル プ ・ プ ラ ン ト ・ ジ ェ ネ テ ィ ッ ク ス 社	単交雑	晩生の早, デント			道央 (北部を除く) および道南地域
D K 5 6 6	DK566	とうもろこし (飼) 準輸交第68号	(2000)	2004	ア メ リ カ デ カ ル プ ・ プ ラ ン ト ・ ジ ェ ネ テ ィ ッ ク ス 社	単交雑	晩生の中, デント			道央 (北部を除く) および道南地域
モノボル85	TH9623	とうもろこし (飼) 準輸交第69号	(2001)		ド イ ツ ク ラ イ ン ワ ン ツ レ ー ベ ン 社	単交雑	早生の晩, セミデント			十勝中部, 網走内陸, 道央北部
3 5 G 8 6	X1045T	とうもろこし (飼) 準輸交第70号	(2001)		ア メ リ カ バ イ オ ニ ア 社	単交雑	晩生の早, デント			道央 (北部を除く), 道南
カリメラ	カリメラ	とうもろこし (飼) 準輸交第72号	(2002)		ア メ リ カ バ イ オ ニ ア 社	単交雑	早生の晩, セミデント			十勝中部, 網走内陸
ジェレミス	JEREMIS	とうもろこし (飼) 準輸交第73号	(2002)		フ ラ ン ス ボ ー ・ セ マ ー ス 社	単交雑	中生の早, セミデント			道央北部, 十勝中部および網走内陸の気象条件の良好な地域
3 6 A 4 3	36A43	とうもろこし (飼) 準輸交第71号	(2002)		ア メ リ カ バ イ オ ニ ア 社	単交雑	中生の晩, デント			道央 (北部を除く), 道南

初期生育	分けつ 多 少	稈の長短	耐倒伏性	着穂高	粒の種類	粒色	絹糸色		栽培適地
							苞皮外	苞皮内	
や良		や長	や強	や高	D	黄			道央 (北部を除く), 道南
や良		や短	中	中	S	黄			北海道一円
中		や長	強	高	D	黄			道央
や良		中	強	高	D	黄			道央, 道南
や良		中	強	や高	F, D	黄			道央北部, 十勝中部, 網走内陸部の気象条件の良好な地帯
や良	少	短	や強	や高	S	黄	白	白	北海道一円
や良	少	や短	や強	や高	S	黄	白	白	北海道一円
や良		や長	強	中	D	黄			道央北部, 十勝中部, 網走内陸部の気象条件の良好な地帯
や劣		や短	強	や低	F, D	黄			道央北部, 十勝, 網走地域および根釧, 道北の気象条件の良好な地域
中		中～や長	や強	や高	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
中		や長	や強	高	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
中		中～短	中	低	D	黄			道央中部, 南部および道南の気象条件の良好な地域
や劣		長	強	高	D	黄			道央中部, 南部および道南
中		高	強	高	F, D	黄			十勝, 道央北部, 網走地域ならびに道北の気象条件の良好な地域
中～や劣		高	や強	高	F, D	黄			十勝中部, 道央北部および網走内陸地域
や劣		や高	中	高	F, D	黄			十勝, 網走地域ならびに根釧, 道北の気象条件の良好な地域
中		高	や強	高	F, D	黄			十勝中部, 道央北部および網走内陸地域
中		高	や強	高	D	黄			道央地域
中		や高	中	や高	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
や劣		中	中	高	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
や劣		高	中	高	F	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
や劣		中	中～や強	低	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部地域
良		短	中～や強	中～や低	D	黄			道央 (北部を除く) および道南地域
中～や劣		中	中	中	D	黄			道央 (北部を除く) および道南地域
良		や長	中	中	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸, 道央北部
良		長	中	長	D	黄			道央 (北部を除く), 道南
や不良		長	中	長	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸
や良		長	中	長	F, D	黄			道央北部, 十勝中部および網走内陸の気象条件の良好な地域
や不良		中	や強	長	D	黄			道央 (北部を除く), 道南

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
お お ぞ ら *	北交55号	とうもろこし (飼) 北海道交第25号 とうもろこし農林交56号 第 号	(2002)		北海道農研	単交雑	中生の中, セミデント
ピ ス カ	X0826X	とうもろこし (飼) 準輸交第74号	(2003)		ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	早生の中, セミデント
リ ッ チ モ ン ド	HE9815	とうもろこし (飼) 準輸交第75号	(2003)		フ ラ ン ス リマグレイ社	単交雑	早生の中, セミデント
S L 9 8 5 1	SL9851	とうもろこし (飼) 準北海道交第76号	(2003)		雪 印 種 苗 株 式 会 社	単交雑	早生の晩, セミデント
T H 9 8 6 1	TH9861	とうもろこし (飼) 準輸交第77号	(2003)		フ ラ ン ス フランス・カナダ セメンセス社	単交雑	中生の早, セミデント
チ ベ リ ウ ス	HK9851	とうもろこし (飼) 輸交第26号	(2004)		ド イ ツ クラインワン ツレーベン社	単交雑	早生の中, セミデント
ネ オ 85	TH9952	とうもろこし (飼) 輸交第27号	(2004)		ド イ ツ クラインワン ツレーベン社	単交雑	早生の晩, セミデント
3 6 B 0 8	36B08	とうもろこし (飼) 輸交第28号	(2004)		ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	中生の晩, デント

8 大 豆

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
吉 岡 大 粒	本第2065号	大豆 北海道第1号	1971 (1914)	1981	北海道農事試	在来種, 別名「大袖振」	枝豆用, 食味佳良, 扁球, 大粒, 黄緑色粒, 臍黒色
中 生 光 黒	十支第963号	大豆 北海道第2号	1971 (1933)		十 勝 支 場	在来種 (本別町産) 1993年「中粒光黒」と命名, 1935年「中生光黒」と改名	中生の晩, 煮豆用, 食味佳良, 淡褐毛, 白花, 大粒, 黒色粒, 多収
白 鶴 の 子	渡支第1939号	大豆 北海道第3号	1971 (1934)	1996	渡 島 支 場	「鶴の子」在来種から純系分離	長稈, 極晩生, 白目極大粒の良質品種
奥 原 1 号	十育51号	大豆 北海道第4号	1971 (1940)	1984	十 勝 支 場	「奥原大豆」より純系分離	早生種, 耐冷性強, マメシンクイガ被害多, 褐毛, 赤紫花, 黄白色中粒
早 生 緑	北支第4014号	大豆 北海道第5号	1971 (1954)	1999	北 見 支 場	在来種 (天塩産) から系統選抜	早生種の晩, 枝豆用, 食味佳良, 白花, 着莢密, 淡黄緑色, 大粒, 臍黒色
坂 本 早 生	大野在来-B	大豆 北海道第6号	1971 (1954)	1981	渡 島 支 場	在来種 (大野村, 坂本重太郎氏栽培)	極早生, 極短稈の鞍掛け (淡黄色地に黒色斑) 種で, 食味良好な枝豆用品種
北 見 白	系50-A	大豆 北海道第7号	1971 (1956)	2002	北 見 支 場	「十勝長葉」×「大谷地2号」	中生種, 耐冷性強, 強茎, 多収, 褐毛, 赤紫花, 黄白色中粒, 臍暗褐色
イ ス ズ	系83-B	大豆 北海道第8号	1971 (1957)	1981	北 見 支 場	「十勝長葉」×「大谷地2号」	中生種の早, 耐冷性強, 強茎, 長茎, 褐毛, 赤紫花, やや黄白粒
ホ ッ カ イ ハ ダ カ *	十育77号	大豆 北海道第9号	1971 (1958)	1975	十 勝 支 場	「十勝長葉」×「中生裸」	中生種, 黄色, 小粒, マメシンクイガ被害小, 良質
カ リ カ チ *	十育87号	大豆 北海道第10号	1971 (1959)	1975	十 勝 支 場	「十勝長葉」×「上春別在来」	中生種, 黄色, 中粒, 耐冷性強
コ ガ ネ ジ ロ *	十育95号	大豆 北海道第11号 大豆農林23号	1971 (1961)	1984	十 勝 支 場	「紫花4号」×「十勝長葉」	晩生種の早, 強茎, 多収, 半無限型, 長葉, 白毛, 黄色小粒, 臍黄色
ア サ ミ ド リ	大袖振-1	大豆 北海道第12号	1971 (1962)	1981	十 勝 支 場	在来種 (帯広市産)	中生種, 枝豆用, 多収, 長茎, 赤紫花, 褐毛, 淡黄緑大粒, 臍黒色
ワ セ コ ガ ネ *	十育97号	大豆 北海道第13号 大豆農林33号	1971 (1964)	1984	十 勝 農 試	「紫花4号」×「十勝長葉」	早生種の晩, 機械化栽培向, 強茎, 半無限型, 主茎型, 密植適応性大
オ シ ロ マ メ *	札育12号	大豆 北海道第14号 大豆農林34号	1971 (1964)	1975	北 海 道 農 試	「十勝長葉」×「黄宝珠」	長茎 (無限伸育型) で円葉の極晩生種, 白目中粒の良質多収品種
ホ ウ ラ イ *	十育109号	大豆 北海道第15号 大豆農林37号	1971 (1965)	1978	十 勝 農 試	「下田不知1号」×「十育71号」	晩生種, ダイズシストセンチュウ抵抗性, 長茎, 分枝数多, 白目中粒
ト ヨ ス ズ *	十育118号	大豆 北海道第16号 大豆農林43号	1971 (1966)	1993	十 勝 農 試	「下田不知1号」×「十支第7910号」	中生種の晩, ダイズシストセンチュウ抵抗性強, 短強茎, 白目大粒, 良質
キ タ ム ス メ *	十育112号	大豆 北海道第17号 大豆農林49号	1971 (1968)		十 勝 農 試	「カリカチ」×「北見白」	中生種, 耐冷性強, 多収, 中茎, 褐毛, 赤紫花, 黄白色中粒, 臍暗褐色
ユ ウ ツ ル *	中育3号	大豆 北海道第18号 大豆農林55号	1971		中 央 農 試	「鶴の子」在来種から系統分離	やや長茎で円葉の晩生種, 白目極大粒 (鶴の子種) の良質多収品種

初期生育	分けつ 多 少	稈の長短	耐倒伏性	着穂高	粒の種類	粒色	絹糸色		栽培適地
							苞皮外	苞皮内	
良		長	強	長	F, D	黄			道央 (北部を除く), 道南
中		長	中	長	F, D	黄			道央北部, 十勝, 網走
中		中	中	や低	F, D	黄			道央北部, 十勝, 網走
や不良		や長	中	中	F, D	黄			十勝中部の気象条件の良好な地域
中		長	や強	長	F, D	黄			十勝中部の気象条件の良好な地域
中		や長	中	中	F, D	黄			道央北部, 十勝, 網走
中		中	中	中	F, D	黄			道央北部, 十勝中部および網走内陸の気象条件の良好な地域
中～や不良		低	中	中	D	黄			道央 (北部を除く), 道南

子葉の色	胚軸色	草姿	葉形	毛茸		花色	熟莢色	粒の				栽培適地
				有無	色			形	大小	色	臍部の色	
黄	緑	や開張	円葉	有	淡褐	白	褐	扁球	大	黒 光沢強	黒	子実用としては気象冷涼な地方に適し, 枝豆用としては全道各地の栽培に適する
黄	緑	有限	円葉	有	白	白	淡褐	扁球	極大	黄白	濃黄	道央以北
黄	緑	有限	円葉	有	白	白	淡褐	扁球	極大	黄白	濃黄	道南 (渡島, 檜山) に適する限定優良品種
黄	紫	や開張	円葉	有	褐	赤紫	暗褐	球	中	黄白	暗褐	道東部および北部の初霜が早く, 生育期間の短い地帯の栽培に適する
黄	緑	開張	円葉	有	褐	白	褐	扁球	大	淡黄緑	黒	道北, 道東における子実用として「吉岡大粒」に比べて安全に収穫できる。枝豆用としては全道各地に適する
黄	緑	有限	円	有	褐	赤紫	淡褐	扁楕円球	中	淡緑地に 黒のクラ カケ斑	黒	早生であるため適地の範囲は広いが, 都市近郊あるいは道南地方の蔬菜地帯に栽培する
黄	紫	開張	円葉	有	褐	赤紫	褐	球	中	黄白	暗黒	上川の北部, 十勝, 網走支庁管内等の道東, 道北地帯および道央の山麓地帯
黄	紫	直立	長葉	無	褐	赤紫	褐	球	小	や黄	褐	道東, 道北地帯の冷害に遭遇しやすい地方, および降霜の早い地方, 道央の山麓地帯で前者に類似の地帯
黄	紫	直	長楕円	有	—	紫	褐	球	小	黄	黒褐	十勝内陸地帯
黄	紫	直	楕円	有	褐	紫	褐	球	中	黄	黒褐	道南および極端な冷涼地を除いた全道一円
黄	紫	直立	長葉	有	白	赤紫	淡褐	球	小	黄 光沢強	黄	「北見白」の栽培されている十勝, 上川南部の中晩生種地帯
黄	紫	や開張	円葉	有	褐	赤紫	褐	扁球	大	淡黄緑	黒	子実用は道東地帯, 枝豆用は全道各地
黄	紫	直立	円葉	有	白	赤紫	淡褐	球	小	黄 光沢強	黄	十勝の山麓, 沿海, 網走のオホーツク沿海とそれに類似の早生種地帯
黄	緑	無限伸育型	円	有	白	白	淡褐	球	中	黄	黄	道央部以南 (石狩南部, 後志, 渡島, 檜山)
黄	紫	開張	円葉	有	白	赤紫	淡褐	や扁球	中	黄白	黄	全道のシストセンチュウの被害が認められる中晩生種地帯
黄	紫	直立	円葉	有	白	赤紫	淡褐	や扁球	大	黄白	黄	十勝, 網走のダイズシストセンチュウの被害地帯, とくに中央部で倒伏する地帯
黄	紫	や開張	円葉	有	褐	赤紫	褐	球	中	黄白	暗褐	十勝・上川および網走中央部
黄	緑	有限伸育型	円	有	白	白	褐	や扁球	極大	黄白	濃黄	石狩, 空知の中南部, 後志南西部, 胆振, 日高, 渡島, 檜山の各地

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
茶 小 粒	本第2429号	大豆 北海道第20号	1971 (1926)	1984	北海道農事試	在来種	極晩生種、緑肥および青刈飼料用、茎葉の繁茂旺盛で生草収量多い
ヒメユタカ*	十育161号	大豆 北海道第21号 大豆農林61号	1976	1987	十 勝 農 試	「十育129号」×「カリカチ」	中生種、中茎、枯上良、赤紫花、白毛、白色大粒、白目、多収
キタコマチ*	十育167号	大豆 北海道第22号 大豆農林64号	1978	1993	十 勝 農 試	「十育129号」×「トヨスズ」	早生種、短強茎、分枝数小、草姿は「トヨスズ」に類似し、白目中粒
ユウヒメ*	中育8号	大豆 北海道第23号 大豆農林68号	1979	1996	中 央 農 試	「奥原1号」×「木造在来」	中生種、白目、極大粒の良質、多収品種
キタホマレ*	十育171号	大豆 北海道第24号 大豆農林70号 第200号	1982 (1980)	2002	十 勝 農 試	「十育114号」×「カリカチ」	中生種の晩、耐冷性強、多収、中粒種（秋田銘柄）、臍暗褐色
スズヒメ*	十育182号	大豆 北海道第25号 大豆農林71号 第199号	1982 (1980)	2002	十 勝 農 試	「PI84751」×「コガネジロ」	中生の早、白目中粒、強茎、圃場では裂莢難、ダイズシストセンチュウ抵抗性極強、納豆加工適性
コマムスメ*	中育9号	大豆 北海道第26号 大豆農林78号 第343号	1983 (1982)	1993	中 央 農 試	「オシマシロメ」×「十交3612」	晩生種、白目、大粒の多収品種
ツルコガネ*	中育14号	大豆 北海道第27号 大豆農林79号 第895号	1985 (1984)	1999	中 央 農 試	「中育1号」×「黄宝珠」	中生の晩、大粒、極淡褐目、ダイズわい化病抵抗性
トカチクロ*	十育184号	大豆 北海道第28号 大豆農林80号 第896号	1985 (1984)		十 勝 農 試	「十育122号（キタムスメ）」×「中生光黒」	中生種、安定多収、黒大豆（光黒銘柄）
トヨムスメ*	十育191号	大豆 北海道第29号 大豆農林81号 第1216号	1986 (1985)		十 勝 農 試	「十系463号」×「トヨスズ」	中生、ダイズシストセンチュウおよび黒根病抵抗性、短強茎、白目中～大粒
スズマル*	中育19号	大豆北海道第30号 だいち農林89号 第2043号	1989 (1988)		中 央 農 試	「十育153号」×「納豆小粒」	中生、白目小粒、耐倒伏性、納豆加工適性良、ダイズシストセンチュウ抵抗性弱、ダイズわい化病抵抗性弱
トヨコマチ*	十育205号	大豆北海道第31号 だいち農林90号 第2042号	1989 (1988)		十 勝 農 試	「樺太1号」×「トヨスズ」	中生の早、白目中～大粒、良質、ダイズシストセンチュウ抵抗性強、低温抵抗性強、着色粒発生少、黒根病抵抗性弱、ダイズわい化病抵抗性弱
ツルムスメ*	中育24号	大豆北海道第32号 だいち農林94号 第2876号	1991 (1990)		中 央 農 試	「中系67号」×「中育12号」	中生、白目極大粒、良質、ダイズわい化病抵抗性やや強、耐倒伏性強、ダイズシストセンチュウ抵抗性弱、茎疫病弱
カリユタカ*	十育214号	大豆北海道第33号 だいち農林95号 第3293号	1992 (1991)		十 勝 農 試	「ヒメユタカ」×「ClarkDt 2」	中生、難裂莢性、白目中粒、良質、ダイズ黒根病抵抗性強、ダイズシストセンチュウ・わい化病・茎疫病抵抗性弱
音 更 大 袖	音更大袖	大豆 準北海道第1号	(1991)		(十勝農試)	「大袖振」在来種からの系統選抜	中生、あお豆、多収良質、ダイズシストセンチュウ・わい化病抵抗性弱
大 袖 の 舞 *	十育216号	大豆北海道第34号 だいち農林98号 第4116号	1994 (1992)		十 勝 農 試	「十育186号」×「トヨスズ」	中生、あお豆、白目大粒、多収良質、耐倒伏性強、耐倒伏性強、黒根病抵抗性強、ダイズシストセンチュウ抵抗性強、ダイズわい化病抵抗性弱
トヨホマレ*	十育220号	大豆北海道第35号 だいち農林99号 第5131号	1996 (1994)		十 勝 農 試	「キタホマレ」×「十育206号」	中生、白目良質、安定多収、着色・裂皮少、耐倒伏性強、ダイズシストセンチュウ抵抗性弱、ダイズわい化病抵抗性弱
いわいくろ*	中育39号	大豆北海道第36号 だいち農林107号 第9796号	2002 (1998)		中 央 農 試	「晩生光黒」×「中育21号」	中生、極大粒黒大豆、裂皮中、耐倒伏性中、ダイズシストセンチュウ抵抗性弱、ダイズわい化病抵抗性やや強
ハヤヒカリ*	十育227号	大豆北海道第37号 だいち農林108号 第9797号	2002 (1998)		十 勝 農 試	「十系679号」×「キタホマレ」	中生の早、褐目中粒良質、耐冷性強、耐倒伏性強、難裂莢、難裂皮、密植多収、ダイズシストセンチュウ抵抗性弱、ダイズわい化病抵抗性弱
ユキホマレ*	十育233号	大豆北海道第38号 だいち農林118号 第12279号	2004 (2001)		十 勝 農 試	「十系783号」×「十系780号」	中生の早、白目中粒良質、耐冷性強、耐倒伏性強、難裂莢、臍周辺着色抵抗性強、ダイズシストセンチュウ抵抗性強、ダイズわい化病抵抗性弱
ユキシズカ*	十育234号	大豆北海道第39号 だいち農林124号 第 号	(2002)		十 勝 農 試	「吉林15号」×「スズヒメ」	中生の早、白目小粒、納豆加工適性良、耐倒伏性強、臍周辺着色抵抗性強、ダイズシストセンチュウ抵抗性強、ダイズわい化病抵抗性中

9 小 豆

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
茶 殻 早 生	本第2336号	小豆 北海道第2号	1971 (1914)	1990	北農試本場	在来種（十勝産）	極早生種、草丈低く、葉は円形、熟莢は褐色、子実は赤色で小粒である
早 生 大 粒 1 号	十育5号	小豆 北海道第3号	1971 (1930)	1981	十 勝 支 場	純系淘汰（「早生大粒」より）	中生種、草丈中位で葉は円形、熟莢は灰白色、子実は大粒で濃赤色
円 葉 1 号	十育42号	小豆 北海道第4号	1971 (1937)	1975	十 勝 支 場	「円葉」の純系淘汰	中生種、熟莢は黒褐色、子実は赤色、中粒、品質良好

子葉の色	胚軸色	草姿	葉形	毛茸		花色	熟莢色	粒の				栽培適地
				有無	色			形	大小	色	臍部の色	
黄	紫	直	小楕円	有	褐	紫	褐	球	小	黄	褐	十勝地方および類似の地帯の青刈用
黄	紫	開張	円葉	有	褐	赤紫	黒褐	扁球	極小	褐	褐	緑肥および青刈飼料用としては全道各地の栽培に適する。採種栽培は道南地方に限定される
黄	紫	や開張	円葉	有	白	赤紫	淡褐	球	大	黄白	黄	十勝、網走、上川中南部とこれに類似の地帯、十勝中央部は除く
黄	紫	直立	円葉	有	白	赤紫	淡褐	や扁球	中	黄白	黄	上川および収穫、乾燥時の天候がこれに類似する地帯
黄	紫	や開張	円	有	白	紫	淡褐	球	極大	黄白	黄	空知支庁以南、石狩、胆振、日高支庁
黄	緑	直立	円葉	有	褐	白	褐	や扁球	大の小	黄白	暗褐	道央中部（空知中部以南、石狩、後志、ただし羊蹄山麓は除く）ならびに道央南部（胆振、日高）地域
黄	紫	直立	長葉	有	白	赤紫	淡褐	や扁球	小の中	黄	黄～極淡褐	十勝中部およびこれに類似の地域に適する
黄	紫	や開張	円	有	白	紫	淡褐	扁球	大の中	黄白	黄	渡島、檜山支庁
黄	緑	や開張	円	有	白	白	淡褐	球	大	黄白	極淡褐	日高、胆振、檜山北部、渡島北部
黄	紫	直立	円葉	有	褐	紫	褐	扁球	大	黒	黒	十勝地方、ただし中部の沖積地帯と山麓沿海部のうち特に気象条件の不良の地帯を除く
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	扁球	大の小	黄白	黄	十勝およびこれに類似の地帯
黄	紫	直立	長葉	有	白	紫	淡褐	球	小	黄	黄	道央中・南部、羊蹄山麓
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	扁球	中の大	黄白	黄	道央中・北部、十勝、網走内陸、沿海
黄	緑	直立	円葉	有	白	白	淡褐	球	極大	黄白	黄	道央中・南部、羊蹄山麓、道南
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	球	中の大	黄白	黄	十勝、道央、網走内陸
黄	紫	や開張	円葉	有	褐	紫	褐	扁球	大の小	緑	暗褐	十勝、道央、網走内陸
黄	緑	や開張	円葉	有	白	白	淡褐	球	大の小	緑	黄	十勝、網走
黄	緑	直立	円葉	有	白	白	淡褐	球	中の大	黄白	黄	網走、十勝（山麓、沿海）、道央（北部・中部の一部）
黄	緑	直立	円葉	有	褐	白	褐	扁球	極大の小	黒	黒	道央、道南、十勝
黄	緑	直立	円葉	有	褐	白	褐	球	中	黄白	褐	十勝（中央部を除く）、網走、上川、留萌
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	球	中の大	黄白	黄	道央、上川、網走、十勝
黄	紫	直立	長葉	有	白	紫	淡褐	球	小	黄	黄	道央、上川、網走、十勝

初葉の色	茎色	葉形	毛茸の形	花色	熟莢の		粒の			栽培適地
					形	色	形	大小	色	
緑	緑	円葉	鋭	黄	太く長い	淡褐	短円筒	大	暗赤	南部温暖地帯
緑	緑	円葉	鈍	黄	長、中太や湾曲	褐	円筒	や小	赤	道東、道北などにおいて極早生種を必要とする地帯に適する
緑	緑	円葉	鈍	黄	短、太や湾曲	極淡褐	鳥帽子	大	濃赤	本道中央部以北および以東に適する
緑	緑	円葉	鋭	黄	長太	黒褐	円筒	中	赤	道中央部

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
光 小 豆	十育7号	小豆 北海道第6号	1971 (1964)	1975	十勝農試	「茶殻早生」×「早生大粒1号」	中生種、草丈はやや高く葉は円形、熟莢は淡褐色、子実小粒でやや淡赤色
暁 大 納 言	十育62号	小豆 北海道第7号	1971 (1970)	1984	十勝農試	「能登小豆」×「早生大粒1号」	熟期は中生の晩、草丈はやや高く葉は円形、熟莢は灰白色で子実は大粒
寿 小 豆	中育1号	小豆 北海道第8号	1971	2001	中央農試	「能登小豆」×「早生大粒1号」	中生種、草丈はやや高く分枝は少ない、葉はやや剣、子実は中粒で赤色
栄 小 豆	十育70号	小豆 北海道第9号	1973	1987	十勝農試	「3407」×「早生大粒1号」	中生種、草丈高く草勢は強、葉は円形、熟莢は褐色、子実は小粒で赤色
アカネダイナゴン*	十育69号	小豆 北海道第10号 あずき農林1号	1974		十勝農試	「能登小豆」×「早生大粒1号」	中生種、草丈は中位、葉は円形、熟莢は灰白、子実大粒で濃赤色
ハヤテショウズ*	十育85号	小豆 北海道第11号 あずき農林2号	1976	1996	十勝農試	「宝小豆」×「斑小粒系-1」	早生種、草丈やや低く葉は円形で、熟莢は褐色、子実はやや濃赤で小粒
ホ ッ カ イ シ ロ シ ョ ウ ズ *	十育73号	小豆 北海道第12号 あずき農林3号	1979		十勝農試	「川西(白小豆)」×「茶殻早生」	中生の晩、茎長やや低く、莢数はやや多、熟莢は白色でやや太い、子実は短円、黄白色で大きさは中
エリモショウズ*	十育97号	小豆 北海道第13号 あずき農林4号 第340号	1983 (1981)		十勝農試	「寿小豆」×「十育77号」	中生の早、茎長やや低く、莢数はやや多、子実は大きき中、やや長円筒形で淡赤色、粒揃いよく良質、多収
ハツネショウズ*	十育116号	小豆 北海道第14号 あずき農林6号 第1212号	1986 (1985)	1999	十勝農試	「ハヤテショウズ」×「赤豆」	中生の早、アズキ落葉病抵抗性、子実は短円筒、やや濃赤で大きき中の小
サホロショウズ*	十育120号	小豆 北海道第15号 あずき農林7号 第2339号	1990 (1989)		十勝農試	「アカネダイナゴン」×「中国在来1」	早生、耐冷性強、多収、良質
カムイダイナゴン*	十育122号	小豆 北海道第16号 あずき農林8号 第2340号	1990 (1989)	1999	十勝農試	「十育106号」×「十系207号」	中生の晩、極大粒多収、ウイルス抵抗性強、耐倒伏性弱
アケノワセ*	十育124号	小豆 北海道第17号 あずき農林9号 第4112号	1994 (1992)	2001	十勝農試	「十系276号」×「能登小豆」	早生、落葉病・茎疫病抵抗性、やや低収
きたのおとめ*	十育127号	小豆 北海道第18号 あずき農林10号 第4950号	1996 (1994)		十勝農試	「エリモショウズ」×「2025 (F ₃)」	中生の早、落葉病・萎凋病抵抗性、耐倒伏性弱
ほくと大納言*	十育133号	小豆 北海道第19号 あずき農林11号 第7694号	2000 (1996)		十勝農試	「十育113号」×「十育80号」	中生の晩、極大粒、良質、加工適性良
しゅまり*	十育140号	小豆 北海道第20号 あずき農林12号 第11098号	2003 (2000)		十勝農試	「十系494号」×「十系486号」	中生の早、落葉病・茎疫病・萎凋病抵抗性、加工適性良、開花期頃の耐冷性弱
とよみ大納言*	十育143号	小豆 北海道第21号 あずき農林13号 第12192号	2004 (2001)		十勝農試	「92089 (F ₆)」×「十系564号」	中生の晩、極大粒、良質、落葉病・萎凋病抵抗性、耐冷性弱
きたほたる*	十育146号	小豆 北海道第22号 あずき農林15号	(2004)		十勝農試	「93142 (F ₆)」×「十系590号」	中生の晩、白、良質、加工適性良、アズキ落葉病・茎疫病・萎凋病抵抗性、耐冷性弱、出芽劣。

10 菜 豆

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
大 福	本第6599号	菜豆 北海道第2号	1971 (1905)	1993	北海道農事試	在来種	晩生のつる性硬莢種、高級菜豆として食味が良く多収、子実の色は白
大 手 亡	十支第455号	菜豆 北海道第3号	1971 (1927)	1984	十勝支場	在来種	中生、半蔓性、硬莢種、子実は白色小粒、播種期、早晩による収量影響少なし
丸 長 鶉	本第11840号	菜豆 北海道第4号	1971 (1939)	1981	北海道農事試	在来種(北見産)	開花期は7月中旬、成熟期は9月上旬で長鶏類中最も早い極早生種
虎 豆	本第11304号	菜豆 北海道第5号	1971 (1939)	1987	北海道農事試	米国産、在来種(道南)	晩生のつる性半硬莢種、良質で菜豆品種中最も食味が良い
大 正 金 時	十支第8390号	菜豆 北海道第6号	1971 (1957)		十勝支場	純系分離(幕別村の中村豊語、1935年「金時」より選出)	開花期は7月中旬、成熟期は9月上旬～中旬で早生の矮性硬莢種
大 正 白 金 時	十支第9007号	菜豆 北海道第7号	1971 (1960)	1981	十勝支場	純系分離(帯広市大正町の道端貞雄、1951年「大正金時」より選出)	開花期は7月中旬、成熟期は9月上旬の早生矮性硬莢種で炭そ病に強い
改 良 大 手 亡	十支第3848号 大手亡(清水)	菜豆 北海道第8号	1971 (1961)	1975	十勝支場	在来種(清水町産)より選抜	開花始は7月下旬、成熟期は9月上旬の半蔓性硬莢の晩生種

初葉の色	莖色	葉形	毛茸の形	花色	熟莢の		粒の			栽培適地
					形	色	形	大小	色	
緑	緑	円葉	鈍	黄	長、中太 や湾曲	褐	円筒	小	赤	道東、道北および道央南部に適する
緑	緑	円葉	鈍	黄	長、中太 や湾曲	淡褐	や烏帽子	や小	や淡赤	全道一円、特に冷涼な地帯は除く
緑	緑	円葉	鈍	黄	短、太 や湾曲	極淡褐	烏帽子	大	濃赤	道央、道南部
緑	緑	円葉・葉縁くびれ	鈍	黄	長、や太 や湾曲	褐	円筒	中	赤	道央、道東北
緑	緑	円葉	鈍	黄	長、中太 や湾曲	褐	円筒	小	赤	十勝、上川の中南部、冷涼な地帯はさける
緑	緑	円葉	鈍	黄	短、太 や湾曲	極淡褐	烏帽子	大	濃赤	十勝中央部、上川中南部、道央、道南
緑	緑	円葉	鈍	黄	や細、 長先端 や湾曲	褐	短円筒	や小	や濃赤	十勝、網走、上川
緑	緑	円葉	鈍	黄	や太や短	極淡褐	短円筒	中	黄白	道央、道南の気象条件のよい地帯
緑	緑	円葉	鈍	黄	長、中太 や湾曲	褐	や長円筒	中	淡赤	十勝中央、道央、道南
緑	緑	円葉	鈍	黄	や短	褐	短円筒	中の小	や濃赤	十勝中央部およびこれに類似の地帯で落葉病の常発地
緑	緑	円葉	鈍	黄	中、太 や湾曲	褐	円筒	中の大	赤	十勝山麓・沿海、網走、道北、道央北部、道央羊蹄山麓
緑	緑	円葉	鈍	黄	中、太 や湾曲	極淡褐	円筒	極大	濃赤	道南、道央南部
緑	緑	円葉	鈍	黄	中、中太 や湾曲	極淡褐	円筒	中の小	赤	十勝山麓・沿海、網走、道央北部、道央羊蹄山麓、道北の一部
緑	緑	円葉	鈍	黄	中、中太 や湾曲	褐	円筒	中の小	淡赤	十勝中部、道央中・南部、道南
緑	緑	円葉	鈍	黄	中、太	極淡褐	円筒	極大	淡赤	道央、道南の大納言品種栽培地帯
緑	緑	やや円葉 剣先	鈍	黄	中、中太	褐	円筒	中	淡赤	道央、道北、道南の中生種栽培地帯で落葉病、茎疫病、萎凋病発生地帯及びこれに準ずる地帯
緑	緑	円葉	鈍	黄	中、太	極淡褐	短円筒	極大	淡赤	道央、道北、道南及び十勝の大納言品種栽培地帯
緑	緑	円葉	鈍	黄	中、中太	極淡褐	短円筒	中の小	黄白	道東の早生種栽培地帯を除く小豆栽培地帯

草性	幼莖の色	花色	莢色		莢の硬軟	粒の			栽培適地
			若莢	熟莢		形	大小	色	
矮性	淡赤紫	淡紅	淡緑	淡黄	軟	楕円	中	赤紫	根室、釧路、宗谷等の寒冷地帯を除く全道、莢煮食用としては全道
つる性	緑	白	淡緑、まれに淡紅飛沫斑	淡褐		扁平じん臓形	大	白	本道中部の温暖地帯および南部の地帯
半蔓	緑	白	暗緑、成熟前に暗紫色	淡黄褐	硬	短楕円臍部がやや突起する	小	白	寒冷地を除く全道一円
矮性	淡緑	淡紅	淡緑地に鮮紅色の条斑	淡黄褐地に斑紋の痕跡	硬	や扁平な長楕円	中	淡肉色地に赤紫色の斑	全道に適するが、特に北部の極冷涼な地帯
つる性	淡緑	微紅色を帯びた白色	淡緑	淡黄白	半硬	や長い球	大	白色地に臍部周囲のみ黄褐色の紫赤斑	本道中部の温暖な地帯および南部地帯
矮性	淡赤紫	淡緑、成熟前に淡紅色の斑紋	淡緑、成熟前に淡紅色の斑紋	淡黄白	硬	楕円	や大	淡赤紫	特に冷涼な地帯を除く全道
矮性	緑	白	淡緑	淡黄白	硬	や長楕円	や大	白に極く淡い鉛色網斑	特に冷涼な地帯を除く全道
半蔓性	緑	白	淡緑、成熟前に暗紫色となる	淡黄褐	硬	短楕円	小	白	上川、空知の菜豆栽培地帯および十勝、網走の山麓を除く畑作地帯

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
新 金 時	十育B-1号	菜豆 北海道第10号	1971 (1964)	1975	十勝農試	「紅金時」× 「大正金時」	開花期は7月上旬, 成熟期は9月上 旬の早生矮性良質多収品種
昭 和 金 時	十育B-11号	菜豆 北海道第11号	1971 (1966)	1978	十勝農試	「紅金時」× 「大正金時」	開花期は7月中旬, 成熟期は9月中 旬で矮性硬莢の中生種
北 原 紅 長	十支第9839号 紅長2号	菜豆 北海道第12号	1971 (1966)	1975	十勝農試	幕別村の北原政雄育 成「常富長鶉」×「大 正金時」の自然交雑	開花期は7月中旬, 成熟期は9月上 旬の早生, 矮性硬莢種
大 正 大 手 亡	十支第514号 大正大手亡	菜豆 北海道第13号	1971 (1969)	1975	十勝農試	帯広市幸福町(大正 村)の桑原俊一, 1955年選抜	開花期は7月中旬, 成熟期は9月中 旬半蔓性硬莢の中生種
十 勝 白 金 時	十育E-6号	菜豆 北海道第14号	1971 (1970)	1978	十勝農試	「大正白金時」× 「白丸鶉」	開花始は7月中旬, 成熟期は9月中 旬の半蔓性硬莢の中生種
銀 手 亡	十育A-22号	菜豆 北海道第15号	1971	1987	十勝農試	「大手亡(網走)」× 「大手亡(清水)」	開花始は7月下旬, 成熟期は9月中 旬の半蔓性硬莢の中生種
福 粒 中 長	十育D-7号	菜豆 北海道第16号	1972		十勝農試	「大正金時」× 「改良中長」	開花始は7月中旬, 成熟期9月上旬 の半蔓性の中生種
福 白 金 時	十育E-10号	菜豆 北海道第17号	1973		十勝農試	「十育B-11号」× 「5823-C-B-4」	開花始7月下旬, 成熟期9月上旬の 早生矮性硬莢種
姫 手 亡	十育A-29号	菜豆 北海道第18号	1976		十勝農試	「十育A-19号」× 「Improved White Navy」	開花始は7月下旬, 成熟期9月上旬 の叢性硬莢の中生種
改 良 虎 豆	中育A-29号	菜豆 北海道第19号	1977	1999	中央農試	虎豆在来種(洞爺村 産)より純系分離	晩生, つる性, 半硬莢種「虎豆」よ り着莢数多く多収, 食味良好
北 海 金 時	十育B-32号	菜豆 北海道第20号 第198号	1982 (1979)		十勝農試	「昭和金時」× 「a-37 (F ₂)」	開花始は7月中旬, 成熟期は9月上 旬~中旬の早生, 矮性, 硬莢種, 大 粒, 多収
改 良 早 生 大 福	中育F1号	菜豆 北海道第21号	(1980)	1999	中央農試	大福在来種(北見市 豊地産)より純系分 離	中生の晩, つる性, 硬莢種, 甘納豆, 煮豆に適する
丹 頂 金 時	十育B-50号	菜豆 北海道第22号 第1508号	1988 (1986)	1996	十勝農試	「十育B-30号」× 「大正金時(多節)」	開花始は7月中旬, 成熟期は9月上 旬~中旬の早生, 矮性硬莢種, 大粒, 多収
福 虎 豆	中育T26号	菜豆 北海道第23号 第2573号	1991 (1989)		中央農試	「虎豆(端野系)」× 「虎豆」	晩生の早, つる性の半硬莢種, 加工 適性良, 食味良
雪 手 亡	十育A52号	菜豆 北海道第25号 第4713号	1995 (1992)		十勝農試	「十育A40号」× 「82HW・B ₁ F ₁ 」	中生, 半蔓性, 多収良質, インゲン 炭そ病抵抗性強
洞 爺 大 福	中育F12号	菜豆 北海道第24号 第4175号	1994 (1992)		中央農試	「中交5407 F ₂ 」×「大 福」	早生の晩, つる性, 硬莢種, 甘納豆, 煮豆に適する
福 勝	十育B62号	菜豆 北海道第26号 第5070号	1996 (1994)		十勝農試	「大正金時」× 「福白金時」	早生, 矮性, 多収良質, 硬莢種
福 う ず ら	十育D10号	菜豆 北海道第27号 第10367号	2002 (1999)		十勝農試	「十系D5号」× 「十系B158号」	早生の晩, 矮性硬莢種, 多収, 大粒
福 良 金 時	十育B67号	菜豆 北海道第28号	(2002)		十勝農試	「十育B62号(福勝)」 ×「十系B203号」	かなり早生, 矮性硬莢種, 多収, 大粒
	十育A56号	菜豆 北海道第29号	(2004)		十勝農試	「十系A216号」× 「十系A212号」	中生, 叢性硬莢種, 大粒良質, イン ゲン炭そ病抵抗性強

11 花 豆

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
白 花 っ 娘	中育M52号	花豆 北海道第2号	(2004)		中央農試	大白花のγ線照射突 然変異より選抜	晩生のつる性花豆, 子実は白色で 「大白花」より粒大が大きく, 5分 上収量が高く良質

草性	幼茎の色	花色	莢色		莢の硬軟	粒の			栽培適地
			若莢	熟莢		形	大小	色	
半蔓性	淡緑	紅	淡緑地に紫赤色 の斑紋	淡褐地に斑紋の 痕跡	硬	短円筒	中	淡褐地に紫 赤色の斑紋	特に冷涼な地帯を除く全道
矮性	極淡赤紫	淡紅	緑	黄白	硬	や長楕円	や大	紅	特に冷涼な地帯を除く全道
矮性	淡赤紫	淡紅	緑	黄白	硬	長楕円	や大	や暗紅	十勝, 網走の中央部および上川の無 霜期間のやや長い地帯
矮性	淡赤紫	淡紅	や濃緑	黄白	硬	腎臓	や大	淡赤紫	特に冷涼な地帯を除く全道
半蔓性	緑	白	淡緑, 成熟前に 暗紫色となる	淡黄褐	硬	短楕円	小	白	十勝, 網走などの道東畑作地帯
半蔓性	緑	白	淡緑	淡黄白	硬	や長楕円	や大	白に極く淡 い藍色斑紋	十勝, 網走, 上川の無霜期間のやや 長い地帯
半蔓性	緑	白	淡緑	淡黄褐	硬	楕円	小	白	十勝, 網走, 上川などの畑作地帯
半蔓性	淡緑	紅	淡緑地に紫赤色 斑紋	淡黄褐地に斑紋 の痕跡	硬	や長楕円	や大	淡褐地に紫 赤色斑紋	特に冷涼な地帯を除く全道
矮性	緑	白	淡緑	淡黄白	硬	や長楕円	や小	白に極く淡 い藍色斑紋	十勝, 網走, 上川などの菜豆栽培地 帯
叢性	緑	白	淡緑, 成熟前に 暗紫色となる	淡黄褐	硬	楕円	小	白	十勝, 上川, 網走などの畑作地帯
つる性	淡緑	帯微紅 の白	淡緑	淡黄白	半硬	や長球形	大	白地に臍部 の周りに淡肉 色地に赤褐色 の斑紋	胆振地方を中心とした道央部
矮性	淡赤紫	淡赤紫	緑	黄白	硬	や長楕円	大	赤紫	十勝, 網走, 上川地方の畑作地帯
つる性	緑	白	淡緑地に微細な 紫斑紋	淡褐	硬	扁平じん臓 形	中	白	根釧, 道北地域を除く全道一円
矮性	淡赤紫	淡赤紫	緑	黄白	硬	長楕円体	や大	赤紫	十勝, 網走, 上川支庁管内
つる性	緑	微紅色 を帯び た白色	淡緑	淡黄白	半硬	短楕円	中の大	白地に臍部 の周りに淡肉 色地に赤褐色 斑紋	道内の虎豆栽培地帯
叢性	緑	白	淡緑地に赤紫斑 紋	淡黄白	硬	楕円	小	白	北海道一円
つる性	緑	白	淡緑	淡褐	硬	腎臓形	中の大	白	北海道一円
矮性	淡赤紫	淡赤紫	緑	黄白	硬	楕円体	大	赤紫	北海道一円
矮性	赤紫	赤紫	緑色地に赤紫斑 紋	淡黄褐地に斑紋 の痕跡	硬	楕円体	中の大	褐色地に濃 赤色紫斑紋	北海道一円
矮性	淡赤紫	淡赤紫	緑	黄白	硬	楕円体	大	赤紫	北海道一円
叢性	緑	白	淡緑, 成熟前に 赤紫色となる	淡黄褐	硬	楕円体	やや小	白	道東の特に冷涼な地帯を除く全道

草性	幼茎の色	花色	莢色		莢の硬軟	粒の			栽培適地
			若莢	熟莢		形	大小	色	
つる性	緑	白	緑	褐	硬	腎臓形	中	白	胆振地方を中心とした道央部および 北見周辺の畑作地帯
つる性	緑	白	緑	褐	硬	腎臓形	やや大	白	網走地方のべにばないんげん作付け 地帯

12 えん豆

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
改良青手無	札幌青手無1号-40	えん豆 北海道第1号	1971 (1958)	1993	十勝支場	「札幌青手無1号」からの純系分離	緑色大粒, 良質, 多収, 半蔓性, 晩生
小 緑	十育14号	えん豆 北海道第2号	1971 (1965)	1984	十勝農試	「アラスカ」× 「グリーンピース」	緑色小粒, 良質, 多収, 矮性, 晩生, 缶詰用
大 緑	北育37号	えん豆 北海道第3号	1975		北見農試	「十育11号」× 「6202 (F ₁)」	緑色大粒, 良質, 多収, 半蔓性, 晩生
北 海 赤 花	北育B-2号	えん豆 北海道第4号	1978		北見農試	「十育16号」×「在来種赤えんどう (中札内)」	褐色中粒, 多収, 矮性, 晩生
豊 緑	北育43号	えん豆 北海道第5号 第1022号	1986 (1985)	1999	北見農試	「北育36号」×「改良青手無」	緑色大粒, 多収, 良質, 矮性, 晩生

13 ばれいしょ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
男 爵 薯		ばれいしょ 北海道輸第1号	1971 (1928)		アメリカ	「EarlyRose」の芽条変異?	早生種, 粒ぞろいよく, いも着は密, 食味良, 各種調理に使用可能
メークイン		ばれいしょ 北海道輸第2号	1971 (1928)		イギリス	不明	中生種, いもは長卵形で肉色は黄, 越冬後甘味を増す, 生食用
紅 丸	本育309号	ばれいしょ 北海道第3号	1971 (1938)		北海道農事試	「Lembke Fruhe Rosen」×「ペポー」	晩生種, 極多収, いも着密, 皮色紅, いも扁卵形, でんぷん原料用
ばれいしょ農林1号*	島系12号	ばれいしょ 北海道第4号 ばれいしょ農林1号	1971 (1943)		北海道農事試	「男爵薯」× 「Deodara」	中晩生種, 多収, 食味やや良, 食用及びでんぷん原料用
ニセコ*	北海15号	ばれいしょ 北海道第5号 ばれいしょ農林9号	1971 (1959)	1975	北海道農試	「農林1号」× 「ミラピリス」	晩生種, いもは鮮紅色, でん粉価は高いが過湿に弱い
ユキジロ*	北海30号	ばれいしょ 北海道第6号 ばれいしょ農林13号	1971 (1961)	1996	北海道農試	「ケネベック」× 「農林2号」	中晩生種, 疫病に強く多収, 調理後黒変少ない
エニワ*	北海22号	ばれいしょ 北海道第7号 ばれいしょ農林12号	1971 (1961)		北海道農試	「島系267号」× 「島系232号」	中晩生種で疫病に強い, 多収ででん粉価が高い
ホッカイアカ*	北海41号	ばれいしょ 北海道第8号 ばれいしょ農林15号	1971 (1965)	1984	北海道農試	「2070ab30」× 「島系291号」	晩生種で, 疫病にも強く, でん粉価が高い, いもは赤かっで紡錘形
シレットコ*	根育3号	ばれいしょ 北海道第9号 ばれいしょ農林16号	1971 (1967)	1981	根 釧 農 試	「北海24号」× 「島系291号」	「ホッカイアカ」程度の極晩生種, 疫病に強く極多収
ビホロ*	北海45号	ばれいしょ 北海道第10号 ばれいしょ農林17号	1971 (1969)	1984	北海道農試	「北海29号」× 「Hochprozentige」	極晩生種で, でん粉価が高い, いもは小さい, 疫病には強い
タルマエ*	北海47号	ばれいしょ 北海道第11号 ばれいしょ農林18号	1971 (1969)	1981	北海道農試	「オオジロ」× 「Hochprozentige」	中晩生種で, でん粉価はやや高い, いもは扁長卵, 軟腐病に弱い
ワセシロ*	根育11号	ばれいしょ 北海道第12号 ばれいしょ農林20号	1974		根 釧 農 試	「根系7号」× 「北海39号」	早生種, 熟期の割に多収, 「男爵薯」より大粒で, 皮色が白い
トヨシロ*	北海48号	ばれいしょ 北海道第13号 ばれいしょ農林21号	1976		北海道農試	「北海19号」× 「エニワ」	中早生種, 還元糖含有率低く, 油加工に適する
ツニカ	Tunika	ばれいしょ 北海道(輸)第14号 ばれいしょ導入3号	1978	1987	ドイツ民主共和国	「Lu56・186/21N」× 「Lu51・183/2」	中晩生種, ジャガイモシストセンチュウ寄生型Ro1に対し抵抗性がある
ハツフキ*	北海57号	ばれいしょ 北海道第15号 ばれいしょ農林24号	1979	1993	北海道農試	「男爵薯」× 「WB61037-4」	早生, でん粉工場の早期操業, 原料用として紅丸より品質, 収量ともすぐれる
ホッカイコガネ*	北海60号	ばれいしょ 北海道第16号 ばれいしょ農林25号 第197号	1982 (1981)		北海道農試	「北海48号」× 「北海51号」	中晩生, 加工食品原料用, 塊茎は目浅く長楕円形黄肉種でフレンチフライにしたときの品質にすぐれる
コナフキ*	根育19号	ばれいしょ 北海道第17号 ばれいしょ農林26号 第338号	1983 (1981)		根 釧 農 試	「北海48号」× 「WB66201-10」	でん粉原料用晩生種で, でん粉価が22%前後と高く多収, シストセンチュウ抵抗性はない
トヨアカリ*	北海67号	ばれいしょ 北海道第18号 ばれいしょ農林27号 第1505号	1988 (1986)	2001	北海道農試	「Tunika」× 「WB61037-4」	晩生種, ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強。疫病に強く, 高でん粉価, 多収
キタアカリ*	北海63号	ばれいしょ 北海道第19号 ばれいしょ農林29号 第1812号	1988 (1987)		北海道農試	「男爵薯」×「ツニカ」	早生, 多収, ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強, 黄肉水煮黒変無, 食用
エゾアカリ*	北海66号	ばれいしょ 北海道第20号 ばれいしょ農林30号 第1813号	1988 (1987)	2001	北海道農試	「ツニカ」× 「PriekulskiiRanny」	早生, 多収, ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強, 黄肉煮くずれ極少, 食用

草性	子葉の色	葉色	花色	莢色		莢の硬軟	粒の			栽培適地
				若莢	熟莢		形	大小	色	
半蔓性	淡緑	や淡緑	白	淡緑	微褐	硬	扁平球形で 大皺あり	大	淡緑	全道一円
矮性	淡緑	濃緑	白	緑	微褐	硬	球	小	緑	全道の青えん豆栽培地帯
半蔓性	緑	緑	白	淡緑	微褐	硬	扁平球形で 大皺あり	大	緑	網走, 上川の青えん豆栽培地帯
矮性	淡緑	淡緑	紫赤	緑	淡褐	硬	扁球で大皺あり	中	帯緑褐地に赤褐斑	全道の畑作地帯
矮性	緑	濃緑	白	濃緑	微褐	硬	楕円球	大	白緑	全道のえん豆栽培地帯

草姿	莖色	葉色	花色	いもの						疫 病 抵抗性	栽培適地
				形	色	表皮の粗滑	目の多少	目の深淺	肉色		
直	緑地に淡赤色が分布	濃	淡赤紫 先白	球	黄白	滑	中	深	白	弱 r	全道一円
中	濃緑地に淡紫色が分布	や濃	紫(白の しぼりで 先白)	長卵円形	黄白～ 淡黄褐	滑	少	浅	黄	弱 r	全道一円
中	緑地に赤色が分布	中	白	だ円～扁 円	紅	滑～中	中	や浅	白(紅色を分布することがある)	弱 r	全道一円
直	緑地に淡赤色が分布	濃～や濃	白	扁円～扁 球	黄白	滑	中	中	白	弱 r	全道一円
	緑地に淡赤	や濃	極淡赤 先白	扁卵	濃紅	滑	少	浅	白	弱	後志, 宗谷管内および類似地帯のでん粉原料用
や開	緑地に淡赤	緑	淡紫	卵	黄	滑	少	浅	白	や強 R ₁	全道, 排水のよい肥沃地
や直	緑	や濃	白	扁円	淡褐	粗・全面 ネット状	中	や浅	白	や強 R ₁	全道, 排水のよい肥沃地
開	淡赤紫	濃	淡赤紫	長紡錘	赤褐	や滑	多	浅	淡黄	強 R ₂ R ₄	全道, でん粉原料用
直	緑地に赤紫	や淡	白	卵	淡黄白	滑	中	や浅	白	強 R ₁ R ₂	全道, とくに道東, 道北および後志
中	緑地に一部赤紫	や濃	淡青	扁球	淡褐	粗	中	中	白	強 r	天北, 上川北部, 網走, 十勝などのでん粉原料地帯
中	緑	緑	淡紫	扁長卵	淡褐	中	中	中	白	や弱～中 r	全道, でん粉原料地帯
や開	緑, 一部淡紫	淡	紫	扁卵～扁 球	淡黄白	滑	中	中	白	や強 R ₁	全道, 食用
や開	緑	中	白	扁球～扁 卵	淡黄褐	中	中	浅	白	R ₁	全道
や開	緑	や淡	白	球～扁球	黄褐	粗	中	や深	黄		道央のジャガイモシストセンチュウ発生地帯
や直	緑(紫)	緑	淡紫	扁卵	淡黄白	や滑	中	中	白	R ₁	道内のでん粉原料用馬鈴しょ栽培地帯
や直	緑	緑	淡紫・先 白	長楕円	淡褐	中	中	浅	淡黄	R ₁	道内の食品加工原料用の馬鈴しょ栽培地帯
中	緑	濃緑	淡赤紫	扁球	淡黄褐 (目に淡 紅色)	や粗	多	や浅	白	R ₁ R ₂	道内のでん粉原料用ばれいしょ栽培地帯
や直	緑地に赤紫色の斑点	淡緑	赤紫	扁球	黄褐	や粗	中	中	淡黄	強 R ₁	全道, とくにジャガイモシストセンチュウ発生地帯に普及を優先する
や直立	緑	緑	赤紫	球	白黄	や粗	中	中	黄	弱 r	道央のジャガイモシストセンチュウ発生地帯
や開帳	緑	緑	白	球	白黄	や粗	中	中	淡黄	弱 r	道内食用ばれいしょ栽培地帯

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
ムサマル*	根育22号	ばれいしょ 北海道第22号 ばれいしょ農林32号 第4110号	1994 (1992)		根 釧 農 試	「ツニカ」× 「根育20号」	中晩生、多収、フレンチフライ加工適性高、塊茎腐敗抵抗性強、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
アトランチック	P892	ばれいしょ 北海道(輸)第23号	(1992)		ア メ リ カ	「Wauseon」× 「Lenape」	中生、多収、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強、ポテトチップ用
マ チ ル ダ	F891	ばれいしょ 北海道(輸)第24号	(1993)		スウェーデン	「P134」×「P117」	中晩生、多収、食用、疫病抵抗性強
ア ス タ ル テ	S892	ばれいしょ 北海道(輸)第25号	(1993)		オ ラ ン ダ	「RR62-5-43」× 「VT562-69-5」	晩生、高でん粉価、でん粉重多、でん粉特良、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
ベ ニ ア カ リ *	北海73号	ばれいしょ 北海道第26号 ばれいしょ農林33号 第5367号	1997 (1994)		北海道農試	「北海61号」× 「R392-50」	中生、高でん粉価、食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
サクラフブキ*	根育26号	ばれいしょ 北海道第27号 ばれいしょ農林34号 第5128号	1996 (1994)		根 釧 農 試	「コナフブキ」× 「トヨアカリ」	晩生、高でん粉価、でん粉重多、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
さ や か *	北海74号	ばれいしょ 北海道第28号 ばれいしょ農林36号 第6027号	1998 (1995)		北海道農試	「Pentland Dell」× 「R392-50」	中生、大いも、多収、食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
ヤンキーチップ	P921	ばれいしょ 北海道(輸)第29号	(1995)	2001	ア メ リ カ	「B9687-148」× 「BR6864-8」	中早生、加工食品用、ポテトチップ品質良、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
アーリースターチ*	北海72号	ばれいしょ 北海道第30号 ばれいしょ農林37号 第7892号	2000 (1996)		北海道農試	「島系523号」× 「R392-50」	中晩生、早期肥大性、大粒、早掘りでん原用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
花 標 津 *	根育29号	ばれいしょ 北海道第31号 ばれいしょ農林38号 第8638号	2001 (1997)		根 釧 農 試	「W553-4」× 「R392-50」	中晩生、疫病圃場抵抗性強、多収、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
スタークイーン*	根育31号	ばれいしょ 北海道第32号 ばれいしょ農林40号 第10617号	2002 (1999)		北 見 農 試	「Atlantic」× 「Cherokee」	中生、そうか病抵抗性や強、多収、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
ノースチップ	P961	ばれいしょ 北海道(輸)第33号 第10618号	2002 (1999)		ホ ク レ ン	「ホッカイコガネ」× 「ND860-2」	中早生、加工食品用、低温長期貯蔵チップ品質良、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はない
十勝こがね*	北海79号	ばれいしょ 北海道第35号 ばれいしょ農林41号 第8549号	2000 (2000)		北海道農試	「R392-3」× 「69095-17」	早生、大粒、揃い良、調理適性良、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
ユキラシャ*	北海83号	ばれいしょ 北海道第36号 ばれいしょ農林42号 第11097号	2003 (2000)		北海道農試	「Early Gem」× 「86002-100」	中早生、そうか病抵抗性強、調理適性良、貯蔵性良、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はない
スノーデン	P971	ばれいしょ 北海道(輸)第34号	(2000)		ア メ リ カ	「B5141-6」× 「Wischip」	中晩生、加工食品用、9℃長期貯蔵チップ品質良、そうか病抵抗性中、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性はない
きたひめ	P982	ばれいしょ 北海道(輸)第37号	(2001)		ホ ク レ ン	「ホワイトフライヤー」 ×「さやか」	中生、加工食品用、6℃長期貯蔵チップ品質良、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
ナツフブキ*	北育5号	ばれいしょ 北海道第38号 ばれいしょ農林47号 第号	(2003)		北 見 農 試	「ムサマル」× 「島系544号」	中生、早掘り適性あり、でん原用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
ひ か る	F001	ばれいしょ 北海道(輸)第39号	(2003)		ホ ク レ ン	「87062-217」× 「Maris Bard」	中晩生、大粒、多収、ポテトサラダ適性あり、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
オホーックチップ*	北育2号	ばれいしょ 北海道第40号 ばれいしょ農林52号 第号	(2004)		北 見 農 試	「アトランチック」 ×「ND860-2」	早生、加工食品用、収穫直後から1月までのチップ品質良、そうか病抵抗性中、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
スノーマーチ*	北育7号	ばれいしょ 北海道第41号 ばれいしょ農林51号 第号	(2004)		北 見 農 試	「アトランチック」 ×「Cherokee」	中生、そうか病抵抗性強、大粒、多収、調理適性良、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強
キタムラサキ*	北海88号	ばれいしょ 北海道第42号 ばれいしょ農林50号 第号	(2004)		北 農 研 セ	「島系571号」 ×「島系561号」	中晩生、肉色紫、アントシアニン色素含有、大粒、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強

14 そば

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
牡丹そば			(1930)		十 勝 支 場	品種比較	早生、良質
キタワセソバ*	北海1号	そば北海道1号 そば農林1号 第2337号	1990 (1989)		北海道農試	「牡丹そば(富良野)」 から系統選抜	やや極早生、多収
キタユキ*	北海2号	そば北海道2号 そば農林2号 第3751号	1993 (1991)		北海道農試	在来種「津別」から 系統選抜	やや早生、多収、べと病発生少

草姿	茎色	葉色	花色	いもの						疫 病 抵抗性	栽培適地
				形	色	表皮の 粗 滑	目の多少	目の深淺	肉色		
や直立	緑	緑	白	球	黄	や粗	少	浅	黄	や強 R ₁	北海道一円
や開帳	緑	や淡緑	赤紫	卵	黄褐	や粗	中	や浅	淡黄	弱 r	北海道一円
直立	緑地に一部赤紫	緑	極淡青紫	球	黄褐	や粗	少	浅	白	R ₁	道東、道北、道央
中間	緑地に一部赤紫	淡緑	白	卵	黄	や粗	中	浅	黄白	強 R _s	北海道一円
中間	緑地に一部赤紫	濃緑	赤紫	卵	白黄	や粗	中	や浅	黄白	R _s	十勝、網走、根釧
や開帳	紫	濃緑	赤紫	楕円	淡赤	や滑	中	や浅	白	R ₁ R _s	北海道一円
中間	緑	濃緑	赤紫	扁球	黄褐	や粗	中	中	白	や強 R ₁	北海道一円
や開帳	緑	緑	白	卵	白	滑	少	浅	白	R ₁ R _s	北海道一円
や開帳	緑	淡緑	青紫	楕円	白黄	滑	少	浅～極浅	白	r	道央、道北、網走
中間	緑	緑	赤紫 先白	扁球	白黄	中	少	中	白	弱 R ₁	道内のでん粉原料用ばれいしょ栽培地帯
や開帳	緑地に赤紫色の斑紋	淡緑	赤紫	扁球	淡赤	中	や少	深	淡黄	ごく強 R ₁	北海道一円
中間	緑地に赤紫色の斑紋	緑	赤紫 先白	扁球	白黄	や粗	中	や浅	黄白	弱 R ₁	北海道一円(そうか病発生地帯)
中間	緑地に赤紫色の斑紋	緑	赤紫 先白	球	黄褐	や粗	中	浅	白	弱 R ₁	北海道一円(ジャガイモシストセンチュウ汚染地域を除く)
や直	緑	淡緑	白	楕円	白黄	中	少	ごく浅	淡黄	弱 R ₁	北海道一円
中間	緑	淡緑	白	楕円	褐	粗	少	やごく浅	白	や弱	北海道一円(そうか病発生地帯)
中間	緑地に赤紫色の斑紋	淡緑	白	球	褐	粗	中	浅	白	中	北海道一円(ジャガイモシストセンチュウ汚染地域を除く)
や開帳	緑	緑	白裏面紫	球	黄白	や滑	や多	や浅	白	弱	北海道一円
や開張	緑地に赤紫色の斑紋	緑	赤紫 先白	球	黄褐	や粗	や少	中	白	弱 R ₁	道内のでん粉原料用ばれいしょ栽培地帯(主としてジャガイモシストセンチュウ発生地帯)
直立	緑地に赤紫色の斑紋	緑	紫	扁球	黄褐	や粗	中	浅	淡黄	弱	道内生食用ばれいしょ栽培地帯
や開張	緑	淡緑	白	球	褐	や粗	中	浅	白	弱 r	道内加工用ばれいしょ栽培地帯
中間	緑	緑	白	倒卵	白黄	中	中	浅	白	弱 R ₁	道内生食用ばれいしょ栽培地帯(主としてそうか病発生地帯)
や直	紫地に緑の斑紋	濃緑	白	倒卵	紫	中	少	浅	紫に白の斑紋	中	北海道一円

草型	草丈	葉の形	葉の 大きさ	花色	脱粒の 難 易	粒の				製粉歩留	べと病 耐病性	耐倒伏性	栽培適地
						粒形	粒色	千粒重	容積重				
直立短枝型	短	丸	小	白	中	3稜型	濃褐	中	重	中	弱	中	全道一円
直立短枝型	や極短	や丸	小	白	中	3稜型	黒	中	重	中	中	や強	全道一円
直立短枝型	短	や丸	小	白	中	3稜型	黒	中	極重	中	強	中	全道一円

II 特 用 作 物

15 てんさい

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	組 合 せ ま た 育 成 方 法	主 要 特 性
つきさっぷ*	E6	てんさい 北海道第1号	1971 (1964)	1975	てん菜研究所	*合成品種	晩生、極多収、褐斑病抵抗性強
○ポリラーベ	Polyrave	てんさい 輪第2号	1971 (1964)	1987	オランダ	一代雑種育種法	多収、褐斑病抵抗性が極めて弱い
カーベエルタ	KW-E	てんさい 輪第3号	1971 (1964)	1984	ドイツ	集団育種法	多収、褐斑病抵抗性が弱い
エージェーポリ-1	AJPoly-1	てんさい 輪第4号	1971 (1964)	1978	ポーランド	一代雑種育種法	適地では「導入2号」より多収、高糖性
○カーベポリ	KW-polybeta	てんさい 輪第5号	1971 (1964)	1987	ドイツ	一代雑種育種法	多収、やや高糖性、褐斑病抵抗性が弱い
台 糖 1 号	台糖1号	てんさい 北海道(輪)第6号	1971 (1965)	1975	台湾	集団育種法	褐斑病抵抗性が強く、高収性である
台 糖 2 号	台糖2号	てんさい 北海道(輪)第7号	1971 (1965)	1975	台湾	集団育種法	褐斑病抵抗性が強く、高収性である
台 糖 3 号	台糖3号	てんさい 北海道(輪)第8号	1971 (1965)	1975	台湾	集団育種法	褐斑病抵抗性が強く、高収性である
○てんけん1号*	T1002	てんさい 北海道第9号	1971 (1968)	1978	てん菜研究所	*合成品種	初期生育良好、多収、褐斑病抵抗性強
きたまさり	支7号	てんさい 北海道第10号	1971	1984	てん菜研究所	*合成品種	早生、極多収
○ソロラーベ	Solorave	てんさい 輪第11号	1971	1987	オランダ	一代雑種育種法	収量、糖分が多胚の「ポリラーベ」と同程度の単胚品種
○カーベメガモノ	Kawe-megamono	てんさい 輪第12号	1972	1990	ドイツ	一代雑種育種法	倍数体の単胚品種、根重はやや多収型
○モノヒル	Monohill	てんさい 輪第13号	1973	1990	スウェーデン	一代雑種育種法	単胚品種で褐斑病抵抗性は弱いが多収性である
○モノホープ*	T1013	てんさい 北海道交第14号	1973	1987	てん菜研究所	「TK-76-mm-CMS」 ×「T4n-38」	単胚、多収、良質、褐斑病抵抗性強
モノミドリ*	T1021	てんさい 北海道交第15号 てんさい農林交9号	1979	1993	北海道農試	「TK-76-mm-CMS」 ×「TK-105-2mm-O」 ×「NK-176」	中間型(根重、根中糖分中位)
ハイラーベ	HKE-48	てんさい 輪第16号	1980	1990	オランダ	交雑育種	中間型(根重やや多、根中糖分やや低位)
モノヒカリ	北海41号	てんさい 北海道交第17号 てんさい農林交10号 第399号	1983 (1982)	1999	北海道農試	「TK-76-49/2mm-CMS」 ×「TK-76-49/2mm-O」 ×「NK-152」	中間型(根重多、やや高糖分)
モノホート	HKE-20	てんさい 輪第18号	1982	1990	オランダ	交雑育種	糖分型、早期収穫に適する
ノバヒル	Novahill	てんさい 輪第19号	1982	1993	スウェーデン	交雑育種	中間型(根重多、根中糖分中位)
ダイヒル	Dihill	てんさい 輪第20号	1984	1990	スウェーデン	交雑育種	中間型(根重多、根中糖分中位)
モノエース	Kawe-J137	てんさい 輪第21号	1985	1993	ドイツ	交雑育種	糖分型(根重中位、高糖分)
モノバール*	北海51号	てんさい 北海道交第22号 てんさい農林交12号 第2046号	1989 (1988)	1996	北海道農試	「NK-172mm-CMS」 ×「NK-183mm-O」 ×「NK-159」	単胚、高糖分、多収、耐湿性やや弱
モノホマレ*	北海55号	てんさい 北海道交第23号 てんさい農林交13号 第2047号	1989 (1988)		北海道農試	「MOMS33×MOT O431」×「NK-152」	単胚、高糖分、多収、高品質、抽苔耐性強、耐湿性やや弱
スターヒル	Hillmono1352	てんさい 輪交第24号	(1988)	2002	スウェーデン	「MS-236D」× 「2X/27」	単胚、中間型(根重多、根中糖分中位)、抽苔耐性強
サンヒル	Hillmono5559	てんさい 輪交第25号	(1988)	1996	スウェーデン	「MS-283E」× 「4X/7」	単胚、糖分型、抽苔耐性強
サンラーベ	H6664	てんさい 輪交第26号	(1988)	1996	オランダ	「MOMS 023・801」 ×「EKT 13」	単胚、中間型(根重多、根中糖分中位)、抽苔耐性強
モノエースS	Kawe-J338	てんさい 輪交第27号	(1988)	2001	ドイツ	「2A0079」× 「9X0022」	単胚、糖分型、抽苔耐性強

倍数体	胚数性	葉姿	根形	露肩の多少	分岐根の多少	褐斑病耐病性	栽培適地
2倍体	多	直立	長円錐	や多	や多	強	道南部、中央部およびその他の褐斑病多発地域
倍数体	多	中間	短円錐	少	少	弱	網走、十勝地方の褐斑病発生が少ない地帯、これに準ずる地帯
2倍体	多	中間	短円錐	少	少	弱	根釧、十勝、網走の褐斑病発生が少ない地帯
倍数体	多	中間	短円錐	や多	少	や弱	網走地方の紋別、遠軽地区およびこれに準ずる地区
倍数体	多	開平	短円錐	や多	少	弱	根釧、十勝、網走の褐斑病発生が少ない地帯、これに準ずる地帯
2倍体	多	直立	長円錐	少	中	強	道南地域の褐斑病が多発する低台地帯
2倍体	多	直立	長円錐	少	中	強	道南地域の一般低台地帯
2倍体	多	直立	長円錐	少	中	強	道南地域の高台地帯
2倍体	多	直立	長円錐	多	中	強	道南、道央およびその他褐斑病多発地帯
2倍体	多	やや開平	短円錐	多	少	弱	根釧、天北地帯およびこれに準ずる地帯
3倍体	単	やや開平	円錐	多	少	弱	道東、道北などの褐斑病少発地帯およびこれに準ずる地帯
倍数体	単	やや直立	短円錐	中	少	弱	根釧を除く道東、道北の褐斑病少発地帯、これに準ずる地帯
3倍体	単	開平	円錐	中	少	弱	道東などの褐斑病少発地帯、これに準ずる地帯
3倍体	単	やや開平	円錐	少	少	や強	全道一円に適応するが、特に道央および道南における適応性が大きい
3倍体	単	やや開帳	円錐	少	少	や強	全道一円、特に道央および道南の適応性が大きい
3倍体	単	やや開帳	円錐	中	少	弱	道東一円
2倍体	単	直立	円錐	中	少	や強	道央、道南の移植栽培、十勝中央地域とこれに類似する地域の直播栽培に適する
3倍体	単	開帳	円錐	やや少	少	弱	全道
3倍体	単	開帳	円錐	やや少	少	弱	道東を除く北海道全域
2倍体	単	やや開帳	円錐	やや少	少	弱	上川、留萌を除く道央、根釧地方を除く道東ならびに道南地域のうち湿害の恐れのない地帯
3倍体	単	開帳	短円錐	中	少	弱	全道一円
2倍体	単	直立	円錐	中	少	や強	十勝中部及びこれに準ずる地帯
2倍体	単	直立	円錐	中	少	中	網走内陸・沿海、十勝山麓及び準ずる地帯
2倍体	単	やや開平	円錐	やや少	少	弱	北海道一円
3倍体	単	やや開平	円錐	少	少	弱	十勝、網走
3倍体	単	やや開平	円錐	中	少	弱	十勝中部・山麓、網走内陸・沿海及びこれに準ずる地帯
3倍体	単	やや開平	円錐	少	少	弱	道央南部、道南を除く全道一円

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	組合せまたは 育 成 方 法	主要特性
メ ガ エ ー ス	Kawe-J537	てんさい 輸交第28号	(1988)	2002	西 ド イ ツ	「1 A0069」× 「PS54177」	単胚, 中間型 (根重多, 根中糖分中 位), 抽苔耐性强
モノホワイト*	北海54号	てんさい 北海道交第29号 てんさい農林交14号 第2345号	1990 (1989)		北海道農試	「MOMS23×MOT O95」×「NK-152」	単胚, 糖分型, 良質
エ マ	HT 1	てんさい 輸交第30号	(1990)	2001	スウェーデン	「MS-257D」× 「2X/32」	単胚, 糖分型, そう根圃場抵抗性
リゾール	SESIR 2	てんさい 輸交第31号	(1990)	2002	ベルギー	「MS-24-6」× 「4-21775」	単胚, 中間型 (根重多, 根中糖分や や中位), そう根圃場抵抗性
リゾホート	H4612	てんさい 輸交第32号	(1991)	2001	オランダ	「MOMS RM25・ 38」×「RT46・1」	単胚, 中間型 (根重多, 根中糖分や や中位), そう根圃場抵抗性
メロディー	H114	てんさい 輸交第33号	(1991)	1999	オランダ	「MOMS105・ 859」×「T947/6」	単胚, 高糖分, 多収, 高品質, 抽苔 耐性强
ハンナ	HT 3	てんさい 輸交第34号	(1991)		スウェーデン	「MS-289-0」× 「2X/20」	単胚, 糖分型, 良質
アレグロ	H116	てんさい 輸交第35号	(1993)	2001	オランダ	「MOMS52.89.」× 「T.6/14.」	単胚, 糖分型, 良質
ホッカイマイティ*	北海62号	てんさい 北海道交第36号 てんさい農林交15号 第8728号	2001 (1994)	2002	北海道農試	「NK-183BRmm-CM S×NK-219mm-0」 ×「NK-218BR」	単胚, 中間型 (根重多, やや高糖), 抽苔耐性强
サラ	HT 7	てんさい 輸交第37号	(1994)		スウェーデン	「MS-298-E」× 「4X/6」	単胚, 糖分型, 良質
ハミング	H119	てんさい輸交第38号	(1995)	2001	オランダ	「MOMS52.13.4」× 「T 8 /78」	単胚, 中間型 (根重, 根中糖分中位), 良質
ストーク	Kawe-J039	てんさい 輸交第39号	(1995)	2003	ドイツ	「MS 7 H9882」× 「PS 7 X8041」	単胚, 糖分型, 抽苔耐性强
ユードン	HT 9	てんさい 輸交第40号	(1996)	2004	スウェーデン	「MS-303-E」× 「4X/7」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
リーランド	H123	てんさい 輸交第41号	(1997)	2002	オランダ	「MOMS30.13.4」× 「T 5 /56」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
フルーデン	HT12	てんさい 輸交第42号	(1998)		スウェーデン	「MS-350-O」× 「2X/43」	単胚, 多収 (根重, 糖量), 耐湿性 「中」
めぐみ	Kawe-J538	てんさい 輸交第43号	(1998)		ドイツ	「MS 9 E0020」× 「PS 0 X8017」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
シュベルト*	北海70号	てんさい 輸交第44号 てんさい農林交17号 第10058号	2002 (1998)	2004	北海道農試 (国際共同研究)	「MOMS3901× MOOT4027」× 「NK-212BR」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 既存 抵抗性品種よりも多収 (根重, 根中 糖分, 糖量)
カプトマル*	北海73号	てんさい 輸交第45号 てんさい農林交19号 第10626号	2002 (1999)	2004	北海道農試 (国際共同研究)	「KMS-5 (MOMS- 2099×MOOT-1502) ×「NK-210BR」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
アーベント	H125	てんさい 輸交第46号	(1999)		オランダ	「MOMS14B8.13.4」 ×「T18/06」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
モリーノ	HT15	てんさい 輸交第47号	(1999)		スウェーデン	「MS-367-O」× 「2X52」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 多収 (根重, 糖量), 褐斑病抵抗性「やや 強」
スコーネ	HT14	てんさい 輸交第48号	(2000)		スウェーデン	「MS-382-E」× 「4X/9」	単胚, 耐湿性「中」(黒根, 根腐れ 症状少ない), 良質
のぞみ	Kawe-J7123	てんさい 輸交第49号	(2000)		ドイツ	「MS 2A0019」× 「PS 1 R 7597」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
スタウト	H126	てんさい 輸交第50号	(2001)		オランダ	「10CR」×「T16/80」	単胚, 褐斑病抵抗性「強」, 根腐病 抵抗性「中」
きたさやか	Kawe-J8131	てんさい 輸交第51号	(2001)		ドイツ	「MS 6 J2204」× 「PS 5 R8801」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 多収 (根重, 糖量), 根中糖分やや低い
えとびりか	KWS9226	てんさい 輸交第52号	(2002)		ドイツ	「MS 5 A3983」× 「PS 6 X8028」	単胚, 多収 (根中糖分, 糖量), 良 質
ユキヒノデ*	北海83号	てんさい 輸交第53号 てんさい農林交21号 第 号	(2003)		北農研 (国際共同研究)	「MOMS149」× 「NK-212BR」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 褐斑 病抵抗性「強」, 黒根病発生少ない, 良質
アセンド	H129	てんさい 輸交第54号	(2004)		オランダ	「MOMS14B8.13.4」 ×「T21/78」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
あまいぶき	KWS0213	てんさい 輸交第55号	(2004)		ドイツ	「MS 5 A3983」× 「PS 6 X8067」	単胚, 糖分型, (根重少ないが高糖 分), 良質

倍数体	胚数性	葉姿	根形	露肩の多少	分岐根の多少	褐斑病耐病性	栽培適地
3 倍体	単	やや開平	円錐	や多	少	弱	道央中部・北部, 十勝中部, 網走内 陸部及びこれに準ずる地帯
2 倍体	単	直立	や短円錐	や少	少	弱	全道一円
2 倍体	単	やや直立	短円錐	少	少	弱	全道のそう根病発生地帯
2 倍体	単	やや直立	円錐	や少	少	中	全道のそう根病発生地帯
2 倍体	単	やや直立	円錐	中	少	や強	全道のそう根病発生地帯
3 倍体	単	やや開平	円錐	中	少	弱	十勝, 網走及びこれに準ずる地帯
2 倍体	単	やや開平	短円錐	中	少	弱	道央, 道南及びこれに準ずる地帯
3 倍体	単	やや開平	円錐	中	少	弱	北海道一円
2 倍体	単	直立	円錐	中	少	や弱	北海道一円
3 倍体	単	やや開平	円錐	や少	少	中	道央, 道南, 道北, 十勝, 網走内陸 部 (抽苔に対する懸念のない地帯)
3 倍体	単	やや開平	円錐	や少	少	弱	北海道一円
3 倍体	単	やや開平	や短円錐	や少	少	弱	北海道一円
3 倍体	単	やや開平	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
3 倍体	単	やや開平	円錐	や少	少	弱	北海道一円
2 倍体	単	やや直立	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
3 倍体	単	やや開平	円錐	中	少	弱	北海道一円
2 倍体	単	やや直立	円錐	中	少	中	全道のそう根病発生地帯
2 倍体	単	やや直立	や短円錐	や少	少	や弱	北海道一円
3 倍体	単	やや開平	円錐	や少	少	弱	北海道一円
2 倍体	単	やや直立	や短円錐	中	少	や強	全道のそう根病発生地帯
3 倍体	単	やや開平	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
2 倍体	単	直立	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
3 倍体	単	やや開平	円錐	や少	少	強	北海道一円
2 倍体	単	直立	短円錐	や少	少	や強	全道のそう根病発生地帯
3 倍体	単	やや開平	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
2 倍体	単	直立	や円錐	や少	や少	強	全道のそう根病発生地帯
3 倍体	単	やや開平	円錐	や少	少	弱	北海道一円
3 倍体	単	やや開平	円錐	中	少	弱	北海道一円

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	組合せまたは育成方法	主要特性
フルーデンR	HT21	てんさい輸交第56号	(2004)		スウェーデン	「MS-388-0」×「2X/55」	単胚、そう根病抵抗性「強」、褐斑病抵抗性「やや強」、高糖分、良質

注) ○印をつけた品種の特性は「昭和52年度種苗特性分類調査報告書〜てん菜、さとうきび」昭和53年3月、甘味資源振興会、よりとった。
したがって、品種決定時（農業試験会議成績書）の記載とやや異なる。その他の品種についても、男沢（十勝農試）が前出「〜分類調査報告書」の分類基準によって訂正した形質がある。

16 は っ か

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性
ほうよう*	北交8号	はっか北海道第1号	1971(1965)	1978	北海道農試	種間交雑	中生種に属し、草型は直立型で、耐倒伏性が極めて強く、機械化向、高収率、多収品種である
あやなみ*	北交12号	はっか北海道第2号	1971(1968)	1984	北海道農試	種間交雑	銹病、倒伏、線虫などに強い安定多収型で、機械化集団栽培に適す
わせなみ*	北系J15号	はっか北海道第3号	1973	1999	北海道農試	種間交雑	早生短率で耐倒伏、耐病性で高収油率多収型で連作栽培にも適する
さやかぜ*	北系J16号	はっか北海道第4号	1975	1999	北海道農試	倍数体利用種間交雑	中生の晩で、高糖分、多収型品種であるが耐倒伏性は中程度
ほくと*	北海J20号	はっか北海道第5号第347号	1983(1982)		北海道農試	倍数体利用種間交雑	中生種の晩に属し、多収型、さび病、線虫の抵抗性は強いが、耐倒伏性は中、連作適性が高い

17 除 虫 菊

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性
わっさむ	26S-6-1	除虫菊北海道第1号	1971(1961)	1999	北海道農試	ケニア導入種からの栄養繁殖系統	中生、分枝数が多いため若花数多く多収、ピレトリン含有率もやや高い

18 ラベンダー

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性
おかむらさき	遅咲1-4	ラベンダー北海道第1号	1971(1964)	1999	中央農試	在来種より系統選抜	中生、花茎極長、花色やや濃紫、花茎収量やや多、収油率中、油質良
ようてい	早咲1-3	ラベンダー北海道第2号	1971(1964)	1999	中央農試	在来種より系統選抜	早生、花茎やや長、花色やや淡紫、花茎収量中、収油率極高、油質良
はなもいわ	中咲2-2	ラベンダー北海道第3号	1971(1967)	1999	中央農試	在来種より系統選抜	中生種、花茎長中、花色極淡紫、花茎収量多、収油率低値当初低い

19 な た ね

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
岩 内	本第11054号	なたね北海道第1号	1972(1935)	1981	北海道農試	在来種（岩内郡地方、別名「丸葉」）	洋種の秋播晩生種、含油量多く良質、冬損に弱い
ハンブルグ1号*	本育357号	なたね北海道第2号	1971(1937)	1975	北海道農試	「ハンブルグ」から純系淘汰	洋種の秋播晩生種、含油量多く、冬損に強い
タイセツナタネ*	北系87号	なたね北海道第3号	1971(1961)	1999	北海道農試	「ハンブルグ1号」より選出	洋種の秋播晩生種、耐寒耐病性强、良質多収、含油率高
イワオナタネ*	MR1号	なたね北海道第4号	1971(1961)	1999	北海道農試	「岩内」より選抜	洋種の秋播晩生種、強稈、耐寒耐病性强、多収、含油率多
キザキノナタネ*	キザキノナタネ	なたね移第5号なたね農林47号第3112号	1992(1992)		東北農試	「東北74号」×「Rapora」	中晩生種、多収、無エルシン酸、耐倒伏性强

倍数体	胚数性	葉姿	根形	露肩の多少	分岐根の多少	褐斑病耐病性	栽培適地
2倍体	単	直立	や短円錐	や少	少	や強	北海道一円

和 洋 種 別	花 色	茎の			葉の						さび病耐病性	耐 倒 伏 性	栽 培 適 地
		形	色	毛茸の多少	形	葉脈の色	葉 緑 状 態	葉柄の長 短	葉 色				
和種	中	四角柱状	赤紫	無	旋紡錘	明緑	鋸歯	中	短	緑	や強	強	全道の薄荷栽培地帯
和種	濃	四角柱状	赤紫	少	や旋紡錘	淡赤紫	鈍鋸歯	垂	短	濃緑	強	強	全道の和種薄荷栽培地帯
和種	濃	四角柱状	淡赤紫	少	皮針		鈍鋸歯	垂	中	淡緑	強	や強	全道の和種薄荷栽培地帯
和種	濃	四角柱状	赤紫	少	紡錘		鋸歯	垂	短	緑	強	中	全道の和種薄荷栽培地帯
和種	淡紫	四角柱状	淡赤紫	少	長卵形	淡緑	鋸歯	垂	中	緑	強	中	全道の和種薄荷栽培地帯

草姿	毛茸の多少	葉の		舌状花の				管状花の直径	栽培適地
		形	色	数	長さ	幅	着生密度		
叢生	や多	や広	白緑	や多24枚	並 17.2mm	や狭 6 mm		並 19mm	全道の除虫菊栽培地帯

注)「北海13号」対比

花茎の			花色	花序の長短	栽培適地
姿	色	硬軟			
半平状先端曲	緑	や硬	や濃紫	中	現在栽培されている各地
や直立	淡緑	や硬	や淡紫	長	現在栽培されている各地
や直立	淡緑	や硬	極淡紫	中	現在栽培されている各地

和洋種の別	春秋の別	草姿	葉色	花色	粒の		冬損歩合	栽培適地
					大小	色		
洋種	秋	Ⅳ型	濃緑	黄	大	黒褐	21.5	北海道中部以南の気候温暖な地帯に適する
洋種	秋	Ⅳ型	淡緑色	黄	大	黒褐	24.8	北海道東部、北部の豪雪極寒冷地帯を除く各地に適す
洋種	秋	Ⅳ型	濃緑	黄	大	黒	17.8	冬枯多発地帯、菌核病多発地帯主として道南
洋種	秋	Ⅳ型	濃緑	黄	中	黒	21.8	倒伏し易い地帯、多肥栽培に適し道南の菌核病多発地帯
洋種	秋	Ⅲ型	濃緑	黄	や大	黒	7.7	北海道一円

20 ひまわり

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	組 合 せ	主 要 特 性
ノースクイーン*	北交2号	ひまわり 北海道交第1号 ひまわり農林1号 第5671号	1997 (1994)	2003	北海道農試	「ADY-4」× 「ADK-4」	早生, 多収, 含油率がやや低い

Ⅲ 果 樹
21 りんご

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	来 歴	主 要 特 性
祝	American Summer Pearmain	りんご 北海道輸第1号	1972 (1924)	2002	米 国 原 産	両親不明	早生種としては品質良く, 樹体も強健, 生理的落果が多い
旭	McIntosh Red	りんご 北海道輸第2号	1972 (1924)		カナダ(オンタリオ州)	偶発実生	結果年齢到達早く豊産であるが, 老化が早く, 30年を過ぎると減収傾向
紅 玉	Jonathan	りんご 北海道輸第3号	1972 (1924)		米国(ニュー ヨーク州)	エソバススビエツェンブルグの自然交雑実生	結果年齢到達早く豊産, 独特の風味で品質がよい
陽玉(デリシャス)	Delicious	りんご 北海道輸第4号	1972		米国(アイオ ワ州)	偶発実生	食味は良いが, 着色は良くない。結果年齢到達おそく生産力は高くない
黄冠(ゴールデン デリシャス)	Golden Delicious	りんご 北海道輸第5号	1972		米国(ウェス トバージニア 州)	偶発実生	結果年齢到達早く豊産性, 無袋では果面の皺が多い
印 度		りんご 北海道輸第6号	1972	1984	青 森 県	白龍の自然交雑実生と推定	果汁少ない, 甘味強い独特な味, 隔年結果性強い
タイズマンレッド	Tydemans Red	りんご 北海道輸第7号	1972 (1967)	1987	英国(イース トモーリング 研)	「旭」×「ウォーセスターベアアメン」	早生種としては品質は良い, 収穫前の落果がやや多い
早 生 旭	Early McIntosh	127	1973		米国(ニュー ヨーク農試)	「黄魁」×「旭」	樹勢強健で, 早生種としては品質優良, 隔年結果性が強い
レッドゴールド	Redgold	128	1973		米国(ワシ ントン州)	「ゴールデンデリシャス」×「リチャードデリシャス」	結果年齢到達早く, 豊産性で貯蔵性は劣るが, 風味良好である
陸 奥		129	1973		青 森 県 り ん ご 試	「ゴールデンデリシャス」×「印度」	3倍体であるため受粉樹に用いられない。隔年結果性やや強い
ふ じ	東北7号	130	1973		東 北 農 試	「国光」× 「デリシャス」	「デリシャス」に比べ生理的落果少なく豊産性, 食味良好で貯蔵品種として優
スターキング デリシャス	Starking Delicious	131	1973		米国(ニュー ジャージー州)	「デリシャス」の枝 変わり	果実の外観食味とも優れるが, 結果年齢到達おそく, 生産性高くない
リチャードデリシャス	Richared Delicious	132	1973		米国(ワシ ントン州)	「デリシャス」の枝 変わり	果実の外観食味とも優れるが, 結果年齢到達おそく, 生産性高くない
ハックナイン	HAC9	りんご 北海道第8号 第1237号	1986 (1985)		中 央 農 試	「ふじ」×「つがる」	結果年齢到達早く, 豊産で貯蔵性高い, 3倍体品種であり, 花粉の発芽率は低い
き た か み *	盛岡15号	りんご準第7号 第366号	1983 (1986)		農水省果樹試 盛 岡 支 場	「東北2号」× 「レッドゴールド」	結果樹齡が早く, 豊産, 食味良
つ が る	青り2号	りんご準第8号	1986		青 森 県 り ん ご 試	「ゴールデンデリシャス」×「紅玉」	結果年齢到達が早く, 豊産, 食味良
ノースクイーン	HAC4	りんご 北海道第9号 第1864号	1989 (1987)		中 央 農 試	「ふじ」×「つがる」	結果年齢到達が早く, 生産性高く, 食味良
ニ ュ ー ジ ョ ナ ゴールド	ニュージョナ ゴールド	りんご準第9号 第63号	1980 (1988)		福 島 天 香 園	「ジョナゴールド」 の枝変わり	結果年齢到達が早く, 豊産性, 食味良
さ ん さ *	盛岡42号	りんご移第10号 りんご農林7号 第1565号	1988 (1996)		農水省果樹試 盛 岡 支 場	「ガラ」×「あかね」	樹体が小さい, 食味良, 黒星病に抵抗性あり
マ オ イ	HC15号	りんご北海道11号 第12305号	2004 (2000)		中 央 農 試	「マンテット」× 「HAC6」	極早生, 果実大, 肉質良, 日持ち性良
ひ め か み *	盛岡37号	りんご移第12号 りんご農林5号 第931号	1985 (2001)		農水省果樹試 盛 岡 支 場	「ふじ」×「紅玉」	中生, 着色良, 蜜入り多く食味良, 料理用にも利用可

茎長	莖の		葉の				葉縁の		筒状花 の向き	種子の			耐倒 伏性	栽培適地
	緑色 程度	毛の 多少	形	色	面の 粗さ	毛の 多少	鋸葉の 多少	揃い		色	斑紋	形		
中	淡	多	心臟形	淡緑	少	中	中	不規則	横向	黒	黒	長卵形	や強	北海道一円

樹勢	樹姿	収量	熟期	貯蔵性	果形	果実の 大きさ	果皮色	肉質	風味	栽培適地
強健	や直立	中	8月下～ 9月上・ 中	低	長円～楕 円形	160～200g	黄緑地に 紅褐の縞	ち密	果汁多く微酸, 甘味に富み, 味優	全道一円
頗る強健 発育旺盛	開張, 枝 下垂せず	多	9月下	中	円～楕円 形	180～220g	緑黄地に 濃紅色	頗る ち密	最初酸味強いが漸次甘味増し, 味優	全道一円
中	開張しや すい	多	10月中	稍高	円～やや 長円	160～230g	満面鮮紅 色	ち密	果汁やや多く, 酸味強いが味優	全道一円
強健, 発 育旺盛	結実後開 張	中	10月下	稍高	長円～卵 円錐	200～300g	緑黄地に 暗紅の縞	ち密	果汁多く甘味芳香有, 味秀	全道一円
強健, 発 育旺盛	半開張	多	10月下	高	長卵～長 円形	200～300g	鮮黄色	ち密極 めて良	果汁稍多, 甘酸適和, 芳香有, 味秀	全道一円
強健	結実後開 張	多	10月下～ 11月下	高	長円で頂 部円錐	200～300g	緑, 緑黄 地に淡赤 褐色	ち密甚 だ堅い	果汁非常に少なく芳香強く, 酸味な く甘味強, 味良	道央以南
強健	や開張	中	9月上～ 9月中	低	楕円形	180～200g	全面淡紅 色, 陽向 面濃紅色	ち密	果汁多く, 芳香有, 味優	全道一円
強健	半開張	中	8月中～ 下	低	扁円(円 錐)	160～200g	黄緑地に 褐紅	ち密で軟	果汁多く, やや酸多いが味優	全道一円
強健	や開張	多	10月上～ 中	中	円	200～250g	全面鮮紅	粗	果汁多く, 甘味強く, 微酸, 味優	全道一円
強健	半開張	中	10月下	高	長円～円	350～400g	黄緑～黄	や粗雑	微酸, 甘味も有, 2月以降味芳	全道一円
強健	開張	多	10月下～ 11月上	高	円～長円	250～300g	緑黄又は 黄の地に 暗紅縞	黄白ち密	果汁多く, 微酸, 甘味多く味秀	全道一円
強健旺盛	結実後開 張	中	10月下	や高	長円～卵 円錐	200～300g	満面濃暗 紅	ち密	果汁多く, 甘味芳香有, 味芳	全道一円
極旺盛	結実後開 張	中	10月下	や高	長円～卵 円錐	250～300g	全面鮮紅	ち密	果汁多く甘味芳香有, 味芳	全道一円
強健発育 旺盛	開張	多	10月下	高	長円	300～350g	黄緑地に 赤色の縞	黄白ち密	果汁多く, 甘味強く, 微酸, 味優	道央以南
や強	開張	多	9月中～ 下	低	扁円	150～200g	全面濃赤	や粗	果汁多く, 甘味, 酸味とも中, 食味 良	全道一円
中	開張	多	9月下～ 10月上	中	長円	230～250g	黄緑色地 に濃赤の 太い縞	黄白ち密	果汁多く, 甘味に富み, 酸味少なく, 食味良	全道一円
中	中間	多	10月中	や高	円	250～300g	黄緑の地 に淡紅～ 紅色	中位	甘味と酸味が適度, 果汁多く芳香有 り, 良食味	北海道一円
中	や開張	多	10月中～ 下旬	中	円	280～340g	赤縞	や粗	甘味と酸味が濃厚で, 果汁多く, 食 味良	北海道一円
や弱	や直立	中	9月下旬	中	円錐	200～250g	紅色～鮮 紅色	ち密	甘味と酸味が適度, 果汁多く, 食味 極めて良	本道りんご 栽培地域
や強	や直立	多	9月上旬	中	円	250～300g	緑色の地 に陽向面 紅色	ち密	肉質良く, さわやかな酸味	北海道一円
中	中間	多	10月中	中	長円～円 錐	250～300g	全面農赤	黄白ち密	甘酸適和, 果汁多く芳香有, 良食 味	北海道一円

22 りんご台木

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
E M VII	M 7	33	1972	1999	英国（イーストモーリング研）	在来系統を分類し命名	各種品種とも接木後の親和性良好で、半わい性となり「マルバ」台の2倍程度密植可
E M IX	M 9	34	1972	1999	英国（イーストモーリング研）	在来系統を分類し命名	各種品種との親和性は良好で、わい性となり「マルバ」台の3～4倍程度の密植可
M M 1 1 1		35	1972	1999	英国（イーストモーリング研、ジョン・インネス 試）	「ノーザンスパイ」×「M793」	各種品種とも接木後の親和性良好で、「マルバ」台程度の生育をし、樹体強健

23 な し

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
身 不 知		なし 北海道第1号	1972 (1936)		不 明	余市町で実生から発見	晩生種、果実は洋ナシ形、370g内外、収量は多、品質はやや不良
長 十 郎		なし 北海道第2号	1972 (1924)		神 奈 川 県 当 麻 長 十 郎	1895年ころ偶然実生として発見	晩生種、果実はやや扁円形、280g内外、収量は多、品質は良
バ ー ト レ ッ ト	Bartlett	なし 北海道輸第3号	1972 (1924)		イギリス原産	不明	中生種、果実は円すい形、250g内外、収量は多、品質は良
ブランデーワイン	Brandywine	なし 北海道輸第4号	1972 (1924)		不 明	不明	中生種、果実は短円すい形、180g内外、収量は中、品質が最良
日 面 紅	Flemish Beauty	なし 北海道輸第5号	1972 (1924)	2002	ベルギー原産	不明	中生種、果実は円すい形、300g内外、収量は多、品質は良
ウインターネリス	Winter Nelis	なし 北海道輸第6号	1972 (1924)	1987	イギリス原産	不明	晩生種、果実は短円すい形、150g内外、収量は中、品質は良
初 日		なし 北海道第7号	1972 (1957)	1987	北 海 道 農 試	「長十郎」×「身不知」	早生種、果実は短紡錘形、180g内外、収量は多、品質はやや良
甘 玉		なし 北海道第8号	1972 (1957)	1987	北 海 道 農 試	「長十郎」×「身不知」	中生種、果実は円形、250g内外、収量は中、無袋不可、品質はやや良
北 洋		なし 北海道第9号	1972 (1957)	2002	北 海 道 農 試	「長十郎」×「二十世紀」	晩生種、果実はやや不整な扁円形、280g内外、収量は多、品質は良
北 星*	北農1号	なし 北海道第10号 ナシ農林5号	1972 (1966)	2002	北 海 道 農 試	「身不知」×「二十世紀」	中生種、果実は紡錘形、350g内外、収量は中程度、品質は良
北 都*	北農2号	なし 北海道第11号	1972 (1968)		北 海 道 農 試	「二十世紀」×「身不知」	中生種、果実は短紡錘形、250g内外、収量は中程度、品質は最良
北 甘*	14号	なし 北海道第12号 なし農林9号	1980		北 海 道 農 試	「甘玉」×「二十世紀」	中生種、果実は円形で約240g、収量中位、食味良、無袋不可
北 豊*	77号	なし 北海道第13号 なし農林10号	1980		北 海 道 農 試	「身不知」×「長十郎」	中生種、果実は不整な短楕円形、320g内外、多収性、甘味は強く食味良
北 新*	67-17-22	なし 北海道第14号 なし農林17号 第5796号	1997 (1995)		北 海 道 農 試	「新世紀」×「北甘」	中生種、果実は扁円形、326g内外、多収性、糖度高く良食味

24 く り

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
オータムポロン	道南1号	その他 北海道第17号 第3226号	1992 (1990)		道 南 農 試	在来種「銀太郎」の自然交雑実生より選抜	早生、多収、良食味
オータムコロン	道南2号	その他 北海道第18号 第3227号	1992 (1990)		道 南 農 試	在来種「銀太郎」の自然交雑実生より選抜	極早生、多収、極良食味

樹 の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	貯蔵性	果形	果実の 大きさ	果皮色	肉質	風味	栽培適地
半わい性	中	やや開張	中	やや早まる	平常	平常	平常	やや優る	平常	や糖度 上がる	現在のりんご産地全道一円
半わい性	中	開張	少	早まる	やや劣る	平常	平常	やや優る	平常	糖度上 がる	現在のりんご産地全道一円
標準	旺盛	中	多	平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常	現在のりんご産地全道一円

樹勢	樹姿	収量	収穫期	追熟期間	貯蔵性	果形	果実の大きさ	果皮色	肉質	風味	品質	栽培適地
強	開張	多	10月中・ 下		中	円錐	370g内外	緑黄	粗	や良	や良	本道独特の品種で耐寒性強く、本道一円に栽培できるが、品質的経済的栽培は道央以南の地域
中	直立	多	10月下		高	や扁円	280g内外	淡褐	や粗	良	良	晩生種で耐寒性に弱いことから、道央以南の地域
強	やや開張	多	9月上・ 中	7～10日	短	円錐	250g内外	黄	密軟	良	良	耐寒性は「身不知」より弱い。道央以南で最低気温が-25～26℃以下にならない地域
強	やや開張	中	9月中下	2週間 前後	短	短円錐	180g内外	黄緑	密軟	良	最良	耐寒性は「身不知」に近い。道央以南の地域
強	開張	多	10月上	2週間 前後	短	円錐	300g内外	黄緑	密軟	良	良	耐寒性は強く「身不知」に近いが、経済栽培は道央以南の地域
中	やや開張	中	10月下	2～3 カ月	短	短円錐	150g内外	暗緑	や粗軟	良	良	耐寒性は強く「身不知」に近い。道央以南の地域
強	やや開張	多	9月中		低	短紡錘	180g内外	緑褐	ち密	良	良	耐寒性が強く早生種であることから、道央以北の適品種のなかった地域の自家用栽培に適する
強	開張	中	9月下～ 10月上		中	円	250g内外	淡緑黄	や粗	良	良	耐寒性の点からみて、胆振以北の最低気温が-27～28℃以下にならない地域
強	開張	多	10月下		高	不整な 扁円	280g内外	淡褐	密	良	良	空知以南、胆振以北の中部地方に適する。黒星病の被害少なく、粗放栽培に耐えるので道南の一部地方にも適する
中	開張	中	10月上		中	紡錘	約350g内外	緑黄	や粗	良	良	「長十郎」の栽培されている地域
強	開張	中	10月上		中	短紡錘	約250g内外	白緑黄	密	良	最良	中生種「身不知」の栽培されている地域
強	やや開張	多	9月下～ 10月上		低	不整な 短楕円	240g内外	黄緑褐	や粗	良	中	耐寒性強く、早生種であり、道央以北(石狩、空知、上川、網走)の地域
強	やや開張	中	9月下		中	円	320g内外	黄緑	や密	良	良	耐寒性の点からみて道央以南(渡島、後志、石狩、胆振)の地域
強	中間	多	9月下～ 10月上		低	扁円	326g内外	黄緑	や密	良	良	道内日本なし栽培地帯

樹勢	樹姿	枝梢			葉の 大小	きゅう果			果実				果肉 の色	肉質	甘味	香气	栽培適地
		粗密	長さ	太さ		形	大きさ	肉の 厚さ	形	大きさ	色	剥皮の 難易					
強	やや開張	密	中	太	大	扁球	中	中	円	小	褐	中	黄	粉質	中	中	道南(渡島、檜山)
強	中	密	中	中	中	扁球	小	中	円	小	淡褐	中	黄	粉質	中	中	道南(渡島、檜山)

25 ぶどう

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
キャンベルアーリー (カメルズアーリ)	Campbell Early	ぶどう 北海道輸第1号	1972 (1924)		米国(オハイ オ州)	「ムーアアーリー」 の実生	黒色種、果房果粒共に大きい。極めて 豊産性である
デラウェア	Delaware	ぶどう 北海道輸第2号	1972 (1924)		米国(オハイ オ州)	偶発実生、1849年発 表	赤色種、果房果粒共に小さい。甘味 多い。耐寒性はやや劣る
ナイアガラ	Niagara	ぶどう 北海道輸第3号	1972 (1924)		米国(ニュー ヨーク州)	「コンコード」× 「キャサディ」	白色種、豊産性で甘味が多いが、熟 期遅い。狐臭強い
ブライトン	Brighton	ぶどう 北海道輸第4号	1972 (1924)	1984	米国(ニュー ヨーク州)	「ダイアナハンブルグ」 ×「コンコード」	赤色種、甘味強く品質は良いが、自 家不受精のため結実不安定
バッファロー	Buffalo	ぶどう 北海道輸第5号	1972 (1966)		米国(ニュー ヨーク農試)	「ハーバート」× 「ワトキンス」	黒色種、糖酸共に多く、独特の香り がある。耐寒性はやや劣る
ポートランド	Portland	133	1973		米 国 (ニューヨ ーク農試)	「チャンピオン」× 「ルター」	白色種
フレドニア	Fredonia	134	1973	1999	米国(ニュー ヨーク農試)	「チャンピオン」× 「ルシール」	黒色種、熟期やや早く、酸味やや少 ない。脱粒し易い
ミュラートルガウ	Muller Thurgau	ぶどう 準輸第3号	1981		ドイツ(スイ ス)	「リースリング」× 「ジルバーナー」	白ワイン用醸造専用品種。耐寒性は やや劣る
セイベル 5279	Seibel5279	ぶどう 準輸第4号	1981		フ ラ ンス	「セイベル788」× 「セイベル29」	白ワイン用醸造専用品種。花振りや や多い
セイベル 13053	Seibel13053	ぶどう 準輸第5号	1981		フ ラ ンス	「セイベル7042」× 「セイベル5409」	赤ワイン用醸造専用品種
ツバイゲルトレーベ	Zweigeltrebe	ぶどう 準輸第6号	1981		オーストリア	「ブラウフレンキッ シュ」×「サンローラ ン」	赤ワイン用醸造専用品種
ノースレッド	安芸津 4号	ぶどう移第6号 第3117号	1992 (1991)		農 水 省 果 樹 試 験 場 安 芸 津 支 場	「セネカ」× 「キャンベルアーリー」	赤色種、糖度高い、特殊な香りを有 する、食味良
ノースブラック	安芸津 5号	ぶどう移第7号 第3457号	1993 (1992)		農 水 省 果 樹 試 験 場 安 芸 津 支 場	「セネカ」× 「キャンベルアーリー」	黒色種、糖度高く酸味少、フォクシー 香
藤 稔	藤稔	ぶどう準移第8号 第919号	(2000)		神 奈 川 県 青 木 一 直	「井川682号」× 「ピオーネ」	黒色種、四倍体、糖度高く良食味、 極大粒、ハウス用品種

26 おうとう

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
日 の 出		その他 北海道第10号	1972 (1922)		イギリス原産	不明	極早生、果実は紫黒色でやや小さい。 多汁であるが甘味はやや乏しい
北 光 (水門)		その他 北海道第11号	1972 (1922)		小樽市で発見	偶然実生、1912年 (明44)	中生種、果実は中位で軟らかく、多 汁である。裂果が少ない
ナポレオン		その他 北海道輸第12号	1972 (1922)		欧州在来	不明、1700以前に発 表	晩生種、果実は大きく肉質はやや硬 い。甘味多く、品質は良い、加工適 性有
佐 藤 錦		135	1973		山形県佐藤栄 助	「ナポレオン」× 「黄玉」	中生種、果実は黄赤色で中位、甘味 多く、品質は良い
南 陽		おうとう 準北海道第2号	(1988)		山形県農試置 賜 分 場	「ナポレオン」の実 生を胚培養	晩生種、果実は大きく甘味が多い、 極良食味

27 おうとう台木

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
チシマ台1号	DS 1	台木類(おうとう) 北海道交第1号 第12376号	2004 (2002)		中央農試、 道南農試	チシマザクラの実生 より選抜	耐寒性が強く、わい化性、接ぎ木親 和性に優れる

樹勢	収量	熟期	果房形	着粒の 疎 密	果粒形	果房の 大きさ	果粒の 大きさ	果皮色	肉質	風味	その他	栽培適地
中	極多	9月下~ 10月上	長円錐	密	円	大	や大	黒	軟	酸や多		道央南部以南
強	中	10月上	円筒	や密	円	小	小	赤褐	軟	酸味少 甘味多	GA処理により 種なし化。 熟期促進化可	道央南部以南
強	多	10月 上~中	円錐	密	円	中	中	黄緑	軟	甘味多 フォクシー 香強		道央南部以南
強	少	10月上	長円錐	中	円	中	中	暗赤	軟	甘味多	自家不受精	道央南部以南
や強	中	9月下~ 10月上	円錐	や疎	円	中	中	紫黒	軟	糖酸芳香	GA処理により 種なし化。 熟期促進化可	道央南部以南
中	中	9月 中~下	円筒	中	円	中	中	緑黄	軟	甘味多		道央南部以南
強~中	中	9月下	短円筒	密	扁円	中	中	青黒	軟	酸や少		
中~やや弱	中	10月上	円筒	密	短楕円	中	小	黄緑	軟			空知以南およびそれに準ずる地帯
や強	中	9月下~ 10月上	円筒	中	扁円	や小	小	黄白	軟			上川以南およびそれに準ずる地帯
中	中	9月下~ 10月上	円錐	中	円	小	小	黒	軟			上川以南およびそれに準ずる地帯
中	中	10月上	円錐	極密	円	中	小	黒紫	軟			空知以南およびそれに準ずる地帯
や強	多	9月 中~下	円筒	中~密	円	中	中	紫赤~ 暗赤色	軟	甘味多香		道央南部以南
中	中	9月 中~下	円筒	密	円	や大	や大	黒	中	甘味多, フォク シー香		道央南部以南
強	多	9月 中~下	円錐	や密	短楕円	大	極大	紫黒	軟	微フォク シー香		生食用ブドウ栽培地域のハウス栽培 用

樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の 大きさ	果皮色	肉色	肉質	風味	品質	裂果	栽培適地
中	直立	中	6月下	心臓	中	紫黒	紫赤	軟	甘味中 微酸	中	中	道央以南
強	半開張	多	7月上	心臓	中	赤帯黄	淡黄	軟	甘味中位	中	少	道央以南
強	直立	多	7月 中~下	長心臓	大	赤帯淡黄	黄白	や硬	甘味多	上	中	道央以南
強	直立	多	7月初	短心臓	中	黄赤	黄白	軟	甘味多	上	中	道央以南
や強	直立	多	7月上	短心臓	極大	赤帯淡黄	黄白	や硬	甘味多	上	少	道南、道央

耐寒性	わい化性	着花性	収量		接ぎ木 親和性	吸枝の 発 生	繁殖性	果実品質	満開日	収穫期	栽培適地
			南陽	北光							
中	中	やや良	少	多	良	極少	中	平常	平常	平常	全道おうとう栽培地域
強	やや弱	中	中	—	良	無	や難	平常	平常	平常	

注) 台木特性(上段は二重台, 下段は自根台)

28 う め

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
豊 後		その他 北海道第13号	1971		不 明	不明	耐寒性が強く、大果で果肉が厚く加工向きだが梅干に不適、耐病虫性弱
大 野 豊 後		153	1975		道 南 農 試	大野町の豊後梅の在来種中より選抜	耐寒性も強く、結果期早く、豊産性で果実小さく梅干に向くが、樹勢弱く樹形維持に難点がある

29 す も も

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ビ ュ ー テ ィ		136	1973 (1925)		米 国	不明	極早生、豊産、小果、食味不良、日焼多、黒班病弱、貯蔵性劣る
大 石 早 生		137	1973 (1952)		福島県大石俊雄氏園	フォーモサの自然交雑実生	極早生、豊産、小果、食味不良、日焼少、黒班病弱

30 も も

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
倉 方 早 生		138	1973 (1951)	1999	東 京 都 倉方英蔵氏園	「長生種(タスカン×白桃)」×「実生種」	外観良、甘味多、貯蔵性良、肉質やや硬い、自家結実性乏しい
白 鳳		139	1973 (1931)		神 奈 川 県 農 試	「白桃」×「橘早生」	食味、色沢良、樹勢弱、耐病性弱
大 久 保		140	1973 (1925)		岡 山 県 大久保重五郎氏園	白桃実生	外観良、貯蔵輸送性良、食味淡白、樹勢弱、開張下垂性
砂 子 早 生		141	1973 (1958)	1999	岡 山 県 上村輝男氏園	偶発実生	大果、外観良、食味良、貯蔵性良、自家結実性なし

31 カーランツ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ロンドンマーケット	London Market	142	1973 (1965)			不明(イギリスで古くから栽培)	樹は大きく開張性、ごく豊産、熟期7月中～下旬、果実は赤く大きい
ローズオブホーランド	Rose of Holland	143	1973 (1965)			不明(フランスで古くから栽培)	樹は大きく直立性、熟期7月下旬～8月上旬、ごく豊産、果実の大きさ中で濃赤色
レッドレーク	Red Lake	144	1973 (1965)			アメリカ(ミネソタ農試)	樹は大きさは中、開張性、収量中、熟期7月中旬、果実は大きく赤い
ボスクープジャイアント	Boskoop Giant	145	1973 (1965)			オランダ	樹は大きく開張性、収量中位、熟期7月下旬～8月上旬、果実は黒く大きい
レッドダッチ	Red Dutch		1973			不明(ヨーロッパ起源)	樹は大きく、直立性、豊産性、熟期は7月中～下旬、果実の大きさ中で赤色

32 ハイブッシュブルーベリー

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ジ ュ ー ン	June	146	1974		米 国	「(ブルックス)×(ラッセル)」×「ルーベル」	早生種、樹姿はやや開張性で大きく、収量が多い、凍害に強い
ランコカス	Rancocas	147	1974		米 国	「(ブルックス)×(ラッセル)」×「ルーベル」	中生種、樹姿はやや開張で大きく、収量が多い。凍害に強い
ウェイマウス	Weymouth	148	1974		米 国	「ジューン」×「キャポット」	早生種、樹姿は開張性で小さく、収量が多い。凍害に強い
ハーバート	Herbert	149	1974		米 国	「スタンリー」×「(ジャージー)」×「(バイオニア)」	中生種、樹姿は開張性で大きく、収量が多い。凍害にやや強い

樹の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	自家 結実性	収穫期	貯蔵性	果形	果実の 大きさ	果皮色	風味	その他	栽培適地
大	強	やや直立	や多	有	8月上	有	円～長円	大 (30～60g)	黄緑地 暗紅斑	中	結合線不明 不整果多 玉揃不良	道南, 道央
小	弱	開張	多	有	8月上		円	小～中	黄緑地 暗紅斑	良		道央, 道南

樹の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	自家 結実性	熟期	貯蔵性	果形	果実の 大きさ	果皮色	肉色	肉質	食味	その他	栽培適地
や小	良好	直立～ 開張	極多	有	8月中 ～下	劣	円錐心臓	小 (100g)	鮮紅	黄色～ 淡紅	柔軟、 多汁	甘味少、 酸味少	黒班病 弱、日 焼多	道南, 道央, 道東
や大	強	直立～ 開張	多	不良	8月中 ～下	劣	円錐心臓	小 (100g)	鮮紅	黄	柔軟	甘味少、 酸味極 少		道南, 道央, 道東

(風味を削除)

樹の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の 大きさ	果皮色	肉色	肉質	核の 粘 膜	品質	その他	栽 培 適 地
や大	強	やや開張	多	8月下	整円	中の小 (150g)	果頂紅 ぼかし	白色	ち密	粘核	良好	耐病性強、核割 少、核周着色	渡島, 檜山, 胆振, 日高(中西部)
や大	中～や 弱	開張	中	9月上 ～中	円～長 円	中 (180g)	乳白色紅 ぼかし	白色	ち密や 硬	粘核	良好	耐病性や弱、核 周淡紅、剥皮容 易	渡島, 檜山, 胆振, 日高(中西部)
中～小	弱	極開張	多	9月中	円～長 円	大 (260g)	乳白紅斑	白色	や粗	離核	や良	日焼多、核周 淡紅、穿孔病弱	渡島, 檜山, 胆振, 日高(中西部)
大	や強	開張	多	8月下	楕円～ 円	大 (250g)	乳白色紅 ぼかし	白色	ち密織 維や少	粘核	良好	耐病性強、核割 少、剥皮容易	渡島, 檜山, 胆振, 日高(中西部)

樹の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果房長	果形	果実の 大きさ	果皮色	耐寒性	栽培適地
大	強	開張	ごく多	7月 中下	や長	円	大	赤	強	全道
大	強	直立	ごく多	7月下～ 8月上	長	円	中	濃赤	強	全道
中	中	開張	中	7月中	や長	円	大	赤	強	全道
大	強	開張	中	7月下～ 8月上	短	円	大	黒	強	全道
大	中	やや直立	多	7月 中～下	中	円	中	赤	強	全道

樹の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の 大きさ	果皮色	風味	耐寒性	栽培適地
大	中	やや開張	多	7月下～ 8月下	や扁円	中	濃藍	甘味中位	強	道央以南
大	中	やや開張	多	8月上～ 8月末	や扁円	中	濃藍	甘味多	強	道央以南
小	弱	開張	多	7月下～ 8月中	や扁円	や大	濃藍	甘味多	強	道央以南
大	中	開張	多	8月中～ 9月中	扁円	大	濃藍	甘味中位	や強	道央以南

33 グースベリー

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ピックスウェル	Pixwell	158	1976		米 国	「リベス・ミズリエンシス」×「オレゴンチャンピオン」	熟期7月下旬、果実は大きさ中位で円形、紫紅色、糖度たかい、ごく多収
グレンダール	Glendale	159	1976		米 国	「グロスラリア・ミズリエンシス」×「栽培種の子孫」	熟期7月下旬、果実は大きさ中位で円形、紫紅色、糖度高い、ごく多収
オレゴンチャンピオン	Oregon Champion	160	1976		米 国	「クラウン・ポップ」×「ホートン」	熟期7月下旬、果実は大きさ中位で円形、緑黄色、糖度高い
ホートン	Houghton	161	1976		米 国	アメリカ種×ヨーロッパ種	熟期7月下旬、果実はやや小さく円形、暗赤色、糖度高い、多収
赤実大玉			1968		不 明	不明	熟期7月下旬、果実は大で長円形、暗赤色、糖度は中位、多収、ウドンコ病に弱い、ヨーロッパ系品種
ドイツ大玉	White-smith		1968		不 明	不明（英国起源）	熟期7月中旬、果実は大で長円形、緑白色、収量は中位、ウドンコ病に弱い、ヨーロッパ系品種

34 キイチゴ（ラズベリー）

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ラーザム	Latham	その他北海道14号	1972(1940)		米 国	「キング」×「ロウドン」	樹は大きく、樹勢強、豊産性、熟期は7月下旬～8月下旬、果実は円形で鮮紅色
ゴールデン・クィーン	Golden Queen	その他北海道15号	1972(1940)		米 国	「カスパート」の突然変異種	樹は大きく、樹勢は中位、やや豊産性、熟期は7月下旬～8月下旬、果実はだ円形で鮮黄色
カスパート	Cuthbert		1974		米 国	偶発実生	樹は大きく、樹勢は強、熟期は7月下旬～8月下旬、果実はだ円形で濃赤色
フレミング・ジャイアント	Flaming Giant		1974		米 国	野生赤色間の交雑実生	樹の大きさと樹勢は中位、多収性、熟期は7月中旬～8月中旬、果実は短だ円形で鮮紅色
セプテンバー	Septmber		1974		米 国	「マーシー」×「レーニア」	樹の大きさと樹勢は中位、豊産性、二季成りで熟期は7月中旬～8月中旬と9月中旬～降霜まで、果実は短だ円形で鮮紅色
チルコチン	チルコチン	ラズベリー準輸第1号	(1992)		カ ナ ダ	「サムナー」×「ニューバーグ」	中生種、多収、耐寒性强、酸味が強い
ヌートカ	ヌートカ	ラズベリー準輸第2号	(1992)		カ ナ ダ	「カーニバル」×「ウイラーメット」	中生種、多収、耐寒性强、食味良
スキーナ	スキーナ	ラズベリー準輸第3号	(1992)		カ ナ ダ	「レクトン」×「SHR16010/52」	中生種、耐寒性强、多収

35 ハスカップ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ゆうふつ	HC 1	その他北海道第16号第3033号	1992(1990)		中央農試	在来種からの系統選抜	早生種、一果重大、多収

樹の大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の大きさ	果皮色	品質	耐寒性	栽培適地
大	強	や開張	ごく多	7月下	円	中	紫紅	良	強	全道、土壌適応性は広いが排水の良い粘質がかった土壌が適す
大	強	や開張	多	7月下	円	中	紫紅	良	強	全道、土壌適応性は広いが排水の良い粘質がかった土壌が適す
中	や強	や開張	中	7月下	円	中	緑黄	良	強	全道、土壌適応性は広いが排水の良い粘質がかった土壌が適す
中	や強	や開張	多	7月下	円	や小	暗赤	良	強	全道、土壌適応性は広いが排水の良い粘質がかった土壌が適す
小	中	開張	多	7月下	長円	大	暗赤	良	強	全道、土壌適応性は広いが排水の良い粘質がかった土壌が適す
小	中	開張	中	7月中	長円	大	緑白	良	強	全道、土壌適応性は広いが排水の良い粘質がかった土壌が適す

樹の大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の大きさ	果皮色	品質	耐寒性	栽培適地
大	強	上向開張	多	7月下～8月下	円	中	鮮紅	中	強	有機質に富んだ砂壤土が適す
大	中	上向開張	多	7月下～8月下	だ円	小	鮮黄	上	強	有機質に富んだ砂壤土が適す
大	強	上向開張	中	7月下～8月下	だ円	小	濃赤	中	強	有機質に富んだ砂壤土が適す
中	中	上向開張	多	7月中～8月中	短だ円	中	鮮紅	上	強	有機質に富んだ砂壤土が適す
中	中	上向開張	多	7月中～8月中旬～降霜	短だ円	中	鮮紅	中	強	有機質に富んだ砂壤土が適す
中	強	直立開張	多	7月下～8月下旬	長円錐	大	鮮紅	上	強	北海道の果樹栽培地帯
中	強	直立開張	多	7月下～8月下旬	長円錐	大	暗紅	上	強	北海道の果樹栽培地帯
中	強	直立開張	多	7月下～8月下旬	長円錐	大	暗紅	中	強	北海道の果樹栽培地帯

樹の大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の大きさ	果皮色	甘味	酸味	灰色かび病抵抗性	栽培適地
大	強	開張	多	6月下～7月上旬	銚子	大	青黒	少	少	中	北海道一円

IV 花 卉

36 花ゆり

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ハゴロモ	交配2号	花ユリ 北海道第1号	1972 (1960)	1979	北海道立農試	「あかひたと」×「お くきんぶせん」	開花7月下旬～8月上旬，花色朱紅 色，花卉反転，珠芽なく下向咲，切 花用
岩内透3号	146号	花ユリ 北海道第2号	1972 (1964)	1979	北海道立農試	自生「エゾスカシユ リ」より選抜	開花6月上・中旬，花色鮮紅色，班 点少なくコップ上で上向，促成切花 用
えぞあか	岩宇7号	花ユリ 北海道第3号	1972 (1967)	1979	中央農試	「えぞ透」×「千草」	開花期6月中・下旬，花色赤橙色， 斑点少，反転少なく上向咲，促成切 花用
えぞこがね	岩宇16号	花ユリ 北海道第4号	1972 (1967)	1979	中央農試	「えぞ透」×「透ゆり」 (不明)	開花期6月中・下旬，花色黄橙色， 斑点中，上向咲，梢々大輪，促成切 花用
岩内黄金	4503	花ユリ 北海道第5号	1976	1999	中央農試	(3712)×(F系)	開花期6月下旬～7月上旬，花色濃 黄色，斑点少なく横向咲，促成切花 用
コタンの月	5226	花ユリ 北海道第6号 第1542号	1988 (1986)	2001	中央農試	「4737」×「664」	極遅咲き，草姿良く，花数多い
きたきらり	Li-9	花ゆり 北海道第7号	(2003)		花野枝セ・ 中央農試	「モナ」×「チョウセ ンヒメユリ」	小輪のスカシユリで，花形・草姿に 優れる。球根の多芽性により切花の 収量性が高い。
	Li-19	花ゆり 北海道第8号	(2004)		花野枝セ・ 中央農試	「ホワイトランサー」 ×「チョウセンヒメユ リ」	鮮やかな花色と小輪性を有し，花形・ 草姿に優れる。小球開花性に優れ， 球根の生産性も良い。

37 デルフィニウム

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
シーオーワン	CO-1	花き類北海道1号 第7920号	2000 (1995)		中央農試	「ブルースパイヤー」 の突然変異	晩性種。着花密度はやや低いとその 他の形質は従来品種並。生育の揃い 良好

開花期 月日	草丈cm	葉数(枚)	花色	花形	花序	花梗	蕾毛	茎色	木子	珠芽	葉の着生	葉色	葉形	球根の色
6.10	70	78	鮮紅	上向	輪生	やや長	少	緑	普通	なし	密	緑	抜針形	白
6.10	70	78	鮮紅	上向	輪生	やや長	少	緑	普通	なし	密	緑	抜針形	白
6.21	37	93	赤橙	上向	輪生	中	有中	緑	僅かに 有	なし	水平		抜針形	白
6.20	48	86	黄橙	上向	輪生	中	有中	緑	ほとん どなし	ほとん どなし	垂下		抜針形	白
6月下旬 7月上旬	35～40	60	濃黄	スカシ 横 向	輪生	中	なし	緑	僅かに 有	なし	水平		抜針形	白
7月下旬	80～90	90～100	鮮黄	上向～ 斜上向		中	微～無	淡褐	多	なし		緑	抜針形	白
7月上旬	80		鮮橙	スカシ ユ リ	総状	中	微	緑	なし	なし	水平	緑	披針形	白
7月上旬	100		鮮橙	テッポウ ユリ～ス カシユリ	総状	やや長	無	緑	なし	なし	斜上	緑	長楕円形	白

開花期	草丈cm	節数	花色	花形	花径cm	花蕾数	花穂長cm	花穂数
7月下旬～ 8月上旬	80-95	13-23	白地に紫色の 刷毛目	八重	3.5-4.1	16-27	30-50	5-14

IV 野 菜

38 ト マ ト

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地
					草勢	熟期	果形	果色	果重 g	耐病虫性	
あ か ぎ	とまと 準北海道第1号	1972	1996	東京シード	強	中	豊円	緋赤	148		全道一円
宝 冠 1 号	26	1972	1979	武蔵野種苗	中	早～中	豊円	濃桃	146		全道一円
新 豊 紀	27	1972	1979	ヤマト種苗	中	早～中	扁円	桃	152		全道一円
豊 緑	28	1972	1979	サカタ種苗	強	中	扁円	濃桃	162	F	全道一円
スーパードキング	29	1972	1979	ヤマト種苗	中～強	早～中	扁円	濃桃	177		全道一円
福 寿 2 号	50	1972 (1930)	1979	タキイ種苗	中	早	豊円	濃桃	157		全道一円
ひ か り	51	1972 (1961)	1979	園芸生産研	中	中	豊円	濃桃	172		全道一円
宝 冠 2 号	52	1972 (1963)	1990	武蔵野種苗	中～強	早～中	豊円	濃桃	200		全道一円
栄 寿	53	1972 (1965)	1979	タキイ種苗	中～強	早～中	豊円	濃桃	171		全道一円
東 光	54	1972 (1961)		む さ し	中	早～中	豊円	濃桃	175		全道一円
強 力 栄 寿	55	1972	1979	タキイ種苗	強	中	豊円	濃桃	200	F, TMV, CL	全道一円
強 力 五 光	56	1972	1979	む さ し	強	中	豊円	鮮桃	156	F, CL, N	全道一円
強 力 月 光	57	1972	1979	む さ し	強	中	豊円	濃桃	180	F, CL, N	全道一円
ウルバーナ	トマト 北海道輸第1号	1972 (1965)	1979	導 入	強	早～晩	扁円 球 豊満	赤	100	中	全道一円
ファイヤーボール	トマト 北海道輸第2号	1972 (1966)	1979	導 入	強	早	豊満	濃赤	100		全道一円
早生だるま	とまと準北海道 第15号	1977	1996	松 永	強	早	豊満	濃赤	70		道央以南
交 1 号	165	1977	1984	北海道農試	強	早	豊満	赤	110		道央以南
れ い ぎ ょ く	166	1977	1984	長野農試	強	早	豊満	濃赤	120	F	道央以南
KRN-2011	トマト 北海道交第3号	(1995)		麒麟麦酒 北海製缶	中～強	中	豊円～ や扁円	濃赤	145		全道一円
N D M O 5 1	トマト 北海道準移交第 17号	(1995)		日 本 デルモンテ	中	中	や縦長 の珠	濃赤	80		全道一円

注1)果重として北農試のデータ(1970年)

2)耐病虫性 F(萎ちょう病), TMV(タバコモザイク病), CL(はかび病), N(根こぶ線虫)の略

39 な す

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地
					草勢	熟期	分枝	果形	果色	収量	
金井新交鈴成	58	1973 (1960)	1979	金 井	開張	早	多	長卵	濃黒紫	多	全道一円
新 橋 真	59	1973 (1960)	1979	ヤマト種苗	開張	早	多	長卵	濃黒紫	多	全道一円
郡 真 5 号	60	1973 (1970)	1979	群 馬	や立	早	多	長卵	漆黒	多	全道一円
金 井 早 真	61	1973 (1970)	1979	金 井	立	極早	多	中長	濃黒紫	多	全道一円

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地
					草勢	熟期	分枝	果形	果色	収量	
千 両	62	1973		タキイ種苗	半開張	早	多	長卵	漆黑	多	全道一円
長 岡 長	63	1973	1979	タキイ種苗	半開張	極早	多	長	漆黑	多	全道一円

40 ピーマン

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地
					草勢	熟期	分枝性	果形	果重 g	果肉の厚さ	
緑 王	64	1973 (1963)	1979	む さ し	開張	極早	多	4角長果	40	中	全道一円
エ ー ス	65	1973 (1970)		タキイ種苗	開張	極早	多	中獅子	50	中	全道一円
に し き	66	1973 (1970)	1979	園 芸 研	半開	中早	多	長獅子	40	厚	全道一円

41 きゅうり

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性										栽培適地
					草勢	葉の 大小	低 温 伸長性	着 習 性	果形	果色	い の ぼ 色	収量	作型		
長 日 青 節 成	30	1972	1979	ヤ マ ト 種 苗	強	大	良	主	長	緑	黒	多	促成用	全道一円	
久留米落合H型	31	1972	1979	久留米原種育成会	強	中	良	主	長	濃緑	黒	多	促成用	全道一円	
夏 崎 落 3 号	32	1972	1979	埼玉原種育成会	強	中	良	主	長	濃緑	白	多	露地用	全道一円	
小 城 節 成	41	1973 (1956)	1979	フ ジ イ 種 苗	強	中	良	主	長	濃緑	黒	中	露地用	全道一円	
翠 青 2 号	42	1973 (1956)	1979	タ キ イ 種 苗	強	中	良	主	長	濃緑	黒	多	促成用	全道一円	
と き わ 夏 節	43	1973 (1963)	1979	サ カ タ 種 苗	強	小	中	側	中	濃緑	白	多	露地用	全道一円	
亀 交 春 秋	44	1973 (1964)	1979	渡 辺 農 事	強	大	良	主	長	淡緑	黒	多	抑制用	全道一円	
松 の み ど り	45	1973 (1965)	1979	日本園芸生産研	強	中	良	主	長	濃緑	黒	多	促成用	全道一円	
長 交 と き わ	46	1973 (1970)	1979	タ キ イ 種 苗	強	中	中	主	長	濃緑	白	多	露地用	全道一円	
さ つ き み ど り	47	1973 (1970)	1979	サ カ タ 種 苗	強	小	中	側	長	濃緑	白	多	露地用	全道一円	
み な づ き	48	1973 (1970)	1979	カ ネ コ 種 苗	強	大	良	主	中	濃緑	黒	多	促成用	全道一円	
な つ み ど り	49	1973 (1970)	1979	神 田 育 種	強	大	中	側	長	濃緑	白	多	露地用	全道一円	

42 メロン

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					分類	草勢	果形	果皮色	果肉色	果重kg	成熟日数	
北海道キング系	67	1973	1979	各 社	ネット	強	長円	灰緑	桃	1.8	45	全道一円
アールスフェボリット	68	1973	1990	各 社	ネット	中	円	灰緑	緑	1.4	55	全道一円
プ リ ン ス	69	1973 (1967)		サ カ タ 種 苗	ノーネット	強	長円	灰緑	桃	0.6	40	全道一円
め ろ り ん	メロン北海道 第1号 第9656号	2002 (1998)		花 野 技 セ	ネット	中	長円	灰緑	緑	1.8	45	全道一円

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					分類	草勢	果形	果皮色	果肉色	果重kg	成熟日数	
い ち ひ め	メロン北海道 第2号	(2002)		花野技セ	ネット	中	長円	灰緑	桃	1.8	50	全道一円

43 メロン台木

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性				栽培適地
					接ぎ木作業性	低温伸長性	草勢	土壌病害抵抗性	
どうだい1号	台木類北海道第 1号 第10755号	2002 (1999)		花野技セ	中～難	中	弱～中	つる割病レース0.1, 2y	全道一円, つる割病レ ース1,2y発生圃場
どうだい2号	台木類北海道交 第2号 第12287号	2004 (2001)		花野技セ	易	良	中	つる割病レース0.2, 1,2y	全道一円, つる割病レ ース1,2y発生圃場
どうだい3号	台木類(メロン) 北海道交第3号	(2002)		花野技セ	中	良	強	つる割病レース0.2, えそ斑点病	全道一円, えそ斑点病 発生圃場

44 すい か

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					分類	草勢	果皮色	果肉色	果重kg	糖度%	成熟日数	
大 和 西 瓜	スイカ北海道移 第1号	1972	1979	大和農園	縞皮	強	鮮緑条班	緋赤	6～7	11	40	全道一円
新 三 笠	70	1973 (1962)	1979	南部農園	縞皮	強	鮮緑条班	緋赤	5～6	12	40	全道一円
縞 王	71	1973 (1968)		大和農園	縞皮	強	鮮緑条班	緋赤	5～6	12	40	全道一円
早 生 金 剛	72	1973 (1970)	1979	みかど	縞皮	強	鮮緑条班	鮮黄	7	11	45	全道一円

45 かぼ ちゃ

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地
					草勢	果形	果皮色	果重kg	成熟日数	収量	
美園デリシヤス	73	1973 (1954)	1979	雪印種苗	強～中	ハート型	暗緑	2.6～3.5	55	多	全道一円
芳 果 青 皮	74	1973 (1969)	1979	渡辺採種	強	扁円	帯灰緑	1.0～1.5	30	中	全道一円
錦 芳 果	75	1973 (1970)	1979	渡辺採種	強	扁円尻突	濃緑 白錦班	1.0～1.5	30	中	全道一円
え び す	76	1973 (1972)		タキイ種苗	強	扁円	灰緑 淡緑条班	0.9～1.2	25	中	全道一円

46 い ち ご

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性								栽培適地
					草勢	葉の 大きさ	ランナー 発生数	果色	果の大小	果形	熟期	収量	
ホ レ ラ	23	1972	1979	導 入	強	中	中	鮮紅	中	球円錐	中	多	全道一円
盛 岡 16 号	イチゴ 北海道移第1号	1973	1999	野 菜 試	強	大	中	淡紅	大	円錐	中	少	全道一円
幸 玉	77	1973 (1961)	1979	玉 利 氏	強	中	多	紅赤	中	円錐	晩	多	全道一円
ダ ナ ー	78	1973 (1961)	1979	導 入	強	大	中	濃紅	中～大	円錐	中	中	全道一円
レ ッ ド コ ー ト	79	1973 (1965)	1979	導 入	強	中	多	濃紅	中	円錐	中	中	全道一円

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性								栽培適地
					草勢	葉の 大きさ	ランナー 発生数	果色	果の大小	果形	熟期	収量	
キャベリア	80	1973 (1965)	1979	導 入	中	中	多	紅赤	中	円錐	中	中	全道一円
宝 交 早 生	81	1973 (1970)		兵庫農試	強	中	多	鮮紅	中～大	円錐	早	多	全道一円
きたえくぼ	いちご 北海道第2号 第4535号	1995 (1993)		道南農試	強	大	多	鮮紅	大	円錐	中	多	全道一円
けんたろう	いちご 北海道第3号 第12061号	2004 (2000)		道南農試	強	中～大	中	鮮紅	大	円錐	早	中	全道一円
エッチェス-138	いちご 北海道第4号 第12057号	2004 (2001)		北海三共	中	中	少	鮮紅	中	円錐	早	多	全道一円

47 キャベツ

品 種 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	特性										栽培適地
					草勢	球形	シマリ	肉質	球重	耐暑性	結球日数	収量性	作型		
コペンハーゲン マーケット	キャベツ 北海道輪第1号	1972 (1924)	1979	導 入	中	丸	良	不良	中	中	90	小	早出	全道一円	
サクセッション	キャベツ 北海道輪第2号	1972 (1924)	1979	導 入	強	扁円	中	良	や大	強	120	中	秋	全道一円	
札幌甘らん	キャベツ 北海道輪第3号	1972 (1924)	1999	各 社	強	扁円腰高	良	中	極大	中	150	多	秋貯	全道一円	
中 村 仲 秋	82	1973 (1950)	1979	中村採種	強	扁円	良	中	大	中	120	中	秋	全道一円	
ア ラ ス カ	83	1973 (1967)	1987	導 入	中	珠	良	極良	小	中	90	小	早出	全道一円	
C M	84	1973 (1967)	2002	タキイ種苗	中	珠	良	良	小	中	95	小	早出	全道一円	
四 季 穫	85	1973 (1969)	1979	タキイ種苗	強	扁円腰高	良	不良	大	強	120	中	夏秋貯	全道一円	
晩 抽 理 想	86	1973 (1969)		タキイ種苗	強	扁円	良	中	中	強	120	中	秋貯	全道一円	
S E	87	1973 (1970)	1999	長野農試	強	扁円	良	良	中小	強	120	中	秋	全道一円	
夏 蒔 理 想	88	1973 (1970)	1979	タキイ種苗	強	扁円腰高	良	中	や大	強	115	中～多	秋	全道一円	
2 月 穫	89	1973 (1970)	1979	タキイ種苗	強	扁円	良	良	中	中	120	中	秋	全道一円	
初 秋	90	1973 (1970)	1979	タキイ種苗	強	扁円	良	良	中～小	極強	120	中	夏秋	全道一円	
大丸ともえ	91	1973 (1970)	1979	中村採種	強	扁円	良	良	大	中	150	多	秋貯	全道一円	
長 岡 早 生	92	1973 (1970)	1979	タキイ種苗	強	扁円	良	良	中	強	120	中	早出	全道一円	
金 系 201 号	キャベツ 準移第12号	1983		サカタ種苗	強	扁円	良	良	小	中	105	中	初夏～ 秋	全道一円	
北 ひ か り	キャベツ 準移第13号	1983		タキイ種苗	強	扁円	良	良	小	中	105	中	初夏～ 秋	全道一円	
スピードボール	キャベツ 準移第14号	1983		渡辺採種	中	球	良	中	小	中	95	中	早出	全道一円	
アーリーボール	キャベツ 準移第15号	1983		サカタ種苗	中	球	良	良	小	中	100	中	早出～ 秋	全道一円	
デリシャス	キャベツ 準移第16号	1983	1999	渡辺採種	強	扁円	良	良	中	強	105	多	夏～秋	全道一円	
初 秋 穫	キャベツ 準移第17号	1983	1999	野崎採種	強	扁円	良	良	中	強	105	多	夏～秋	全道一円	

48 カリフラワー

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地
					草勢	花蕾色	シマリ	花蕾重kg	成熟日数	収量	
ア ー リ ー ス ノ ー ボ ー ル	その他 北海道輸第2号	1972	1990	導 入	半開張	白	良	0.8	45	中	全道一円

49 はくさい

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性								栽培適地
					草勢	球形	シマリ	1球重kg	収量	結球日数	耐病虫性	作型	
仲 秋	93	1973 (1963)		渡 辺 採 種	強	円筒	良	4	多	85	中	秋	全道一円
王 将	94	1973 (1963)		タキイ種苗	強	円筒	良	4	多	85	強	秋	全道一円
大 関	95	1973 (1963)	1979	タキイ種苗	強	円筒	良	3~4	多	85~90	強	秋	全道一円
オ リ ン ピ ア	96	1973 (1966)	2002	渡 辺 採 種	強	円筒	良	4~5	多	90~100	強	秋	全道一円
春 蒔 極 早 生	97	1973 (1967)	1979	タキイ種苗	中	円筒	良	1.5~2.0	小	70	強	早出	全道一円
長 交 2 号	98	1973 (1970)	1979	タキイ種苗	中	短円筒	良	2.2~2.6	小	70	中	早出	全道一円
横 綱	99	1973 (1972)	1979	タキイ種苗	強	円筒	良	4	多	85	強	秋	全道一円
無 双	100	1973 (1972)		タキイ種苗	中	円筒	良	2.5~3.5	中	75	強	早出	全道一円
60 日 み どり	101	1973 (1972)	1979	タキイ種苗	中	円筒	良	2~3	中	75	強	早出	全道一円

50 つ け 菜

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					分類	草勢	葉形	葉色	葉柄色	辛味	収量	
白 茎 体 菜	その他 北海道第3号	1972	1979	各 社	体菜	立	半結球	緑	白	なし	中	全道一円

51 たまねぎ

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性								栽培適地
					草勢	抽台	乾腐病	倒伏期	球形	外皮色	球重	貯蔵性	
オータムブランド	24	1972	1987	導 入	や立	並	並	晩	球	濃黄銅	や小	良	全道一円
札 幌 黄	たまねぎ 北海道輸第1号	1972 (1924)	1999	導 入 選 抜	中	並	並	や晩	球	黄銅	や大	並	全道一円
ア ー リ ー イ エ ロ ー グ ロ ー プ	123	1973 (1962)	1979	導 入	や立	並	並	晩	球	黄銅	中	並	全道一円
ア ン コ ー ル	124	1973 (1962)	1979	導 入	や立	並	並	晩	球	黄銅	中	並	全道一円
北 見 黄	たまねぎ 準第4号	1976	1996	北 見 農 試	中	並	並	中	球	黄銅	中	並	網走
フ ラ ヌ イ *	たまねぎ 北海道交第2号 たまねぎ農林交2号	1979	1999	北 海 道 農 試	や立	並	強	中	や平	や淡黄	や小	良	全道の軟 腐病 多発地
月 輪	たまねぎ 準移第5号	1982		渡 辺 採 種	中	並	や弱	中	甲高	黄銅	大	や不良	全道一円
ひ ぐ ま	たまねぎ 準移第6号	1983		タ キ イ 種 苗	中	並	や弱	中	甲高	黄銅	大	や不良	全道一円
そ ら ち 黄	たまねぎ 準移第7号	1983		岩見沢市たま ねぎ採種組合	中	並	並	や晩	球	黄銅	や大	並	空知地方

51 たまねぎ

品 種 名	登録番号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	特 性								栽培適地
					草勢	抽台	乾腐病	倒伏期	球形	外皮色	球重	貯蔵性	
せ き ほ く	たまねぎ 北海道交第3号	1984	1999	北 見 農 試	立	並	強	や晩	や平	濃黄銅	や大	良	全道一円
北 も み じ	たまねぎ 準移交第8号	1984		七宝採種組合	や立	並	強	中	球	黄銅	中	良	全道一円
レ オ	たまねぎ 準移交第9号	1985	2002	タキイ種苗	中	並	並	中	球	黄銅	中	並	全道一円
ツキヒカリ*	たまねぎ 北海道交第4号 たまねぎ農林交3号	1986		北海道農試	や立	並	強	や晩	球	濃黄銅	中	良	全道一円
ア ー ク	たまねぎ 準移交第10号	(1987)	1999	タキイ種苗 ホクレン	や開	並	強	中	や扁平	黄銅	中	良	全道一円
天 心	たまねぎ 準移交第11号	(1991)		日本農林社	や開	並	強	晩	球	黄銅	大	良	全道一円
北 も み じ 86	たまねぎ 準移交第12号	(1991)		株式会社七宝	立	並	強	晩	球	黄銅	大	良	全道一円
蘭 太 郎	たまねぎ 北海道交第5号 第5199号	1996 (1994)	2004	北 見 農 試 ホクレン	や開	並	並	や晩	球	濃黄銅	大	良	全道一円
ツキサップ*	たまねぎ 北海道交第6号 たまねぎ農林交5号 第5487号	1997 (1994)		北海道農試	や立	並	強	晩	や扁平	黄銅	大	良	全道一円
改良オホーツク1号	たまねぎ 準移交第13号	(1994)		株式会社七宝	や立	少	強	早	球	黄銅	や大	や不良	全道一円
スーパー北もみじ	たまねぎ 準移交第14号	(1995)		株式会社七宝	や立	や少	強	や晩	球	濃黄銅	大	良	全道一円
トヨヒラ*	たまねぎ 北海道交第7号 たまねぎ農林交6号 第8842号	2001 (1997)		北海道農試	や立	並	並	や晩	や扁平	黄銅	大	良	全道一円
ウ ル フ	たまねぎ 準移交第15号	(1998)		タキイ種苗	中	並	強	中	球	黄銅	大	並	全道一円
カ ム イ	たまねぎ 準移交第16号	(1998)		タキイ種苗	や立	並	強	や晩	球	濃黄銅	大	良	全道一円
さ ら り	たまねぎ 北海道交第8号 第10978号	2003 (2000)		北 見 農 試 ホクレン	や開	並	並	や晩	球	黄銅	大	良	全道一円
北こがね2号	たまねぎ 準移交第17号	(2001)		タキイ種苗	中	並	強	中	球	濃黄銅	大	良	全道一円
イヨマンテ	たまねぎ 準移交第18号	(2001)		タキイ種苗	や立	並	強	中	球	黄銅	大	良	全道一円

52 ね び

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育 成 場 所	特 性								栽培適地
					分類	分けつ	葉色	葉しょう色	1株重g	低 温 伸長性	越冬性	収量	
加賀太葱	長ネギ 北海道移第1号	1972	1979	各 社	2年	中～少	濃緑	白	200	不良	強	中	全道一円
札幌根深	108	1973	1979	各 社	2年	中～少	濃緑	白	200	不良	極強	中	全道一円
松 本	109	1973	1979	各 社	2年	中～少	濃緑	白	250	不良	強	中	全道一円
石 倉	106	1973 (1967)	1999	各 社	1年	少	緑	白	350	良	弱	多	全道一円
金 長	107	1973 (1967)	1999	協 和	1年	少	緑	白	350	極良	弱	多	全道一円
大 雪		1973 (1906)	1979										

53 ほうれんそう

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					分類	葉色	葉欠刻	葉柄	作型(月)	種子形	収量	
キングオブ デンマーク	ほうれん草 北海道輸第1号	1972 (1933)	1979	導 入	半匐	中	無	長	6.7	丸	多	全道一円
ノ ー ベ ル	ほうれん草 北海道輸第2号	1972	1979	導 入	半匐	中	無	短	5.8	丸	多	全道一円
ピロフレ	ほうれん草 北海道輸第3号	1972	1979	導 入	半匐	大	無	中	4.8	丸	多	全道一円
ミンスターランド	ほうれん草 北海道第4号	1972	1990	導 入	半匐	大	多	長	3.9	針	多	全道一円
札幌大葉	ほうれん草 北海道第5号	1972 (1953)	1990	北海道農試	半匐	中	無	短	4.8	丸	多	全道一円
伊達在来	102	1973 (1954)	1987	伊達農園	半匐	大	無~小	中	2~4	丸	中	全道一円
バイキング	103	1973 (1954)	1987	導 入	半匐	中	無	短	5.8	丸	多	全道一円
ニューサッポロ	104	1973 (1970)	1990	雪印種苗	半立	中	中	中	4.8	丸	多	全道一円
ニューアジア	105	1973 (1970)	1990	永池育種	立	大	大	長	2~3 9~10	針	中	全道一円

54 セルリー

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地	
					草姿	草丈	葉色	葉柄色	ス入り	せんい質		収量
コーネル619	110	1973 (1962)		導 入	半立	長	黄緑	黄緑	小	小	中多	全道一円
ユタ系	111	1973 (1972)	1979	導 入	立	長	緑	緑	小	中	多	全道一円

55 レタス

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地	
					分類	球形	シマリ	球重	抽台	耐暑性		耐病性
ワイヤーヘッド	その他 北海道輸第1号	1972	1979	導 入	半結球			中	遅	強	強	全道一円
ペンレーク	112	1973 (1964)	1990	導 入	結球	円	良	や大	遅	中	中	全道一円
グレートレックス	113	1973 (1964)	1987	導 入	結球	円	良	大	遅	強	強	全道一円

56 パセリ

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地	
					草勢	株張	葉色	葉形	耐寒性	日持		収量
エメラルド1号	その他 北海道輸第4号	1972	1979		強	良	濃緑	縮葉	強	良	中	全道一円

57. アスパラガス

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					草丈	太さ	色	先 端 しまり	鱗葉	品質	収量	
カリフォルニア 500	114	1973 (1966)	1987	導 入	高	太	緑	良	密	良	や多	全道一円
カリフォルニア 500W	115	1973 (1966)		導 入	高	太	緑	良	密	良	多	全道一円
北 海 100	アスパラガス 準北海道第3号	1981	2003	北海道農 試 ほか	高	太	緑	良	密	良	多	全道一円

58 だいこん

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					草姿	葉色	根色	根形	根長cm	収量	作型	
練 馬 尻 細	だいこん 北海道第1号	1972	1979	各 社	や開張	淡緑	白	円筒 尻細	50	多	秋	全道一円
宮 重	だいこん 北海道移第2号	1972 (1924)	1990	各 社	や立	濃緑	青首	円筒 尻細	60	多	秋	全道一円
時 無 大 根	だいこん 北海道第3号	1972 (1924)	1987	各 社	半開張	濃緑	白	円錐	30	小	春～夏	全道一円
み の 早 生 系	116	1973 (1954)	1987	各 社	半開張	濃緑	白	円筒 中太	70	多	秋	全道一円
大 蔵	117	1973 (1970)	1987	石井泰次郎	開張	淡緑	白	円筒 尻詰	40	多	秋	全道一円
聖 護 院	118	1973 (1970)		各 社	立	淡緑	白	長球	15	多	秋	全道一円
理 想	119	1973 (1970)	1990	み か ど	や立	濃緑	白	円筒 尻細	60	多	秋	全道一円
秋 づ ま り	120	1973 (1970)	1979	各 社	や開張	淡緑	白	円筒 尻詰	40	多	秋	全道一円
日 の 出	121	1973 (1970)	1979	各 社	半開張	濃緑	白	円筒	40	中	春～夏	全道一円
(甘日大根) ラビットレッド	その他 北海道輸第5号	1972 (1927)	1979	導 入	立	濃緑	赤	球	2	小	春～秋	全道一円
天 春	だいこん 準移第7号	1983	1999	サカタ種苗	や立	や濃緑	や青首	円錐 中太	30～40	多	初夏～夏	全道一円
耐 病 総 太 り	だいこん 準移第8号	1983		タキイ種苗	立	緑	青首	円筒 尻細	30～40	多	秋	全道一円

59 か ぶ

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					草姿	葉色	葉柄色	根形	根色	成熟日数	収量	
札 幌 紫	その他 北海道輸第6号	1972 (1924)	1979	導 入 選 抜	立	濃緑	帯紫緑	扁円	紫	50	多	全道一円
大 野 紅 蕪 菁	その他 北海道移第7号	1972 (1924)	1979	渡 島 支 場	立	紫紅	鮮紅	扁円	鮮紅	50	多	全道一円
寄 居 蕪 菁	その他 北海道移第8号	1972 (1924)	1979	各 社	立	鮮緑	淡緑	扁円	白	30	中	全道一円
金 町 小 か ぶ	122	1973	1990	各 社	立	鮮緑	淡緑	扁円	白	30	中	全道一円

60 にんじん

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					草姿	葉色	根形	根色	芯の大小	成熟日数	収量	
アーリーチャンテネー	にんじん 北海道輸第1号	1972 (1924)	1996	導 入	立	濃緑	長円錐 尻詰	橙	中	120	多	全道一円
中 村 鮮 紅 太	125	1973 (1950)	1979	中村採種	立	濃緑	長円錐	濃橙紅	中	120	多	全道一円
5 寸 系	126	1973 (1972)	1979	導 入	立	濃緑	長円錐 尻詰	濃橙紅	中	120	多	全道一円

61 ご ぼ う

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					草姿	葉色	根形	根長cm	太さcm	根色	す入り	
札 幌 大 長	その他 北海道第9号	1972	1979	各 社	立	緑	長	80	2.5	褐色	中	全道一円

62 食 用 ゆ り

品 種 名	系統名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地	
						草姿	草丈cm	花色	球形	球色	球重g	苦味		収量
角 田 百 合		ゆり根 北海道第1号	1972	1979		立	80	橙紅	扁球	白	100	なし	中	全道一円
北 海 白 百 合	空系1号	ゆり根 北海道第2号	1972 (1965)	1979	空知支場	立	60	橙紅	扁球	白	150	なし	多	全道一円

VI 飼 料 作 物

63 オ ー チ ャ ー ド グ ラ ス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
北海道在来種		オーチャードグラス 北海道第1号	1971 (1914)	1988		アメリカから導入	早生、茎太く、茎数が多い。葉幅・葉長大。再生力旺盛	全道一円
フ ロ ード	Frode	オーチャードグラス 北海道第2号	1971 (1958)	1979	スウェーデン	スウェーデンから導入	晩生。多葉型で葉長・葉幅比較的大。耐寒性大。耐病性にやや弱。再生力旺盛。	オーチャードグラス栽培地帯
キ タ ミ ド リ	月寒在来	オーチャードグラス 北海道第3号	1971 (1969)		北海道農試	集団選抜	早生。草型は中間、再生良好、すじ葉枯病に強、雲形病にやや弱。耐寒性、雪腐菌核病に強	全道一円
フ ロ ン テ ィ ア		オーチャードグラス 北海道合第4号	1972		雪 印 種 苗	合成品種法	中生。葉長、葉幅が大、茎が太い、直立、すじ葉枯病に強、雲形病にやや弱、多収	全道一円
オ カ ミ ド リ *	北海2号	オーチャードグラス 北海道合第5号	1976		北海道農試	合成品種法	晩生、葉長、葉幅が大、耐病性大、耐冬性は強。	全道一円
ホ ク レ ン 改 良 種		1	1971	1992	ホ ク レ ン	集団選抜法	キタミドリとほぼ同様	根釧地域を除く全道
ヘ イ キ ン グ	雪印改良1号	2	1971		雪 印 種 苗	集団選抜法	晩生、葉部率が高い。耐病性は並。	道東地域を除く全道
ド リ ー ゼ	Drise	4	1971	2000	オ ラ ン ダ	オランダから導入	中生、葉部率が高い。葉は繊細。	道東地域を除く全道
フ ィ ロ ッ ク ス	Phyllox Daehnfeldt	5	1971	1988	デン マ ー ク	デンマークから導入	中生、茎数多、耐寒性、永続性やや弱。	道東地域を除く全道
マ ス ハ ー デ ィ	Masshardy	6	1971	1986	ア メ リ カ	アメリカから導入	晩生、大粒菌核病に強、雲形病に強、耐寒性大。	道東地域を除く全道
ケ イ	Kay	175	1978		カ ナ ダ	カナダから導入	晩生、葉長、葉幅が大、茎が太い、大粒菌核病および小粒菌核病に強。	道東地域を除く全道
ワ セ ミ ド リ *	北海20号	オーチャードグラス 北海道合第6号 オーチャードグラス 農林合6号 第1826号	1988 (1987)		北海道農試	合成品種法	早生、葉長・葉幅が大、越冬性良、すじ葉枯病、うどんこ病に強	北海道全域

品 種 名	系統名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
ヘイキングⅡ	SB-O-7801	オーチャードグラス 北海道合第8号	(1987)		雪 印 種 苗	合成品種法	極晩生, 多収, すじ 葉枯病, 黒さびに強	北海道全域
ホ ク ト	帯広2号	オーチャードグラス 準北海道第9号 第1995号	1989 (1987)	2004	ホ ク レ ン	集団選抜法	晩生, 越冬性良, 大 粒菌核病, すじ葉枯 病に強	北海道全域
グ ロー ラ ス	WWH-94	オーチャードグラス 準輸合第10号	(1993)		ス ウ ェ ー デ ン	集団選抜法	晩生, 越冬性良, す じ葉枯病に強	北海道全域
トヨミドリ*	北海25号	オーチャードグラス 北海道合第7号 オーチャードグラス農 林合7号 第5376号	1997 (1994)		北 海 道 農 試	合成品種法	極晩生, 多収, 越冬性 良, すじ葉枯病, 黒さ び病, 雲形病に強	北海道全域 東北部
ハルジマン	北海26号	オーチャードグラス 北海道合第8号 オーチャードグラス農 林合9号 第12215号	2002 (2001)		北 海 道 農 試	合成品種法	中生, 多収, 大粒菌核 病, すじ葉枯病, 黒さ び病, 雲形病に強	北海道全域
バ ッ カ ス	SB-O-9504	オーチャードグラス 準北海道合第11号	(2002)		雪 印 種 苗	合成品種法	晩生, 多収, すじ葉枯 病, 黒さび病に強	北海道全域

64 チモシー

品 種 名	系統名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
クライマックス	Climax	チモシー 北海道第1号	1971 (1962)	1979	カ ナ ダ	カナダから導入	採草型, 中生, 多葉 性, 黒さびに強, 再 生良好	全道一円
北王(ホクオウ)	雪印 改良1号	チモシー 北海道第2号	1971 (1969)	2001	雪 印 種 苗	集団選抜法	採草型, 早生, 耐病 性大, 多収	全道一円
センボク*	北系4305	チモシー 北海道第3号 チモシー農林1号	1971 (1969)	2001	北 見 農 試	集団選抜法	採草型, 早生, 強稈, 耐 倒伏性, 多葉性, 再生 力良, 耐病性大, 多収	全道一円
ノ サ ッ プ *	北見2号	チモシー 北海道第4号 チモシー農林合2号	1977		北 見 農 試	合成品種法	採草型, 早生, 茎が 太い, 多葉性, 再生 良好, 耐病性大	全道一円
ホクシュウ*	北見7号	チモシー 北海道第5号 チモシー農林3号	1977		北 見 農 試	集団選抜法	ほふく型, 晩生, 耐 病性大, 再生良好, 採草・放牧兼用	全道一円
ホ ク レ ン 改 良 種		7	1971	1999	ホ ク レ ン	集団選抜法	採草型, 早生, 耐病 性大, 多収	全道一円
ハイデミー (ノースランド)	Heidemij	8	1971	1999	オ ラ ン ダ	オランダから導入	ほふく型, 晩生, 分 けつ数多い, 耐病性 弱	全道一円
クンプウ*	北見11号	チモシー 北海道第6号 チモシー農林4号 第369号	1983 (1980)		北 見 農 試	母系選抜法	極早生, 直立型, 再 生良好, 多収	全道一円
ホクセン	ホクセン 2号A	第1411号	1987 (1981)	2001	雪 印 種 苗	合成品種法	中生, 直立型, 採草 用	全道一円
ア ッ ケ シ *	北見16号	チモシー 北海道合第7号 チモシー農林合5号 第4131号	1994 (1992)		北 見 農 試	合成品種法	中生の早, 茎数多, 多収, 耐寒性強, 斑点病強, 採草型	全道一円
キリタツ*	北見18号	チモシー 北海道合第8号 チモシー農林合6号 第4132号	1994 (1992)		北 見 農 試	合成品種法	中生の晩, 茎数多, 多収, 耐寒性強, 越 冬性並, 採草放牧型	全道一円
ホクセイ	SB-T-8710	チモシー 準北海道合第4号 第5730号	1997 (1994)		雪 印 種 苗	合成品種法	早生, 再生良好, 耐 倒伏性強, 採草型	全道一円
オーロラ	MT-1-85	チモシー 準北海道交第5号 第5621号	1997 (1994)		三 井 東 庄	集団選抜法	早生, 耐倒伏性強, 斑点病, すじ葉枯病 に強	全道一円
ホクエイ	SB-T-8704	チモシー 準北海道合第6号 第5729号	1997 (1995)		雪 印 種 苗	合成品種法	中生, 再生良好, 多 収, 採草型	全道一円
ホライズン	SB-T-9502	チモシー 準北海道合第7号 第 号	(2002)		雪 印 種 苗	合成品種法	早生, 再生良好, 耐 倒伏性やや強, 採草 型	全道一円
シリウス	SB-T-9504	チモシー 準北海道合第8号 第 号	(2002)		雪 印 種 苗	合成品種法	晩生, 斑点病抵抗性 やや強, 混播適性や や良好, 採草型	全道一円
なつさかり*	北見22号	チモシー 北海道合第9号 チモシー農林合7号 第 号	(2004)		北 見 農 試	合成品種法	晩生, 耐倒伏性強, 斑 点病抵抗性強, 混播 適性やや良好, 採草 放牧型	全道一円

65 イタリアンライグラス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
ビ リ オ ン	Billion	11	1971		オランダ	オランダから導入	春播性が高い、早生、生育期間は短い、直立型、稈は太く、葉幅が広い、斑点病強。	全道一円
マンモスイタリアンB		12	1971	雪印種苗	倍数性育種法母系選抜法	春播性が高い、早生、生育期間は短い、直立型、稈は太く、葉幅が大きい、冠さび病に弱	全道一円	

*フレンドは「マンモス」を1979年に改名したものの。
**ただし、土壤凍結のない冬枯れの少ない地帯に限る。

66 ペレニアルライグラス

品 種 名	系統名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
リ ベ ー ル	Reveille	168	1978	1995	オランダ	オランダから導入	中生の晩、葉幅広い、耐病性強、再生良好	道北、道央、道南地域**
ピ ー ト ラ	Petra	169	1978	1991	オランダ	オランダから導入	極晩生、再生良好、耐病性強	道北、道央、道南地域**
フ レ ン ド *		170	1978		雪印種苗	集団選抜法	晩生、葉幅は広い、冠さび病に強、再生良好	道北、道央、道南地域**
フ ァ ン ト ム	Fantoom	ペレニアルライグラス準輸合第4号	(1992)	2004	オランダ	合成品種法	中生、越冬性良、雪腐小粒菌核病に強、冠さび病に強	道北、道央、道南地域**
ト ー プ	Tove	ペレニアルライグラス準輸合第5号	(1992)	2001	デンマーク	集団選抜法	中生、網斑病に強、多収	道北、道央、道南地域**
ポ コ ロ	天北2号	ペレニアルライグラス北海道合第1号第10383号	2002(1999)		天北農試	合成品種法	晩生、越冬性良、多収、混播適性良	道北、道央、道南地域**

*フレンドは「マンモス」を1979年に改名したものの。
**ただし、土壤凍結のない冬枯れの少ない地帯に限る。

67 メドーフェスク

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
レ ト ー デ ン フ ェ ル ト	Leto Daehnfeldt	13	1971	1980	デンマーク	デンマークから導入	早生、直立型、網斑病に強	全道一円
タ ミ ス ト	Tammisto	171	1978	1995	フィンランド	フィンランドから導入	出穂始は「レトー」よりやや遅い、越冬性は良、耐病性は並	全道一円
ト レ ー ダ ー	Trader	172	1978	1990	カナダ	カナダから導入	出穂始は「レトー」より遅い、越冬性は並、耐病性は並、再生良好	全道一円
フ ァ ー ス ト	雪印合成1号	173	1978	2004	雪印種苗	合成品種法	出穂始は「レトー」並、越冬性は並、耐病性は並、再生良好	全道一円
バ ン デ ィ	Bundy		1970		オランダ	オランダから導入	中晩生、開張型、採草・放牧及び兼用種	道央・道南地域
ト モ サ カ エ *	北海6号	メドーフェスク北海道合第1号メドーフェスク農林合第1号第2061号	1989(1988)		北海道農試	合成品種法	早生、多収、越冬性良、耐雪性強、再生良好、採草・放牧及び兼用種	全道一円、本州中部以北の高冷地
リ グ ロ	SB-M-8201	メドーフェスク準北海道合第6号第5872号	1997(1994)		雪印種苗	合成品種法	早生、越冬性良、耐病性は並、採草及び放牧型	全道一円
コ マ グ リ ー ン	MM-1-85	メドーフェスク準北海道合第7号第7180号	1999(1994)	2002	三井東圧	集団選抜法	早生、耐病性は並、採草及び放牧型	全道一円
ハ ル サ カ エ *	北海12号	メドーフェスク北海道合第2号メドーフェスク農林合第2号第10639号	2002(1999)		北海道農試	合成品種法	早生、多収、越冬性良、耐凍性に強、混播適性良、採草・放牧型	全道一円
プ ラ デ ー ル	PRADEL	メドーフェスク準輸合第8号	(2002)		スイス	循環選抜法	早生、多収、越冬性は並、季節生産性は良、放牧型	全道一円
ハ ル サ カ エ *	北海12号	メドーフェスク北海道合第2号メドーフェスク農林合第2号第10639号	2002(1999)		北海道農試	合成品種法	早生、多収、越冬性良、耐凍性に強、混播適性良、採草・放牧型	全道一円
プ ラ デ ー ル	PRADEL	メドーフェスク準輸合第8号	(2002)		スイス	循環選抜法	早生、多収、越冬性は並、季節生産性は良、放牧型	道東地域

68 トールフェスク

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
ホクリョウ*	農林合1号	トールフェスク 北海道合第1号	1972		北海道農試	合成品種法	晩生, 草丈高く多葉性, 網斑病に強, 雪腐病に 強, 夏枯に弱, 多収	全道一円
ケンタッキー31	Kentucky31	14	1971	1996	アメリカ	アメリカから導入	早生, 草質は粗剛, 越 冬性はやや弱	全道一円

69 ケンタッキーブルーグラス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
ケンブルー	Kenblue	15	1971		アメリカ	アメリカから導入	早生, 茎が密生, さび病に 弱, 多収	全道一円
トロイ	Troy	174	1978		アメリカ	アメリカから導入	早生, さび病にやや強, めん羊の 採食は不良, 春季の草勢がすぐ れ秋季の草勢低下が小	全道一円

70 リードカナリーグラス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
アイオリード		9	1971	1991	アメリカ	アメリカから導入	草丈が高く粗剛, 嗜好性は 劣る。	全道一円

71 マウンテンブロムグラス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
テイネ		10	1971	1990	雪印種苗	母系選抜法	早生, 病害抵抗性は強, 多 収	道央地域

72 ハイブリットライグラス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
テトリライト	Tetrelite		1984		アメリカ	アメリカから導入	草丈高く直立型, 晩生, 再 生良好, 多収	道南地方で越冬 条件の良好な地 域

73 スムーズブロームグラス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
アイカップ*	北見1号	スムーズブロー ムグラス 北海道合第1号 スムーズブロー ムグラス農林 合1号 第1827号	1988 (1988)		北見農試	合成品種法	早生, ほふく型, 茎やや細 い, 多収量, 雲形病に強, 採草型	全道一円

74 アカクローバ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
サッポロ	月系37-1	クローバ類 北海道第1号	1971 (1966)	2001	北海道農試	集団選抜法	早生, 葉は大きく葉斑は鮮 明, 再生は良好, 耐病性強, 小粒菌核病にやや弱, 多収	全道一円
ハミドリ		クローバ類 北海道第2号	1971 (1966)	2001	雪印種苗	集団選抜法	早生, 冬枯に強, 茎割病に やや強, さび病抵抗性は並	全道, 特に道北 地域
レッドヘッド	Red Head	クローバ類 北海道第3号	1972	1991	オランダ	オランダから導 入	早生の晩, 葉は大きく, 葉 斑はやや不鮮明, 草姿は巨 大, 耐病性はやや強	道央, 根釧地域
ハヤキタ		第133号	1981 (1979)		ホクレン オランダ 共 同	倍数体利用 集団選抜	早生, 4倍体。草丈はやや 高く葉斑はやや不鮮明。倒 伏が少なく, 耐病性は強い。	根釧
ハミドリ4n			1979	2004	雪印種苗	倍数体利用 集団選抜	早生, 4倍体。草丈は中位 で葉は大きく, 葉斑はやや 不鮮明。越冬性良好。多収	十勝を除く全道
タイセツ*	北海6号	クローバ類 北海道第4号 アカクローバ農林3号 第2934号	1991 (1990)		北海道農試	倍数体利用 集団選抜	早生, 葉は大きく葉斑は鮮 明, 茎は太い, 多収, 耐雪 性強, 再生は良好, イネ科 と混播で採草利用	全道一円
ホクセキ*	北海8号	クローバ類 北海道第5号 アカクローバ農林4号 第2935号	1991 (1990)		北海道農試	集団選抜法	早生, 葉は小さく葉斑は鮮 明, 茎は細い, 再生は良好 耐寒性極強, イネ科と混播 で採草利用	全道一円, 本州 中部以北高冷地

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
メルビィ	Merviot	アカクロバ準輸第4号	(1990)		ベルギー	集団選抜法	早生, うどんこ病, モザイク病に強, 採草型	全道一円
スタート	Start	アカクロバ準輸第5号	(1990)	1997	チェコスロバキア	チェコスロバキアから導入	早生, 多収, 採草型	全道一円
エムアールワン	MR-1-83	アカクロバ準輸第6号 第3644号	1993 (1990)	2000	三井東庄	集団選抜法	早生, うどんこ病, モザイク病に強, 採草型	全道一円(根釧除く)
テトリ	Tetri	アカクロバ準輸第7号	(1993)	2001	オランダ	倍数体利用 集団選抜	早生, 耐倒伏性強, 再生は良好, 茎割病に強, 採草型	道東
マキミドリ	SB-R-8603	アカクロバ準輸第8号 第4845号	1996 (1993)		雪印種苗	集団選抜法	早生, 再生は良好, 多収, うどんこ病に強, 採草型	全道一円
クラノ	KRANO	アカクロバ準輸第9号	(1998)		デンマーク	デンマークから導入	晩生, 競合力弱, 耐倒伏性	全道一円
ナツユウ*	北海9号	クロバ類北海道第7号 アカクロバ農林5号 第12308号	2004 (2001)		北海道農試	母系選抜法	早生, 競合力弱, 耐寒性・越冬性優れる	全道一円

75 シロクローバ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
カリフォルニアラジノ	California Ladino	ラジノクローバ準輸第1号	1971		アメリカ	アメリカから導入	ほふく茎の密度が大, 開花期が早い。	全道一円
ミルカ	Milka Pajberg	20	1971	1991	デンマーク	デンマークから導入	冬枯に強く, 放牧適性が大, コモン型	道北, 道東
フイア	Grasslands Huia	21	1971		ニュージーランド	ニュージーランドから導入	葉は大きく, 密性, 多収。耐病性強, 再生力良好, コモン型	道央, 道南
ロディギアノ	Ladino Digante Lodigiano	ラジノクローバ準輸第2号	1975	1986	イタリア	イタリアから導入	葉は大きく, 葉柄は長く, ほふく茎も太い巨大型, 多収, ラジノ型	全道一円
リーガル	Regal	ラジノクローバ準輸第3号	1975	1999	アメリカ	アメリカから導入	耐寒性, 耐旱性は強, 耐病性は強, 多収, ラジノ型	全道一円
エスパンソ	エスパンソ	シロクローバ準輸第4号	(1988)	1995	イタリア	循環選抜法	ラジノ型, 小葉が大きく巨大型, 多収	全道一円
ソーニャ	ソーニャ	シロクローバ準輸第5号	(1988)		スウェーデン	反復集団育種法	コモン型, ほふく茎の密度が高い, 多収, 放牧適性良	全道一円
マキバシロ*	マキバシロ	クローバ類移合第6号 シロクローバ農林合2号 第134号	1981 (1991)		東北農試	合成品種法	コモン型, 小葉が大きく大型, 耐寒性は並, 放牧適性良	全道一円
ルナメイ	LUNE DE MAI	シロクローバ準輸第3号	(1996)		フランス	合成品種法	大葉型, 晩生, 越冬性優れ, マメ科率の変動小さい, 採草・放牧用	全道一円
ラモーナ	WWV-14	シロクローバ準輸第4号	(1996)		スウェーデン	集団選抜法	中葉型, 中生, 採草・放牧用	全道一円
リベンデル	RIVENDEL	シロクローバ準輸第5号	(1996)		デンマーク	集団選抜法	小葉型, 中生, 競合力弱, 放牧用	全道一円
タホラ	TAHORA	シロクローバ準輸第6号	(1996)		ニュージーランド	集団選抜法	小葉型, 中生, 競合力弱, マメ科率の変動小さい, 放牧用	全道一円

76 アルサイク クローバ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
エルモ	Ermo Otofte		1981	1997	デンマーク 植物育種社	集団選抜法	早生, 春の草勢は良好, 再生は不良, 越冬性は並	道央
テトラ	Tetra		1981		スウェーデン W.Waibull社	倍数性育種法	晩生, 春の草勢は良好, 再生は不良, 越冬性は並	道東・道北

77 アルファルファ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
デュピュイ	DuPuits	アルファルファ北海道輸第1号	1971 (1958)	1979	フランス	フランスから導入	早生, 紫花種, 草型は直立, 葉部病害抵抗性大, 冬枯れ少, 多収	全道一円
サラナック	Saranac	アルファルファ北海道輸第2号	1971	1990	アメリカ	アメリカから導入	中生, 草型は直立, 紫花種, 耐病性強, 冬枯れ少, 多収	道北, 道央のアルファルファ栽培可能地帯

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
ウィリアムス バ ー グ	Williams- burg	18	1971	1978	ア メ リ カ	アメリカから導入	中生, 草型は直立, 紫花種, 耐病性强, 冬枯れ少, 多収	道北, 道央のアルファルファ栽培可能地帯
ア ル フ ァ	Alfa	17	1971	1986	スウェーデン	スウェーデンから導入	早生, 紫花種, 草型は直立, 耐病性强, 冬枯れ少, 多収	道北・道央
ヨ ー ロ ッ パ	Europe	150	1975	1992	フ ラ ンス	フランスから導入	早生, 紫花種, 草型は直立, 倒伏に強い, 多収	根釧地域を除く全道
ソ ー ア	Thor	167	1978	1993	ア メ リ カ	アメリカから導入	中生, 紫花種, 草型は直立, 耐病性强, 冬枯れ少, 多収	全道一円
キ タ ワ カ バ *	月系0201	アルファルファ北海道合第3号 アルファルファ農林合3号 第744号	1985 (1983)	1999	北海道農試	多数栄養系合成品種法	越冬性・永続性良好, 耐倒伏性やや弱, 混播適性良, いぼ斑点病抵抗性, パーティシリウム萎ちょう病への抵抗性はやや弱い。	全道一円
サイテーション	Citation		1984	2000	ア メ リ カ	合成品種法	直立型, 中生, 越冬にやや優れ, 早春の草勢良好, 耐倒伏性はやや弱い, 輪紋病に強いが, そばかす病, いぼ斑点病, パーティシリウム萎ちょう病にやや弱い。	全道
リ ュ テ ス	Lutece		1985	1992	フ ラ ンス		早生, 直立型, 茎太く, 耐倒伏性, パーティシリウム萎ちょう病に強い。そばかす病等の葉枯れ病害にも強い。「ソア」よりやや低収。	パーティシリウムの萎ちょう病発生地帯
マ ー ヤ	Maya	アルファルファ準輪合第7号	(1990)		フ ラ ンス	合成品種法	パーティシリウム萎ちょう病に強, 耐倒伏性强	全道一円
レ ー シ ス	Resis	アルファルファ準輪合第8号	(1990)	1994	デンマーク	集団選抜法	パーティシリウム萎ちょう病に強, 採草型	全道一円
ア ロ ー	Arrow	アルファルファ準輪合第9号	(1990)	2000	ア メ リ カ	合成品種法	パーティシリウム萎ちょう病に強, 採草型	全道一円
5 4 4 4	5444	アルファルファ準輪合第10号	(1990)		ア メ リ カ	合成品種法	パーティシリウム萎ちょう病に強, 耐倒伏性やや良	全道一円
ユ ー バ ー	Euver	アルファルファ準輪合第11号	(1990)		フ ラ ンス	合成品種法	パーティシリウム萎ちょう病に強, 多収, 採草型	全道一円
バ ー タ ス	Vertus	アルファルファ準輪合第12号	(1990)		スウェーデン	集団選抜法	パーティシリウム萎ちょう病に強, 多収, 採草型	全道一円
マ キ ワ カ バ *	月系1号	アルファルファ北海道合第4号 アルファルファ農林合4号 第5377号	1997 (1994)		北海道農試	合成品種法	極早生, 草型は直立, 紫花, パーティシリウム萎ちょう病に強, 多収, 耐雪性强, 再生は良好	北海道の多雪地帯
ヒ サ ワ カ バ *	月系4号	アルファルファ北海道合第5号 アルファルファ農林合5号 第5378号	1997 (1994)		北海道農試	母系選抜法	早生, 草型は直立, 紫花, パーティシリウム萎ちょう病に強, 多収, 耐寒性强, 再生は良好	北海道の少雪地帯
ハ ル ワ カ バ *	北海3号	アルファルファ北海道第6号 アルファルファ農林8号	(2003)		北海道農試	集団選抜法	早生, 草型は開帳, パーティシリウム萎ちょう病に強, 多収, 永続性, 越冬性優れる。	全道一円

78 バーズフットトレフォイル

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
バイキング	Viking	22	1971	1978	ア メ リ カ	アメリカから導入		

79 ガ レ ガ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
こまさと184	Gale	ガレガ準輪交第1号	(2002)		エストニア	集団選抜法	地下茎有, 高永続性, 栄養価低下が緩慢, 収量低, 耐倒伏製	全道一円

80 飼料用大麦

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	育 成 方 法	主 要 特 性
あ お み の り	北育18号	大麦(飼) 北海道春第3号 第1852号	1989 (1987)		北 見 農 試	「ほしまさり」× 「栃系28」	中生、短稈、耐倒伏性強、大麦雲形病・網斑病にやや弱い、子実重歩合が高い、ホールクroppサイレージ用

81 飼料用ビート

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	育 成 方 法	主 要 特 性
シ ャ ー ガ ー マ ン ゴ ー ル ド	Sugar Mangold	飼料用ビート 北海道輸第1号	1971 (1939)		北 海 道	デンマークから導入	多収、肉質ち密で乾物多く、貯蔵性に富む
ソ ラ ン カ	ソランカ	飼料用ビート 準輸第1号	(1989)	2002	西 ド イ ツ	一代雑種育種法	収量並、乾物率高い、根中糖分高い、褐斑病に弱、貯蔵性に富む
モ ノ パ ー ル	モノパール	飼料用ビート 準輸第2号	(1990)	2002	オ ラ ン ダ	一代雑種育種法	多収、乾物率やや低い、根中糖分低い、褐斑病に弱、貯蔵性に富む

82 飼料用かぶ

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	育 成 方 法	主 要 特 性
紫 丸 蕪 菁		飼料用かぶ 北海道第1号	1971 (1931)		北 海 道	デンマークから導入	早生であり、比較的低温でもよく肥大する。肉質は食用かぶに比して硬いが、飼料かぶのなかでは比較的軟らかく、根部の乾物率も低い。貯蔵性も低い。

82 飼料用かぶ

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	育 成 方 法	主 要 特 性
ネムロルタバガ		ルタバガ 北海道第1号	1971 (1954)	1998	根 室 支 場	集団選抜法	白腐病に対して強く、収量は年次偏差少なく多収、肉質は硬い
マゼスキック		ルタバガ 北海道第2号	1971 (1959)	1998	根 室 支 場	集団選抜法	白腐病にはかなり強く多収、肉質はルタバガとしてはやや軟らかい
グリーントップ	Greentop	40	1971 (1963)		オ ラ ン ダ ス ウ ェ ー デ ン		根部にき裂を生じやすく、白腐病罹病はやや高いが、根腐病には極めて強抵抗性を示す

幼苗の色	穂の			芒の			子実の		耐倒伏性	栽培適地
	型	着粒密度	下垂度	有無	長短	色	大小	色		
やや濃	二条矢羽根型	中	中	多	長	淡黄	大	淡黄	強	北海道全域

草丈	葉数	根形	根色		肉色	その他	栽培適地
			地上部	地下部			
中	中	紡錘型	緑	白	白	根部4割露出	全道一円
中	中	短紡錘	淡黄緑	白	白	根部4～5割露出	全道一円
中	中	楕円	淡黄緑	白	白	根部4～5割露出	全道一円

姿勢	葉色	葉柄色	根形	根色		肉色	肉質	その他	栽培適地
				地上部	地下部				
直立	緑	淡紫色	球	紫	白	白	軟	根部4～5割露出	全道一円

姿勢	葉色	葉柄色		頸長	頸色	根形	根色		肉色	側根の多少	その他	栽培適地
		生育盛期	収穫期				地上部	地下部				
中間	緑	下部淡赤紫	下部赤紫	中	暗紫	球	赤紫	白	白	少	根部2/5～1/2露出	全道とくに根釧の内陸部の白腐病多発地帯
や直立	や淡緑	下部極淡赤紫	下部淡赤紫	長	暗紫	円錐	鮮赤紫	クリーム	クリーム	少	根部1/2～2/3露出	全道とくに根釧の白腐病の多発しない地帯
や開張	淡緑	黄白色	淡黄緑	短	黄緑	や球形	黄緑	クリーム	クリーム	中	根部2/5～1/2露出	根釧、天北で根腐病多発地帯に適す

2 大 麦

区 分	品 種 名	昭50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平元	2	3	4		
食用及びビール用	ほしまさり	2837	2799	2657	2466	2350	2657	2780	2780	2290	2030	2100	1060				
	りょうふう											339	1390	2430	2650		
	そ の 他		16		23	37			42	250	243						
飼 料 用	ほしまさり	24	881	808	562	560	803	1120	1320	1270	1450	1100	481	45			
	りょうふう												629	955	920		
	そ の 他																
合 計		2861	3696	3465	3051	2947	3460	3900	4142	3810	3723	3539	3560	3430	3570		

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
2390	2410	2370	2237	1765	1792	2309	2167	1838	1856	2259
			14		19	2		33	60	
1080	1190	1110	983	1375	1176	846	553	840	432	111
			2		3	53		9	12	
3470	3600	3480	3236	3140	2990	3210	2720	2720	2360	2370

3 小 麦

区 分	品 種 名	昭50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平元	2	3	4	
秋まき小麦	ホクエイ	1342	43			11	5									
	改良伊達早生	41														
	ムカコムギ	16172	1241	632	232	67	21									
	イービス	785	268	187	294	315	305	379	449							
	ホロシリコムギ	998	65873	86956	80687	81324	73200	59800	55300	54900	42700	38300	29000	21100	13600	
	タクネコムギ	3	8813	11170	12274	12141	10500	8950	6690	3760	3070	2610	2230	3000	3890	
	チホクコムギ				68	1031	6220	21800	36800	49400	73000	79300	81100	81700	86000	
	タイセツコムギ													40	753	
	ホクシン															
	きたもえ															
	キタノカオリ															
	そ の 他										312	138	110		4	39
春まき小麦	ハルミノリ		1													
	ハルヒカリ	1485	9634	4365	2161	1343	1480	1530	1810	1140	104	289	38			
	農林61号		1602	1322	1299	1646	1920	2050	4220	5520	547	208				
	ハルユタカ							5	331	5710	9280	8770	8470	9220	6160	
	春のあけぼの															
	春よ恋															
	はるひので															
	そ の 他	6	3	30	25	10		30	190	860	243	108		314	7	
	合 計	20832	87478	104662	97040	97888	93651	94544	105790	121602	129082	129695	120838	115378	110449	

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
7930	7340	7320	7530	6485	3420	2256	2523	1625	1610	1933
3370	2930	2320	2410	1285	860	710	661	657	845	1217
73800	69500	65800	65270	31465	15398	10138	4101	1622	721	1270
1239	2550	2860	4070	3860	2931	2237	1416	707	1109	2171
			3100	40970	64270	74359	88465	93360	98383	99074
								21	431	599
										26
48	19	62	20	35	21	100	34	8	1	10
6320	6000	9320	8760	6470	5689	4960	6003	8924	6884	2017
			40	5	22					
								546	2780	4443
									36	
31	26	28		20	119		17			
92738	88365	87710	91200	90595	92730	94760	103220	107470	112800	112760

4 大 豆

区 分	品 種 名	昭50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平元	2	3	4	
大 粒	トヨスズ	8930	6770	5090	2024	2233	1858	4017	3356	1858	1220	628	406	278	95	
	白鶴の子	253	210	170	243	164	196	180	124	88	90	62	53	79	140	
	ユウヅル		790	580	466	490	546	605	764	520	390	464	537	620	363	
	ヒメユタカ		730	520	428	369	251	413	350	241	60	27	3	8		
	ユウヒメ		160	190	48	42	43	159	103	65	100	78	143	39	2	
	早生緑		250	180	40	47	29	552	97	65	5	85	106	48	89	
	音更大袖												645	1576	745	
	トヨムスメ								25	600	2281	3280	3413	2952	4521	2363
	ツルコガネ								59	328	547	410	316	533	220	72
	ツルムスメ													2	280	117
	大袖の舞															
	中 粒	北見白	2814	3210	2250	1402	1370	1178	1708	1740	1274	870	450	347	692	289
キタムスメ		3120	6860	5780	4465	4753	4027	6113	6233	3864	2790	1735	1679	1980	923	
キタコマチ			2730	2300	2716	2732	3021	3430	4142	2458	2170	1380	377	188	279	
トヨコマチ													1801	2045	1395	
キタホマレ			40	200	560	667	629	1314	1920	1294	670	445	211	190	68	
カリユタカ														170	338	
トヨホマレ																

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
42	29	15	8	15	11	31	12	28		2
293	128	273	351	170	126	188	163	182	100	64
69	359	183	144	380	563	355	325	245	387	474
0										
37	17	35	15	20	15	18	12	102	87	45
444	447	847	747	700	696	689	809	946	935	857
1207	1398	2769	2412	2585	3742	2933	4171	5297	4190	3956
55	4	25	5					12		
47	55	135	137	140	498	458	646	566	1186	1001
		14		10	87	30	80	141	155	111
133	9	94	125	180	99	115	65	42	23	6
726	612	704	802	710	965	791	855	738	724	635
18	82	30	25	5		5	1	80		
998	1024	1203	1809	1800	2700	2726	3043	4778	4722	3825
11	7	8	3	90	7	6	6	3	3	3
398	363	481	552	650	809	832	770	769	699	254
			211	275	399	429	749	1309	1133	1091

区分	品 種 名	昭50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平元	2	3	4	
中	粒	ハヤヒカリ														
		ユキホマレ														
小	粒	スズヒメ	250	430	325	389	387	645	891	1068	760	544	368	810	295	
		スズマル											382	668	748	
		ユキシズカ														
黒大豆		中生光黒	709	920	1150	2253	1232	1691	450	754	829	770	609	919	1037	1182
		トカチクロ							35	108	180	70		241	379	517
		晩生光黒												215	359	488
		いわいくろ														
		その他黒大豆												40	233	27
その他		1111	180	160	560	848	1178	1571	2175	1807	1600	1949	667	1035	517	
合計		16937	23100	19000	15530	15336	15034	21276	23685	18439	15255	12185	12627	17455	11052	

5 小 豆

区分	品 種 名	昭50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平元	2	3	4	
大納言	早生大粒1号	667	100	100	136	112	71									
	暁大納言	1840	290	370	991	53	113					95	70	85		
	ベニダイナゴン												34	37		
	アカネダイナゴン		3010	3790	4316	5513	5241	5019	4973	4868	3280	3565	3593	3144	2492	
	カムイダイナゴン													603	400	
	ほくと大納言															
	とよみ大納言															
	その他				7		50	165	313	174	450	182	707	241	94	
普通小豆	宝小豆	22692	8780	8960	8779	6945	5894	4154	2975	2029	1190	935	571	326	321	
	ハヤテショウズ		9860	6250	5833	6151	4927	4660	3539	3975	2900	2303	1184	367	105	
	エリモショウズ			550	6738	14388	15367	16063	16054	22369	27940	29465	30478	23839	23881	
	寿小豆	9081	5120	5440	8687	9674	8650	5896	4092	2934	1660	1602	1260	822	468	
	栄小豆	827	1600	1560	621	303	229	58	103	76	110	19	4	0		
	茶殻小豆	6722	1100	250	302	515	391	265	250	186	210	118	66	73		
	ホッカイシロショウズ											13	61	51	12	
	ハツネショウズ							103	735	1020	810	660	509	241	47	
	音更小豆											134	477	468		
	サホロショウズ													1520	835	
	アケノワセ															
	きたのおとめ															
	しゅまり															
	その他		30	10	663	876	767	1225	922	858	1030	825	1385	307	945	
	合計		41829	29890	27280	37073	44530	41700	37608	33956	38489	39580	39916	40399	32124	29600

6 菜 豆

区分	品 種 名	昭50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平元	2	3	4
金時	大正金時	13163	11390	11660	12846	13584	15315	10297	9624	8519	7700	9401	10585	9029	7294
	大正白金時	1622	210	130	155	190	149	165	56	60	30	24	40	49	
	福白金時		480	580	659	466	615	648	476	225	230	282	370	180	206
	北海金時		310	350	2413	2433	1859	802	800	585	710	732	1249	951	447
	丹頂金時								84	350	0	367	447	208	71
	福勝														
	福良金時														
	その他	1715	10		4	107	23	117	93	24	90	91	463	288	69
手亡	大手亡	13374	610	620	581	529	425	49	200	709	130	744	32	147	
	銀手亡	2052	170	240	71	6	2	95	3	4	30	64	380	26	18
	姫手亡		3480	5940	6721	4515	4656	5163	3441	4614	5510	6848	3657	4143	4620
	雪手亡														4
	その他	1874			42		32	15	28	35	20	33	28	191	183

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					6	142	403	490	153	91
								128	1174	2138
144	51	101	100	180	166	107	65	40	15	49
488	160	772	1317	1855	2476	2190	2071	1983	2004	2120
										36
869	748	650	1085	1075	1215	639	518	387	360	293
551	343	305	512	595	590	549	314	147	163	394
671	456	501	590	670	477	783	421	359	609	672
					4	95	244	308	768	1267
54	55	37	19	180	116	87	83	103	150	134
360	402	426	391	415	533	707	375	517	260	382
7615	6749	9608	11360	12700	16300	14905	16201	19700	20000	19900

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
2956	2744	2478	2238	2080	1785	1518	1830	2209	1624	1184
220	155	83	42	20		4	10			
					186	412	642	599	426	305
								151	328	677
104	69	88	194	250	203	88	70	61	2	44
257	19	15	358	10			6	5		
235	574	2	5			18		82		
26016	29049	29445	26044	25160	22104	20205	18194	17094	15847	17033
392	432	254	235	105	104	38	35	10	5	
12	50	22	38				2	5	24	24
112	44	38	13							
781	845	624	526	570	677	679	775	1148	1035	830
		152	161	130	158	71	46	69	13	17
		290	989	3240	5079	7392	7718	8621	6852	6865
								2220	3105	2953
1028	1094	569	767	845	504	275	673	646	539	678
32113	35075	34060	31610	32410	30800	30700	30001	32920	29800	30610

区分	品 種 名	昭50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平元	2	3	4
う ず ら	中 長	1966													
	改 良 中 長		1220	30	105	35	122	88	216	125	70	39	5	12	116
	福 粒 中 長	655	200	1250	1244	1265	1248	854	544	780	650	667	968	564	375
	福 う ず ら														
花 豆	そ の 他	329	10		30	69	127	41	77	51	30	29	53	42	31
	白 花 豆	797	790	890	808	701	1027	1124	1144	719	790	36	422	225	
	大 白 花											582	617	567	801
	紫 花 豆														
そ の 他	そ の 他														
	大 福	1823	680	560	620	541	541	167	102	372	270	362	539	358	320
	改 良 早 生 大 福		70	90	123	284	222	481	511	266	360	218	4	225	230
	洞 爺 大 福														
	虎 豆	580	240	320	478	436	473	419	355	340	360	376	332	289	
	改 良 虎 豆		200	180	15	232	30	16	31	30	30	35	80	10	139
	福 虎 豆														131
合 計	40000	20070	22840	27062	25549	26909	20796	17948	18251	17200	21303	20308	17595	15373	

7 えんどう

区分	品 種 名	昭50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平元	2	3	4
青 えん とう	札 幌 青 手 無	187		1	30	113	11								
	改 良 青 手 無	888	310	300	239	227	282	141	93	61	77	102	36	8	36
	大 緑		150	170	116	117	80	201	96	89	110	121	144	89	103
	小 緑		50	40		1		2	9	24	2				
	そ の 他	219	20	1	53		53	97	244		158	220	128	136	68
赤 えん とう	日本赤えん豆	476													
	北 海 赤 花		500	380	425	379	373	247	281	331	435	419	208	131	362
	そ の 他			20	45	24	25	21			3	3	9	17	5
合 計	1770	1030	912	908	861	824	709	723	505	785	865	525	381	574	

8 ばれいしょ

区分	品 種 名	昭50	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平元	2	3	4	
生 食 用	男 爵 薯	18025	14953	15442	15931	16686	17180	17106	16778	16258	16777	17599	17692	17530	17150	
	メ ー ク イン	5190	7866	8151	8758	9466	9926	9336	9151	8396	8669	8953	8801	8730	9200	
	ワ セ シ ロ		785	369	1748	1942	2244	2234	2015	2165	2298	2412	2413	1900	2100	
	キ タ ア カ リ													160	260	
	と う や															
	エ ゾ ア カ リ													40	30	
	花 標 津															
	十 勝 こ が ね															
	ス タ ー ク イ ー ン															
	ユ キ ラ シ ャ															
	ユ キ ジ ロ	415	1736	1973	2287	2238	2129	2309	1991	898	299	123	63	120	30	
	加 工 食 品 用	ト ヨ シ ロ		2407	4167	5036	4994	5202	4854	5793	6664	7361	7069	6460	6290	6600
		ホ ッ カ イ コ ガ ネ			1	12	73	171	527	789	1112	920	885	1253	1490	1700
		ム サ マ ル														
ア ト ラ ン チ ャ ッ ク																
マ チ ル ダ																
ベ ニ ア カ リ																
さ や か																
ス ノ ー デ ン																
農 林 1 号		18370	11076	8750	8539	8102	8540	7654	7469	7280	7437	6861	6125	5070	5150	
ノ ー ス チ ャ ッ プ																

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
4	4	6		5	2	1	20	2		
578	584	485	431	470	274	299	286	207	150	63
						31	1	255	299	99
13	31	10	5	35	14	8	3	3	7	3
539	603	489	550	625	590	365	356	355	415	400
			134	155	187	125	156	123	59	99
									23	17
205	108	246	89	75	33	26	87	75	111	63
219	53	9	12					5		
		181	322	275	239	407	210	269	186	162
2	192	173	26	20	7	30	87	85	95	69
141	145	76	222	230	352	222	57	155	123	138
591	445	268	65	125	52	85	167	63	49	54
15021	17437	17626	17001	14500	11450	10738	11349	11757	13247	11527

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
39										
144	98	82	78	84	71	65	49	87	138	83
30	73	48	58	42	57	22	20	15	15	31
419	346	285	353	340	382	257	287	411	370	363
24	40	18	4	10	1	3	10	1	2	
656	557	433	493	476	511	347	366	514	525	477

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
17160	18200	17100	17730	18260	17599	16200	15800	15500	15100	13700
8660	8700	7420	7610	7710	6420	7000	7040	7020	6860	6240
2290	2300	1970	1930	1850	1754	1719	1595	1426	1421	1137
290	270	310	310	420	634	836	1129	1866	1565	1424
	5	30	60	90	192	294	400	460	546	684
50	50	20	45	90	10	11	15	1	1	1
					0	0	0	11	11	6
					0	0	0	6	4	4
					0	0	0	2	1	0
					0	0	0	0	2	3
20	20	10								
6580	7240	6850	7400	7730	7733	7647	7361	7396	7627	7948
1930	1860	1670	1550	1760	2112	1930	2028	1891	1889	1750
	15	110	320	310	131	154	88	72	66	77
	70	190	80	190	256	254	252	252	160	74
		60	70	80	100	114	126	123	108	93
			5	10	43	57	58	63	59	57
					0	54	205	330	605	680
					0	0	325	369	536	778
5000	4900	4190	3780	3590	2722	2743	2252	2040	1872	1328
					0	0	0	17	57	47

品 種 名	昭50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
き た さ や か														
ス タ ウ ト														
え と び り か														
ユ キ ヒ ノ デ														
そ の 他	3	68	40	3	37	5		321	509	107		79	1342	2
合 計	47955	42261	49180	57736	58902	64820	73811	69683	72522	75117	72382	72132	71377	71829

平元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
												4927	7812	7795
												286	3899	4879
													4938	10802
														117
152				2										
71913	71953	71900	70560	70082	69752	70016	69664	68259	70000	69999	69109	65874	66531	67882

種苗生産の流れ

種苗は農業生産上最も基本となるもので、「主要農作物種子法」などにより、優良種苗生産のための原原種、原種の生産が都道府県に義務づけられており、北海道では主要農作物（水稲、小麦、大麦、大豆）および主要畑作物（小豆、菜豆、えん豆、えん麦、そば）で北海道優良品種に認定されたものについて実施している。これら作物については、北海道立植物遺伝資源センター（以後遺伝資源センターとす）が核となり民間と分担して、育種家種子、原原種、原種、一般種子の生産を実施している。一方、バレイショについては、独立行政法人種苗管理センターが核となり北海道や民間と分担、牧草類、とうもろこしについては、独立行政法人家畜改良センターが核となり民間と分担して実施している。

以下の図には、特に、自殖性作物の種子生産体系の流れを、増殖率の高いもの、増殖率の低いもの、秋まき小麦、二条大麦（醸造用）の四つの事例に分けて示した。増殖率の高い水稲、春まき小麦、大麦、大豆、小豆などでは、新品種認定年に遺伝資源センターと育成場の協議により基本系統を選定し、それら基本系統種子を等量混合することにより育種家種子とする。この育種家種子を元に原原種、原種、一般種子が生産され、新品種認定後4年目に一般農家の栽培に使われる。このように新品種の普及には長期を要することから、早期普及を図るために、基本系統由来の種子が一般農家に供給されるまでの措置として、新品種認定年の3年前および2年前から、育成者が育成系統群から将来基本系統となる選抜個体を除いた残りの個体から採種した系統群集団種子を元に、原原種格（予備増殖）、原種格（新優良品種普及促進事業）、一般種子の生産を行い、新品種の認定1年後には一般農家に種子を供給している。また、新品種認定年の1年前から、育成者が育成系統群から基本系統となる選抜個体を除いた残りの個体から採種した系統群集団種子を育種家種子に準ずる種子（育種家種子格）として、これを元に原原種格、原種格、一般種子の生産を行う。

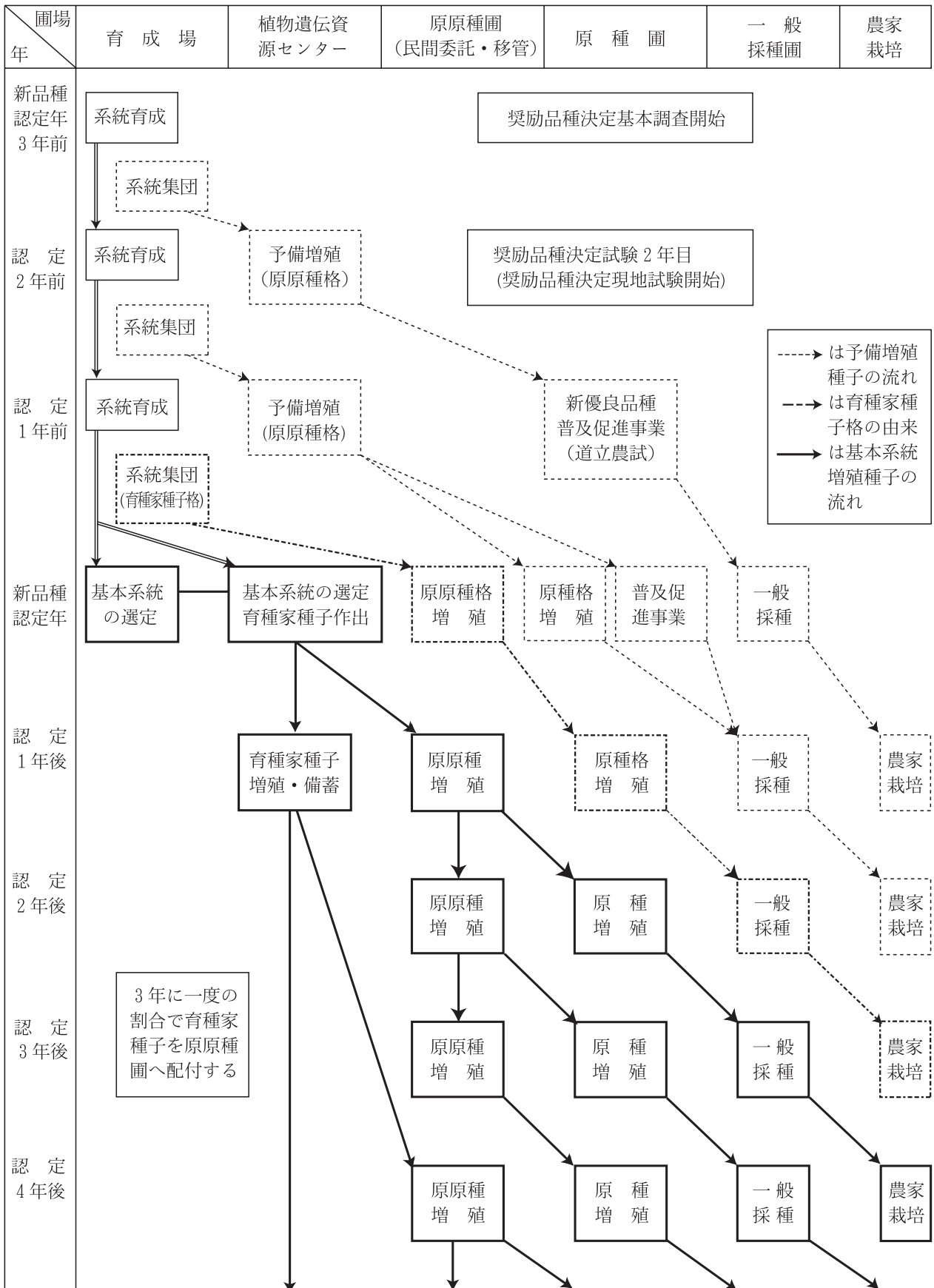
これに対し、増殖率の低い菜豆金時類、高級菜豆では、基本的な流れは上記作物と同様であるが、異なる点は、基本系統の種子量が少ないため、1年増殖した後育種家種子が作出され、これを元に生産される種子が一般農家に供給されるまでに品種認定後6年かかること、その間の早期普及のための経過措置として、新品種認定年に作られた原原種格を元にして認定2年後まで原原種格が生産されることである。

一方、秋まき小麦では、播種時期が秋であるため、新品種認定1年前の秋に基本系統を播種し、認定年の秋にその選定および育種家種子の作出を行う。この育種家種子を元に原原種、原種、一般種子が生産され、新品種認定後4年目に一般農家で生産が行われる。新品種の早期普及の措置としては、新品種認定年の2年前に生産した系統から系統集団を作出し、原原種格（予備増殖）、原種格（新優良品種普及促進事業）、一般種子の生産を行い、新品種の認定2年後には一般農家で生産が行われる。また、新品種認定1年前に生産した系統から育種家種子に準ずる種子（育種家種子格）を作出し、これを元に原原種格、原種格、一般種子の生産を行う。

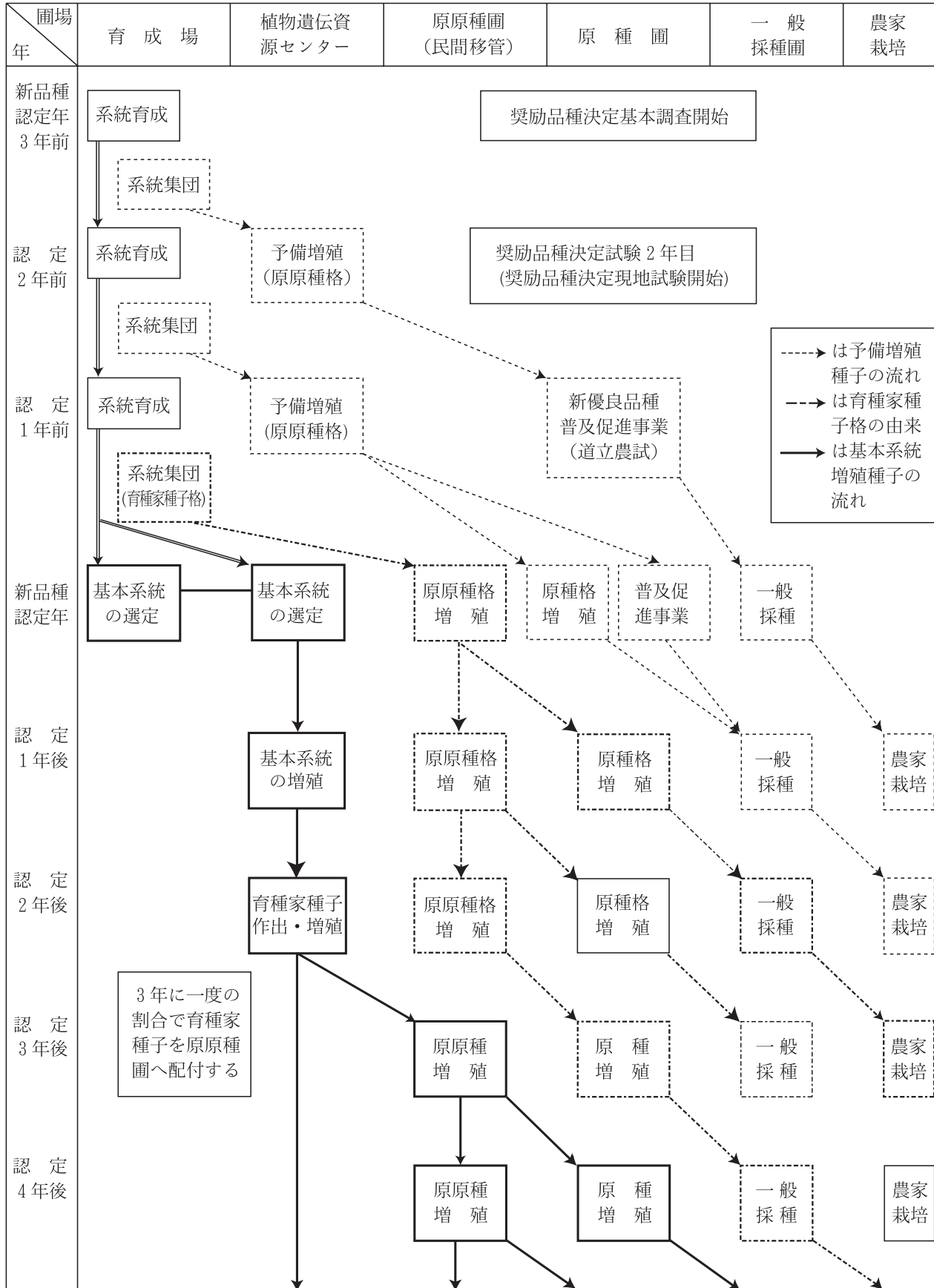
二条大麦（醸造用）では、奨励基本・現地調査が終了した後、大規模醸造試験を実施するため品種登録を行うが、品種登録出願年である優良品種認定3年前に基本系統の選定および育種家種子の作出を行う。育種家種子は増殖・備蓄し、これを元に優良品種認定年に原原種、原種が生産され、新品種認定後2年目に一般農家の栽培に使われる。新品種の早期普及の措置としては、品種登録出願年の1年前から、育種家種子に準ずる種子（育種家種子格）を作出し、これを元に原原種格（予備増殖）、原種格（新優良品種普及促進事業）、一般種子の生産を行い、また、優良品種認定1年前から、原種（新優良品種普及促進事業）、一般種子の生産を行い、新品種の認定1年後には一般農家に種子を供給している。

なお、水稲、麦類、豆類では、育種家種子は遺伝資源センターで増殖・備蓄され、3年に一回程度の割合で原原種生産者に提供される。

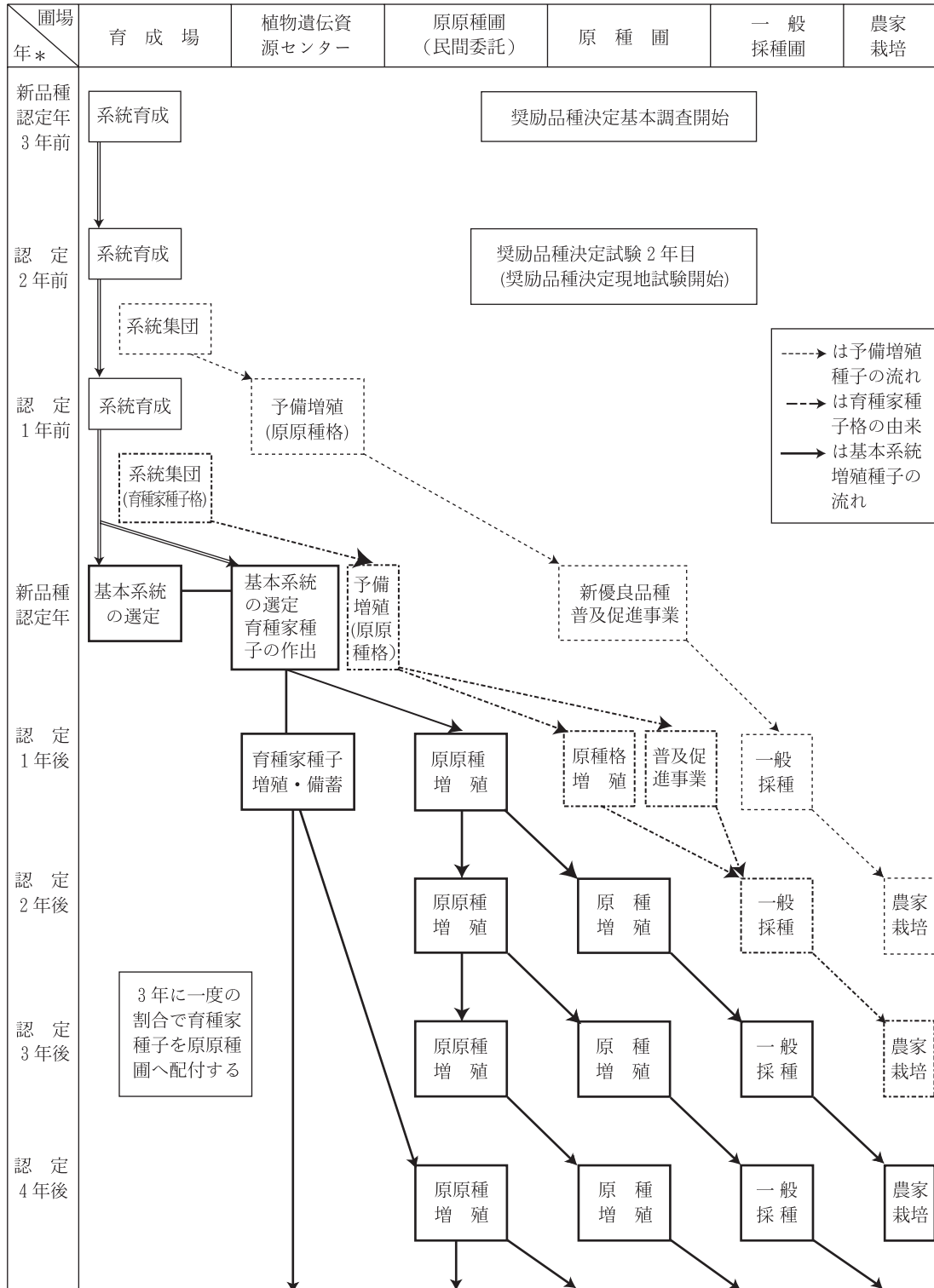
I. 水稲，春まき小麦，大豆，小豆など増殖率の高い自殖性作物の場合



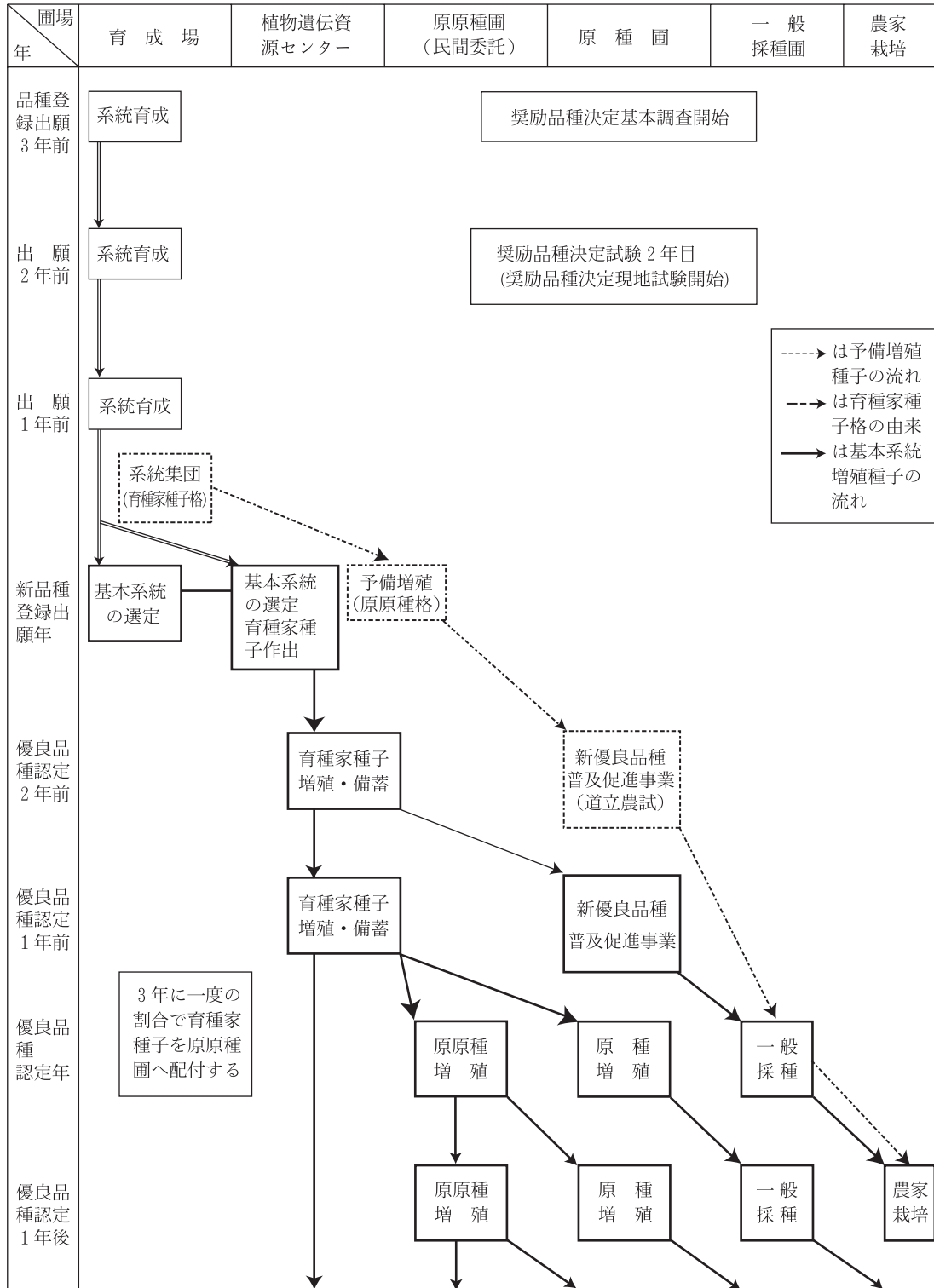
II. 菜豆金時類など増殖率の低い自殖性作物の場合



Ⅲ. 秋まき小麦の場合



IV. 二条大麦（醸造用）の場合



2. 小麦

種類	品種名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
秋まき小麦	ホクエイ							
	改良伊達早生							
	ムカコムギ							
	イービス							
	ホロシリコムギ	2730	3200	2100	2731	2500	2700	990
	タクネコムギ	1440	2020					390
	チホクコムギ	2400	2490	5922	6246	5680	5270	4236
	タイセツコムギ							490
春まき小麦	ホクシン							
	きたもえ							
	ハルミノリ							
	ハルヒカリ				163	150		
	農林 61 号							
	ハルユタカ	560	710	271	360	450	542	900
	春のあけぼの							
	春よ恋							
はるひの								
計	7130	8420	8293	9500	8780	8512	7006	

注 1) 表中の数値(原原種生産量)は、「北海道種苗審議会議案」および「北海道立植物遺伝資源センター年報」の種苗生産に関する資料に基づく。
2) 表中の数値は、正規の原原種の生産量であり、原原種格を含まない。

3. 大麦

種類	品種名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
食用及びビール用	ほしまさり	760	605	447	805			
	りょうふう						1100	771
飼料用	あおみのり					325		
	計	760	605	447	805	325	1100	771

注 1) 表中の数値(原原種生産量)は、「北海道種苗審議会議案」および「北海道立植物遺伝資源センター年報」の種苗生産に関する資料に基づく。
2) 表中の数値は、正規の原原種の生産量であり、原原種格を含まない。

4. 大豆

種類	品種名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
大粒	トヨスズ		150	280		125		
	白鶴の子			59				
	ユウヅル	45		140	195			80
	ヒメユタカ	105						
	ユウヒメ		75					
	早生緑							70
	音更大袖							100
	コマムスメ				38			
	トヨムスメ		435	254	860	690	305	560
	ツルコガネ	45	80					
中粒	大袖の舞							100
	北見白	75				80		
	キタムスメ	225		198	170			
	キタコマチ	108	195	257		117		
	トヨコマチ					171	480	
	キタホマレ	70	65	87			225	
	カリユタカ							
	トヨホマレ							
小粒	ハヤヒカリ							
	ユキホマレ							
	スズヒメ	45		70				150
	スズマル					35	80	
	ユキシズカ							
	スズヒメ	45		70				150
スズマル					35	80		
ユキシズカ								

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	1560	1890			1830						510
470		406		886						548	
4230	6450	5800	6500	3160	2250	2040		2490			
360	1110	950				1200					
			5700	6810	5670	6710	6680	7040	6420	6480	4770
									690		
1695	762	1070	1620	853	900	2390	2730				
		125	190	150							
									1920	1707	2640
									200		
6755	9882	10241	14010	11859	10650	12340	9410	9530	9230	8735	7920

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1161	1130	1170	760	840	810		540		630	760	
1161	1130	1170	760	840	810	0	540	0	630	760	0

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	92				114			150			295
73		239			125		330			330	
123	535		366		587	360		450	390	390	
	95										
65			158					150	150		300
	91										
		102									
140	362			328			180				
500		410	540	458	410			300	270		150
						360					
	87		108				169				
			180			150	330				
							171				
										210	440
			81		120						
	94			180					150		
			81		120						
	94			180					150		

(kg)

種 類	品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
黒 大 豆	中 生 光 黒		75					70
	ト カ チ ク ロ	75	65				26	
	い わ い く ろ							
合 計		793	1140	1345	1263	1218	1116	1130

注 1) 表中の数値(原原種生産量)は、「北海道種苗審議会議案」および「北海道立植物遺伝資源センター年報」の種苗生産に関する資料に基づく。
2) 表中の数値は、正規の原原種の生産量であり、原原種格を含まない。

5. 小 豆

種 類	品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
大 納 言	早 生 大 粒 1 号							
	暁 大 納 言							
	ベ ニ ダ イ ナ ゴ ン							
	ア カ ネ ダ イ ナ ゴ ン	90	90		301			
	カ ム イ ダ イ ナ ゴ ン						84	140
	ほ く と 大 納 言							
普 通 小 豆	と よ み 大 納 言							
	宝 小 豆	40	75		245			
	ハ ヤ テ シ ョ ウ ズ	110	120			53		
	エ リ モ シ ョ ウ ズ	400	420	390		269	480	940
	寿 小 豆	120	85	86				
	栄 小 豆							
	茶 殻 早 生			28				
	ホ ッ カ イ シ ロ シ ョ ウ ズ				31			
	ハ ツ ネ シ ョ ウ ズ		80	219	356			
	音 更 小 豆							
	サ ホ ロ シ ョ ウ ズ						300	
	ア ケ ノ ワ セ							
	き た の お と め							
し ゅ ま り								
合 計		760	870	723	933	322	864	1080

注 1) 表中の数値(原原種生産量)は、「北海道種苗審議会議案」および「北海道立植物遺伝資源センター年報」の種苗生産に関する資料に基づく。
2) 表中の数値は、正規の原原種の生産量であり、原原種格を含まない。

6. 菜 豆

種 類	品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
金 時	大 正 金 時	5031	5050	6551	5418	2664	3634	7860
	福 白 金 時	270	370	489				
	北 海 金 時	3090	1854		498	384	970	530
	丹 頂 金 時			1294	985	702	990	467
	福 勝							
手 亡	福 良 金 時							
	姫 手 亡	174	200		446	222	390	540
う ズ ら	雪 手 亡							
	福 粒 中 長	168	250	486		92		390
花 豆 そ の 他	福 う ズ ら							
	大 白 花	50	80	65	110	65	80	100
	改 良 早 生 大 福	48	35			22		64
	洞 爺 大 福							
	改 良 虎 豆			23		15		
福 虎 豆						52		
合 計		8831	7839	8908	7457	4166	6116	9951

注 1) 表中の数値(原原種生産量)は、「北海道種苗審議会議案」および「北海道立植物遺伝資源センター年報」の種苗生産に関する資料に基づく。
2) 表中の数値は、正規の原原種の生産量であり、原原種格を含まない。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
50		260				150					
	97	309		320						150	
							131	150			150
951	1453	1320	1433	1286	1356	1020	1311	1200	960	1080	1335

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
60	180	178		164			242				
		0	76								
					150	65					
										140	
624	690	742	510	417	365	390	533	603	518	540	390
	84					73					
60			77					62		150	
	60			37				120			
			231	269	260		307	280	258	360	313
									287	300	
744	1014	920	978	887	775	528	1082	1185	1063	1490	703

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
5400	6330	3750	4020	2430	2460	2430	2700	2700	2700	2700	2700
180	405	399	320	330	150	338					325
540	1020	887	650	870	240	524			360		810
567											
			2550	3450	3900	3000	1950	3690	3750	3150	3570
											360
270	267	60	360	330	250	250	200	150	420	240	
	374	172	570	495	500	350	410		240	120	220
	357	316	540	480	330		226				
								109	313	690	300
96	140	82	111	138	182				85		
64	23		54								
	48	51		89			48				
		45	85								
	46			40	32					60	
7117	9010	5762	9260	8652	8044	6892	5534	6649	7868	6960	8285

7. えんどう

種 類	品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
青 えん とう	改 良 青 手 無							
	大 豊 緑		60					
赤 えん とう	北 海 赤 花							
	合 計	0	60	0	0	0	0	0

注 1) 表中の数値(原原種生産量)は、「北海道種苗審議会議案」および「北海道立植物遺伝資源センター年報」の種苗生産に関する資料に基づく。

2) 表中の数値は、正規の原原種を生産量であり、原原種格を含まない。

8. えん麦

品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3	4
前 進	400	297	220	900	500	300	326	675
合 計	400	297	220	900	500	300	326	675

注 1) 表中の数値(原原種生産量)は、「北海道種苗審議会議案」および「北海道立植物遺伝資源センター年報」の種苗生産に関する資料に基づく。

2) 表中の数値は、正規の原原種を生産量であり、原原種格を含まない。

9. そ ば

品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3	4
牡 丹 そ ば		150			100			
キ タ ワ セ ソ バ								
合 計	0	150	0	0	100	0	0	0

注 1) 表中の数値(原原種生産量)は、「北海道種苗審議会議案」および「北海道立植物遺伝資源センター年報」の種苗生産に関する資料に基づく。

2) 表中の数値は、正規の原原種を生産量であり、原原種格を含まない。

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
10	24			25			24		33		
10			15								
10		25			55					72	
30	24	25	15	25	55	0	24	0	33	72	0

(kg)

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					306	220				
0	0	0	0	0	306	220	0	0	0	0

(kg)

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
150	70	78	76	77	90	96	87	90	545	1,080
150	70	78	76	77	90	96	87	90	545	1,080

2. 小麦

種類	品種名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
秋まき小麦	ホクエイ							
	改良伊達早生							
	ムカコムギ							
	イービス							
	ホロシリコムギ	72090	72900	75600	50220	59400	54000	49950
	タクネコムギ	29700	29700	13500	5670	4560	8640	7020
	チホクコムギ	62100	64800	83700	135540	144720	147420	150390
	タイセツコムギ							2700
	ホクシン							
	きたもえ							
春まき小麦	ハルミノリ							
	ハルヒカリ	4500		1620	1620	1620	1620	180
	農林 61 号							
	ハルユタカ		5760	7020	7020	7020	7020	14040
	春のあけぼの							
	春よ恋							
	はるひので							
合 計	168390	173160	181440	200070	217320	218700	224280	

注 1) 表中の数値(原種生産量)は、平成12年度までは「北海道種苗審議会議案」、平成13年度以降は「北海道農政部農産園芸課ホームページ」の種苗生産に関する統計資料に基づく。
2) 表中の数値は、正規の原種を生産量であり、原種格を含まない。

3. 大麦

種類	品種名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
食用及びビール用	ほしまさり	8100	8100	8100	8100			
	りょうふう					8100	8100	8100
合 計		8100	8100	8100	8100	8100	8100	8100

注 1) 表中の数値(原種生産量)は、平成12年度までは「北海道種苗審議会議案」、平成13年度以降は「北海道農政部農産園芸課ホームページ」の種苗生産に関する統計資料に基づく。
2) 表中の数値は、正規の原種を生産量であり、原種格を含まない。

4. 大豆

種類	品種名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
大 粒	トヨスズ	3960	2160	1680	1020	1200	720	480
	白鶴の子			120	120			
	ユウヅル	480	720	240	720	200	720	600
	ヒメユタカ	480	600					
	ユウヒメ	120	120	300	300	120		
	早生緑			120	120	120	120	
	音更大袖							60
	トヨムスメ			7620	9720	9120	9720	7680
	ツルコガネ	240	480	600	360	360	240	120
	ツルムスメ							
中 粒	大袖の舞							
	北見白	600	600	480	480	480	480	480
	キタムスメ	3960	3600	2520	2480	2400	2400	2400
	キタコマチ	2400	2160	2520	2040	1200	240	
	トヨコマチ						2520	2580
	キタホマレ	960	840	720	720	1080	840	240
	カリユタカ							
	トヨホマレ							
	ハヤヒカリ							
	ユキホマレ							
小 粒	スズヒメ	360	600	480	600	600	600	540
	スズマル						360	600
	ユキシズカ							
黒大豆	中 生 光 黒	240	180	240	250	360	360	570

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
27390	34560	18360	17030	17315	18990	10260	3210	4500	3000	3600	3600
12240	14580	7020	7020	5940	4380	7020	3300	1800	2400	3600	4200
199470	138240	166860	133965	93799	107340	58860	32400	24000	3600	1200	1200
8910	13500	9450	13800	14733	10500	9450	3900	2400	1500	1800	3000
			40425	103773	116340	108000	151590	160800	182700	182640	183000
								1800	2100	2100	
180											
15360	13860	13320	9040	14801	10260	21800	22890	18720	13440	6090	5170
	360	900			300						
								2250	12390	26250	22680
								210			
263550	215100	215910	221280	250361	268110	215390	217290	214680	220830	227280	224950

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
10620	8100	8100	9000	13850	9000	12100	12375	12375	10350	9675	9450
10620	8100	8100	9000	13850	9000	12100	12375	12375	10350	9675	9450

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
240											
600	240	600	900	1500	600	480	600	480	480	120	840
120	120	960	960	1500	600	1200	1200	1080			1560
7800	3480	4800	5160	4920	3480	3720	3600	5160	5760	6240	4200
120											
120	120	240	240	240	240	240	360	480	960	1080	1080
		360	360	90	360		210		360	240	240
240	40	600	600	0	600	330	120		60		
2160	360	1920	1920	2130	1680	720	480	720	960	600	360
5160	4020	4560	8340	8790	5880	3120	3480	4800	4440	3600	3480
120	120	120				240	240	240	120		
	840	960	960	360	960	960	840	1680	1080	360	120
				1110	1440	1080	1440	1560	1950	960	1560
								720	480	240	210
											4200
600	100	600	600	1050	240	240	120	120	120		
600	600	600	720	600	600	1200	960	960	810	1200	1260
480	150	840	1320	1770	1200	600	360	360	210		240

種 類	品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
黒 大 豆	ト カ チ ク ロ		180	120	110	240	240	150
	い わ い く ろ							
	合 計	13800	12240	17760	19040	17480	19560	16500

注 1) 表中の数値(原種生産量)は、平成12年度までは「北海道種苗審議会議案」、平成13年度以降は「北海道農政部農産園芸課ホームページ」の種苗生産に関する統計資料に基づく。
2) 表中の数値は、正規の原種の生産量であり、原種格を含まない。

5. 小 豆

種 類	品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
大 納 言	早 生 大 粒 1 号							
	暁 大 納 言							
	ベ ニ ダ イ ナ ゴ ン							
	ア カ ネ ダ イ ナ ゴ ン	1440	1440	1200	1320	960	1080	1080
	カ ム イ ダ イ ナ ゴ ン							480
	ほ く と 大 納 言 と よ み 大 納 言							
普 通 小 豆	宝 小 豆	960	960	960	720	480	120	
	ハ ヤ テ シ ョ ウ ズ	1800	1560	1560	1440	840	240	
	エ リ モ シ ョ ウ ズ	6320	6960	7320	8040	8640	9120	9600
	寿 小 豆	1440	1440	1200	720	660	480	480
	栄 小 豆							
	茶 殻 早 生			120	120	57		
	ホ ッ カ イ シ ロ シ ョ ウ ズ							
	ハ ツ ネ シ ョ ウ ズ			360	600	360	240	240
	音 更 小 豆							
	サ ホ ロ シ ョ ウ ズ							1080
	ア ケ ノ ワ セ							
	き た の お と め							
	し ゅ ま り							
	合 計	11960	12360	12720	12960	11997	11280	12960

注 1) 表中の数値(原種生産量)は、平成12年度までは「北海道種苗審議会議案」、平成13年度以降は「北海道農政部農産園芸課ホームページ」の種苗生産に関する統計資料に基づく。
2) 表中の数値は、正規の原種の生産量であり、原種格を含まない。

6. 菜 豆

種 類	品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
金 時	大 正 金 時	39000	53040	52800	45050	45798	50400	50400
	福 白 金 時	2400	2400	2400	1440	600	1800	1800
	北 海 金 時	27240	12480	8040	6600	9540	4800	6240
	丹 頂 金 時			5400	5550	4120	8640	7200
	福 勝 福 良 金 時							
手 亡	姫 手 亡	2400	2400	2400	3600	3600	5400	5400
	雪 手 亡							
う ず ら	福 粒 中 長	1800	1800	1800	1800	1800	1800	1800
	福 う ず ら							
花 豆 そ の 他	大 白 花	1080	1080	1260	1260	580	1080	1080
	改 良 早 生 大 福	720	720	540	540	180	540	540
	洞 爺 大 福							
	改 良 虎 豆	180	180	180	180	180	90	90
	福 虎 豆							270
	合 計	74820	74100	74820	66020	66398	74550	74820

注 1) 表中の数値(原種生産量)は、平成12年度までは「北海道種苗審議会議案」、平成13年度以降は「北海道農政部農産園芸課ホームページ」の種苗生産に関する統計資料に基づく。
2) 表中の数値は、正規の原種の生産量であり、原種格を含まない。

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
240	10	2280	1800	1560	1800	750					660
								1200	690	840	330
18600	10200	19440	23880	25620	19680	14880	14610	19560	19080	15840	20340

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1320	1320	2350	3020	2360	960	1140	2700	1650	1110	2150	1059
240		424	120								
						769	618	900	680	300	654
											1274
9960	8160	17940	12110	15550	8040	13320	20340	18300	17763	20920	13794
480	480	480	420	330	240	480	480				
				202	120						
120		90									
720		420	360	390	360	360	510	300	330	720	1110
		330	360	270	240	480	600	300			
				4170	2400	5037	10140	7350	10110	11870	15234
										4489	3934
12840	9960	22034	16390	23272	12360	21586	35388	28800	29993	40449	37059

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
52440	56700	40890	57930	46830	29520	21250	23760	22200	24580	31140	30533
1800	1800	1980	1800	1950	1800	2100	1320	600	1260	690	630
6240	5010	3720	4740	3840	3600	5040	2760	2400	2700	2550	2400
3600	1200	1050									
				22080	28560	41220	22685	26160	40220	34560	29550
5160	3000	3300	3120	4590	3480	5760	5490	330	5862	4170	4860
			2220	4200	4800	3480	6120	4980	3000	5250	4800
1800	2400	870	2400	2400	2400	3960	1680	1650	600	1200	300
									1200	3150	1980
1080	1404	1070	1550	1350	1080	1169	800	1080	630	360	360
360	270	30									
		347	769	630	540	849	770	540	540	540	540
90	120	120	180	180	90	120					
270	365	316	331	270	270	434	271	360	1350	360	360
72840	72269	55913	77020	88920	74820	88022	64516	58320	84192	83520	75743

7. えんどう

種 類	品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3
青 えんどう	改 良 青 手 無	60	60					
	大 緑	60	60	60	60	60	60	120
	豊 緑			60	60	60	60	
赤 えんどう	北 海 赤 花	60	60	120	120	120	120	120
	合 計	180	180	240	240	240	240	240

- 注 1) 表中の数値（原種生産量）は、平成12年度までは「北海道種苗審議会議案」、平成13年度以降は「北海道農政部農産園芸課ホームページ」の種苗生産に関する統計資料に基づく。
- 2) 表中の数値は、正規の原種を生産量であり、原種格を含まない。

品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3	4
前 進	4500	3780	2700	2700	2700	2160	2160	3159
合 計	4500	3780	2700	2700	2700	2160	2160	3159

- 注 1) 表中の数値（原種生産量）は、平成12年度までは「北海道種苗審議会議案」、平成13年度以降は「北海道農政部農産園芸課ホームページ」の種苗生産に関する統計資料に基づく。
- 2) 表中の数値は、正規の原種を生産量であり、原種格を含まない。

8. えん麦

品 種 名	昭 60	61	62	63	平元	2	3	4
牡 丹 そ ば	90	90	180	160	180			
キ タ ワ セ ソ バ						384	450	360
合 計	90	90	180	160	180	384	450	360

- 注 1) 表中の数値（原種生産量）は、平成12年度までは「北海道種苗審議会議案」、平成13年度以降は「北海道農政部農産園芸課ホームページ」の種苗生産に関する統計資料に基づく。
- 2) 表中の数値は、正規の原種を生産量であり、原種格を含まない。

(kg)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
120	90	120	300	49	120	120	150	120	180	120	196
120	270	330	60	150	120	435	210	120	180	240	1140
240	360	450	360	199	240	555	360	240	360	360	1336

(kg)

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1560	1920	1680	1240	1400	1960	1400				
1560	1920	1680	1240	1400	1960	1400	0	0	0	0

(kg)

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
945	900	765	646	1007	1050	1657	1800	1330	4185	3240
945	900	765	646	1007	1050	1657	1800	1330	4185	3240

既刊「北海道立農業試験場資料」一覧

- 第19号 優良米の早期開発試験プロジェクトチーム第1期
(昭和55-61年度)の試験研究成果 仲野博之編集総括
北海道立中央農業試験場(昭和63年4月)
- 第20号 最近10年間の農業新技術と今後の課題 企画情報室編
北海道立中央農業試験場(平成4年3月)
- 第21号 北海道土壌区一覧
北海道立中央農業試験場 橋本 均, 志賀弘行編(平成5年9月)
- 第22号 平成5年北海道における農作物異常気象災害に関する緊急調査報告書 稲作編
竹川昌和編 北海道立中央農業試験場(平成6年7月)
- 第23号 平成5年北海道における農作物異常気象災害に関する緊急調査報告書 畑作編
土屋武彦編 北海道立中央農業試験場(平成6年7月)
- 第24号 優良米の早期開発試験プロジェクトチーム第II期
(昭和62-平成5年)高度良食味品種の開発試験 編集委員長 佐々木多喜雄
北海道立中央農業試験場(平成7年5月)
- 第25号 21世紀初頭における農業の技術的課題とその展望
同書編集作業班代表 谷口健雄 北海道立中央農業試験場(平成7年7月)
- 第26号 農作物優良品種の解説(1987-1995) 三浦豊雄編
北海道立中央農業試験場(平成8年3月)
- 第27号 北海道育種指定試験地における耐性育種の成果と展望 土屋武彦編
北海道立中央農業試験場(平成9年3月)
- 第28号 パソコンによる土壌診断・施肥設計システムの演算論理集 橋本 均編
北海道立中央農業試験場(平成9年6月)
- 第29号 異常気象と畑作物生産に関する調査報告書 大槌勝彦編
北海道立中央農業試験場(平成9年9月)
- 第30号 NAPASSを活用した競合産地分析システム(Ver.2.1)利用方法 松山秀和編
北海道立中央農業試験場(平成11年3月)
- 第31号 異常高温・多雨等が農畜産物に及ぼす影響と今後の対策
大槌勝彦, 吉田俊幸, 三浦豊雄, 森 清一編
北海道立中央農業試験場(平成12年7月)
- 第32号 重点研究課題の中間評価 (付)農業統計を用いた北海道農業・農村の現状分析と将来予測
新研究基本計画重点研究課題中間評価諮問委員会 編
「道立農試が考える北海道農業・農村ビジョン」検討委員会 編
北海道立中央農業試験場(平成15年3月)
- 第33号 平成15年夏季の低温とその後の気象が農作物に及ぼした影響に関する調査報告書
天野洋一, 前田 博 編
北海道立中央農業試験場(平成16年11月)

北海道立農業試験場資料 第34号

ISSN 0386-6211

農作物優良品種の解説(1996-2004)

天野洋一, 塩澤耕二, 大原益博 編

2005(平成17)年3月31日発行

発行者 北海道立中央農業試験場

〒069-1395 北海道夕張郡長沼町東6線北15号

印刷 小南印刷株式会社